

ヲ記載セシムヘシ會議録ニハ議長及議員一名以上之ニ署名スルコトヲ要ス

**第五十三條** 町村會議員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得費用辨償額及其ノ支給方法ハ町村會議決ヲ經支廳長ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム

費用ノ辨償ハ町村ノ負擔トス

**第四章 町村ノ財務**

**第一款 財産營造物及收入支出**

**第五十四條** 町村ハ不動産積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スル義務アリ

臨時ニ取得シタル財産ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附ニ係ル物件ニシテ寄附者其ノ使用ノ目的ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

町村ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ基本財産ニ加入スヘキモノノ全部又ハ一部ヲ特別ノ基本財産又ハ積立金穀等ニ加入スルコトヲ得

府縣知事ハ必要ト認ムルトキハ基本財産又ハ積立金穀等ノ蓄積ヲ命スルコトヲ得

**第五十五條** 舊來ノ慣行ニ依リ數個人又ハ町村内ノ一部ニ於テ特ニ營造物又ハ財産ヲ使用スル權利ヲ有スルトキハ其ノ舊慣ニ依リ町村會議ノ議決ヲ經ルニ非サレハ其ノ舊慣ヲ變更又ハ廢止スルコトヲ得

前項ノ營造物又ハ財産ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ町村會議ノ議決ヲ經テ之ヲ許可スルコトヲ得

**第五十六條** 町村ハ前條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收シ同條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料加入金ヲ共

ニ徵收スルコトヲ得

**第五十七條** 町村ハ營造物又ハ公共ノ使用ニ供スル財産ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

數個人又ハ町村内ノ一部ヲ利スル營造物又ハ財産ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

町村ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

**第五十八條** 町村ハ第五十五條及前條ニ規定スル財産ノ使用ニ關シ町村規則ヲ設クルコトヲ得

**第五十九條** 町村ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

**第六十條** 町村ハ其ノ必要ナル費用及法令又ハ慣例ニ依リ町村ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

町村ハ其ノ財産ヨリ生スル收入使用料手数料過料過息金其ノ他法令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

**第六十一條** 町村稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ稅目及稅率ハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

**第六十二條** 三箇月以上町村内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ廻リ町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

**第六十三條** 町村内ニ住所ヲ有セス又ハ三箇月以上滞在スルコトナシト雖町村内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ又ハ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ町村内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル町村稅ヲ納ムル義務

ヲ負フ其ノ法人タルトキ亦同シ但シ國ノ事業又ハ行爲ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

**第六十四條** 納稅者ノ町村外ニ於テ所有シ使用シ若ハ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ數市區町村ニ涉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且其ノ營業又ハ其ノ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ關係市區町村ニ於テ附加稅ヲ賦課スルトキハ內務大臣ノ定ムル所ニ依ル

住所滞在數市區町村ニ涉ル者ノ收入ニ對シ町村稅ヲ賦課スルトキハ其ノ收入ヲ關係市區町村ニ平分シ其ノ一部ニミ賦課スヘシ但シ土地家屋物件又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ生スル收入ハ此ノ限ニ在ラス

**第六十五條** 所得稅法第四條ノ六ニ掲クル者ノ所得及同法第五條ニ掲クル所得ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得

神社禮拜所寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物ニシテ其ノ境内地ニ存在スルモノ及其ノ境内地教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ賃貸者ニ賦課スル場合及住宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツルモノハ此ノ限ニ在ラス

國府縣市區町村其ノ他公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル家屋物件及營造物ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ賃貸者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得

前各項ノ外町村稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ル

**第六十六條** 數個人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他必要ナル費用ハ其ノ

關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

町村内ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他必要ナル費用ハ其ノ部内ニ於テ町村稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生スル收入又ハ一部ノ收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ヲ充ツヘシ

數個人又ハ町村内ノ一部ヲ利スル財産ニ付テモ本條ノ例ニ依ル

**第六十七條** 數個人又ハ町村内ノ一部ニ對シテ利益アル事件ニ關シテハ不均一ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

**第六十八條** 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外町村稅及夫役現品並其ノ賦課徵收ニ關シ必要ナル事項ハ內務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

町村稅ノ賦課徵收ニ關スル規程ニハ二圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

**第六十九條** 町村長ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ會計年度内ニ限リ納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ町村會議決ヲ經ヘシ町村長ハ特別ノ事情アル者ニ限リ町村會議決ヲ經テ町村稅ヲ減免スルコトヲ得

**第七十條** 使用料及手数料ニ關スル事項ニ付テハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ規則中ニハ二圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得營造物又ハ財産ノ使用ニ關スル町村規則ニ付亦同シ

**第七十一條** 第六十八條及前條ノ規定ニ依リ過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ町村長之ヲ掌ル

**七十二條** 町村稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付後三箇月以内ニ町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ町村長之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ支廳長ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

使用料手数料加入金ノ徵收及夫役現品ノ賦課ニ關シテモ亦前數項ノ例ニ依ル

第七十三條 町村稅使用料手数料加入金夫役現品ニ代フル金錢過料過息金其ノ他町村ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ町村長ハ期間ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ此ノ場合ニ於テハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

滞納者前項ノ督促ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ仍之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

本條町村長ノ處分ニ不服アル者ハ支廳長ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第七十四條 町村ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ又ハ町村ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲メ又ハ天災事變等ノ爲己ムヲ得サル場合ニ限り町村債ヲ起スコトヲ得

町村債ヲ起スニ付町村會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

町村ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歳入出豫算及決算 第七十五條 町村長ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ一箇月前ニ町村會ノ議決ヲ經ヘシ

町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ 豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ事務報告書及財産表ヲ提出スヘシ

第七十六條 町村長ハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第七十七條 町村費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ町村會ノ議決ヲ經テ其ノ期間間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第七十八條 豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

豫備費ハ町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得

第七十九條 町村ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第八十條 收入役ハ町村長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得又町村長ノ命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナキトキ又ハ豫備費支出及費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依ラサルトキ亦同シ

前項ノ規定ハ收入役ノ事務ヲ兼掌シタル町村長又ハ書記ニ之ヲ準用ス

第八十一條 町村ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第八十二條 町村ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ限トス

決算ハ出納閉鎖後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出スヘシ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ町村會ノ認定ニ付スヘシ

第八條第五項ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル但シ町村長ニ於テ兼掌シタルトキハ直ニ町村會ノ認定ニ付スヘシ

第八十三條 豫算ノ式及費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第五章 町村内ノ行政及町村組合

第八十四條 町村内ノ一部ニ於テ從來所有スル財産ノ管理及處分ハ町村有財産ニ關スル規定ニ依ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ爲特ニ要スル費用ハ其ノ財産ヲ所有スル町村内ノ一部ノ負擔トス

町村内ノ一部ノ會計ハ之ヲ分別スヘシ

第八十五條 町村内ノ一部ニ於テ有スル財産又ハ町村内ノ一部ヲ利スル財産營造物ニ關シ必要アル場合ニ於テハ支廳長ハ町村會ノ意見ヲ徵シテ町村規則ヲ設定シ區會又ハ區總會ヲ設ケテ該事件ニ關シ町村會ノ議決スヘキ事項ノ全部又ハ一部ヲ議決セシムルコトヲ得

區會議員ハ町村ノ名譽職トス其ノ定員任期及選舉權被選舉權ニ關スル事項ハ前項ノ町村規則中ニ之ヲ規定スヘシ

前項ノ外區會議員ノ選舉及區會又ハ區總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項及特ニ町村内ノ一部ノ行政ニ關シ必要ナル事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第八十六條 町村事務ノ一部又ハ全部ヲ共同處理セシムル爲支廳長ハ町村

會ノ意見ヲ徵シ府縣知事ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得其ノ變更解除ニ付亦同シ

前項ノ場合ニ於テ組合内各町村ノ町村會又ハ町村吏員ノ職務ニ屬スル事項ナキトキハ其ノ町村會又ハ町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス

第八十七條 町村組合ヲ設クルトキハ支廳長ハ前條ノ例ニ依リ組合規程ヲ設クヘシ其ノ變更ニ付亦同シ

組合規程ニ於テハ組合ノ名稱組合ヲ組織スル町村組合ノ共同事務及組合役場ノ位置其ノ他必要ナル事項ヲ定ムルコトヲ要ス

一部事務ノ爲ニ設ケタル組合ニ於テハ前項ノ外仍組合會ノ組織及選舉組合吏員ノ組織及選任組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クルコトヲ要ス

第八十八條 町村組合ハ法人トス

町村組合ニ關シテハ町村ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十九條 本令ニ定ムルモノノ外町村組合ニ關スル必要ノ規定ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第六章 町村行政ノ監督

第九十條 町村行政ハ第一次ニ於テ支廳長之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

監督官廳ハ町村行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スコトヲ得

上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ町村行政ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

第九十一條 本令ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ付シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

異議又ハ訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ其ノ交付ヲ受ケサル者ハ告示ノ日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

但シ本令中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

行政訴訟ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

異議ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第九十二條 監督官廳ハ必要アル場合ニ於テハ期間ヲ定メテ町村會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

府縣知事ハ町村會ノ解散ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第九十三條 町村ニ於テ法令ニ依テ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ命スル費用ヲ豫算ニ載セサルトキハ支廳長ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

町村又ハ町村長其ノ他ノ吏員ニ於テ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ支廳長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ町村ノ負擔トス

本條ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村長其ノ他ノ吏員ハ府縣知事ニ訴願スルコトヲ得

第九十四條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 町村債ヲ起シ並起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ變更スル事但シ第七十四條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

第九十五條 左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 町村規則ヲ設ケ及改廢スル事

第二百二條 本令ニ定ムル直接國稅ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

附則

本令施行ノ地域及期日ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

(明治四十年内務省令第二十五號ヲ以テ明治四十一年四月一日ヨリ沖繩縣ニ、明治四十年内務省令第三十號ヲ以テ明治四十一年四月一日ヨリ東京府大島ニ同年十月一日ヨリ同府八丈島ニ、明治四十一年内務省令第一號ヲ以テ明治四十一年四月一日ヨリ鹿兒島縣大島郡及長崎縣對馬國ニ、大正十二年内務省令第十九號ヲ以テ同年十月一日ヨリ東京府利島、新島、神津島、三宅島、御藏島ニ施行)

附則 (大正十五年勅令第二七號)

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リ島司ニ爲シタル許可又ハ指揮ノ申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ許可又ハ指揮ヲ得ザルモノハ之ヲ新規定ニ依リ支廳長ニ爲シタル許可又ハ指揮ノ申請ト看做ス

從前ノ規定ニ依リ島司ニ於テ町村會ノ意見ヲ徵シタル場合ニ於テハ新規定ニ依リ支廳長ニ於テ町村會ノ意見ヲ徵シタルモノト看做ス

從前ノ規定ニ依リ町村長ノ決定又ハ處分ニ付島司ニ訴願シ得ベキ場合ニ於テ新規定ニ依ル支廳長ニ對スル訴願提起期間ハ決定又ハ處分アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

從前ノ規定ニ依リ島司ニ爲シタル訴願ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ其ノ裁決ナキモノハ之ヲ新規定ニ依リ支廳長ニ爲シタル訴願ト看做ス

從前ノ規定ニ依リ島司ノ爲シタル處分又ハ裁決ハ第十二條第二項及第四項、第三十三條第五項、第三十五條第二項、第七十二條第三項及第四項並ニ第七十三條第四項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ支廳長ノ爲シタル處分又ハ

二 基本財産ノ管理及處分ニ關スル事

三 特別基本財産及積立金穀等ノ設置管理及處分ニ關スル事

四 不動産ノ管理及處分ニ關スル事

五 使用料手数料加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

六 寄附又ハ補助ヲ爲ス事

七 第六十七條ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲ス事

第九十六條 左ニ掲クル事件ハ支廳長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 第五十五條ノ處分ヲ爲ス事

二 第六十六條ニ依リ數個人又ハ町村内ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事

三 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事

四 特別會計ヲ設クル事

第九十七條 町村ノ行政ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ要スヘキ事件ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第九十八條 町村吏員ノ服務紀律懲戒賠償責任身元保證及事務引繼ニ關スル規程ハ内務大臣之ヲ定ム

第九十九條 町村ノ行政ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ要スヘキ事件中其ノ輕易ナルモノハ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委員スルコトヲ得

町村ノ行政ニ關シ支廳長ノ職權ニ屬スル事件ノ一部及前項ニ依リ支廳長ニ委任セラレタル事件ノ一部ハ之ヲ支廳出張所長ニ委任スルコトヲ得

第七章 雜則

第一百條 削除

第一百條 内務大臣ハ特別ノ事情アル町村ノ町村會議員選舉權被選舉權ニ關シ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

裁決ト看做ス

○ 町村制ヲ施行セサル島嶼指定

大正十年五月三日 勅令第九十號

朕明治二十二年勅令第一號町村制ヲ施行セサル島嶼指定ノ件改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、内務大臣副署)

町村制第五十七條ノ規定ニ依リ島嶼ヲ指定スルコト左ノ如シ

東京府管下 小笠原島及伊豆七島

附則

本令ハ大正十年五月二十日ヨリ之ヲ施行ス

大正七年勅令第三百三十五號ハ之ヲ廢止ス

○ 島嶼町村制施行ニ際シ取扱方

明治四十一年三月二十八日 內務省令第五號

改正 大正九年第一七號

第一條 島嶼町村制施行ニ際シ事務取扱ニ關シテハ明治二十一年内務省令第四號ノ規定ヲ準用ス但同省令第四條ノ豫算ハ町村長ニ於テ之ヲ設ケ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二條 明治二十一年内務省令第四號第七條精算ノ場合ニ於テ其ノ殘餘アルトキハ町村長ハ町村會ノ決議ヲ經テ之ヲ町村ノ歲入ニ繰越シ又ハ基本財産ト爲スコトヲ得

第三條 町村役場ノ位置ハ府縣知事ニ於テ之ヲ定ムヘシ

### ○町村制不施行島嶼戸長以下給料旅費負擔ノ件

明治二十二年一月十七日 (總理、内務、勅令第二號) (大藏大臣副署)

朕町村制ヲ施行セサル島嶼ノ戸長以下給料旅費並浦役場費ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

町村制ヲ施行セサル島嶼ハ別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ムル迄本屬府縣ニ於テ町村制施行ノ後ニ要スル戸長以下給料旅費並浦役場費ハ其町村ノ負擔トス但東京府管轄小笠原島伊豆七島ハ從前ノ通國庫ヨリ支給ス

### ○沖繩縣間切島並東京府伊豆七島及小笠原島ニ於ケル名稱及區域ノ變更等ニ關スル件

明治四十年三月十六日 (總理、内務、勅令第四十五號) (大臣副署)

第一條 沖繩縣ノ間切島ハ之ヲ村ト改メ東京府伊豆七島中利島、神津島、御藏島、青ヶ島、大島波浮港及八丈島大賀郷、中ノ郷ニ村ノ名稱ヲ附ス村ノ行政ニ付テ從前ノ例ニ依ル

第二條 間切島内ノ村又ハ島ハ字トシテ其ノ名稱ヲ存ス

東京府伊豆七島及小笠原島ニ於テ村ト稱セサル島ハ從來管轄ヲ同フシタル村ノ一部ヲ成シ大字トシテ其ノ名稱ヲ存ス

第三條 村ヲ廢置分合シ其ノ區域名稱ヲ變更シ又ハ村ヲ町ト爲スコトヲ要スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム其ノ合併セラレタル村ノ名稱ニ付テハ前條ノ例ニ依ル

前項ノ爲財産處分ヲ要スルトキハ關係アル村會ノ意見ヲ徵シ府縣知事之

ヲ定ム

#### 附則

本令施行ノ地域及期日ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

明治四十年内務省令第二十四號ヲ以テ明治四十一年一月一日ヨリ沖繩縣ニ、明治四十年内務省令第二十九號ヲ以テ明治四十一年二月一日ヨリ東京府大島及八丈島ニ、大正十二年内務省令第十八號ヲ以テ大正十二年八月一日ヨリ東京府利島、新島、神津島、三宅島、御藏島ニ施行

○内務省令第四號 (明治四十一年三月二十八日)

明治四十年勅令第四十五號第三條ニ依リ村ヲ廢置分合シ其ノ區域ヲ變更シタル場合ニ於テハ「明治三十年内務省令第三號」ノ規定ヲ準用ス

### ○區町村會法

明治十七年五月七日 太政官布告第十四號

明治十三年四月第拾八號布告區町村會法左ノ通改正ス

#### 區町村會法

第一條 區町村會ハ區町村費ヲ以テ支辨スヘキ事件及其經費ノ支出徵收方法ヲ議定ス

第二條 區町村會ノ會期、議員ノ員數、任期、改選及其他ノ規則ハ府知事【縣令】之ヲ定ム

第三條 區會ハ區長之ヲ招集シ其議案ヲ發ス町村會ハ戶長之ヲ招集シ其議案ヲ發ス

第四條 區會ノ評決ハ區長之ヲ施行シ町村會ノ評決ハ戶長之ヲ施行ス若シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ其施行ヲ止メ府知事【縣令】ニ具狀シテ

(台四)

#### 指揮ヲ請フヘシ

第五條 區長ニ於テ區會、郡區長戸長ニ於テ町村會ノ議事若シ法ニ背キ又ハ治安ヲ害スルコトアリト認ムルトキハ其會議ヲ中止シ府知事【縣令】ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

第六條 府知事【縣令】ニ於テ區町村會ノ議事若シ法ニ背キ又ハ治安ヲ害スルコトアリト認ムルトキハ何時タリトモ區町村會ヲ停止シ又ハ之ヲ解散シテ改選セシムルコトヲ得

第七條 前條ノ場合ニ於テ停止又ハ解散ヲ命シタルトキハ更ニ開會ヲ命シ又ハ改選スル迄ノ間區長戸長ハ經費ノ支出徵收方法ヲ定メ府知事【縣令】ノ認可ヲ得テ施行スルコトヲ得

第八條 區町村ニ於テ議員ヲ選舉セシ又ハ議員招集ニ應セスシテ會議ヲ開クヲ得ス及議定スヘキ議案ヲ議定セシ又ハ會期内ニ於テ議案ヲ評決シ終ラサルトキハ前條ノ例ニ依ル

第九條 議員ヲ選舉スルヲ得ヘキ者ハ滿二十歲以上ノ男子ニシテ其區町村ニ住居シ其區町村内ニ於テ地租ヲ納ムル者ニ限ル但府縣會規則第十三條第一款第二款第三款ニ觸ル、者及陸海軍人現役ノ者ハ選舉人タルコトヲ得ス

第十條 議員タルコトヲ得ヘキ者ハ滿二十五歲以上ノ男子ニシテ其區町村ニ住居シ其區町村内ニ於テ地租ヲ納ムル者ニ限ル但府縣會規則第十三條第一款第二款第三款第四款ニ觸ル、者ハ議員タルコトヲ得ス

第十一條 區會ノ議長ハ區長町村會ノ議長ハ戶長ヲ以テ之ニ充ツ區長戸長若シ事故アルトキハ區長戸長ニ於テ議員中ヨリ議長ヲ指定スルコトヲ得

### 第一編 地方制度 第二章 市町村制

### ○水利土功及學事ニ關スル會議存續ノ件

明治二十二年三月二十二日 (總理、内務、文部大臣副署) 法律第十一號

從來開設シタル水利土功會又ハ水利土功【若クハ學事】ニ關スル町村聯合會ハ明治十七年五月第十四號布告區町村會法ニ依リ又學區會ハ同法第十四條第十五條ニ準據シ市制町村制施行後ト雖モ別ニ規定ヲ設クルマテ之ヲ存續スルコトヲ得

### ○土地ニ賦課スル區町村費制限

明治十八年八月十五日 太政官布告第二十五號

土地ニ賦課スル區町村費ハ明治十九年度ヨリ地租七分ノ一ヲ超過スルヲ得ス

但非常ノ費用ハ豫知スヘカラサル天 別ニ賦課スルヲ得此場合ニ於テハ區  
町村會若クハ水利土功會ノ評決ヲ取リ府知事【縣令】ノ指揮ヲ請フヘシ  
右奉 勅旨布告候事(内務卿、大藏卿、連署)

### ○區町村會評決區町村費及水利土功 會評決土木費ノ意納者處分方

明治十七年五月七日  
太政官布告第十五號

區町村會ニ於テ評決シタル區町村費及水利土功會ニ於テ評決シタル土木  
費ノ意納者ハ總テ【明治十年十一月 第七十九號布告】ニ據リ處分ス可シ若シ財  
産公賣ノ際買受人ナキトキハ官没ノ手續ヲ爲サス郡區長又ハ戶長ニ於テ  
之ヲ管掌シ會議ノ評決ヲ取リ府知事【縣令】ノ認可ヲ得テ處分ス可シ  
但明治十四年四月第貳拾四號布告ハ廢止ス  
右奉 勅旨布告候事(内務卿、連署)

### ○區町村會評決區町村費及水利土功 會評決土木費並北海道町村公收入 ノ意納督促手數料ノ件

明治三十五年十一月二十六日  
勅令第二百六十八號

改正 明治三十六年第一二五號  
朕區町村會ニ於テ評決シタル區町村費及水利土功會ニ於テ評決シタル土木

費ノ意納督促手數料ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(内務、大藏)  
區町村會法ニ依リ區町村會ノ評決シタル區町村費及水利土功會ノ評決シタ  
ル土木費並北海道ニ於ケル北海道一級町村制北海道二級町村制ヲ施行セサ  
ル町村ノ公收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ管理者又ハ戶長ニ於テ督  
促狀ヲ發スヘシ  
督促手數料ノ新設増額又ハ變更ニ付テハ地方長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要  
ス

### ○區町村會評決區町村費ニ關シ不服 出訴方

明治十七年七月四日  
太政官布告第二十三號

區町村會ニ於テ評決シタル區町村費ニ關シ不服アリテ出訴セントスルモノ  
ハ都テ【明治十五年五月第貳拾貳號布告】ニ依ルヘシ  
右奉 勅旨布告候事(内務卿、連署)

### ○北海道區町村總代人評決ノ協議費 意納者處分並不服出訴方

明治十八年八月十日  
太政官布告第二十二號

函館札幌根室【三縣】ニ於テ【區】町村總代人ノ評決シタル協議費ノ意納者ハ  
明治十七年五月第拾五號布告ニ準シテ處分スヘシ其協議費ニ關シ不服アリテ  
出訴セントスルモノハ同年七月第貳拾三號布告ニ據ルヘシ

右奉 勅旨布告候事(内務卿、連署)

### ○各區町村金穀公借共有物取扱土木 起功規則

明治九年十月十七日  
太政官布告第三百十號

各【區】町村金穀公借共有物取扱土木起功規則自今左ノ通相定候條此旨布告  
候事

第一條 【凡ソ一區ニ於テ金穀ヲ公借シ若クハ共有ノ地所建物等ヲ賣買ス  
ル時ハ正副區戶長并ニ其區内毎町村ノ總代貳名ツ、ノ内六分以上之ニ連  
印スルヲ要スヘシ】

第二條 凡ソ町村ニ於テ金穀ヲ公借シ若クハ共有ノ地所建物等ヲ賣買スル  
時ハ【正副區】戶長并ニ其町村内不動産所有ノ者六分以上之ニ連印スルヲ  
要スヘシ  
但右不動産所有者ヨリ其總代ヲ撰ンテ之カ代理タラシムルハ其都合ニ  
任スヘシ

第三條 凡ソ【區内若クハ】町村内ニテ土木ヲ起功スル時ハ【其區ト町村ナ  
ルトニ隨ヒ各第一條若クハ】第二條ニ倣フヘシ

第四條 若シ【第一條】第二條及第三條ニ指示セル場合ニ於テ唯【正副區】戶  
長ノ印ノミヲ鈐シ其須要ナル連印ナキモノハ總テ之ヲ該【區】戶長限リノ  
私借若クハ私ノ土木起功ト看做スヘシ其【正副區】戶長ノ印ノミヲ以テ共  
有ノ地所建物等ヲ賣買シタル者ハ總テ賣買ノ効ヲ有セス

### 第三章 北海道

#### 第一節 北海道會

##### ○北海道會法

明治三十四年三月二十八日(總理、大藏、  
法律第二號) (昭和三十四年三月二十八日(總理、大藏、  
ラレタル北海道會法ハ四百五頁ニ收録)

改正 大正五年第二九號、一二年第五七號、一五年第七六號  
昭和四年第五八號

**第一條** 北海道會ハ各選舉區ヨリ選舉スル議員ヲ以テ之ヲ組織ス  
選舉區ハ北海道廳支廳長管轄區域及市ノ區域ニ依ル

**第二條** 北海道會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

**第三條** 帝國臣民タル年齢二十五年以上ノ男子ニシテ二年以來北海道内ノ  
同一市町村内ニ住所ヲ有スル者ハ北海道會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有  
ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 禁治産者及準禁治産者

二 破産者ニシテ復權ヲ得サル者

三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者

四 一定ノ住居ヲ有セサル者

五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第  
二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ

懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受タルコトナキニ至リ

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道會法

(台四)

タル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其  
ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス

七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲クル罪以外ノ罪ヲ犯シ  
六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコト  
ナキニ至ル迄ノ者

前項二年ノ期間ハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セララルコト  
ナシ

**第四條** 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵  
ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス  
兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク)及志願ニ  
依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同シ

**第五條** 在職ノ檢察、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス  
選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セ  
ス

北海道廳ノ官吏及北海道地方費ノ有給ノ吏員其ノ他ノ職員ニシテ在職中  
ノ者ハ北海道會議員ト相兼スルコトヲ得ス

衆議院議員ハ北海道會議員ト相兼スルコトヲ得ス

**第六條** 北海道會議員ノ選舉ハ市ニ在リテハ市會議員選舉人名簿ニ依リ、  
町村ニ在リテハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ町村長ノ調製スル選舉人名  
簿ニ依リ之ヲ行フ

町村制第十八條第二項、第十八條ノ二乃至第十八條ノ五ノ規定ハ前項町  
村ニ於ケル選舉人名簿ニ之ヲ準用ス

**第七條** 選舉長ハ北海道廳支廳長又ハ市長ヲ以テ之ニ充ツ  
選舉長ハ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス

選舉會ハ北海道廳支廳、市役所又ハ選舉長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク

選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ  
第八條 北海道會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ノ外北海道地方費ニ關シ左ノ事項ヲ議決ス

一 北海道條例及北海道規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト  
二 歳入出豫算ヲ定ムル事  
三 決算報告ニ關スル事  
四 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、北海道地方稅及夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事

五 不動産ノ處分並買受及讓受ニ關スル事  
六 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事

七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事  
八 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九條 北海道參事會ハ議長及名譽職參事會員十二人ヲ以テ之ヲ組織ス

第十條 北海道參事會ノ職務權限左ノ如シ  
一 北海道會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 北海道會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ、府縣制第五十四條ノ規定ノ準用ニ依リ除斥ノ爲會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ北海道廳長官ニ於テ北海道會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ北海道會ノ權限ニ屬スル事件ヲ北海道會ニ代ハリテ議決スルコト

第二條ノ規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

舊刑法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

大正三年度北海道地方費決算ハ大正五年ノ通常會ニ報告スヘシ

附則 (大正一年法律第五十七號)

本法中選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條ノ規定ニ依リ準用スル選舉ニ關スル府縣制ノ規定ハ次ノ府縣會議員ノ總選舉ヨリ適用セラルル規定ヲ謂フ

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ニ關スル期日又ハ期間ニシテ本法ニ依リ難キモノハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

北海道參事會ノ權限ニ屬スル事項ニシテ本法施行ノ際急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間北海道廳長官之ヲ行フ

北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ要スル事項ニシテ從前ノ規定ニ依リ北海道廳長官ノ爲シタルモノハ本法ニ依リ北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ經タルモノト看做ス

本法施行前ニ爲シタル處分ニ對スル異議、訴願又ハ訴訟ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附則 (大正十一年勅令第二百五十五號ヲ以テ選舉ニ關スル規定以外ノ規定ハ大正十一年五月十五日ヨリ施行)

本法中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道會法

三 削除

四 北海道會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 北海道地方費支辨工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 北海道地方費ニ係ル訴願訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事  
七 其ノ他法令ニ依リ北海道參事會ノ權限ニ屬スル事項

第十一條 北海道廳長官ハ北海道會及北海道參事會ノ議決ニ付スヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發ス

第十二條 削除

第十三條 削除

第十四條 府縣制第五條、第八條、第十三條乃至第二十二條、第二十三條ノ二乃至第四十條、第四十二條乃至第六十四條、第六十六條、第六十七條、第六十九條乃至第七十四條、第八十二條乃至第八十七條、第二百七條乃至第二百二十九條、第三百一十一條、第三百三十五條、第三百三十六條、第四百四十二條及第四百四十四條ノ規定ハ之ヲ準用ス但シ其ノ第三十一條第七項中府縣ニ對シ請負ヲ爲シトアルハ北海道廳長官若ハ北海道地方費ニ對シ請負ヲ爲シトス

第十五條 削除

第十六條 鳥嶼ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キモノハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十七條 本法ハ北海道廳根室支廳管内占守郡、新知郡、得撫郡及色丹郡ニハ勅令ヲ以テ之ヲ施行スル迄之ヲ施行セス

附則 (大正五年法律第二九號)

施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ニ依リ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第六條ノ規定ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

本法施行ノ際大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法又ハ大正十五年府縣制中改正法律、市制中改正法律若ハ町村制中改正法律未タ施行セラレサル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付テハ同法ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 (大正十五年勅令第二百三十三號ヲ以テ議員選舉ニ關スル規定ヲ除クノ外大正十五年七月一日ヨリ施行)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 (昭和四年勅令第八十一號ヲ以テ昭和四年七月一日ヨリ施行)

# ○北海道會法

明治三十四年三月二十八日(總理、大藏、内務大臣副署)  
法律第二號

改正 大正五年第二九號、一二年第五七號、一五年第七六號  
昭和四年第五八號、一〇年第四七號

第一條 北海道會ハ各選舉區ヨリ選舉スル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 北海道會議員ハ名譽職トス

第三條 帝國臣民タル年齢二十五年以上ノ男子ニシテ二年以來北海道内ノ

同一市町村内ニ住所ヲ有スル者ハ北海道會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 禁治産者及準禁治産者

二 破産者ニシテ復權ヲ得サル者

三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者

四 一定ノ住居ヲ有セサル者

五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス

七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

前項二年ノ期間ハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セララルコト

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道會法

ナシ

第四條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定(志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者ニ付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定ヲ含ム)ニ依リ召集中ノ者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク)及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同シ

第五條 在職ノ檢察、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス租稅滯納處分中ノ者ハ被選舉權ヲ有セズ北海道廳ノ官吏及北海道地方費ノ有給ノ吏員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ北海道會議員ト相兼スルコトヲ得ス衆議院議員ハ北海道會議員ト相兼スルコトヲ得ス

第六條 北海道會議員ノ選舉ハ市ニ在リテハ市會議員選舉人名簿ニ依リ、町村ニ在リテハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ町村長ノ調製スル選舉人名簿ニ依リ之ヲ行フ町制第十八條第二項及第三項、第十八條ノ二乃至第十八條ノ五ノ規定ハ前項町村ニ於ケル選舉人名簿ニ之ヲ準用ス

第七條 選舉長ハ北海道廳支廳長又ハ市長ヲ以テ之ニ充ツ選舉長ハ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス

選舉會ハ北海道廳支廳、市役所又ハ選舉長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク選舉長ハ職メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ



第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道會法

第八條 北海道會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ノ外北海道地方費ニ

- 一 北海道條例及北海道規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト
- 二 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 三 決算報告ニ關スル事
- 四 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、北海道地方税及夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事
- 五 不動産ノ處分並買受及讓受ニ關スル事
- 六 積立金較等ノ設置及處分ニ關スル事
- 七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
- 八 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九條 北海道參事會ハ議長及名譽參事會會員十二人ヲ以テ之ヲ組織ス

第十條 北海道參事會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 北海道會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事
- 二 北海道會閉會中北海道會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ輕易ナルモノヲ北海道會ニ代ハリテ議決スルコト
- 三 北海道會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ、府縣制第五十四條ノ規定ノ準用ニ依ル除斥ノ爲會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ北海道廳長官ニ於テ北海道會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキ北海道會ノ權限ニ屬スル事件ヲ北海道會ニ代ハリテ議決スルコト
- 四 北海道會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營造物ノ管理ニ關シ重要

ナル事項ヲ議決スル事

- 五 北海道地方費支辨工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
  - 六 北海道地方費ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事
  - 七 其ノ他法令ニ依ル北海道參事會ノ權限ニ屬スル事項
- 前項第二號ノ規定ニ依リ北海道參事會ニ於テ議決スベキ事件ハ北海道會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官之ヲ定ム

第十一條 北海道廳長官ハ北海道會及北海道參事會ノ議決ニ付スヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發ス

第十二條 削除

第十三條 削除

第十四條 府縣制第五條、第八條、第十三條乃至第二十二條、第二十三條

ノ二乃至第四十條、第四十二條乃至第六十四條、第六十六條、第六十七條、第六十九條乃至第七十四條、第八十二條乃至第八十七條、第二百二十七條乃至第二百二十九條、第三百一十一條、第三百三十五條、第三百三十六條、第四百二十二條及第四百四十四條ノ規定ハ之ヲ準用ス但シ其ノ第三十一條第七項中府縣ニ對シ請負ヲ爲シトアルハ北海道廳長官若ハ北海道地方費ニ對シ請負ヲ爲シトス

第十五條 削除

第十六條 鳥嶼ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キモノハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケタルコトヲ得

第十七條 本法ハ北海道廳根室支廳管内占守郡、新知郡、得撫郡及色丹郡ニハ勅令ヲ以テ之ヲ施行スル迄之ヲ施行セス

附則 (大正五年法律第二九號)

第二條ノ規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス  
舊刑法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス  
大正三年度北海道地方費決算ハ大正五年ノ通常會ニ報告スヘシ

附則

(大正二年法律第五七號)

本法中選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正十一年勅令第二百五十五號ヲ以テ選舉ニ關スル規定以外ノ規定ハ大正十一年五月十五日ヨリ施行)

第十四條ノ規定ニ依リ準用スル選舉ニ關スル府縣制ノ規定ハ次ノ府縣會議員ノ總選舉ヨリ適用セラルル規定ヲ謂フ

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ニ關スル期日又ハ期間ニシテ本法ニ依リ難キモノハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

北海道參事會ノ權限ニ屬スル事項ニシテ本法施行ノ際急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間北海道廳長官之ヲ行フ

北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ要スル事項ニシテ從前ノ規定ニ依リ北海道廳長官ノ爲シタルモノハ本法ニ依リ北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ經タルモノト看做ス

本法施行前ニ爲シタル處分ニ對スル異議、訴訟又ハ訴訟ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附則

(大正一五年法律第七六號)

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道會法

本法中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正十五年勅令第二百三十三號ヲ以テ議員選舉ニ關スル規定ヲ除クノ外大正十五年七月一日ヨリ施行)

本法ニ依リ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第六條ノ規定ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケタルコトヲ得

本法施行ノ際大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法又ハ大正十五年府縣制中改正法律、市制中改正法律若ハ町村制中改正法律未ダ施行セラレサル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付テハ同法ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

附則 (昭和四年法律第五八號)

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和四年勅令第八十一號ヲ以テ昭和四年七月一日ヨリ施行)

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 (昭和一〇年法律第四七號)

本法中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和十年勅令第七十三號ヲ以テ議員選舉ニ關スル規定ヲ除クノ外昭和十年七月十五日ヨリ施行)

本法ニ依リ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ昭和十年市制中改正法律中公民權及選舉人名簿ニ關スル規定ハ之ヲ施行セザル市ニ於テハ北海道會法中選舉人名簿ニ關スル規定ニ適用ニ付之ヲ施行シタルモノト看做ス

昭和十年市制中改正法律中公民權及選舉人名簿ニ關スル規定ハ之ヲ施行シ

タル市ニ於テハ北海道會法中選舉人名簿ニ關スル規定ノ適用ニ付次ノ總選舉ニ至ル迄ノ間未ダ之ヲ施行セザルモノト看做ス  
前二項ノ場合ニ於テ議員ノ選舉ニ必要ナル選舉人名簿ニ關シテハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得  
本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル町村長ノ調製スル選舉人名簿ニ關シテハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス  
昭和九年法律第四十九號、昭和十年府縣制中改正法律中議員選舉ニ關スル規定及同年町村制中改正法律中選舉人名簿ニ關スル規定ハ本法ノ適用ニ付テハ本法ノ施行ト同時ニ施行セラレタルモノト看做ス

○北海道會法及北海道地方費

法施行令

大正十五年六月二十四日 (總理、內務大臣副署)  
勅令第二百二號 (昭和十年勅令第七十七號ヲ以テ改正セラレタルモノハ四百十頁ニ收録)

改正 昭和三年第二六一號

第一條 府縣制施行令及大正十五年勅令第三號衆議院議員選舉法施行令第六條ノ規定ハ北海道會法及北海道地方費法ノ施行ニ之ヲ準用ス  
第一條ノ二 市制町村制施行令第八條乃至第十條ノ規定ハ町村ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於ケル北海道會議員選舉人名簿ニ之ヲ準用ス  
市ノ區域ノ境界ニ涉リ町村ノ設置又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ新ニ町村ノ區域ニ屬シタル地域ニ關シ必要ナル選舉人名簿ハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル町村ノ町村長之ヲ調製スベシ  
前項ノ選舉人名簿ニ關シ北海道會法第六條第一項、町村制第十八條ノ二

乃至第十八條ノ五ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ北海道廳長官ニ於テ其ノ期日又ハ期間ヲ定ムベシ但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス  
町村ノ區域ノ境界ニ涉リ市ノ設置又ハ境界變更アリタル場合ニ於テハ町村長ハ其ノ町村ニ於ケル選舉人名簿中新ニ市ノ區域ニ屬シタル地域ニ係ル部分ヲ抹消スベシ  
第一條ノ三 市制町村制施行令第七條ノ規定ハ北海道會議員選舉人名簿ニ之ヲ準用ス  
前條第三項ノ規定ニ依リ期日又ハ期間ヲ定メタルトキハ北海道廳長官ハ直ニ之ヲ告示スベシ  
第二條 北海道廳根室支廳管内國後郡、紗那郡、擇捉郡及秦取郡ニ於ケル北海道會議員選舉ニ關シテハ第三條乃至第十三條ノ規定ニ依ル  
第三條 投票管理者ハ投票ノ當日又ハ翌日其ノ管理スル投票所ニ於テ北海道會法第十四條ノ規定ニ依リ準用スル府縣制第二十五條及第二十八條ノ例ニ依リ選舉立會人ニ屬スル職務ヲ行フ、此ノ場合ニ於テハ投票立會人ハ其ノ例ニ依リ選舉立會人ニ屬スル職務ヲ行フ  
第四條 前條ノ規定ニ依リ投票ノ點檢ヲ行フトキハ投票管理者ハ投票所ノ事務ニ從事スル者二人ヲシテ各別ニ同一議員候補者ノ得票數ヲ計算セシムベシ  
前項ノ計算終リタルトキハ投票管理者ハ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀スベシ  
第五條 投票ノ點檢終リタルトキハ投票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スベシ  
第六條 投票管理者ハ點檢済ニ係ル投票ノ有效無效ヲ區別シ各之ヲ封筒ニ

入レ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ封印ヲ施スベシ

第七條 投票管理者ハ前四條ノ規定ニ依リ手續ニ關スル願末書ヲ作リ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名シ直ニ投票録及投票ト併セテ之ヲ選舉長ニ送致スベシ

第八條 投票管理者ハ豫メ投票所ニ於ケル開票ノ日時ヲ告示スベシ

第九條 選舉人ハ其ノ投票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第十條 天災事變等ノ爲投票所ニ於ケル開票ヲ行フトコトヲ得ザルトキ又ハ更ニ之ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ更ニ期日ヲ定メ開票ヲ行フベシ、此ノ場合ニ於テハ投票管理者ハ直ニ其ノ旨ヲ選舉長ニ報告スベシ

第十一條 選舉長ハ第五條ノ報告及府縣制第二十一條又ハ第二十二條ノ規定ノ準用ニ依リ送致セラレタル投票函ノ總テ到達シタル翌日選舉會ヲ開クベシ

選舉長ハ前項ノ投票函ノ投票ニ付府縣制第二十五條第一項乃至第三項及第二十八條ノ規定ノ準用ニ依リ開票ノ手續ヲ終リタルトキハ前項ノ報告ヲ調査シ投票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スベシ  
第五條ノ報告遲著ノ虞アルトキハ其ノ報告總テ到達セザルモ投票函ノ總テ到達シタル翌日以後ニ於テハ選舉長ハ選舉會ヲ開キ其ノ投票函ノ投票及前日迄ニ到達シタル報告ニ付前項ノ例ニ依リ開票ノ手續ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ開票ヲ行ヒタル場合ニ於テハ選舉長ハ報告ノ總テ到達シタル日又ハ其ノ翌日更ニ選舉會ヲ開キ調査未済ノ報告ヲ調査シ該報告ニ付投票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ前項ノ規定ニ依リ得票總數ニ通算シタル各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スベシ

第十二條 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テハ選舉長ハ前條ノ規定ニ準ジ其ノ部分ニ付前條ノ手續ヲ爲シ他ノ部分ニ於ケル各議員候補者ノ得票數ト併セテ其ノ得票總數ヲ朗讀スベシ

第十三條 第五條ノ報告ニ關スル書類及第七條ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタル願末書ハ選舉長ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スベシ

附則

本令中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ、其ノ他ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス  
大正十二年勅令第四十六號  
北海道會議員選舉區分區令  
北海道會議員選舉特例

從前ノ規定ニ依リ手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス  
大正十一年勅令第二百五十六號第二條ノ規定ニ依リ準用スル明治三十三年勅令第二百四十八號第二條ノ規定ニ依リ處分ニ關シ內務大臣ニ提起シタル訴願ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

從前ノ規定ニ依リ爲シタル決定又ハ處分ニ對スル異議ノ申立期間又ハ訴願ノ提起期間ハ決定又ハ處分アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス  
從前ノ規定ニ依リ北海道廳長官ニ爲シタル申請又ハ北海道參事會ノ決定ニ付セラレタル申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ北海道參事會ノ決定ニ付セラレザルモノ又ハ北海道參事會ノ決定ナキモノニ付テハ府縣制施行令第三十二條第二項ノ規定ノ準用ニ依リ期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス

本令中議員選舉ニ關スル規定施行ノ際大正十五年勅令第三號衆議院議員選舉法施行令又ハ府縣制施行令中議員選舉ニ關スル規定未ダ施行セラレザル場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ同令又ハ同規定ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

○北海道會法及北海道地方費法施行令

大正十五年六月二十四日 (總理、內務) 勅令第二百二號 (大臣副署)

改正 昭和三年第二六一號、一〇年第一七七號

第一條 府縣制施行令及大正十五年勅令第三號衆議院議員選舉法施行令第一百六條ノ規定ハ北海道會法及北海道地方費法ノ施行ニ之ヲ準用ス  
第一條ノ二 市制町村制施行令第八條乃至第十條ノ規定ハ町村ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於ケル北海道會議員選舉人名簿ニ之ヲ準用ス  
市ノ區域ノ境界ニ涉リ町村ノ設置又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ新ニ町村ノ區域ニ屬シタル地域ニ關シ必要ナル選舉人名簿ハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル町村ノ町村長之ヲ調製スベシ  
前項ノ選舉人名簿ニ關シ北海道會法第六條第一項、町村制第十八條ノ二乃至第十八條ノ五ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ北海道廳長官ニ於テ其ノ期日又ハ期間ヲ定ムベシ但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス  
町村ノ區域ノ境界ニ涉リ市ノ設置又ハ境界變更アリタル場合ニ於テハ町村長ハ其ノ町村ニ於ケル選舉人名簿中新ニ市ノ區域ニ屬シタル地域ニ係ル部分ヲ抹消スベシ

(台四)

四一〇

第一條ノ三 市制町村制施行令第七條ノ規定ハ北海道會議員選舉人名簿ニ之ヲ準用ス  
前條第三項ノ規定ニ依リ期日又ハ期間ヲ定メタルトキハ北海道廳長官ハ直ニ之ヲ告示スベシ  
第二條 北海道廳根室支廳管内國後郡、紗那郡、擇捉郡、藥取郡及色丹郡ニ於ケル北海道會議員選舉ニ關シテハ第二條ノ二乃至第十三條ノ規定ニ依ル  
第二條ノ二 北海道會法第十四條ノ規定ニ依リ準用スル府縣制第十九條第二項乃至第四項ノ規定及本令第一條ノ規定ニ依リ準用スル府縣制施行令第十六條ノ九中投票ヲ受理スベカラズト決定シタル場合ニ關スル規定ハ之ヲ適用セズ  
第三條 投票管理者ハ投票ノ當日又ハ翌日其ノ管理スル投票所ニ於テ北海道會法第十四條ノ規定ニ依リ準用スル府縣制第二十五條第一項及第三項及第二十八條ノ例ニ依リ選舉長ニ屬スル職務ヲ行フ、此ノ場合ニ於テハ投票立會人ハ其ノ例ニ依リ選舉立會人ニ屬スル職務ヲ行フ  
第四條 前條ノ規定ニ依リ投票ノ點檢ヲ行フトキハ投票管理者ハ投票所ノ事務ニ從事スル者二人ヲシテ各別ニ同一議員候補者ノ得票數ヲ計算セシムベシ  
前項ノ計算終リタルトキハ投票管理者ハ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀スベシ  
第五條 投票ノ點檢終リタルトキハ投票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スベシ  
第六條 投票管理者ハ點檢ニ係ル投票ノ有效無效ヲ區別シ各之ヲ封筒ニ入レ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ封印ヲ施スベシ

(台四)

府縣制施行令第十六條ノ九ノ規定ノ準用ニ依リ受理スベカラズト決定シタル投票ハ投票管理者之ヲ其ノ儘他ノ封筒ニ入レ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ封印ヲ施スベシ  
第七條 投票管理者ハ前四條ノ規定ニ依ル手續ニ關スル願末書ヲ作り之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名シ直ニ投票録及投票ト併セテ之ヲ選舉長ニ送致スベシ  
第八條 投票管理者ハ豫メ投票所ニ於ケル開票ノ日時ヲ告示スベシ  
第九條 選舉人ハ其ノ投票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得  
第十條 天災事變等ノ爲投票所ニ於ケル開票ヲ行フトコトヲ得ザルトキ又ハ更ニ之ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ更ニ期日ヲ定メ開票ヲ行フベシ、此ノ場合ニ於テハ投票管理者ハ直ニ其ノ旨ヲ選舉長ニ報告スベシ  
第十一條 選舉長ハ第五條ノ報告及府縣制第二十一條又ハ第二十二條ノ規定ノ準用ニ依リ送致セラレタル投票函ノ總テ到達シタル翌日選舉會ヲ開クベシ但シ場合ニ依リ其ノ總テ到達シタル日選舉會ヲ開クコトヲ得  
選舉長ハ前項ノ投票函ノ投票ニ付府縣制第二十五條第一項乃至第三項及第二十八條ノ規定ノ準用ニ依ル開票ノ手續ヲ終リタルトキハ前項ノ報告ヲ調査シ同法第二十五條第三項ノ規定ノ準用ニ依ル區域毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スベシ  
第五條ノ報告運著ノ虞アルトキハ其ノ報告總テ到達セザルモ投票函ノ總テ到達シタル翌日以後ニ於テハ選舉長ハ選舉會ヲ開キ其ノ投票函ノ投票及前日迄ニ到達シタル報告ニ付前項ノ例ニ依リ開票ノ手續ヲ爲スコトヲ得但シ場合ニ依リ投票函ノ總テ到達シタル日ニ於テ選舉會ヲ開キ其ノ投票函ノ投票及其ノ時迄ニ到達シタル報告ニ付其ノ手續ヲ爲スコトヲ妨ゲ

前項ノ規定ニ依リ開票ヲ行ヒタル場合ニ於テハ選舉長ハ報告ノ總テ到達シタル日又ハ其ノ翌日更ニ選舉會ヲ開キ調査未済ノ報告ヲ調査シ該報告ニ付府縣制第二十五條第三項ノ規定ノ準用ニ依ル區域毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リ前項ノ規定ニ依ル得票總數ニ通算シタル各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スベシ  
第十二條 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テハ選舉長ハ前條ノ規定ニ準ジ其ノ部分ニ付前條ノ手續ヲ爲シ他ノ部分ニ於ケル各議員候補者ノ得票數ト併セテ其ノ得票總數ヲ朗讀スベシ  
第十三條 第五條ノ報告ニ關スル書類及第七條ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタル願末書ハ選舉長ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スベシ  
附則  
本令中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ、其ノ他ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス  
大正十二年勅令第四十六號  
北海道會議員選舉區分區令  
北海道會議員選舉特別  
從前ノ規定ニ依ル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス  
大正十一年勅令第二百五十六號第二條ノ規定ニ依リ準用スル明治三十三年勅令第二百四十八號第二條ノ規定ニ依ル處分ニ關シ內務大臣ニ提起シタル訴願ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル  
從前ノ規定ニ依リ爲シタル決定又ハ處分ニ對スル異議ノ申立期間又ハ訴願ノ提起期間ハ決定又ハ處分アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

從前ノ規定ニ依リ北海道廳長官ニ爲シタル申請又ハ北海道參事會ノ決定ニ付セラレタル申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ北海道參事會ノ決定ニ付セラレザルモノ又ハ北海道參事會ノ決定ナキモノニ付テハ府縣制施行令第三十二條第二項ノ規定ノ準用ニ依ル期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス

本令中議員選舉ニ關スル規定施行ノ際大正十五年勅令第三號衆議院議員選舉法施行令又ハ府縣制施行令中議員選舉ニ關スル規定未ダ施行セラレザル場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ同令又ハ同規定ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

附則 (昭和一〇年勅令第一七七號)

本令ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス  
昭和九年勅令第三百二十五號及昭和十年勅令第七十四號中議員選舉ニ關スル規定ハ本令ノ適用ニ付テハ本令ノ施行ト同時ニ施行セラレタルモノト看做ス

### ○北海道會法施行ニ關スル件

大正十五年六月二十四日  
內務省令第二十號

府縣制施行規則中府縣會議員ノ選舉ニ關スル規定ハ北海道會議員ノ選舉ニ之ヲ準用ス但シ其ノ規定中從前郡長又ハ島司ノ管轄シタル區域トアルハ北海道廳支廳長管轄區域トス

附則

本令ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス  
左ノ內務省令ハ之ヲ廢止ス

大正十二年內務省令第三十二號  
大正十五年內務省令第二十六號

從前ノ規定ニ依ル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

本令施行ノ際府縣制施行規則又ハ市制町村制施行規則中議員選舉ニ關スル規定未ダ施行セラレザル場合ニ於テハ同規定ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

### ○北海道會法ヲ北海道廳根室支廳管

#### 內色丹郡ニ施行スルノ件

昭和十年七月三日  
勅令第七十八號 (總理、大藏、內務大臣副署)

北海道會法第十七條ノ規定ニ依リ北海道會法ヲ北海道廳根室支廳管內色丹郡ニ施行ス

附則

本令ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

### ○北海道會法及北海道地方費法改正

#### 經過規程

大正十五年六月二十四日  
勅令第二百五十五號 (總理、內務大臣副署)

第一條 大正十五年七月一日現ニ在任スル名譽職參事會員及其ノ補闕名譽職參事會員ノ任期ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第二條 從前北海道廳長官ニ申立テタル異議又ハ北海道參事會ノ決定ニ付

セラレタル異議若ハ北海道參事會ニ於テ受理シタル訴願ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ北海道參事會ノ決定ニ付セラレザルモノ又ハ北海道參事會ノ決定若ハ裁決ナキモノニ付テハ府縣制第九十六條第二項、第十五條第三項又ハ第二百二十八條ノ二ノ規定ノ準用ニ依ル期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス

附則

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 第二節 北海道町村制

#### ○北海道一級町村制

昭和二年八月二十七日  
勅令第二百六十九號 (總理、內務大臣副署)

第一條 町村制及市制町村制施行令ハ北海道一級町村ニ之ヲ準用ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 町村ハ第一次ニ於テ北海道廳支廳長、第二次ニ於テ北海道廳長官、第三次ニ於テ內務大臣之ヲ監督ス(町村制第三百三十七條ニ對スル特例)

第三條 本令中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外町村ノ監督ニ關スル北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決又ハ北海道廳長官ノ處分ニ不服アル町村ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得(町村制第三百三十八條ニ對スル特例)

第四條 選舉人町村會議員ノ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ、當選ニ關シテハ町村制第二十九條第一項又ハ第三十一條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ七日以内ニ町村會ノ決定ニ付スベシ町

村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願スルコトヲ得

北海道廳支廳長ハ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ北海道廳長官ノ指揮ヲ受ケ選舉ニ關シテハ町村制第二十九條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ、當選ニ關シテハ同法第二十九條第一項又ハ第三十一條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ處分スルコトヲ得

前項ノ處分アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及町村會ノ決定ハ無効トス

第三項ノ處分ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第二項若ハ第六項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定ニ付テハ町村長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二項、第五項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

北海道廳支廳長第三項ノ處分ヲ爲シタルトキハ直ニ之ヲ告示スベシ(町村制第三十三條第一項乃至第七項ニ對スル特例)

第五條 町村會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル處分、決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ(町村制第三十三條第九項ニ對スル特例)

第六條 町村會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ町村長ハ議決ニ付テハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ北海道參事會ノ裁決ヲ請フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル町村會ノ議決仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ

會議規則ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ北海道參事會ノ裁決ヲ請フベシ

監督官廳ハ前二項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ北海道參事會ニ訴願スルコトヲ得其ノ裁決、第一項若ハ第二項ノ裁決又ハ前項ノ規定ニ依ル北海道廳長官ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項、第二項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得(町村制第七十四條ニ對スル特例)

第六條ノ二 町村會ノ議決明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル町村會ノ議決仍明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請フベシ

町村會ノ議決收支ニ關シ執行スルコト能ハザルモノアリト認ムルトキハ前二項ノ例ニ依リ左ニ掲グル費用ヲ削除シ又ハ減額シタル場合ニ於テ其ノ費用及之ニ伴フ收入ニ付亦同ジ

一 法令ニ依リ負擔スル費用、當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用其ノ他ノ町村ノ義務ニ屬スル費用  
二 非常ノ災害ニ因ル應急又ハ復舊ノ施設ノ爲ニ要スル費用、傳染病豫防ノ爲ニ要スル費用其ノ他ノ緊急避クベカラザル費用  
前三項ノ規定ニ依ル北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スル

ルトキハ北海道廳長官ハ關係北海道廳支廳長ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スベキ北海道廳支廳長ヲ指定スベシ

第十三條 市制町村制施行令第四十條第一項ノ場合ニ於テ協議調ハザルトキハ其ノ北海道廳支廳管内ニ止ルモノハ北海道廳支廳長之ヲ定メ其ノ數支廳管内ニ涉ルモノハ北海道廳長官之ヲ定ムベシ

第十四條 町村制第十八條ノ五、第二十四條ノ四、第二十九條第一項、第三十一條、第六十六條、第六十七條、第七十五條、第一百十七條、第一百二十二條、第二百二十五條、第四百三十三條及第四百七十七條(第一號中町村條例ヲ設ケ又ハ改正スルコトニ關スル規定並ニ第四號、第六號及第十一號ノ規定ヲ除ク)並ニ市制町村制施行令第七條、第八條及第十條ノ規定ニ依ル北海道廳長官ノ職權限ハ北海道廳支廳長之ヲ行フ

第十五條 二級町村ノ區域ノ境界ニ涉リ一級町村ノ設置又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ新ニ一級町村ノ區域ニ屬シタル地域ニ關シ必要ナル選舉人名簿ハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル町村ノ町村長之ヲ調製スベシ

前項ノ選舉人名簿ニ關シ町村制第十八條乃至第十八條ノ五ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ其ノ期日又ハ期間ハ北海道廳支廳長ノ定ムル所ニ依ル但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス  
前項ノ規定ニ依リ期日又ハ期間ヲ定メタルトキハ北海道廳支廳長ハ直ニ之ヲ告示スベシ

一級町村ノ區域ノ境界ニ涉リ二級町村ノ設置又ハ境界變更アリタル場合ニ於テハ町村長ハ其ノ町村ニ於ケル選舉人名簿中新ニ二級町村ノ區域ニ屬シタル地域ニ係ル部分ヲ抹消スベシ

第十六條 初メテ一級町村ト爲ス地ハ内務大臣之ヲ指定ス

コトヲ得(町村制第七十四條ノ二ニ對スル特例)

第七條 町村制第六條第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ北海道廳支廳長ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得(町村制第六條第五項ニ對スル特例)

第八條 町村制第二十四條ノ場合ニ於テ町村ノ一部北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アルトキハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得(町村制第二十七條ニ對スル特例)

第九條 町村制第四十三條第一項及第二項ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長ノ爲シタル處分ニ不服アル町村長又ハ町村長其ノ他ノ吏員ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得(町村制第四十三條第三項ニ對スル特例)

第十條 北海道廳長官又ハ北海道廳支廳長ハ町村長、助役、收入役、副收入役、區長、區長代理者、委員其ノ他ノ町村吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ町村長、助役、收入役及副收入役ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官之ヲ行フ

解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ北海道廳支廳長ノ處分ニ付テハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキ又ハ北海道廳長官ノ處分ニ付テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得(町村制第五十條第一項及第四項ニ對スル特例)

第十一條 一級町村ト二級町村トノ組合ニ關シテハ一級町村ノ町村組合ニ關スル規定ニ依ル

第十二條 北海道廳支廳長ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數支廳ニ涉ルモノアリ

附則

本令中公民權及議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス  
大正十二年勅令第十三號ハ之ヲ廢止ス  
本令施行ノ際現ニ一級町村ノ町村會議員ノ職ニ在ル者ハ其ノ一部ノ議員ノ任期満了ノ日ニ於テ總テ其ノ職ヲ失フ

本令ニ依リ初メテ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル選舉人名簿ニ關シテハ第十五條第二項ノ例ニ依ル  
從前ノ規定ニ依リ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得タル國有ノ土地ニ對シテハ昭和二年度分及昭和三年度分ニ限り町村制第一條第四項ノ規定ニ拘ラズ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得

本令施行ノ際必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

附則 (昭和三年勅令第二六二號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
昭和二年勅令第二百六十九號北海道一級町村制中公民權及議員選舉ニ關スル規定ノ施行セラレタル町村ノ區域ガ同規定ノ未ダ施行セラレザル町村ノ區域ニ屬シタル場合ニ於テ其ノ地域ニ係ル選舉人名簿ニ關シテハ第十五條第四項ノ例ニ依ル

附則 (昭和四年勅令第一九〇號)  
本令ハ昭和四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
昭和四年勅令第八十七號昭和四年市制町村制改正經過規程ハ本令ノ施行ニ付之ヲ準用ス但シ第六條第二項中府縣知事トアルハ北海道廳支廳長トス

○北海道二級町村制

昭和二年八月二十七日(總理、内務) 勅令第二百七十號 (大臣副署) (昭和十年勅令第七十九號ヲ以テ改正セラレタル北海道二級町村制ハ四百三十八頁ニ收録)

改正 昭和三年第二六三號、四年第一九一號、六年第二二三號、八年第二八七號

第一章 總則

- 第一款 町村及其ノ區域
- 第二款 町村住民及其ノ權利義務
- 第三款 町村條例及町村規則
- 第二章 町村會
- 第一款 組織及選舉
- 第二款 職務權限
- 第三章 町村吏員
- 第一款 組織及選任
- 第二款 職務權限
- 第四章 給料及給與
- 第五章 町村ノ財務
- 第一款 財產營造物及町村稅
- 第二款 歲入出豫算及決算
- 第六章 町村ノ一部ノ事務
- 第七章 町村組合
- 第八章 町村ノ監督
- 第九章 雜則
- 附則

北海道二級町村制

第一章 總則

- 第一款 町村及其ノ區域
- 第二款 町村ハ從來ノ區域ニ依ル
- 第三款 町村ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務並ニ從來法令又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ町村ニ屬スル事務ヲ處理ス
- 第四款 町村ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ爲サントスルトキハ北海道廳長官ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官之ヲ定ム
- 第五款 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ北海道參事會之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 第六款 町村ノ境界判明ナラザル場合ニ於テ前項ノ爭論ナキトキハ北海道廳長官ハ北海道參事會ノ決定ニ付スベシ其ノ決定ニ不服アル町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 第七款 第一項ノ裁定及前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ關係町村ニ交付スベシ
- 第八款 第一項ノ裁定及第二項ノ決定ニ付テハ北海道廳長官ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
- 第九款 町村ノ名稱ヲ變更セントスルトキ、村ヲ町ト爲シ若ハ町ヲ村ト爲

サントスルトキ又ハ町村役場ノ位置ヲ定メ若ハ之ヲ變更セントスルトキ

ハ町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第六條 町村内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ町村住民トス

町村住民ハ本令ニ從ヒ町村ノ財產及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ町村ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第七條 帝國臣民タル年齢二十五年以上ノ男子ニシテ一年以來町村住民タル者ハ其ノ町村公民トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 禁治産者及準禁治産者
  - 二 破産者ニシテ復權ヲ得ザル者
  - 三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者
  - 四 一定ノ住居ヲ有セザル者
  - 五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
  - 六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲グル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス
  - 七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲グル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者
- 町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ前項一年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得
- 第一項一年ノ期間ハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セラルルコト

トナシ

第八條 町村公民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選舉セラルル權利ヲ有シ町村ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ

左ノ各號ノ一ニ該當セザル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セザルトキハ町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ一年以上四年以下其ノ町村公民權ヲ停止スルコトヲ得

- 一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘザル者
  - 二 業務ノ爲常ニ町村内ニ居ルコトヲ得ザル者
  - 三 年齢六十一年以上ノ者
  - 四 官公職ノ爲町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得ザル者
  - 五 四年以上名譽職町村吏員、町村會議員又ハ區會議員ノ職ニ任ジ爾後同一ノ期間ヲ經過セザル者
  - 六 其ノ他町村會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者
- 前項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス
- 第三項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
- 第九條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未ダ入營セザル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ町村ノ公務ニ參與スルコトヲ得兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(陸軍各部委託學生生徒、海軍軍醫學生藥劑學生主計學生造船學生造機學生造兵學生並ニ海軍豫備生徒及海軍豫備練習生ヲ除ク)及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同

第三款 町村條例及町村規則

第十條 町村ハ町村住民ノ權利義務又ハ町村ノ事務ニ關シ町村條例ヲ設クルコトヲ得  
町村ハ町村ノ營造物ニ關シ町村條例ヲ以テ規定スルモノノ外町村規則ヲ設クルコトヲ得  
町村條例及町村規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スベシ

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第十一條 町村會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

議員ノ定數左ノ如シ

- 一 人口二千未満ノ町村 八人
- 二 人口二千以上五千未満ノ町村 十二人
- 三 人口五千以上一萬未満ノ町村 十八人
- 四 人口一萬以上ノ町村 二十四人

議員ノ定數ハ町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非ザレバ之ヲ増減セズ但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ北海道廳長官ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十二條 町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第九條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 特別ノ事情アルトキハ町村ハ町村會ノ議決ヲ經區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

第十四條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ被選舉權ヲ有ス  
在職ノ檢察、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セズ

第十七條 町村長ハ選舉期日前六十日目前在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製ス

選舉人名簿ニハ選舉人ノ姓名、住所及生年月日等ヲ記載スベシ

第十八條 町村長ハ選舉期日前四十日ヨリ十五日間町村役場又ハ其ノ指定シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スベシ  
町村長ハ縱覽開始ノ日前三日ヨリ迄ニ縱覽ノ場所ヲ告示スベシ

第十九條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ縱覽期間滿了後十日以内ニ之ヲ決定シ其ノ修正ヲ要スルトキハ直ニ之ヲ修正シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十條 選舉人名簿ハ選舉期日前三日目ヲ以テ確定ス  
選舉人名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用フ但シ第三條ノ處分アリタル場合ニ於テ北海道廳長官ノ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前條第二項又ハ第三項ノ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ名簿確定前ナルトキハ直ニ之ヲ修正シ其ノ名簿確定後ナルトキハ選舉ヲ終リタル後次ノ選舉期日前四日ヨリ迄ニ之ヲ修正シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

投票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要アルトキハ町村長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スベシ

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

選舉事務ニ關係アル官吏及町村ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セズ  
町村ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ町村ノ町村會議員ト相兼スルコトヲ得ズ

第十五條 町村會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム但シ議員アルトキハ其ノ議員ヲ以テ之ニ充ツベシ

前項但書ノ場合ニ於テ議員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿テザルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付町村長抽籤シテ解任スベキ者ヲ定メ議員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツベキ議員ハ最モ先ニ議員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ議員ト爲リタル時同ジキトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十六條 町村會議員中議員ヲ生ジタル場合ニ於テ第三十六條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第四十條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル者ナク若ハ前項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍其ノ議員ガ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ町村長若ハ町村會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補選選舉ヲ行フベシ

第四十條第五項及第六項ノ規定ハ補選選舉ニ之ヲ準用ス

補選議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第二十一條 第十九條ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ選舉人名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ

天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ

前二項ノ規定ニ依リ名簿ノ調製、確定及異議申立ニ對スル決定ニ關スル期日及期間ハ北海道廳長官ノ定ムル所ニ依リ

選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用ヒ縱覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス

二十二條 町村長ハ選舉ノ期日前七日ヨリ迄ニ選舉會場(投票分會場ヲ含ム以下之ニ同ジ)、投票ノ日時及選舉スベキ議員數ヲ告示スベシ投票分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ區劃ヲ告示スベシ

投票分會ノ投票ハ選舉會ト同日時ニ之ヲ行フ

天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハザルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ町村長ハ其ノ投票ヲ行フベキ選舉會又ハ投票分會ノミニ付更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムベシ此ノ場合ニ於テ選舉會場及投票ノ日時ハ選舉ノ期日前五日ヨリ迄ニ之ヲ告示スベシ

二十三條 町村長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ  
町村長ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スベシ

投票分會ハ町村長ノ指定シタル吏員投票分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ

町村長ハ分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スベシ

選舉立會人及投票立會人ハ名譽職トス

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第二十四條 選舉人ニ非ザル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ズ但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラズ

選舉會場ニ於テ演説討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ選舉長又ハ投票分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムベシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ投票分會長會場ノ秩序ヲ紊ルノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ゲズ

第二十五條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ  
投票ハ一人一票ニ限ル

第二十六條 確定名簿ニ登録セラレザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ但シ選舉人名簿ニ登録セラレベキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラズ

確定名簿ニ登録セラレタル者選舉人名簿ニ登録セラレタルコトヲ得ザル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ選舉ノ當日選舉權ヲ有セザル者ナルトキ亦同ジ

第二十七條 選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ら選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スベシ  
投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過グルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ら被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ

投票ニ關スル記載ニ付テハ點字ハ之ヲ文字ト看做ス市制町村制施行令第十一條ノ規定及別表ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス  
自ら被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ投票用紙ハ町村長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フベシ

投票分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票分會長少クトモ一人ノ投票立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ選舉長ニ送致スベシ

第二十八條 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長又ハ投票分會長之ヲ決スベシ  
投票分會ニ於テ投票拒否ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票分會長ハ假ニ投票ヲ爲サシムベシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ら其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムベシ  
投票分會長又ハ投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同ジ

第二十九條 第四十條若ハ第四十四條ノ選舉、増員選舉又ハ補選選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第三十條 町村長ハ豫メ開票ノ日時ヲ告示スベシ

第三十一條 選舉長ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日(投票分會ヲ設ケタルトキハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日)選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スベシ

前項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ先ツ第二十八條第二項及第四項ノ投票ヲ調査スベシ其ノ投票ノ受理如何ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スベシ  
選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スベシ

(台四)

天災事變等ノ爲開票ヲ行フコト能ハザルトキハ町村長ハ更ニ開票ノ期日ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テ選舉會場ノ變更ヲ要スルトキハ豫メ更ニ其ノ場所ヲ告示スベシ

第三十二條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條 特別ノ事情アルトキハ町村ハ北海道廳支廳長ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ開票分會ヲ設ケタルコトヲ得

市制町村制施行令第十二條乃至第二十條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ開票分會ヲ設ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス  
一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ  
二 現ニ町村會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ  
五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ  
七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セザルモノ

第三十五條 投票ノ效力ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スベシ

第三十六條 町村會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ六分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ年長者ヲ

取り年輪モ亦同ジキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムベシ

第三十七條 當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ

第三十八條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スベシ  
投票分會長ハ投票錄ヲ作り投票ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

投票分會長ハ投票函ト同時ニ投票錄ヲ選舉長ニ送致スベシ  
選舉錄及投票錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間町村長ニ於テ之ヲ保存スベシ

第三十九條 當選者定リタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告スベシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告スベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツベシ  
官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ之ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應ズベキ旨ヲ町村長ニ申立テザルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

町村ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ町村ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シ

(台四)



タル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非ザレバ當選ニ應ズルコトヲ得ズ第二項ノ期限前ニ其ノ旨ヲ町村長ニ申立テザルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第四十條

當選者左ニ掲グル事由ノ一ニ該當スルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ但シ第二項ノ規定ニ依リ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 當選ヲ辭シタルトキ

二 第三十七條ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

三 死亡者ナルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由ニ依リ選舉又ハ補選ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ事由前條第二項若ハ第四項ノ規定ニ依ル期限前ニ生ジタル場合ニ於テ第三十六條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ生ジタル場合ニ於テ第三十六條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ

前項ノ場合ニ於テ第三十六條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ズ

第二項ノ場合ニ於テハ町村長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スベシ

第一項ノ期間ハ第四十三條第八項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選舉ヲ

決定ハ無効トス

第三項ノ處分ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第二項若ハ第六項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三項ノ處分ニ付テハ町村長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二項、第五項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十六條、第四十條、第四十四條第一項若ハ第三項ノ選舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定セザル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ズ

町村會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル處分、決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第四十四條

選舉無効ト確定シタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ

當選無効ト確定シタルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ更ニ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第四十條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ若ハ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ

第四十五條

町村會議員被選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ第三十九條第五項ニ掲グル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第三十九條第五項ニ掲グル者ニ該當スルヤ否ハ町村會議員ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セザル場合ヲ除クノ外町村會之ヲ決定ス

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

行フコトヲ得ザル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第四十一條

第三十九條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第四項ノ申立アリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告スベシ

當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ併セテ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告スベシ

第四十二條

選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ズルノ虞アル場合ニ限リ其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス但シ當選ニ異動ヲ生ズルノ虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限リ當選ヲ失フコトナシ

第四十三條

選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ、當選ニ關シテハ第三十九條第一項又ハ第四十一條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ申立ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願スルコトヲ得

北海道廳支廳長ハ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ第三十九條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ、當選ニ關シテハ第三十九條第一項又ハ第四十一條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ處分スルコトヲ得

二 破産者ト爲リタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

町村長ハ町村會議員中被選舉權ヲ有セザル者又ハ第三十九條第五項ニ掲グル者アリト認ムルトキハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スベシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スベシ

第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定ニ付テハ町村長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四十三條第九項ノ規定ハ第一項及前三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スベシ

第四十六條

第十九條、第二十條及第四十三條ノ場合ニ於テ北海道廳長官ノ指定又ハ北海道參事會ノ裁決ハ北海道廳長官、北海道廳支廳長ノ處分ハ北海道廳支廳長、町村長ノ決定ハ町村長直ニ之ヲ告示スベシ

第四十七條

町村會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉法第九十一條、第九十二條、第九十八條、第九十九條第二項、第一百條及第四百二十二條ノ規定ヲ準用ス

第二款 職務權限

第四十八條

町村會ノ議決スベキ事件左ノ如シ

一 町村條例及町村規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

- 二 町村費ヲ以テ支辨スベキ事業ニ關スルコト但シ第八十一條ノ事務及法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ
- 三 歳入出豫算ヲ定ムルコト
- 四 決算報告ヲ認定スルコト
- 五 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、町村税又ハ夫役現品ノ賦課徴收ニ關スルコト
- 六 不動産ノ管理、處分及取得ニ關スルコト
- 七 基本財産及積立金數等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト
- 八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲スコト
- 九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムルコト但シ法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ
- 十 町村吏員ノ身元保證ニ關スルコト
- 十一 町村ニ係ル訴訟、訴訟及和解ニ關スルコト
- 十二 其ノ他法令ニ依リ町村會ノ權限ニ屬スル事件
- 第四十九條 町村會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フベシ
- 第五十條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得
- 町村會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ町村長又ハ其ノ指名シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項町村會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得
- 第五十一條 町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ關係行政廳ニ提出スルコトヲ得
- 第五十二條 町村會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スベシ
- 町村會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スベキ場合ニ於テ町村會成立セズ、招集

- ニ應ゼズ若ハ意見ヲ提出セズ又ハ町村會ヲ招集スルコト能ハザルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タズシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得
- 第五十三條 町村會ハ町村長ヲ以テ議長トス町村長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス町村長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スベシ
- 前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同ジキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
- 第五十四條 町村長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ
- 前項ノ列席者發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スベシ但シ之ガ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得
- 第五十五條 町村會ハ町村長之ヲ招集ス議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ニ付スベキ事件ヲ示シテ町村會招集ノ請求アルトキハ町村長ハ之ヲ招集スベシ
- 町村長ハ會期ヲ定メテ町村會ヲ招集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ町村長ハ更ニ期限ヲ定メ町村會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得
- 招集及會議ノ事件ハ開會ノ日前三日目迄ニ之ヲ告知スベシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 町村會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得會議ニ付スル日前三日目迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同ジ
- 町村會ハ町村長之ヲ閉閉ス
- 第五十六條 町村會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ閉ク

(台四)

(台四)

- コトヲ得ズ但シ第五十九條ノ除斥ノ爲半數ニ滿チザルトキ、同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿チザルトキ又ハ招集ニ應ズルモ出席議員定數ヲ關キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿チザルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 第五十七條 町村會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
- 議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之ガ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハズ
- 第五十八條 町村長ハ町村會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ輕易ナルモノニ付テハ町村會ヲ招集セズ期限ヲ指定シ書面決議ノ方法ニ依ルコトヲ得但シ現任議員ノ數議員定數ノ半數以上アル場合ニ非ザレバ此ノ方法ニ依ルコトヲ得ズ
- 前項ノ場合ニ於テハ前條第一項ノ規定ニ拘ラズ議員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ否決セラレタルモノト看做ス
- 第五十九條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ町村會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得
- 第六十條 法律勅令ニ依リ町村會ニ於テ行フ選舉ニ付テハ第二十五條、第二十七條、第三十四條及第三十六條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ町村會之ヲ決定ス
- 町村會ハ議員中異議ナキトキハ前項ノ選舉ニ付指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得
- 指名推選ノ法ヲ用フル場合ニ於テハ被指名者ヲ以テ當選者ト定ムベキヤ否ヲ會議ニ付シ議員全員ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

- 一ノ選舉ヲ以テ二人以上ヲ選舉スル場合ニ於テハ被指名者ヲ區分シテ前項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得
- 第六十一條 町村會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ
  - 一 議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁止シタルトキ
  - 二 議員二人以上ノ發言ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ
- 前項議員ノ發言ハ討論ヲ用ヒズ其ノ可否ヲ決スベシ
- 第六十二條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ閉閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス
- 議員定數ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ閉クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カザルトキハ第五十三條ノ例ニ依ル
- 前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非ザレバ其ノ日ノ會議ヲ閉ヂ又ハ中止スルコトヲ得
- 第六十三條 議員ハ選舉人ノ指示又ハ囑託ヲ受クベカラズ
- 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヒ又ハ他人ノ一身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ズ
- 第六十四條 會議中本令又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハザルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉  
ブルコトヲ得

第六十五條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲  
ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル  
場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ  
於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第六十六條 町村會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第六十七條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏  
名ヲ記載セシムベシ

會議録ハ議長及議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ町村會  
ニ於テ之ヲ定ムベシ

第六十八條 町村會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クベシ  
會議規則ニハ本令又ハ會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ  
依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 町村吏員

第一款 組織及選任

第六十九條 町村ニ町村長ヲ置ク

町村長ハ有給吏員トス

町村長ハ北海道廳長官之ヲ任免ス

町村長ハ第七條第一項ノ規定ニ拘ラズ在職ノ間其ノ町村ノ公民トス

第七十條 町村ニ收入役一人ヲ置ク

收入役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

收入役ハ町村會ノ推薦ニ依リ北海道廳支廳長之ヲ任命ス  
前條第四項ノ規定ハ收入役ニ之ヲ準用ス

特別ノ事情アル町村ニ於テハ北海道廳支廳長ハ町村長又ハ書記ヲシテ收  
入役ノ事務ヲ兼掌セシムルコトヲ得

前項ノ場合ヲ除クノ外町村長及書記ハ收入役ト相兼スルコトヲ得ズ

第七十一條 町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ庶務便宜ノ爲區ヲ劃シ區長及其ノ  
代理者一人ヲ置クコトヲ得

區長及其ノ代理者ハ名譽職トス町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ町村長  
ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム

區長及其ノ代理者ノ在職中ニ於テ爲ス後任者ノ決定ハ現任者ノ退職スベ  
キ日前二十日以内ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第二項ノ規定ニ依リ區長及其ノ代理者ノ決定アリタルトキハ町村長ハ決  
定セラレタル者ニ直ニ其ノ旨ヲ告知スベシ

區長及其ノ代理者ニ決定セラレタル者決定ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ  
告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ其ノ決定ニ應ズルヤ否ヲ町村長ニ申  
立ツベシ其ノ期間内ニ決定ニ應ズル旨ノ申立ヲ爲サザルトキハ決定ヲ辭  
シタルモノト看做ス

第三十九條第三項ノ規定ハ區長及其ノ代理者ニ決定セラレタル者ニ之ヲ  
準用ス

七十二條 町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ  
得

委員ハ名譽職トス町村會議員又ハ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ町村  
長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム但シ委員長ハ町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケ  
タル書記ヲ以テ之ニ充ツ

前條第三項乃至第六項ノ規定ハ委員ニ之ヲ準用ス

委員ノ組織ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第七十三條 町村公民ニ限リテ擔任スベキ職務ニ在ル吏員又ハ職ニ就キタ  
ルガ爲町村公民タル者選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ其ノ職ヲ失  
フ

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルベキ罪ノ爲豫審又ハ公判  
ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得此  
ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間給料又ハ報酬ヲ支給スルコトヲ得ズ

第七十四條 町村ニ書記ヲ置キ北海道廳支廳長之ヲ任免ス

書記ハ有給吏員トシ其ノ定數ハ北海道廳長官之ヲ定ム

第七十五條 前數條ニ定ムル者ノ外町村ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ町村長之  
ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二款 職務權限

第七十六條 町村長ハ町村ヲ統轄シ町村ヲ代表ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 町村會ノ議決ヲ經ベキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スルコト
- 二 財産及營造物ヲ管理スルコト但シ特ニ之ガ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スルコト
- 三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スルコト
- 四 證書及公文書類ヲ保管スルコト
- 五 法令又ハ町村會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、町村税又ハ夫役現品ヲ賦課徵收スルコト

前項ノ規定ニ依リ爲シタル町村會ノ議決仍明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請フベシ

第七十八條ノ二 町村會ノ議決明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル町村會ノ議決仍明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請フベシ

町村會ノ議決收支ニ關シ執行スルコト能ハザルモノアリト認ムルトキハ前二項ノ例ニ依ル左ニ掲グル費用ヲ削除シ又ハ減額シタル場合ニ於テ其ノ費用及之ニ伴フ收入ニ付亦同ジ

一 法令ニ依リ負擔スル費用、當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用其ノ他ノ町村ノ義務ニ屬スル費用  
二 非常ノ災害ニ因ル應急又ハ復舊ノ施設ノ爲ニ要スル費用、傳染病豫防ノ爲ニ要スル費用其ノ他ノ緊急避クベカラザル費用

前三項ノ規定ニ依ル北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十九條 町村會成立セザルトキ又ハ第五十六條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハザルトキハ町村長ハ北海道廳支廳長ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ町村會ノ議決スベキ事件ヲ處置スルコトヲ得

町村會ニ於テ其ノ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキハ前項ノ例ニ依ル町村會ノ決定スベキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル町村長ノ處置ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準ジ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スベシ

第八十條 町村會ニ於テ議決又ハ決定スベキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ町村會成立セザルトキ又ハ町村長ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スベシ

前項ノ規定ニ依リ町村長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準ジ

區長、區長代理者及委員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

費用辨償額、報酬額及其ノ支給方法ハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ

第八十八條 町村長及書記ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ北海道廳長官ノ決定メ其ノ他ノ有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ

第八十九條 有給吏員ニハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第九十條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ北海道地方費支辨ノ給料又ハ旅費ニ在リテハ北海道廳長官ニ、其ノ他ノ給與ニ在リテハ町村長ニ之ヲ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ北海道廳長官又ハ町村長ハ三月以内ニ之ヲ決定スベシ  
關係者前項町村長ノ決定ニ不服アルトキハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ前項北海道廳長官ノ決定ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十一條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與ハ町村ノ負擔トス但シ町村長及書記ノ給料及旅費ハ北海道地方費ヨリ之ヲ支給ス

第五章 町村ノ財務

第一款 財產營造物及町村稅

第九十二條 收益ノ爲ニスル町村ノ財產ハ基本財産トシ之ヲ維持スベシ

訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十條ノ二 町村會ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ町村長ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第八十一條 町村長其ノ他町村吏員ハ從來法令又ハ將來法律勅令ノ定ムル所ニ依リ國北海道地方費其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

前項ノ事務ヲ執行スル爲ニ要スル費用ハ町村ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第八十二條 町村長ハ其ノ事務ノ一部ヲ區長ニ分掌セシムルコトヲ得但シ町村ノ事務ニ付テハ豫メ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得町村長故障アルトキハ上席ノ書記之ヲ代理ス

第八十三條 收入役ハ町村ノ出納其ノ他ノ會計事務及第八十一條ノ事務ニ關スル國北海道地方費其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

北海道廳支廳長ハ收入役故障アルトキ之ヲ代理スベキ吏員ヲ定ムベシ

第八十四條 區長ハ町村長ノ命ヲ承ケ町村長ノ事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ補助ス

區長代理者ハ區長ノ事務ヲ補助シ區長故障アルトキハ之ヲ代理ス

第八十五條 委員ハ町村長ノ指揮監督ヲ承ケ財產又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル町村ノ事務ヲ調査シ又ハ之ヲ處辨ス

第八十六條 書記及第七十五條ノ吏員ハ町村長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第四章 給料及給與  
第八十七條 町村會議員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲ニ要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

町村ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得

第九十三條 町村ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

町村ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十四條 財產ノ賣却貸與、工事ノ請負及物件努力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スベシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ、入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハザルトキ又ハ町村會ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九十五條 町村ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第九十六條 町村ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ町村ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

町村ハ其ノ財產ヨリ生ズル收入、使用料、手数料、過料、過怠金其ノ他法令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第九十七條 町村稅トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

- 一 直接國稅及北海道地方稅ノ附加稅
- 二 特別稅

直接國稅又ハ北海道地方稅ノ附加稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ之ヲ徵收スベシ但シ第五百十條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
國稅ノ附加稅タル北海道地方稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ賦課徵收スルモノトス

第九十八條 三月以上町村内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ週リ町村稅ヲ

納ムル義務ヲ負フ

第九十九條 町村内ニ住所ヲ有セズ又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖モ町村内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、町村内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ町村内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第九十九條ノ二 合併後存続スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラルベキ町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

相續人又ハ相續財團ハ被相續人ニ對シ其ノ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ但シ戸主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續ノ開始アリタルトキハ被相續人モ亦之ヲ納ムル義務ヲ負フ

國籍喪失ニ因リ相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財產ヲ限度トシテ前項ノ義務ヲ負フ

第百條 納稅者ノ町村外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

町村ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メザルモノニ對シ附加稅ヲ賦課スル場合、住所滞在ガ町村ノ内外ニ渉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シ町村稅ヲ賦課スル場合、鐵區又ハ砂鐵區ガ町村ノ内外ニ渉ルトキ鐵區稅又ハ砂鐵區稅ノ附加稅ヲ賦課セントスル場合及鐵區又ハ砂鐵區ガ營業所所在ノ町村ノ内外ニ渉ルトキ鐵區稅ノ附加稅ヲ賦課セントスル場合ニ付テハ市制町村制施行令第四

ニ於テ町村稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生ズル收入アルトキハ先ヅ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツベシ前項ノ場合ニ於テ其ノ一部ノ收入アルトキ亦同

數人又ハ町村ノ一部ヲ利スル財產ニ付テハ前三項ノ例ニ依ル

第百四條 市制町村制施行令第四十三條乃至第四十六條及第四十七條乃至第五十八條ノ規定ハ町村稅ノ賦課徵收ニ之ヲ準用ス

第百五條 數人又ハ町村ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ町村ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得

第百六條 夫役又ハ現品ハ直接町村稅ヲ準率ト爲シ直接町村稅ヲ賦課セザル町村ニ於テハ直接國稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スベシ但シ第百五十條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ズ

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第一項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ之ヲ適用セズ

第百七條 非常災害ノ爲必要アルトキハ町村ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スベシ

前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ町村長、警察官吏又ハ監督官廳ハ町村内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依リ補償スベキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハザルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ北海道廳長官之ヲ決定ス決定ヲ受ケタル

十條乃至第四十二條及北海道一級町村制第十三條ノ規定ヲ準用ス

第百一條 所得稅法第十八條ニ掲グル所得ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並ニ教會所設教所ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所設教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

國北海道地方費市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル家屋物件及營造物ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及使用者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

地租法第六十五條及第六十六條ノ規定ニ依リ地租ヲ免除セラレタル土地ニ對シテハ其ノ年度分ノ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

免租年期地ニ對シ町村稅ヲ賦課スベキ場合ニ於テ町村ノ全部又ハ一部ニ互ル災害又ハ天候不順ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ニ付納稅義務者ノ申請アリタルトキハ前項ノ例ニ依ル

前六項ノ外町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ザルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ル

第百二條 町村ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスル場合ニ於テハ内務大臣及大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ町村稅ヲ課セザルコトヲ得

第百三條 數人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

町村ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ部内

者其ノ決定ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スベシ

第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第百八條 町村稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該吏員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帯スベシ

第百九條 町村長ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ超ユル場合ハ町村會ノ議決ヲ經ベシ

町村ハ特別ノ事情アル者ニ限り町村會ノ議決ヲ經テ町村稅ヲ減免スルコトヲ得

第百十條 使用料、手数料及特別稅ニ關スル事項ニ付テハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ

詐僞其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料ノ徵收ヲ免レ又ハ町村稅ヲ逋脱シタル者ニ付テハ町村條例ヲ以テ其ノ徵收ヲ免レ又ハ逋脱シタル金額ノ三倍ニ相當スル金額(其ノ金額五圓未満ナルトキハ五圓)以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設ケルコトヲ得

前項ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料及町村稅ノ賦課徵收ニ關シテハ町村條例ヲ以テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設ケルコトヲ得財產

又ハ營造物ノ使用ニ關シ亦同ジ

過料ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ北海道參事會ニ訴願

シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

**第百一十一條** 町村税ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得  
財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

前二項ノ異議ノ申立アリタルトキハ町村長ハ三月以内ニ之ヲ決定スベシ

決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項及前項ノ規定ハ使用料及手数料ノ徵收並ニ夫役現品ノ賦課ニ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ依ル裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

**第百一十二條** 町村税、使用料、手数料、過料、過怠金其ノ他ノ町村ノ収入ヲ定期内ニ納メザル者アルトキハ町村長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サズ又ハ夫役現品ニ代フル金銭ヲ納メザルトキハ町村長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命ズベシ

前二項ノ場合ニ於テハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

コトヲ得

**第百一十六條** 町村費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スベキモノハ町村會ノ議決ヲ經テ其ノ年間に各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

**第百一十七條** 町村ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クベシ

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケザルコトヲ得

豫備費ハ町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ズ

**第百一十八條** 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

**第百一十九條** 町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

**第百二十條** 町村會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其ノ際本ヲ收入役ニ交付スベシ

收入役ハ町村長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非ザレバ支拂ヲ爲スコトヲ得

ズ命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出、費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得ザルトキ亦同ジ

前二項ノ規定ハ收入役ノ事務ヲ兼掌シタル町村長又ハ書記ニ之ヲ準用ス

**第百二十一條** 町村ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

**第百二十二條** 町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ検査シ且毎會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スベシ

検査ハ町村長之ヲ爲シ臨時検査ニハ町村會ニ於テ選舉シタル議員二人以上ノ立會ヲ要ス

**第百二十三條** 町村ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

滞納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セザルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スベシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ハ北海道地方費ノ徵收金ニ次デ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時効ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

前三項ノ處分ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

**第百一十三條** 町村ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、町村ノ永久ノ利益ト爲ルベキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り町村會ノ議決ヲ經テ町村債ヲ起スコトヲ得

町村債ヲ起スニ付町村會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ベシ

町村ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲町村會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ収入ヲ以テ償還スベシ

第二款 歳入出豫算及決算

**第百一十四條** 町村長ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ一月前ニ町村會ノ議決ヲ經ベシ

町村會ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ事務報告書及財産表ヲ提出スベシ

**第百一十五條** 町村長ハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出スベシ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ町村會ノ認定ニ付スベシ

第七十條第五項ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル但シ町村長ニ於テ兼掌シタルトキハ直ニ町村會ノ認定ニ付スベシ

決算ハ認定ヲ經タル後直ニ其ノ認定ニ關スル町村會ノ議決ト共ニ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ町村長及書記共ニ議長ノ職務ヲ行フコトヲ得ズ

**第百一十四條** 豫算調製ノ式、費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第六章 町村ノ一部ノ事務

**第百一十五條** 町村ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付テハ本令中町村ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ財産又ハ營造物ニ關シ特ニ要スル費用ハ其ノ財産又ハ營造物ノ屬スル町村ノ一部ノ負擔トス

前二項ノ場合ニ於テハ町村ノ一部ハ其ノ會計ヲ分別スベシ

**第百一十六條** 前條ノ財産又ハ營造物ニ關シ必要アリト認ムルトキハ北海道廳支廳長ハ町村會ノ意見ヲ徵シテ町村條例ヲ設定シ區會又ハ區總會ヲ設ケテ町村會ノ議決スベキ事項ヲ議決セシムルコトヲ得

**第百一十七條** 區會議員ハ町村ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條ノ町村條例中ニ之ヲ規定スベシ區總會ノ組織

滯納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セザルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スベシ  
第一項乃至第三項ノ徵收金ハ北海道地方費ノ徵收金ニ次デ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時効ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル  
前三項ノ處分ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス  
第百一十三條 町村ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、町村ノ永久ノ利益ト爲ルベキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り町村會ノ議決ヲ經テ町村債ヲ起スコトヲ得  
町村債ヲ起スニ付町村會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ベシ  
町村ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲町村會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ収入ヲ以テ償還スベシ  
第二款 歳入出豫算及決算  
第百一十四條 町村長ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ一月前ニ町村會ノ議決ヲ經ベシ  
町村會ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル  
豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ事務報告書及財産表ヲ提出スベシ  
第百一十五條 町村長ハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

ニ關スル事項ニ付亦同ジ  
區會議員ノ選舉ニ付テハ町村會議員ニ關スル規定ヲ準用ス但シ被選舉權  
ノ有無ノ決定ハ町村會ニ於テ之ヲ爲スベシ

區會又ハ區總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス  
第百二十八條 第百二十五條ノ場合ニ於テ町村ノ一部北海道廳支廳長ノ處  
分ニ不服アルトキハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ內  
務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第百二十九條 第百二十五條ノ町村ノ一部ノ事務ニ關シテハ本令ニ規定ス  
ルモノノ外北海道廳長官ノ之ヲ定ム

第七章 町村組合

第百三十條 町村ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ北海  
道廳長官ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テ組合內  
各町村ノ町村會又ハ町村吏員ノ職務ニ屬スル事項ナキニ至リタルトキハ  
其ノ町村會又ハ町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス

町村ハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ其ノ協議ニ依リ北海道廳長官ノ許可  
ヲ得テ其ノ事務ノ全部ヲ共同處理スル爲町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ  
場合ニ於テハ組合內各町村ノ町村會及町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅  
ス

公益上必要アル場合ニ於テハ北海道廳長官ハ關係アル町村會ノ意見ヲ徵  
シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ前二項ノ町村組合ヲ設クルコトヲ得

町村組合ハ法人トス

第百三十一條 前條第一項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ増減シ又  
ハ共同事務ノ變更ヲ爲サントスルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ北海道廳  
長官ノ許可ヲ受クベシ

ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ町村組合ヲ解クコトヲ得  
第百三十五條 第百三十一條第一項第二項及前條第一項ノ場合ニ於テ財產  
ノ處分ニ關スル事項ハ關係町村ノ協議、關係町村ト組合トノ協議又ハ組  
合會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム

第百三十一條第三項及前條第二項ノ場合ニ於テ財產ノ處分ニ關スル事項  
ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ北  
海道廳長官ノ之ヲ定ム

第百三十六條 第百三十條第一項第二項、第百三十一條第一項第二項、第  
百三十二條第一項第二項、第百三十四條第一項及前條第二項ノ規定ニ依  
ル北海道廳長官ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村組合ハ內務大臣ニ訴願ス  
ルコトヲ得

組合費ノ分賦ニ關シ違法又ハ錯誤アリト認ムル町村ハ其ノ告知アリタル  
日ヨリ三月以内ニ組合ノ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ組合ノ管理者ハ三月以内ニ之ヲ決定ス  
ベシ其ノ決定ニ不服アル町村ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服ア  
ルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ組合ノ管理者ヨリモ訴訟ヲ提起ス  
ルコトヲ得

第百三十七條 第百三十條第一項第二項、第百三十一條第一項第二項、第  
百三十二條第一項第二項、第百三十四條第一項、第百三十五條第一項及  
前條第二項ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第百三十八條 町村組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除ク  
ノ外町村ニ關スル規定ヲ準用ス

第八章 町村ノ監督

前條第二項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ減少セントスルトキハ、  
組合會ノ議決ニ依リ、其ノ組合町村ノ數ヲ増加セントスルトキハ其ノ町  
村組合ト新ニ加ハラントスル町村トノ協議ニ依リ北海道廳長官ノ許可ヲ  
受クベシ

公益上必要アル場合ニ於テハ北海道廳長官ハ關係アル町村會又ハ組合會  
ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ町村組合ノ數ヲ増減シ又ハ一部  
事務ノ爲設クル組合ノ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第百三十二條 町村組合ヲ設クルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ  
定ム北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

組合規約ヲ變更セントスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ  
關係町村ノ協議ニ依リ、全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ組合會  
議決ヲ經テ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

公益上必要アル場合ニ於テハ北海道廳長官ハ關係アル町村會又ハ組合會  
ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ組合規約ヲ定ム又ハ變更スルコ  
トヲ得

第百三十三條 組合規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル町村、組合ノ共  
同事務及組合役場ノ位置ヲ定ムベシ

一部事務ノ爲ニ設クル組合ノ組合規約ニハ前項ノ外組合會ノ組織及組合  
會議員ノ選舉、組合吏員ノ組織及選任並ニ組合費用ノ支辨方法ニ付規定  
ヲ設クベシ

第百三十四條 町村組合ヲ解カントスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合  
ニ於テハ關係町村ノ協議ニ依リ、全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ組  
合會ノ議決ニ依リ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

公益上必要アル場合ニ於テハ北海道廳長官ハ關係アル町村會又ハ組合會  
ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ町村組合ヲ解クコトヲ得

第百三十九條 町村ハ第一次ニ於テ北海道廳支廳長、第二次ニ於テ北海道  
廳長官、第三次ニ於テ內務大臣ノ之ヲ監督ス

第百四十條 本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ノ監督ニ關スル北  
海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決又  
ハ北海道廳長官ノ處分ニ不服アル町村ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第百四十一條 本令中行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ベキ場合ニ於テハ內  
務大臣ニ訴願スルコトヲ得ズ

第百四十二條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分、決定又ハ裁決アリタル  
日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スベシ但シ本令中別ニ期間ヲ定メタルモノ  
ハ此ノ限ニ在ラズ

行政訴訟ノ提起ハ處分、決定、裁定又ハ裁決アリタル日ヨリ三十日以内  
ニ之ヲ爲スベシ

決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケザル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ  
日ヨリ之ヲ起算ス

異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル  
異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スベキ事由アリト認ムルトキハ仍  
之ヲ受理スルコトヲ得

異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スベ  
シ

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セズ但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依  
リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第百四十三條 北海道參事會訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三月以内  
ニ之ヲ裁決スベシ

第百四十四條 監督官廳ハ町村ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告

ヲ爲サシメ、書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

監督官廳ハ町村ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得  
上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ町村ノ監督ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第四百四十五條 内務大臣ハ町村會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得  
町村會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スベシ

第四百四十六條 町村ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用ヲ豫算ニ載セザルトキハ北海道廳支廳長ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

町村長其ノ他ノ吏員其ノ執行スベキ事件ヲ執行セザルトキハ北海道廳支廳長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ町村ノ負擔トス

前二項ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村長其ノ他ノ吏員ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第四百四十七條 町村長又ハ收入役ニ故障アルトキハ監督官廳ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ職務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ旅費ハ町村費ヲ以テ辨償セシムベシ  
臨時代理者ハ有給ノ町村吏員トシ其ノ給料額旅費額等ハ監督官廳之ヲ定ム

第四百四十八條 町村會議員ノ定數増減ニ關スル條例(著シク人口ノ増減アリタルニ因ル議員ノ定數増減ニ關スル條例ヲ除ク)ヲ設ケ又ハ改正セシトスルトキハ内務大臣ノ許可ヲ受クベシ

第四百四十八條ノ二 左ニ掲グル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クベシ

- 一 町村條例ヲ廢止スルコト
- 二 基本財産及特別基本財産並ニ林野ノ處分ニ關スルコト
- 三 削除
- 四 削除
- 五 均一ノ稅率ニ依ラズシテ國稅又ハ北海道地方稅ノ附加稅ヲ賦課スルコト
- 六 第三百三條第一項第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ町村ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムルコト
- 七 第二百五條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコト
- 八 第三百六條ノ準率ニ依ラズシテ夫役現品ヲ賦課スルコト但シ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 九 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

第四百五十一條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セズト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第四百五十二條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任シ又ハ輕易ナル事件ニ限り許可ヲ受ケシメザルコトヲ得

第四百五十三條 北海道廳長官又ハ北海道廳支廳長ハ町村長、收入役、區長、區長代理者、委員其ノ他ノ町村吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ町村長及收入役ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官之ヲ行フ  
懲戒審査會ハ内務大臣ノ命シタル北海道廳高等官三人及北海道名譽職參事會員ニ於テ互選シタル者三人ヲ以テ其ノ會員トシ北海道廳長官ヲ以テ

一 水道(大正十年勅令第三百三十一號第一號ニ該當スルモノヲ除ク)、電氣、瓦斯、鐵道、軌道及自動車ノ使用料ニ關スルコト

二 特別稅段別割ヲ除クノ外特別稅ヲ新設シ又ハ變更スルコト  
三 据置期間ヲ通ジ償還期限二年度ヲ超ユル町村債及借入ノ翌年度ニ於テ借入金ヲ以テ償還スル町村債ニ關スルコト

前項第三號ニ掲グル事件ト雖モ左ニ掲グルモノニ付テハ前項ノ規定ニ拘ラズ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

一 傳染病豫防費又ハ急施ヲ要スル災害復舊工費ニ充ツル爲借入ルル町村債

二 小學校舍ノ建築、増築、改築其ノ他小學校設備ノ費用ニ充ツル爲借入ルル町村債ニシテ据置期間ヲ通ジ償還期限十年度ヲ超エザルモノ  
三 前二號ニ掲グル町村債ノ起債ノ方法、利息ノ定率又ハ償還方法ノ變更

四 町村債又ハ町村債ノ起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還方法ノ變更ニシテ内務大臣及大藏大臣ノ指定スルモノ

第四百四十九條 前二條ノ規定スルモノヲ除クノ外左ニ掲グル事件ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

- 一 町村條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト
- 二 使用料ヲ新設シ又ハ變更スルコト
- 三 特別稅ヲ新設シ又ハ變更スルコト
- 四 町村債ヲ起シ或ハ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ第三百三十三條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラズ

第四百五十條 左ニ掲グル事件ハ北海道廳支廳長ノ許可ヲ受クベシ

會長トシ北海道廳長官故障アルトキハ其ノ代理者會長ノ職務ヲ行フ  
北海道名譽職參事會員ノ互選スベキ會員ノ選舉、補闕及任期並ニ懲戒審査會ノ召集及會議ニ付テハ北海道會法中名譽職參事會員及北海道參事會ニ關スル規定ヲ準用ス但シ補充員ハ之ヲ設クルノ限ニ在ラズ  
解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ北海道廳支廳長ノ處分ニ付テハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキ又ハ北海道廳長官ノ處分ニ付テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
北海道廳長官ハ町村長及收入役ノ解職ヲ行ハントスル前其ノ停職ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期間給料ヲ支給スルコトヲ得ズ  
懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間北海道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ公職ニ就クコトヲ得ズ

第四百五十四條 町村吏員ノ賠償責任及身元保證ニ關シテハ市制町村制施行令第三十三條乃至第三十八條ノ規定ヲ準用ス但シ第三十三條乃至第三十五條及第三十八條ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス  
町村吏員ノ服務紀律及事務引繼ニ關スル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第九章 雜則

第四百五十五條 北海道廳支廳長ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數支廳ニ涉ルモノアルトキハ北海道廳長官ハ關係北海道廳支廳長ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スベキ北海道廳支廳長ヲ指定スベシ

第四百五十六條 初メテ二級町村ト爲ス地ハ内務大臣之ヲ指定ス

第四百五十七條 第十一條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第四百五十八條 本令ニ於ケル直接稅及間接稅ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

第四百五十九條 町村又ハ町村組合ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ



於ケル町村ノ事務ニ付テハ本令ニ規定スルモノノ外市制町村制施行令第一條乃至第四條及第七十三條ノ規定ヲ準用ス

第六十條

本令中公民權及議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者、同法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルモノト看做ス

從前ノ規定ニ依リ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得タル國有ノ土地ニ對シテハ昭和二年度分及昭和三年度分ニ限り第一條第四項ノ規定ニ拘ラズ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年勅令第一九一號  
昭和四年勅令第一九一號

○北海道二級町村制

昭和二年八月二十七日 (總理、內務) 勅令第二百七十號 (大臣副署)

改正 昭和三年第二三三號、四年第一九一號、六年第二二三號、八年第二八七號、一〇年第一七九號

朕北海道二級町村制改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

北海道二級町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三款 組織及選任

第四款 職務權限

第五款 給料及給與

第六款 町村ノ財務

第一款 財產營造物及町村稅

第二款 歲入出豫算及決算

第三款 町村ノ一部ノ事務

第四款 町村組合

第五款 町村ノ監督

第六款 雜則

附則

北海道二級町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第四款 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三款 組織及選任

第四款 職務權限

第五款 給料及給與

第六款 町村ノ財務

第一款 財產營造物及町村稅

第二款 歲入出豫算及決算

第三款 町村ノ一部ノ事務

第四款 町村組合

第五款 町村ノ監督

第六款 雜則

附則

北海道二級町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第四款 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三款 組織及選任

第四款 職務權限

第五款 給料及給與

第六款 町村ノ財務

第一款 財產營造物及町村稅

第二款 歲入出豫算及決算

第三款 町村ノ一部ノ事務

第四款 町村組合

第五款 町村ノ監督

第六款 雜則

附則

北海道二級町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第四款 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三款 組織及選任

第四款 職務權限

第五款 給料及給與

於ケル町村ノ事務ニ付テハ本令ニ規定スルモノノ外市制町村制施行令第一條乃至第四條及第七十三條ノ規定ヲ準用ス

第六十條 本令中公民權及議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者、同法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルモノト看做ス

從前ノ規定ニ依リ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得タル國有ノ土地ニ對シテハ昭和二年度分及昭和三年度分ニ限り第一條第四項ノ規定ニ拘ラズ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年勅令第一九一號  
昭和四年勅令第一九一號

○北海道二級町村制

昭和二年八月二十七日 (總理、內務) 勅令第二百七十號 (大臣副署)

改正 昭和三年第二三三號、四年第一九一號、六年第二二三號、八年第二八七號、一〇年第一七九號

朕北海道二級町村制改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

北海道二級町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三款 組織及選任

第四款 職務權限

第五款 給料及給與

第六款 町村ノ財務

第一款 財產營造物及町村稅

第二款 歲入出豫算及決算

第三款 町村ノ一部ノ事務

第四款 町村組合

第五款 町村ノ監督

第六款 雜則

附則

北海道二級町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第四款 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三款 組織及選任

第四款 職務權限

第五款 給料及給與

第六款 町村ノ財務

第一款 財產營造物及町村稅

第二款 歲入出豫算及決算

第三款 町村ノ一部ノ事務

第四款 町村組合

第五款 町村ノ監督

第六款 雜則

附則

北海道二級町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第四款 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三款 組織及選任

第四款 職務權限

第五款 給料及給與

第六款 町村ノ財務

第一款 財產營造物及町村稅

第二款 歲入出豫算及決算

第三款 町村ノ一部ノ事務

第四款 町村組合

第五款 町村ノ監督

第六款 雜則

附則

北海道二級町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第四款 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三款 組織及選任

第四款 職務權限

第五款 給料及給與

第二條 町村ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務並ニ從來法令又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ町村ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 町村ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ爲サントスルキハ北海道廳長官ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官之ヲ定ム

第四條 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ北海道參事會之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第五條 町村ノ名稱ヲ變更セントスルキ、村ヲ町ト爲シ若ハ町ヲ村ト爲サントスルキ又ハ町村役場ノ位置ヲ定メ若ハ之ヲ變更セントスルキハ町村會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

第六條 町村内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ町村住民トス

第七條 町村住民ハ本令ニ從ヒ町村ノ財產及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ町村ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第八條 帝國臣民タル年齡二十五年以上ノ男子ニシテ一年以來町村住民タル者ハ其ノ町村公民トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一 禁治產者及準禁治產者  
二 破產者ニシテ復權ヲ得ザル者  
三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者  
四 一定ノ住居ヲ有セザル者  
五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者  
六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲グル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス  
七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲グル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者  
八 町村會ノ議決ヲ經テ前項一年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セザルトキハ町村會ノ議決ヲ經テ一年以上四年以下其ノ町村公民權ヲ停止スルコトヲ得

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘザル者

二 業務ノ爲常ニ町村内ニ居ルコトヲ得ザル者

三 年齢六十年以上ノ者

四 官公職ノ爲町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得ザル者

五 四年以上名譽職町村吏員、町村會議員又ハ區會議員ノ職ニ任ジ爾後

同一ノ期間ヲ經過セザル者

六 其ノ他町村會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ北海道參事會ニ訴願

シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第三項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

町村民租稅滯納處分中ハ町村ノ名譽職ニ就クコトヲ得ズ

第九條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未ダ入營セザル者及歸休下士官兵

ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定(志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者ニ付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定ヲ含

ム)ニ依リ召集中ノ者ハ町村ノ公務ニ參與スルコトヲ得ズ兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(陸軍各部委託學生生徒、海軍軍醫學生藥劑學生主計

學生造船學生造機學生造兵學生並ニ海軍航空豫備學生海軍豫備生徒及海軍豫備練習生ヲ除ク)及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同ジ

第十條 町村ハ町村住民ノ權利義務又ハ町村ノ事務ニ關シ町村條例ヲ設ク

第三款 町村條例及町村規則

町村ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ町村ノ町村會議員ト相兼ヌルコトヲ得ズ

第十五條 町村會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム但シ關員アルトキハ其ノ關員ヲ以テ之ニ充ツベシ

前項但書ノ場合ニ於テ關員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿チザルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付町村長抽籤シテ解任スベキ者ヲ定メ關員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツベキ關員ハ最モ先ニ關員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ關員ト爲リタル時同ジキトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十六條 町村會議員中關員ヲ生ジタルトキハ其ノ關員ト爲リタル議員ガ選舉ノ期日ヨリ一年以内ニ關員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第三十六條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ選舉ノ期日ヨリ一年經過後ニ於テ關員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第三十六條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第四十條第四項及第五項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル者ナク若ハ前項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍其ノ關員ガ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ町村長若ハ町村會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補選選舉ヲ行フベシ

第四十條第七項ノ規定ハ補選選舉ニ之ヲ準用ス

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

ルコトヲ得

町村ハ町村ノ營造物ニ關シ町村條例ヲ以テ規定スルモノノ外町村規則ヲ設クルコトヲ得

町村條例及町村規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スベシ

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第十一條 町村會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人ノ之ヲ選舉ス

議員ノ定數左ノ如シ

一 人口二千未滿ノ町村 八人

二 人口二千以上五千未滿ノ町村 十二人

三 人口五千以上一萬未滿ノ町村 十八人

四 人口一萬以上ノ町村 二十四人

議員ノ定數ハ町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非ザレバ之ヲ増減セズ但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ北海道廳長官ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十二條 町村民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第九條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 必要アルトキハ町村ハ町村會ノ議決ヲ經區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

第十四條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ被選舉權ヲ有ス

在職ノ檢察、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セズ

選舉事務ニ關係アル官吏及町村ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セズ

補選議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十七條 町村長ハ選舉期日前六十日目ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スベシ

選舉人ノ年齢ハ選舉人名簿確定ノ期日ニ依リ之ヲ算定ス

選舉人名簿ニハ選舉人ノ姓名、住所及生年月日等ヲ記載スベシ

第十八條 町村長ハ選舉期日前四十日目ヨリ十五日間町村役場又ハ其ノ指定シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スベシ

町村長ハ縱覽開始ノ日前三日目迄ニ縱覽ノ場所ヲ告示スベシ

第十九條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ縱覽期間滿了後十日以内ニ之ヲ決定シ其ノ修正ヲ要スルトキハ直ニ之ヲ修正シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十條 選舉人名簿ハ選舉期日前三日目ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用フ但シ第三條ノ處分アリタル場合ニ於テ北海道廳長官ノ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前條第二項又ハ第三項ノ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ名簿確定前ナルトキハ直ニ之ヲ修正シ其ノ名簿確定後ナルトキハ選舉ヲ終リタル後次ノ選舉期日前四日目迄ニ之ヲ修正シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

四四一

投票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要アルトキハ町村長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ヲ抄本ヲ調製スベシ

第二十一條 第十九條ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ選舉人名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ

天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ  
前二項ノ規定ニ依ル名簿ノ調製、總覽、確定及異議申立ニ對スル決定ニ關スル期日及期間ハ北海道廳支廳長ノ定ムル所ニ依ル

選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用ヒ總覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス

第二十二條 町村長ハ選舉ノ期日前七日目迄ニ選舉會場(投票分會場ヲ含ム以下之ニ同ジ)、投票ノ日時及選舉スベキ議員數ヲ告示スベシ投票分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ區劃ヲ告示スベシ

投票分會ノ投票ハ選舉會ト同日時ニ之ヲ行フ  
天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハザルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ町村長ハ其ノ投票ヲ行フベキ選舉會又ハ投票分會ノミニ付更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムベシ此ノ場合ニ於テ選舉會場及投票ノ日時ハ選舉ノ期日前五日目迄ニ之ヲ告示スベシ

第二十三條 町村長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ  
町村長ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スベシ

投票分會ハ町村長ノ指名シタル吏員投票分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ  
町村長ハ分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ

投票ニ關スル記載ニ付テハ點字ハ之ヲ文字ト看做ス市制町村制施行令第十一條ノ規定及別表ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ  
投票用紙ハ町村長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フベシ

投票分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票分會長少クトモ一人ノ投票立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ選舉長ニ送致スベシ

第二十八條 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長又ハ投票分會長之ヲ決スベシ

投票分會ニ於テ投票拒否ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票分會長ハ假ニ投票ヲ爲サシムベシ  
前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムベシ

投票分會長又ハ投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同ジ  
第二十八條ノ二 選舉人ニシテ市制町村制施行令第二十二條ニ掲グル事由ニ因リ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ投票ヲ爲シ能ハザルベキコトヲ證スル者ノ投票ニ關シテハ第二十六條第一項但書、第二十七條第一項及第三項並ニ前條ノ規定ニ拘ラズ同令第二十三條乃至第二十八條ノ三ノ例ニ依ル

第二十九條 第四十條若ハ第四十四條ノ選舉、増員選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ  
第三十條 町村長ハ豫メ開票ノ日時ヲ告示スベシ

二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スベシ  
選舉立會人及投票立會人ハ名譽職トス

第二十四條 選舉人ニ非ザル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ズ但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラズ

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長又ハ投票分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムベシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ投票分會長會場ノ秩序ヲ紊ルノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ゲズ

第二十五條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ  
投票ハ一人一票ニ限ル

第二十六條 確定名簿ニ登錄セラレザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ但シ選舉人名簿ニ登錄セラレベキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラズ

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ登錄セラレタルコトヲ得ザル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ選舉ノ當日選舉權ヲ有セザル者ナルトキ亦同ジ

第二十七條 選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スベシ  
投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過グルモ投票ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 選舉長ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日(投票分會ヲ設ケタルトキハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日)選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スベシ

前項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ先ヅ第二十八條第二項及第四項ノ投票ヲ調査スベシ其ノ投票ノ受理如何ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スベシ

選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スベシ  
天災事變等ノ爲開票ヲ行フコト能ハザルトキハ町村長ハ更ニ開票ノ期日ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テ選舉會場ノ變更ヲ要スルトキハ豫メ更ニ其ノ場所ヲ告示スベシ

第三十二條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條 特別ノ事情アルトキハ町村長ハ北海道廳支廳長ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ開票分會ヲ設ケタルコトヲ得  
市制町村制施行令第十二條乃至第二十條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ開票分會ヲ設ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス  
一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ  
二 現ニ町村會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ  
五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セザルモノ

第三十五條 投票ノ效力ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スベシ

第三十六條 町村會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ六分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ年長者ヲ取リ年齡モ亦同ジキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムベシ

第三十七條 當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ

第三十八條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

投票分會長ハ投票錄ヲ作り投票ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

投票分會長ハ投票函ト同時ニ投票錄ヲ選舉長ニ送致スベシ

選舉錄及投票錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間町村長ニ於テ之ヲ保存スベシ

第三十九條 當選者定リタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告スベシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告スベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告示ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツベシ

第一項第四號ノ事由ヲ生ジタルトキハ其ノ選舉ノ期日ヨリ一年以内ナル場合ニ於テ第三十六條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ其ノ選舉ノ期日ヨリ一年經過後ナル場合ニ於テ第三十六條第二項ノ規定ヲ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

前二項ノ場合ニ於テ第三十六條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ズ

第二項及第三項ノ場合ニ於テハ町村長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スベシ

第一項ノ期間ハ第四十三條第八項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選舉ヲ行フコトヲ得ザル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第一項ノ事由議員ノ任期滿了前六月以内ニ生ジタルトキハ第一項ノ選舉ハ之ヲ行ハズ但シ議員ノ數其ノ定數ノ三分ノ二ニ滿テザルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條 第三十九條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第四項ノ申立アリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告スベシ

當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ併セテ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告スベシ

第四十二條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ズルノ虞アル場合ニ限リ其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス但シ當選ニ異動ヲ生ズルノ虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限リ當選ヲ失フコト

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受タルニ非サレバ之ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應ズベキ旨ヲ町村長ニ申立テザルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

町村ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ町村ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非ザレバ當選ニ應ズルコトヲ得ズ第二項ノ期限前ニ其ノ旨ヲ町村長ニ申立テザルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準ズベキ者並ニ清算人ヲ謂フ

第四十條 當選者左ニ掲グル事由ノ一ニ該當スルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ但シ第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 當選ヲ辭シタルトキ

二 第三十七條ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

三 死亡者ナルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由ニ依リ選舉又ハ補選選舉ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項第一號乃至第三號ノ事由ヲ生ジタル場合ニ於テ第三十六條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ

トナシ

第四十三條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ、當選ニ關シテハ第三十九條第一項又ハ第四十一條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ申立ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願スルコトヲ得

北海道廳支廳長ハ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ第三十九條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ、當選ニ關シテハ第三十九條第一項又ハ第四十一條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ處分スルコトヲ得

前項ノ處分アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及町村長ノ決定ハ無効トス

第三項ノ處分ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ判決又ハ第二項若ハ第六項ノ判決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三項ノ處分ニ付テハ町村長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二項、第五項又ハ前項ノ判決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十六條、第四十條、第四十四條第一項若ハ第三項ノ選舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定若ハ訴願ノ判決確定セザル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ズ

町村會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル處分、決定若ハ判決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第四十四條 選舉無効ト確定シタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第四編 五

當選無効ト確定シタルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ更ニ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第四十條第四項及第五項ノ規定ヲ準用ス

當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ若ハ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ

第四十條第六項及第七項ノ規定ハ第一項及前項ノ選舉ニ之ヲ準用ス

第四十五條 町村會議員被選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ第三十九條第五項ニ掲グル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第三十九條第五項ニ掲グル者ニ該當スルヤ否ハ町村會議員ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セザル場合ヲ除クノ外町村會之ヲ決定ス

一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ  
二 破產者ト爲リタルトキ  
三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ  
四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

町村長ハ町村會議員中被選舉權ヲ有セザル者又ハ第三十九條第五項ニ掲グル者アリト認ムルトキハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スベシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スベシ

第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定ニ付テハ町村長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得  
前二項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第四十三條第九項ノ規定ハ第一項及前三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

十一 町村ニ係ル訴願、訴訟及和解ニ關スルコト  
十二 其ノ他法令ニ依リ町村會ノ權限ニ屬スル事件

第四十九條 町村會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フベシ  
第五十條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

町村會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ町村長又ハ其ノ指名シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項町村會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

第五十一條 町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ關係行政廳ニ提出スルコトヲ得

第五十二條 町村會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スベシ  
町村會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スベキ場合ニ於テ町村會成立セズ、召集ニ應ゼズ若ハ意見ヲ提出セズ又ハ町村會ヲ召集スルコト能ハザルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タズシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十三條 町村會ハ町村長ヲ以テ議長トシ町村長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス町村長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スベシ

前項假議長ノ選舉ニ付テハ八年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同ジキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第五十四條 町村長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

前項ノ列席者發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スベシ但シ之ガ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ズ

第五十五條 町村會ハ町村長之ヲ召集ス議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ニ付スベキ事件ヲ示シテ町村會召集ノ請求アルトキハ町村長ハ之ヲ召集

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スベシ

第四十六條 第十九條、第二十條及第四十三條ノ場合ニ於テ北海道廳長官ノ指定又ハ北海道參事會ノ裁決ハ北海道廳長官、北海道廳支廳長ノ處分

第四十七條 町村會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉法第九十一條、第九十二條、第九十八條、第九十九條第二項、第一百條、第一百條ノ二、第四百二十二條及第四百七十七條ノ規定ヲ準用ス

第二款 職務權限

第四十八條 町村會ノ議決スベキ事件左ノ如シ

一 町村條例及町村規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト  
二 町村費ヲ以テ支辨スベキ事業ニ關スルコト但シ第八十一條ノ事務及法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

三 歳入出豫算ヲ定ムルコト  
四 決算報告ヲ認定スルコト  
五 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、町村稅又ハ夫役現品ノ賦課徵收ニ關スルコト

六 不動産ノ管理、處分及取得ニ關スルコト  
七 基本財産及積立金穀等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト  
八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲スコト

九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムルコト但シ法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

十 町村吏員ノ身元保證ニ關スルコト

スベシ  
町村長ハ會期ヲ定メテ町村會ヲ召集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ町村長ハ更ニ期限ヲ定メ町村會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得

召集及會議ノ事件ハ開會ノ日前三日目迄ニ之ヲ告知スベシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

町村會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得會議ニ付スル日前三日目迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同ジ

町村會ハ町村長之ヲ開閉ス  
第五十六條 町村會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得但シ第五十九條ノ除外ノ爲半數ニ滿テザルトキ、同一ノ事件ニ付召集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿テザルトキ又ハ召集ニ應ズルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿テザルトキ若ハ半數ニ滿ツルモ其ノ後半數ニ滿テザルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五十七條 町村會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之ガ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハズ

第五十八條 町村長ハ町村會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ輕易ナルモノニ付テハ町村會ヲ召集セズ期限ヲ指定シ書面決議ノ方法ニ依ルコトヲ得但シ現任議員ノ數議員定數ノ半數以上アル場合ニ非ザレバ此ノ方法ニ依ルコトヲ得ズ

前項ノ場合ニ於テハ前條第一項ノ規定ニ拘ラズ議員三分ノ二以上ノ同意

ヲ得ルニ非ザレバ否決セラレタルモノト看做ス

第五十九條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ町村會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第六十條 法律勅令ニ依リ町村會ニ於テ行フ選舉ニ付テハ第二十五條、第二十七條、第三十四條及第三十六條第一項ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ町村會之ヲ決定ス

前項ノ選舉ニ於テ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

町村會ノ議員中異議ナキトキハ第一項ノ選舉ニ付指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得

指名推選ノ法ヲ用フル場合ニ於テハ被指名者ヲ以テ當選者ト定ムベキヤ否ヲ會議ニ付シ議員全員ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

一ノ選舉ヲ以テ二人以上ヲ選舉スル場合ニ於テハ被指名者ヲ區分シテ前項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得ズ

第六十一條 町村會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁止シタルトキ

二 議員二人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議員ノ發議ハ討論ヲ用ヒズ其ノ可否ヲ決スベシ

第六十二條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ閉閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

議員定數ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カザルトキハ第五十三條ノ例ニ依ル

會議録ハ議長及議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ町村會ニ於テ之ヲ定ムベシ

第六十八條 町村會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クベシ

會議規則ニハ本令又ハ會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 町村吏員

第一款 組織及選任

第六十九條 町村ニ町村長ヲ置ク

町村長ハ北海道廳長官之ヲ任免ス

町村長ハ第七條第一項ノ規定ニ拘ラズ在職ノ間其ノ町村ノ公民トス

第七十條 町村ニ收入役一人ヲ置ク

收入役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

收入役ハ町村會ノ推薦ニ依リ北海道廳支廳長之ヲ任命ス

前條第四項ノ規定ハ收入役ニ之ヲ準用ス

特別ノ事情アル町村ニ於テハ北海道廳支廳長ハ町村長又ハ書記ヲシテ收入役ノ事務ヲ兼掌セシムルコトヲ得

前項ノ場合ヲ除クノ外町村長及書記ハ收入役ト相兼スルコトヲ得ズ

第七十一條 町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ處務便宜ノ爲區ヲ劃シ區長及其ノ代理人一人ヲ置クコトヲ得

區長及其ノ代理人ハ名譽職トス町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム

區長及其ノ代理人ノ在職中ニ於テ爲ス後任者ノ決定ハ現任者ノ退職スベキ日前二十日以内ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依リニ非ザレバ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ズ

第六十二條ノ二 町村會議員ハ町村會ノ議決スベキ事件ニ付町村會ニ議案ヲ發スルコトヲ得但シ歳入出豫算ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ發案ハ議員三人以上ヨリ文書ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十三條 議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受クベカラズ

議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヒ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ズ

第六十四條 會議中本令又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハザルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ルコトヲ得

第六十五條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧嘩ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第六十六條 町村會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第六十七條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ調製シ會議ノ願末及出席議員ノ氏名ヲ記載セシムベシ

第二項ノ規定ニ依リ區長及其ノ代理人ノ決定アリタルトキハ町村長ハ決定セラレタル者ニ直ニ其ノ旨ヲ告知スベシ

區長及其ノ代理人ニ決定セラレタル者決定ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ其ノ決定ニ應ズルヤ否ヲ町村長ニ申立ツベシ其ノ期間内ニ決定ニ應ズル旨ノ申立ヲ爲サザルトキハ決定ヲ辭シタルモノト看做ス

第三十九條第三項ノ規定ハ區長及其ノ代理人ニ決定セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第七十二條 町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス町村會議員又ハ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム但シ委員長ハ町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル書記ヲ以テ之ニ充ツ

前條第三項乃至第六項ノ規定ハ委員ニ之ヲ準用ス

委員ノ組織ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第七十三條 町村公民ニ限リテ擔任スベキ職務ニ在ル吏員又ハ職ニ就キタルガ爲町村公民タル者選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ其ノ職ヲ失フ

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルベキ罪ノ爲豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得此

ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間給料又ハ報酬ヲ支給スルコトヲ得ズ

第七十四條 町村ニ書記ヲ置キ北海道廳支廳長之ヲ任免ス

書記ハ有給吏員トシ其ノ定數ハ北海道廳長官之ヲ定ム

第七十五條 前條條ニ定ムル者ノ外町村ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ町村長之

ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二款 職務權限

第七十六條 町村長ハ町村ヲ統轄シ町村ヲ代表ス

一 町村會ノ議決ヲ經ベキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スルコト

二 財産及營造物ヲ管理スルコト但シ特ニ之ガ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スルコト

三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スルコト

四 證書及公文書類ヲ保管スルコト

五 法令又ハ町村會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、町村税又ハ夫役現品ヲ賦課徴收スルコト

六 其ノ他法令ニ依リ町村長ノ職權ニ屬スル事項

第七十七條 町村長ハ町村吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得

其ノ懲戒處分ハ譴責及五圓以下ノ過怠金トス

第七十八條 町村會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ町村長ハ議決ニ付テハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ北海道參事會ノ裁決ヲ請フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル町村會ノ議決仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ北海道參事會ノ裁決ヲ請フベシ

議ヲ開クコト能ハザルトキハ町村長ハ北海道廳支廳長ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ町村會ノ議決スベキ事件ヲ處置スルコトヲ得

町村會ニ於テ其ノ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキハ前項ノ例ニ依リ町村會ノ決定スベキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依リ此ノ場合ニ於ケル町村長ノ處置ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準ジ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スベシ

第八十條 町村會ニ於テ議決又ハ決定スベキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ町村會成立セザルトキ又ハ町村長ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スベシ

前項ノ規定ニ依リ町村長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準ジ訴訟又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十一條 町村長其ノ他町村吏員ハ從來法令又ハ將來法律勅令ノ定ムル所ニ依リ國北海道地方費其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ町村ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第八十二條 町村長ハ其ノ事務ノ一部ヲ區長ニ分掌セシムルコトヲ得但シ町村ノ事務ニ付テハ豫メ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

町村長故障アルトキハ上席ノ書記之ヲ代理ス

監督官廳ハ前二項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ北海道參事會ニ訴訟スルコトヲ得其ノ裁決、第一項若ハ第二項ノ裁決又ハ前項ノ規定ニ依リ北海道廳長官ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項、第二項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十八條ノ二 町村會ノ議決明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル町村會ノ議決仍明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請フベシ

町村會ノ議決收支ニ關シ執行スルコト能ハザルモノアリト認ムルトキハ前二項ノ例ニ依リ左ニ掲グル費用ヲ削除シ又ハ減額シタル場合ニ於テ其ノ費用及之ニ伴フ收入ニ付亦同ジ

一 法令ニ依リ負擔スル費用、當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用其ノ他ノ町村ノ義務ニ屬スル費用

二 非常ノ災害ニ因ル應急又ハ復舊ノ施設ノ爲ニ要スル費用、傳染病豫防ノ爲ニ要スル費用其ノ他ノ緊急避クベカラザル費用

前三項ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ北海道廳長官ニ訴訟シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴訟スルコトヲ得

第七十九條 町村會成立セザルトキ又ハ第五十六條但書ノ場合ニ於テ仍會

議ヲ開クコト能ハザルトキハ町村長ハ北海道廳支廳長ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ町村會ノ議決スベキ事件ヲ處置スルコトヲ得

町村會ニ於テ其ノ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキハ前項ノ例ニ依リ町村會ノ決定スベキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依リ此ノ場合ニ於ケル町村長ノ處置ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準ジ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スベシ

第八十條 町村會ニ於テ議決又ハ決定スベキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ町村會成立セザルトキ又ハ町村長ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スベシ

前項ノ規定ニ依リ町村長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準ジ訴訟又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十一條 町村長其ノ他町村吏員ハ從來法令又ハ將來法律勅令ノ定ムル所ニ依リ國北海道地方費其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ町村ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第八十二條 町村長ハ其ノ事務ノ一部ヲ區長ニ分掌セシムルコトヲ得但シ町村ノ事務ニ付テハ豫メ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

町村長故障アルトキハ上席ノ書記之ヲ代理ス

第八十三條 收入役ハ町村ノ出納其ノ他ノ會計事務及第八十一條ノ事務ニ關スル國北海道地方費其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

北海道廳支廳長ハ收入役故障アルトキ之ヲ代理スベキ吏員ヲ定ムベシ

第八十四條 區長ハ町村長ノ命ヲ承ケ町村長ノ事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ補助ス

區長代理者ハ區長ノ事務ヲ補助シ區長故障アルトキハ之ヲ代理ス

第八十五條 委員ハ町村長ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル町村ノ事務ヲ調査シ又ハ之ヲ處辨ス

第八十六條 書記及第七十五條ノ吏員ハ町村長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第四章 給料及給與

第八十七條 町村會議員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

區長、區長代理者及委員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

費用辨償額、報酬額及其ノ支給方法ハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ

第八十八條 町村長及書記ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ北海道廳長官ノ定メ其ノ他ノ有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ

第八十九條 有給吏員ニハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第九十條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ北海道地方費支辨ノ給料又ハ旅費ニ在リテハ北海道廳長官ニ、其ノ他ノ給與ニ在リテ

ハ町村長ニ之ヲ申立ツルコトヲ得  
前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ北海道廳長官又ハ町村長ハ三月以内ニ之ヲ決定スベシ

關係者前項町村長ノ決定ニ不服アルトキハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ前項北海道廳長官ノ決定ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十一條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與ハ町村ノ負擔トス但シ町村長及書記ノ給料及旅費ハ北海道地方費ヨリ之ヲ支給ス

第五章 町村ノ財務

第一款 財産營造物及町村稅

第九十二條 收益ノ爲ニスル町村ノ財産ハ基本財産トシ之ヲ維持スベシ  
町村ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得

第九十三條 町村ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

町村ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十四條 財産ノ賣却貸與、工事ノ請負及物件努力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スベシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ、入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハザルトキ又ハ町村會ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九十五條 町村ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第九十六條 町村ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ町村ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

督相續ノ開始アリタルトキハ被相續人モ亦之ヲ納ムル義務ヲ負フ  
國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財産ノ限度トシテ前項ノ義務ヲ負フ

第九十七條 納稅者ノ町村外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

町村ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メザルモノニ對シ附加稅ヲ賦課スル場合、住所滞在ガ町村ノ内外ニ渉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シ町村稅ヲ賦課スル場合、鐵區又ハ砂鐵區ガ町村ノ内外ニ渉ルトキ鐵區稅又ハ砂鐵區稅ノ附加稅ヲ賦課セントスル場合及鐵區又ハ砂鐵區ガ營業所所在ノ町村ノ内外ニ渉ルトキ鐵區稅ノ附加稅ヲ賦課セントスル場合ニ付テハ市制町村制施行令第四十條乃至第四十二條及北海道一級町村制第十三條ノ規定ヲ準用ス

第九十八條 所得稅法第十八條ニ掲グル所得ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並ニ教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

國北海道地方費市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル家屋物件及營造物ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ  
國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ町村稅ヲ賦課ス

町村ハ其ノ財産ヨリ生ズル收入、使用料、手数料、過料、過怠金其ノ他法令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第九十七條 町村稅トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

- 一 直接國稅及北海道地方稅ノ附加稅
- 二 特別稅

直接國稅又ハ北海道地方稅ノ附加稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ之ヲ徵收スベシ但シ第五十條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

國稅ノ附加稅タル北海道地方稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ賦課徵收スルモノトス

第九十八條 三月以上町村内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ遡リ町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第九十九條 町村内ニ住所ヲ有セズ又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖モ

町村内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、町村内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ町村内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第九十九條ノ二 合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラルベキ町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

相續人又ハ相續財團ハ被相續人ニ對シ其ノ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ但シ戶主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家

ルコトヲ得ズ

地租法第六十五條及第六十六條ノ規定ニ依リ地租ヲ免除セラレタル土地ニ對シテハ其ノ年度分ノ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

免租年期地ニ對シ町村稅ヲ賦課スベキ場合ニ於テ町村ノ全部又ハ一部ニ互ル災害又ハ天候不順ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ニ付納稅義務者ノ申請アリタルトキハ前項ノ例ニ依ル

前六項ノ外町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ザルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ル

第一百條 町村ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスル場合ニ於テハ內務大臣及大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ町村稅ヲ課セザルコトヲ得

第一百條 數人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

町村ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ部内ニ於テ町村稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生ズル收入アルトキハ先ヅ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツベシ前項ノ場合ニ於テ其ノ一部ノ收入アルトキ亦同

數人又ハ町村ノ一部ヲ利スル財産ニ付テハ前三項ノ例ニ依ル

第一百四條 市制町村制施行令第四十三條乃至第四十六條ノ二及第四十七條乃至第五十八條ノ規定ハ町村稅ノ賦課徵收ニ之ヲ準用ス

第一百五條 數人又ハ町村ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ町村ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得

第一百六條 夫役又ハ現品ハ直接町村稅ヲ準率ト爲シ直接町村稅ヲ賦課セザル町村ニ於テハ直接國稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スベシ



但シ第五十條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ズ  
夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコト  
ヲ得

夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

**第七十七條** 非常災害ノ爲必要アルトキハ町村ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又  
ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損  
失ヲ補償スベシ

前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ町村長、警察官吏又ハ監  
督官廳ハ町村内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依リ補償スベキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハ  
ザルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ北海道廳長官之ヲ決定ス決定ヲ受ケタル  
者其ノ決定ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スベ  
シ

第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服  
アルトキハ北海道廳支廳長ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ北海道廳  
長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

**第八十八條** 町村税ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該吏員ハ日出ヨリ  
日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ  
又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該吏員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證據ヲ携帯スベシ  
**第九十九條** 町村長ハ納税者中特別ノ事情アル者ニ對シ納税延期ヲ許スコト

第一項及前項ノ規定ハ使用料及手数料ノ徵收並ニ夫役現品ノ賦課ニ之ヲ  
準用ス  
前二項ノ規定ニ依ル裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ  
提起スルコトヲ得

**第一百十二條** 町村税、使用料、手数料、過料、過怠金其ノ他ノ町村ノ收入  
ヲ定期内ニ納メザル者アルトキハ町村長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベ  
シ  
夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サズ又ハ夫役現品ニ  
代フル金錢ヲ納メザルトキハ町村長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ急  
迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シ  
テ其ノ納付ヲ命ズベシ

前二項ノ場合ニ於テハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコト  
ヲ得  
滞納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ  
完納セザルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スベシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ハ北海道地方費ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有  
シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル  
前三項ノ處分ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル  
トキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコト  
ヲ得  
第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス  
**第一百三十三條** 町村ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、町村ノ永久ノ利益ト爲ルベキ  
支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り町村會ノ議決ヲ經

ヲ得其ノ年度ヲ超ユル場合ハ町村會ノ議決ヲ經ベシ  
町村ハ特別ノ事情アル者ニ限り町村會ノ議決ヲ經テ町村税ヲ減免スルコ  
トヲ得

**第一百十條** 使用料、手数料及特別税ニ關スル事項ニ付テハ町村條例ヲ以テ  
之ヲ規定スベシ

詐偽其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料ノ徵收ヲ免レ又ハ町村税ヲ連脱シ  
タル者ニ付テハ町村條例ヲ以テ其ノ徵收ヲ免レ又ハ連脱シタル金額ノ三  
倍ニ相當スル金額(其ノ金額五圓未満ナルトキハ五圓)以下ノ過料ヲ科ス  
ル規定ヲ設クルコトヲ得

前項ニ定ムルモノヲ除ク外使用料、手数料及町村税ノ賦課徵收ニ關シ  
テハ町村條例ヲ以テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得財產  
又ハ營造物ノ使用ニ關シ亦同ジ

過料ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ北海道參事會ニ訴願  
シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコト  
ヲ得

**第一百一十條** 町村税ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト  
認ムルトキハ徵稅令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ町村長ニ異議  
ノ申立ヲ爲スコトヲ得

財產又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツ  
ルコトヲ得

前二項ノ異議ノ申立アリタルトキハ町村長ハ三月以内ニ之ヲ決定スベシ  
決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ  
裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

テ町村債ヲ起スコトヲ得

町村債ヲ起スニ付町村會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ  
定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ベシ

町村ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲町村會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコ  
トヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スベシ

**第二款 歳入出豫算及決算**  
**第一百四十四條** 町村長ハ每會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ  
一月前ニ町村會ノ議決ヲ經ベシ

町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル  
豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ事務報告書及財產表ヲ提  
出スベシ

**第一百五條** 町村長ハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲ス  
コトヲ得

**第一百十六條** 町村費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支  
出スベキモノハ町村會ノ議決ヲ經テ其ノ年々各年度ノ支出額ヲ定メ繼  
續費ト爲スコトヲ得

**第一百十七條** 町村ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ  
設クベシ

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケザルコトヲ得

豫備費ハ町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ズ

**第一百十八條** 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告シ且其  
ノ要領ヲ告示スベシ

**第一百十九條** 町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第百二十條 町村會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其ノ際本ヲ收入役ニ交付スベシ

收入役ハ町村長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非ザレバ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ命令ヲ受タルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出、費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得ザルトキ亦同ジ

前二項ノ規定ハ收入役ノ事務ヲ兼掌シタル町村長又ハ書記ニ之ヲ準用スル

第百二十一條 町村ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第百二十二條 町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ検査シ且毎會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スベシ

検査ハ町村長之ヲ爲シ臨時検査ニハ町村會ニ於テ選舉シタル議員二人以上ノ立會ヲ要ス

第百二十三條 町村ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出スベシ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ町村會ノ認定ニ付スベシ

第七十條第五項ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル但シ町村長ニ於テ兼掌シタルトキハ直ニ町村會ノ認定ニ付スベシ

決算ハ認定ヲ經タル後直ニ其ノ認定ニ關スル町村會ノ議決ト共ニ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ町村長及書記共ニ議長ノ職務ヲ行フコトヲ得ズ

第百二十四條 豫算調製ノ式、費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

道廳長官ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テ組合内各町村ノ町村會又ハ町村吏員ノ職務ニ屬スル事項ナキニ至リタルトキハ其ノ町村會又ハ町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス

町村ハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ其ノ協議ニ依リ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ其ノ事務ノ全部ヲ共同處理スル爲町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合内各町村ノ町村會及町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス

公益上必要アル場合ニ於テハ北海道廳長官ハ關係アル町村會ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ前二項ノ町村組合ヲ設クルコトヲ得

町村組合ハ法人トス

第百三十一條 前條第一項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サントスルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

前條第二項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ減少セントスルトキハ組合會ノ議決ニ依リ、其ノ組合町村ノ數ヲ増加セントスルトキハ其ノ町村組合ト新ニ加ハラントスル町村トノ協議ニ依リ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

公益上必要アル場合ニ於テハ北海道廳長官ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ一部事務ノ爲設クル組合ノ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第百三十二條 町村組合ヲ設クルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

組合規約ヲ變更セントスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ關係町村ノ協議ニ依リ、全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ組合會ノ

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第六章 町村ノ一部ノ事務

第百二十五條 町村ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付テハ本令中町村ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ財産又ハ營造物ニ關シ特ニ要スル費用ハ其ノ財産又ハ營造物ノ屬スル町村ノ一部ノ負擔トス

前二項ノ場合ニ於テハ町村ノ一部ハ其ノ會計ヲ分別スベシ

第百二十六條 前條ノ財産又ハ營造物ニ關シ必要アリト認ムルトキハ北海道廳支廳長ハ町村會ノ意見ヲ徵シテ町村條例ヲ設定シ區會又ハ區總會ヲ設ケテ町村會ノ議決スベキ事項ヲ議決セシムルコトヲ得

第百二十七條 區會議員ハ町村ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條ノ町村條例中ニ之ヲ規定スベシ區總會ノ組織ニ關スル事項ニ付亦同ジ

區會議員ノ選舉ニ付テハ町村會議員ニ關スル規定ヲ準用ス但シ被選舉權ノ有無ノ決定ハ町村會ニ於テ之ヲ爲スベシ

區會又ハ區總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十八條 第百二十五條ノ場合ニ於テ町村ノ一部北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アルトキハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第百二十九條 第百二十五條ノ町村ノ一部ノ事務ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外北海道廳長官之ヲ定ム

第七章 町村組合

第百三十條 町村ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ北海

議決ヲ經テ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

公益上必要アル場合ニ於テハ北海道廳長官ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ組合規約ヲ定メ又ハ變更スルコトヲ得

第百三十三條 組合規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル町村、組合ノ共同事務及組合役場ノ位置ヲ定ムベシ

一部事務ノ爲ニ設クル組合ノ組合規約ニハ前項ノ外組合會ノ組織及組合會議員ノ選舉、組合吏員ノ組織及選任並ニ組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クベシ

第百三十四條 町村組合ヲ解カントスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ關係町村ノ協議ニ依リ、全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ組合會ノ議決ニ依リ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

公益上必要アル場合ニ於テハ北海道廳長官ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ町村組合ヲ解クコトヲ得

第百三十五條 第百三十一條第一項第二項及前條第一項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係町村ノ協議、關係町村ト組合トノ協議又ハ組合會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム

第百三十一條第三項及前條第二項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ北海道參事會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官之ヲ定ム

第百三十六條 第百三十條第一項第二項、第百三十一條第一項第二項、第百三十二條第一項第二項、第百三十四條第一項及前條第二項ノ規定ニ依リ北海道廳長官ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村組合ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道二級町村制

組合費ノ分賦ニ關シ違法又ハ錯誤アリト認ムル町村ハ其ノ告知アリタル日ヨリ三月以内ニ組合ノ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第三百三十七條

第三百三十七條 第三百三十一條第一項第二項、第三百三十二條第一項第二項、第三百三十四條第一項、第三百三十五條第一項及前條第二項ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第三百三十八條

第三百三十八條 町村組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ニ關スル規定ヲ準用ス

第八章 町村ノ監督

第三百三十九條 町村ハ第一次ニ於テ北海道廳支廳長、第二次ニ於テ北海道廳長官、第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第四百十條

第四百十條 本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ノ監督ニ關スル北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決又ハ北海道廳長官ノ處分ニ不服アル町村ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第四百十一條

第四百十一條 本令中行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ベキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第四百十二條

第四百十二條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分、決定又ハ裁決アリタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スベシ但シ本令中別段ノ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

町村長其ノ他ノ吏員其ノ執行スベキ事件ヲ執行セザルトキハ北海道廳支廳長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ町村ノ負擔トス

第四百十七條

第四百十七條 町村長又ハ收入役ニ故障アルトキハ監督官廳ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ職務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ旅費ハ町村費ヲ以テ辨償セシムベシ

第四百十八條

第四百十八條 町村會議員ノ定數増減ニ關スル條例(著シク人口ノ増減アリタルニ因ル議員ノ定數増減ニ關スル條例ヲ除ク)ヲ設ケ又ハ改正セントスルトキハ内務大臣ノ許可ヲ受クベシ

第四百十九條

第四百十九條 左ニ掲グル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クベシ

- 一 水道(大正十年勅令第三百三十一號第一號ニ該當スルモノヲ除ク)、電氣、瓦斯、鐵道、軌道及自動車ノ使用料ニ關スルコト
- 二 特別稅段別割ヲ除クノ外特別稅ヲ新設シ又ハ變更スルコト
- 三 据置期間ヲ通ジ償還期限ニ超ユル町村債及借入ノ翌年度ニ於テ借入金ヲ以テ償還スル町村債ニ關スルコト
- 四 前項第三號ニ掲グル事件ト雖モ左ニ掲グルモノニ付テハ前項ノ規定ニ拘ラズ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ
- 五 傳染病豫防費又ハ急施ヲ要スル災害復舊工事費ニ充ツル爲借入ルル町村債

行政訴訟ノ提起ハ處分、決定、裁定又ハ裁決アリタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スベシ

第四百十三條

第四百十三條 北海道參事會訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三月以内ニ之ヲ裁決スベシ

第四百十四條

第四百十四條 監督官廳ハ町村ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ、書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

第四百十五條

第四百十五條 内務大臣ハ町村會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第四百十六條

第四百十六條 町村ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用ヲ豫算ニ載セザルトキハ北海道廳支廳長ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

第四百十七條

第四百十七條 前二條ニ規定スルモノヲ除クノ外左ニ掲グル事件ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ

- 一 町村條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト
- 二 使用料ヲ新設シ又ハ變更スルコト
- 三 特別稅ヲ新設シ又ハ變更スルコト
- 四 町村債ヲ起シ或ハ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ第三百十三條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラズ
- 五 町村條例ヲ廢止スルコト
- 六 基本財産及特別基本財産或ハ林野ノ處分ニ關スルコト
- 七 削除
- 八 均一ノ稅率ニ依ラズシテ國稅又ハ北海道地方稅ノ附加稅ヲ賦課スルコト
- 九 第三百三條第一項第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ町村ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムルコト
- 十 第三百五條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコト

八 第六條ノ準率ニ依ラズシテ夫役現品ヲ賦課スルコト但シ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

九 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

第五十一條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セズト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第五十二條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任シ又ハ輕易ナル事件ニ限り許可ヲ受ケシメザルコトヲ得

第五十三條 北海道廳長官又ハ北海道廳支廳長ハ町村長、收入役、區長、區長代理者、委員其ノ他ノ町村吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ町村長及收入役ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官之ヲ行フ

懲戒審査會ハ内務大臣ノ命ジタル北海道廳高等官三人及北海道名譽職參事會員ニ於テ互選シタル者三人ヲ以テ其ノ會員トシ北海道廳長官ヲ以テ會長トス北海道廳長官故障アルトキハ其ノ代理者會長ノ職務ヲ行フ北海道名譽職參事會員ノ互選スベキ會員ノ選舉、補闕及任期並ニ懲戒審査會ノ招集及會議ニ付テハ北海道會法中名譽職參事會員及北海道參事會ニ關スル規定ヲ準用ス但シ補充員ハ之ヲ設クルノ限ニ在ラズ

解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ北海道廳支廳長ノ處分ニ付テハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキ又ハ北海道廳長官ノ處分ニ付テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
北海道廳長官ハ町村長及收入役ノ解職ヲ行ハントスル前其ノ停職ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期間給料ヲ支給スルコトヲ得ズ懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間北海道府縣、市町村其ノ他之ニ準

ズベキモノノ公職ニ就クコトヲ得ズ

第五十四條 町村吏員ノ賠償責任及身元保證ニ關シテハ市制町村制施行令第三十三條乃至第三十八條ノ規定ヲ準用ス但シ第三十三條乃至第三十五條及第三十八條ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス  
町村吏員ノ服務紀律及事務引繼ニ關スル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第九章 雜則

第五十五條 北海道廳支廳長ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數支廳ニ涉ルモノアルトキハ北海道廳長官ハ關係北海道廳支廳長ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スベキ北海道廳支廳長ヲ指定スベシ

第五十六條 初メテ二級町村ト爲ス地ハ内務大臣之ヲ指定ス

第五十七條 第十一條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第五十八條 本令ニ於ケル直接税及間接税ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

第五十九條 町村又ハ町村組合ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於ケル町村ノ事務ニ付テハ本令ニ規定スルモノノ外市制町村制施行令第一條乃至第四條及第七十三條ノ規定ヲ準用ス

第六十條 本令中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニモ之ヲ適用ス

附則

本令中公民權及議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者、同法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルモノト看做ス

從前ノ規定ニ依リ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得タル國有ノ土地ニ對シテハ昭和二年度分及昭和三年度分ニ限リ第一條第四項ノ規定ニ拘ラズ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得

本令施行ノ際必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

附則 (昭和四年勅令第一九一號)

本令ハ昭和四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年勅令第八十七號昭和四年市制町村制改正經過規程ハ本令ノ施行ニ付テハ準用ス但シ第六條第二項中府縣知事トアルハ北海道廳支廳長トス

附則 (昭和十年勅令第一七九號)

本令中公民權及議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ、其ノ他ノ規定ハ昭和十年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年法律第四十九號及昭和十年勅令第七十五號中議員選舉ニ關スル規定ハ本令ノ適用ニ付テハ本令ノ施行ト同時ニ施行セラレタルモノト看做ス

○北海道一級町村制施行地

明治三十三年五月十九日 內務省令第十九號

北海道一級町村制明治三十三年七月一日ヨリ施行ス其實施地ハ左ノ通り指定ス但現在ノ町村名ハ大字トシテ之ヲ存ス

第一編 地方制度 第三章 北海道 北海道一級町村制施行地

町村名	所屬郡名	區	城
大野村	龜田郡	大野村	本郷村 市渡村 文月村
上磯村	上磯郡	千代田村	一本木村
福山町	松前郡	上磯村	清川村 中野村 谷好村
福島村	松前郡	富川村	
江差町	檜山郡	總社堂町	生符町 白川町 愛宕町
		西館町	博知石町 唐津内澤町 唐津内町
		新荒町	湯殿澤町 小松前町 松城町
		大松前町	枝ヶ崎町 中町 袋町
		橫町	藏町 中川原町 川原町
		神明町	馬形上町 馬形中町 馬形下町
		端立町	東上町 東中町 東下町
		東新町	泊川町 東中町 東下町
		山ノ上町	及部町 寅向町 傳治澤町
		白符村	福島村
		東新町	北新町 中新町 川原新町
		片原町	詰木石町 豐部内町 九艘川町
		中歌町	姥神町 津花町 濱茂尻町
		酒田町	新地裏町 新地町 法華寺町
		上野町	佐平治町 彌陀堂町 切石町
		影ノ町	澤茂尻町 中茂尻町 小平澤町
		碓町	幸小屋町 五勝手村

壽都町	壽都郡	六條町 岩崎町 開進町 渡島町
岩内町	岩内郡	新榮町 大磯町 矢追町 御鉢内町 稻穂崎町 橋町 吹上町 堀江町 三島町 鷹臺町 老古美村 ノ一部 西南野東川ヲ限リ東ハ岩内市街ト梨 野舞納村トノ境界線ニ從ヒ直線ニ南 ニ延ヒ野東 川ニ至ル
余市町	余市郡	濱中町 澤町 富澤町 中町 梅川町 琴平町 山白町 黒川村 山田村 春部村 大川町 沖村
岩見澤村	空知郡	岩見澤村ノ一部 石狩川幌向川ノ落合ヨリ月 形道路ト其道路(字ナカコ ヤ)ヲ横流スル美唄川支流ノ交又點ニ向ヒ 直線ヲ以テ之ヲ限リ其ノ南方ノ一圓トス
増毛町	増毛郡	辨天町 稻葉町 野塚町 永壽町 七源町 島中町 暑寒町 暑寒裏町 島中裏町 阿分村 舍熊村 増毛村 別苺村 岩尾村 暑寒澤村
稚内村	宗谷郡	稚内村 抜海村 聲間村
【室蘭町】	【室蘭郡】	【札幌通】 【西小路町】 【澤町】 【幕西町】 【常盤町】 【濱町】 【本町】 【繪柄村】 【千歳町】 【海岸町】

北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通り指定シ明治四十二年四月一日ヨリ施行ス

- 札幌郡江別村 磯谷郡磯谷村
- 美國郡美國町 空知郡瀧川村
- 空知郡栗澤村 空知郡沼貝村
- 上川郡鷹栖村 上川郡東旭川村
- 苫前郡羽幌村

○内務省告示第十二號(大正四年三月十七日)  
北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通り指定シ大正四年四月一日ヨリ施行ス

- 虻田郡俱知安村 余市郡大江村
  - 空知郡江部乙村 上川郡士別村
  - 上川郡上名寄村 苫前郡苫前村
  - 網走郡網走町 常呂郡野付牛村
  - 勇拂郡厚真村 浦河郡浦河町
  - 河西郡帶廣町
- 内務省告示第十四號(大正八年三月二十四日)  
北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通り指定シ大正八年四月一日ヨリ施行ス
- 龜田郡 龜田村 錢龜澤村 戸井村
  - 上磯郡 木古内村
  - 瀬棚郡 瀬棚村
  - 空知郡 歌志内村 上富良野村
  - 夕張郡 由仁村 夕張町
  - 上川郡 東川村 當麻村
  - 勇拂郡 苫小牧町

伊達村	有珠郡	有珠村 稀府村 東紋館村 西紋館村
【釧路町】	【釧路郡】	【米町】 【真砂町】 【浦見町】 【幣舞町】 【洲崎町】 【釧路村】 【桂懸村】
厚岸町	厚岸郡	灣月町 松葉町 梅香町 若竹町 奔渡村 眞龍村 苦多村 床潭村 末廣村 瑠璃瀾村 別寒邊牛村
根室町	根室郡	本町 花咲町 梅ヶ枝町 緑町 常盤町 彌生町 有磯町 光和町 松ヶ枝町 清隆町 千島町 彌榮町 平内町 琴平町 定基町 鳴海町 松本町 辨天町 沙見町 根室村 穗香村ノ一部 字キナトエ 花咲村 友知村ノ一部 オン子トウ沼ヨリ ノツカマツ川ヲ廻リ郡界 ニ至ル直線ヲ限リ西一圓

○内務省告示第二十六號(明治四十年三月十二日)  
北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通り指定シ明治四十年四月一日ヨリ施行ス

- 札幌郡 豐平村 石狩郡 石狩町 石狩郡 當別村 厚田郡 厚田村 濱益郡 濱益村 龜田郡 七飯村 茅部郡 森村 山越郡 八雲村 古平郡 古平町 空知郡 砂川村 夕張郡 角田村 夕張郡 長沼村 樺戸郡 新十津川村 雨龍郡 深川村 留萌郡 留萌村

○内務省告示第三十二號(明治四十二年三月十七日)

- 河西郡 芽室村 幕別村
- 中川郡 川今村 濱中村
- 厚岸郡 濱中村

○内務省告示第五十一號(大正十年三月三十一日)  
北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通り指定シ大正十年四月一日ヨリ施行ス

- 札幌郡 廣島村 忍路郡 鹽谷村
- 高島郡 高島村 雨龍郡 一巳村
- 上川郡 永山村 上川郡 比布村
- 空知郡 富良野町 紋別郡 紋別町

○内務省告示第五十二號(大正十年三月三十一日)  
北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通り指定シ大正十年四月一日ヨリ施行ス

- 河東郡 音更村
- 内務省告示第七十五號(大正十二年三月二十八日)  
北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通り指定シ大正十二年四月一日ヨリ施行ス
- 龜田郡 湯川村 枝幸郡 枝幸村
- 山越郡 長萬部村 禮文郡 香深村
- 岩内郡 前田村 利尻郡 鬼脇村
- 同郡 發足村 同郡 鷺泊村
- 古宇郡 泊村 網走郡 美幌村
- 虻田郡 東俱知安村 上川郡 上士別村
- 札幌郡 琴似村 同郡 美瑛村
- 千歳郡 惠庭村 中川郡 美深村
- 雨龍郡 秩父別村 勇拂郡 安平村
- 空知郡 三笠山村 上川郡 屈足村

同 郡 蘆別村 同 郡 人舞村  
同 郡 中富良野村 中川郡 本別村

○内務省告示第四百九十九號(大正十三年三月二十四日)  
北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ大正十三年四月一日ヨリ施行ス

札幌郡 札幌村 天鹽郡 天鹽村  
積丹郡 余別村 利尻郡 杵形村  
上川郡 多寄村 靜内郡 靜内村

○内務省告示第四百九十九號(昭和四年三月四日)

北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ昭和四年四月一日ヨリ施行ス

瀨棚郡 利別村  
空知郡 赤平村  
上川郡 神樂村  
常呂郡 相内村  
常呂郡 端野村  
沙流郡 門別村

○内務省告示第五十一號(昭和六年三月十八日)

北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ昭和六年四月一日ヨリ施行ス

札幌郡 藻岩村  
上川郡 神居村

○内務省告示第九十六號(昭和七年五月十二日)

北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ昭和七年六月一日ヨリ施行ス

札幌郡 白石村

○内務省告示第二百二十九號(昭和八年四月二十八日)

北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ昭和八年五月一日ヨリ施行ス

釧路郡 鳥取村

○内務省告示第一百一號(昭和九年三月三日)

北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ昭和九年四月一日ヨリ施行ス  
紋別郡 遠輕村

○内務省告示第二百五號(昭和十二年三月十八日)

北海道一級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ昭和十二年四月一日ヨリ施行ス  
上川郡 愛別村

○北海道二級町村制施行地

明治三十五年三月十三日  
内務省令第七號

北海道二級町村制ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行シ其ノ實施地ヲ左ノ通  
リ指定ス但シ數町村合併ノ分ハ現在ノ町村名ヲ大字トシテ之ヲ存ス

町村名 所屬郡名 區 城  
【札幌村】 札幌郡 札幌村 苗穂村 丘珠村 雁來村  
【手稻村】 同 郡 下手稻村、上手稻村、山口村  
【豐平村】 同 郡 豐平村 平岸村 月寒村  
【白石村】 同 郡 白石村 上白石村  
【廣島村】 同 郡 廣島村  
【石狩町】 石狩郡 本町 辨天町 新町 濱町 仲町 橫町 船  
場町 親船町 若生町 八幡町 生振村  
【花川村】 同 郡 花畔村 樽川村  
【當別村】 同 郡 當別村  
【望來村】 厚田郡 望來村 嶺泊村  
【厚田村】 同 郡 古潭村 押琴村 厚田村 小谷村 別狩村

【濱益村】 濱益郡 安瀨村 濃巻村  
【黃金村】 同 郡 茂生村 群別村  
【龜田村】 同 郡 川下村 實田村 柏木村 尻苗村  
【湯川村】 同 郡 龜田村 鍛冶村 神山村 桔梗村 赤川村  
【錢龜澤村】 同 郡 石川村  
【戸井村】 同 郡 龜ノ尾村 上湯川村 下湯川村  
【七飯村】 同 郡 錢龜澤村 志苔村 根崎村 石崎村  
【森村】 同 郡 戸井村 小安村  
【本古内村】 上磯郡 七飯村 藤城村 峠下村 鶴野村 軍川村  
【八雲村】 山越郡 大中山村  
【上ノ國村】 檜山郡 本古内村 札苅村 泉澤村 釜谷村  
【乙部村】 爾志郡 尾白内村 宿野邊村 森村 鷺ノ木村 蜷谷  
村 石倉村  
【熊石村】 同 郡 八雲村 山越内村  
【久遠村】 同 郡 北村 大留村 上ノ國村 木ノ子村 沙吹村  
【瀨棚村】 瀨棚郡 石崎村 小砂子村  
【磯谷村】 磯谷郡 乙部村 小茂内村 突符村 三ッ谷村 蚊柱  
村 熊石村 相沼内村 泊川村  
【高島村】 高島郡 太田村 上古丹村 久遠村 湯ノ尻村  
瀨棚村 梅花都村 中歌村 虻羅村 鳥歌  
村 橫瀨村 島古丹村 能津登村 北尻別村  
高島村 祝津村

朝里村 小樽郡 朝里村 熊碓村 張碓村 鏡南村  
【大江村】 余市郡 仁木村 大江村 山道村  
【古平町】 古平郡 濱町 港町 入船町 丸山町 新地町 群來  
村 沖村 澤江村 歌葉村  
【美國町】 美國郡 小泊村 船瀨村 厚苦村 幌武意村 婦美  
村  
【奈江村】 空知郡 奈江村  
【由仁村】 夕張郡 由仁村  
【角田村】 同 郡 角田村  
【長沼村】 同 郡 長沼村  
【新十津川村】 同 郡 新十津川村  
【深川村】 雨龍郡 深川村  
【留萌村】 留萌郡 留萌村 禮受村  
【三泊村】 同 郡 三留村  
【苦前村】 同 郡 苦前村 力畫村  
【羽幌村】 同 郡 羽幌村  
【鬼脇村】 利尻郡 鬼脇村 石崎村  
【仙法志村】 同 郡 仙法志村  
【鷺泊村】 同 郡 鷺泊村 本泊村  
【香形村】 同 郡 香形村  
【船泊村】 同 郡 船泊村 神崎村  
【香深村】 同 郡 香深村 尺忍村  
【網走町】 網走郡 北見町 網走村 勇仁村 新栗履村  
【藻琴村】 同 郡 藻琴村 娜寄村 濤沸村

能取村 同 能取村 最寄村  
 虻田村 同 虻田郡  
 辨邊村 同 辨邊村 禮文村  
 【苦小牧村】 勇拂郡 樽前村 覺生村 錦多峰村 小鱈魚村 苦小  
 牧村 勇拂村 植苗村】  
 【浦河町】 浦河郡 浦河村 向別村 後鞆村 井寒臺村】  
 荻伏村 同 荻伏村 姉茶村 野深村 後邊戸村  
 西舍村 同 西舍村 幌別村ノ内 幌別川以  
 杵臼村 同 杵臼村 幌別村ノ内 幌別川以  
 【帶廣町】 河西郡 下帶廣村 荆苞村】  
 上帶廣村 同 上帶廣村  
 伏古村 同 伏古村  
 幸震村 同 幸震村  
 賣買村 同 賣買村 迫別村 戸葛村 鶴抜村  
 ○内務省令第一號(明治三十九年二月二十二日)  
 北海道二級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ明治三十九年四月一日ヨリ施行ス  
 但シ數町村合併ノ分ハ現在ノ町村名ヲ大字トシテ之ヲ存ス

茂邊地村、石別村  
 知内村、小谷石村  
 尾札部村  
 白尻村、熊泊村  
 鹿部村  
 砂原村、掛淵村  
 【長萬部村】  
 禮罷村、吉岡村、宮歌村  
 泊村、伏木戸村、柳崎村、鹹川村、小黑部村、  
 田澤村  
 土橋村、目名村、俄虫村、赤沼村、安野呂村、  
 館村、鷄村  
 釣懸村、赤石村、藥師村、青苗村  
 太櫓村、古櫓太村、良瑠石村、鷄泊村  
 東瀬棚村  
 【利別村】  
 永豐村、千走村、江泥邊村、原歌村  
 本目村、歌島村、輕白村  
 潮路村、有戸村、種前村、美谷村  
 前田村、老古美村、梨野舞納村、幌似村ノ内  
 字切通ヨリ南直線堀株川ヲ基點トシ同所ヨリ  
 西同川ヲ下リ神惠内川ノ落合ニ至ル以四】  
 發足村、幌似村ノ内字切通ヨリ南直線堀株川  
 ヲ基點トシ西同川ヲ下リ神惠内川ノ落合ニ至

神惠内村 古宇郡  
 【俱知安村】 虻田郡  
 【鹽谷村】 忍路郡  
 赤井川村 余市郡  
 入舸村 横丹郡  
 【余別村】 同  
 【三笠山村】 空知郡  
 【沼貝村】 同  
 【栗澤村】 同  
 【瀧川村】 同  
 【歌志内村】 同  
 登川村 夕張郡  
 月形村 樺戸郡  
 【一巳村】 雨龍郡  
 【秩父別村】 同  
 【東旭川村】 上川郡  
 【東川村】 同  
 【永山村】 同  
 【鷹栖村】 同  
 【比布村】 同

ル以東)  
 神惠内村、赤石村、堀内村  
 俱知安村】  
 鹽谷村、桃内村、忍路村、蘭島村】  
 赤井川村  
 野塚村、日司村、入舸村、出岬村  
 西河村、來岸村、余別村、神岬村】  
 市來知村(字峯延三號及三線以北ヲ除ク)幌  
 内村、幾春別村】  
 沼貝村、市來知村ノ内字峯延三號及三線以  
 北】  
 栗澤村】  
 瀧川村】  
 歌志内村】  
 登川村  
 月形村  
 【一巳村】  
 秩父別村】  
 東旭川村】  
 東川村】  
 永山村】  
 鷹栖村(字比布ヲ除ク)】  
 鷹栖村ノ内字比布】

當麻村 同  
 愛別村 同  
 【士別村】 上川郡  
 釧淵村 同  
 【上富良野村】 空知郡  
 鬼鹿村 留萌郡  
 燒尻村 苫前郡  
 天賣村 同  
 渚滑村 紋別郡  
 湧別村 同  
 眞狩村 虻田郡  
 狩太村 同  
 【安平村】 勇拂郡  
 【厚真村】 同  
 三石村 三石郡  
 襟似村 襟似郡  
 幌泉村 幌泉郡  
 【芽室村】 河西郡  
 【音更村】 河東郡

當麻村】  
 愛別村】  
 士別村】  
 釧淵村】  
 上富良野村】  
 鬼鹿村、天登雁村  
 燒尻村  
 天賣村  
 渚滑村  
 湧別村  
 眞狩村  
 狩太村  
 【安平村】  
 【厚真村】  
 城布村、邊訪村、幌毛村、免舞村、本桐村、  
 歌笛村  
 襟似村、鷄苦村、平鷄村、冬島村、二七村、  
 岡田村、幌滿村、誓内村  
 幌泉村、油駒村、小越村、庶野村、猿留村、  
 近呼村、笛舞村、歌露村、歌別村  
 芽室村、美生村、羽帶村、美蔓村、西士狩  
 村】  
 音更村、然別村、東士狩村、洞寒村ノ内蝶多  
 村分割線ト洞寒村境ト交叉點ヨリ分水嶺ヲ趁

テ士幌川ノ支流「オサルシ」川水源ノ山上ニ至ル以西、蝶多村ノ内蝶多村十勝川河岸字「タシ子ビラ」ヨリ直ニ北方高丘ニ上リ山脈ヲ越テ洞寒村ノ境界ニ至ル以西】

生剛村 十勝郡  
大津村 同

茂寄村 廣尾郡

豊頃村 中川郡  
洞寒村 同

【幕別村 同】

生剛村、愛牛村、大津村、長白村、藍奴村、旅來村、十勝村、當麻村ノ内海崖「ホロカヤント」沼ト當麻川トノ中間ニ在ル高丘ノ中央ヲ上リ「オイカマナイ」川ト當麻川トノ間ニ在ル分水嶺ヲ越テ中川郡界ニ至ル以東  
茂寄村、雁舟村、大樹村、當麻村ノ内海崖「ホロカヤント」沼ト當麻川トノ中間ニ在ル高丘ノ中央ヲ上リ「オイカマナイ」川ト當麻川トノ間ニ在ル分水嶺ヲ越テ中川郡界ニ至ル以西  
豊頃村、安骨村  
洞寒村（蝶多村分割線ト洞寒村境界ト交叉點ヨリ分水嶺ヲ越テ士幌川支流「オサルシ」川水源ノ山上ニ至ル以西ヲ除ク）蝶多村ノ内蝶多村十勝川河岸字「タシ子ビラ」ヨリ直ニ北方高丘ヲ上リ山脈ヲ越テ洞寒村ノ境界ニ至ル以東、十勝村、樺舞村、誓牛村、信取村、蓋派村、居邊村  
幕別村、止若村、咄別村、白人村、別奴村】

【濱中村 厚岸郡  
和田村 根室郡  
北海道二級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ明治四十二年三月十七日】  
但シ數村合併ノ分ハ現在ノ村名ヲ大字トシテ之ヲ存ス  
村名 所屬郡名 區 域  
南尻別村 磯谷郡 南尻別村  
黒松内村 磯谷郡 黒松内村  
島野村 岩内郡 野東村 敷島内村  
【泊 村 古宇郡 泊村 益村 興志内村 堀株村 茅沼村】  
小澤村 岩内郡 小澤村  
香江村 空知郡 香江村  
浦白村 樺戸郡 浦白村  
幌向村 空知郡 幌向村  
【上名寄村 上川郡 上名寄村】  
【多寄村 上川郡 多寄村】  
【神樂村 上川郡 神樂村】  
神居村 上川郡 神居村  
初山別村 苦前郡 初山別村  
【枝幸村 枝幸郡 枝幸村 頓別村 歌登村 禮文村】  
宗谷村 宗谷郡 宗谷村 泊内村 猿拂村  
野付牛村 常呂郡 野付牛村 生額常村】

【紋別村 紋別郡  
【靜内村 靜内郡】

門別村 沙流郡

○内務省告示第十一號（大正四年三月十六日）  
北海道二級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ大正四年四月一日ヨリ施行ス但數村合併ノ分ハ現在ノ村名ヲ大字トシテ之ヲ存ス

村名 所屬郡名 區 域  
新篠津村 石狩郡 新篠津村  
千歳村 千歳郡 千歳村 蘭越村 烏構舞村 長都村  
落部村 落部郡 落部村  
大島村 松前郡 松前村  
熱郭村 歌來郡 熱郭村 作開村  
雨龍村 雨龍郡 雨龍村  
北龍村 雨龍郡 北龍村  
【美瑛村 上川郡 美瑛村】  
下名寄村 中川郡 下名寄村  
下富良野村 空知郡 下富良野村  
【天鹽村 天鹽郡 天鹽村】  
【美幌村 網走郡 美幌村 杵端邊村 古梅村 活波村 達朗村 網走村】

斜里村 斜里郡 斜里村 蒼瑠村 止別村 朱圓村 遠音別村  
常呂村 常呂郡 常呂村 少牛村 太茶苗村 手師學村  
鑛沸村 常呂郡 鑛沸村  
興部村 紋別郡 興部村 瑞椽村 沙留村  
雄武村 紋別郡 雄武村 幌内村 澤木村  
壯瞥村 有珠郡 壯瞥村  
鷓川村 勇拂郡 鷓川村 井目戸村 萌別村 生置村  
【人舞村 上川郡 人舞村】  
【屈足村 上川郡 屈足村】  
【本別村 中川郡 本別村 押帶村 勇足村 幌蓋村 負籠村 嫁侶村】  
白糠村 白糠郡 白糠村 鹿路村  
齒舞村 花咲郡 友知村 沖根婦村 瑠璃瑠村 沖根邊村 婦  
○内務省告示第十五號（大正八年三月二十四日）  
北海道二級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ大正八年四月一日ヨリ施行ス但數村合併シテ一村ト爲スモノニ付テハ現在ノ村名ヲ大字トシテ之ヲ存ス  
村名 所屬郡名 區 域  
般法華村 龜田郡 般法華村  
北 村 空知郡 北村  
上北龍村 雨龍郡 上北龍村  
中川村 中川郡 中川村  
常盤村 中川郡 常盤村  
山部村 空知郡 山部村



南富良野村 空知郡 南富良野村  
 占冠村 勇拂郡 占冠村  
 幌延村 天鹽郡 幌延村 沙流村  
 遠別村 天鹽郡 遠別村  
 德舜賢村 有珠郡 德舜賢村  
 幌別村 幌別郡 幌別村 登別村  
 白老村 白老郡 白老村 社臺村 敷生村  
 似瀧村 勇拂郡 似瀧村 果標村 穂別村 邊富内村  
 昆布森村 釧路郡 昆布森村 跡永賀村 仙鳳趾村  
 尺別村 白糠郡 尺別村

○内務省告示第八十號(大正十二年三月三十日)

北海道二級町村制施行地ヲ左ノ通指定シ大正十二年四月一日ヨリ施行ス但シ數村ヲ合併シテ一村ト爲スモノニ付テハ現在ノ村名ヲ大字トシテ存ス

村名	所屬郡名	區	域
大澤村	松前郡	大澤村、上及部村、荒谷村、炭燒澤村	
小島村	松前郡	根部田村、赤神村、札前村、茂草村、雨垂石村	
貝取澗村	久遠郡	貝取澗村、平田内村、長磯村	
政治村	壽都郡	政治村	
樽岸村	壽都郡	樽岸村、湯別村	
幌加内村	雨龍郡	幌加内村	
高江村	新冠郡	高江村、大狩部村、葉朽村、受乞村、元神部村、比字村、泊津村、去童村、姉去村、萬楡村、滑若村	

### ○北海道一級町村制及北海道二級町村制施行ニ關スル件

昭和二年八月二十七日 内務、大藏省令

改正 昭和四年六月一九日

北海道一級町村制及北海道二級町村制施行ニ關スル件左ノ通定ム  
 市制町村制施行規則ハ北海道一級町村及北海道二級町村ニ之ヲ準用ス但シ第三十條、第三十二條、第四十二條、第五十五條及第六十五條ノ規定ニ依ル北海道廳長官ノ職務權限ハ北海道廳支廳長之ヲ行ヒ、第五十七條、第六十二條、第六十四條及第六十五條ノ場合ニ於テハ北海道二級町村ニ於テモ町村會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス  
 市制町村制施行令第六十條ノ規定ハ北海道二級町村ニ之ヲ準用ス

#### 附則

本令中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ、第一項ノ財務ニ關スル規定ハ昭和三年度分ヨリ、其ノ他ノ規定ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 左ノ内務省令及大藏省令ハ之ヲ廢止ス  
 明治三十二年内務省令第四十九號  
 明治三十三年内務省令第二十三號  
 明治三十三年内務省令第二十七號  
 明治三十九年内務省令第二十五號  
 大正十二年内務省令第三號  
 大正十三年内務省令第二十四號  
 大正十四年内務省令北海道一級町村行政ニ關シ北海道一級町村制第一百十三條ノ二ノ規定ニ依ル命令ノ件

第一編 地方制度 第三章 北海道 一二級町村制施行ニ關スル件

平取村	沙流郡	平取村、紫雲古津村、荷葉村、二風谷村、荷負村、長知内村、幌去村、貫氣別村、荷葉摘村
右左府村	沙流郡	右左府村
鳥取村	釧路郡	鳥取村
湊別村	足寄郡	湊別村、利別村
足寄村	足寄郡	足寄村、螺灣村
舌辛村	阿寒郡	舌辛村、徹別村、蘇牛村、他別村
熊牛村	川上郡	熊牛村、塘路村、虹別村
弟子屈村	川上郡	弟子屈村、屈斜路村
太田村	厚岸郡	太田村
別海村	野付郡	別海村、平糸村、野付村、(根室郡)西別村、(同)走古潭村、(同)厚別村
標津村	標津郡	標津村、伊茶仁村、(野付郡)茶志骨村、(目梨郡)忠類村、(同)蕪別村、(同)崎無異村
植別村	目梨郡	植別村
泊村	國後郡	泊村、東津村、米戸賀村、秩苺別村
留夜別村	國後郡	留夜別村、大瀧村
斜古丹村	色丹郡	斜古丹村
紗那村	紗那郡	紗那村、有萌村、別飛村
留別村	擇捉郡	(紗那郡)留別村、(振別郡)振別村、(同)老門村、(同)保村、丹根萌村
藁取村	藁取郡	藁取村、乙今牛村

### ○北海道一級町村制及北海道二級町村制改正經過規程

昭和二年八月二十七日 内務省令第三十八號

大正十四年内務省令北海道二級町村行政ニ關シ北海道二級町村制第六十一條ノ規定ニ依ル命令ノ件

第一條 従前ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外之ヲ新規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス  
 第二條 従前ノ規定ニ依リ町村會ニ於テ公民權又ハ選舉權及被選舉權ノ停止ヲ議決シ昭和二年九月三十日迄ニ許可ヲ得ザル場合ニ於テハ同年十月一日新規定ニ依リ公民權ノ停止ヲ議決シタルモノト看做ス  
 第三條 従前ノ規定ニ依リ公民權停止ノ處分ニシテ其ノ停止期間方四年ヨリ長キモノアルトキハ其ノ昭和二年九月三十日迄ニ四年ヲ經過セザルモノニ付テハ停止期間ハ之ヲ四年トシ、四年ヲ經過シタルモノニ付テハ停止期間ハ同日ヲ以テ滿了ス  
 第四條 従前ノ規定ニ依リ爲シタル許可ノ申請ニシテ昭和二年九月三十日迄ニ許可ヲ得ザルモノハ新規定ニ依リ許可ヲ要スル事項ニ限リ其ノ許可ノ職權ヲ有スル行政廳ニ爲シタル許可ノ申請ト看做ス  
 第五條 従前ノ町村規則其ノ他ノ規定ニシテ新規定ニ依リ町村條例ヲ以テ規定スルコトヲ要スルモノハ之ヲ新規定ニ依リ町村條例ト看做ス  
 第六條 北海道一級町村制施行ノ際現ニ町村長又ハ助彼ノ職ニ在ル者ハ新

規定ニ依ル有給ノ町村長又ハ助役ト看做ス但シ町村長又ハ助役ヲ有給ト爲スコトニ關スル町村條例ハ之ヲ設クルコトヲ要セズ

從前ノ北海道一級町村制ノ規定ニ依リ町村會ニ於テ町村長又ハ助役ヲ選舉シ昭和二年九月三十日迄ニ認可ヲ得ザル場合ニ於テハ同年十月一日新規定ニ依リ町村會ニ於テ之ヲ選舉シ又ハ定メタルモノト看做ス此ノ場合ニ於テハ前項但書ノ規定ヲ準用ス

第六條 從前ノ北海道一級町村制ノ規定ニ依リ町村長、助役、收入役又ハ收入役代理者町村會ノ同意ヲ得退職ノ申請ヲ爲シ昭和二年九月三十日迄ニ認可ヲ得ザル場合ニ於テハ同年十月一日新規定ニ依リ退職ノ申請ヲ爲シタルモノト看做ス

從前ノ北海道一級町村制ノ規定ニ依リ町村長、助役、收入役又ハ收入役代理者任意ニ退職ノ申請ヲ爲シ昭和二年九月三十日迄ニ退職セザル場合ニ於テハ同年十月一日新規定ニ依リ退職ノ申請ヲ爲シタルモノト看做ス但シ町村長又ハ助役ニ付テハ同日ヨリ三十日以内ニ從前ノ規定ニ依ル期間満了スル場合ニ於テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第七條 從前ノ北海道一級町村制ノ規定ニ依リ町村會ニ於テ收入役又ハ收入役代理者ヲ選定シ昭和二年九月三十日迄ニ認可ヲ得ザル場合ニ於テハ同年十月一日新規定ニ依リ町村會ニ於テ之ヲ定メタルモノト看做ス從前ノ北海道一級町村制ノ規定ニ依リ收入役代理者ハ之ヲ新規定ニ依ル副收入役ト看做ス

第八條 從前ノ規定ニ依ル部、部長及其ノ代理者ハ之ヲ新規定ニ依ル區、區長及其ノ代理者ト看做ス

第九條 從前ノ北海道一級町村制第二十二條第二項ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長ニ爲シタル決定ノ申請ニシテ昭和二年九月三十日迄ニ決定ナキモ

ノハ之ヲ同年十月一日新規定ニ依リ北海道參事會ニ爲シタル裁決ノ申請ト看做ス

第十條 從前ノ北海道一級町村制第二十二條第二項ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長ニ爲シタル裁決又ハ同條第三項、第五項若ハ第二十三條第二項ノ規定ニ依リ北海道廳長官ニ爲シタル裁決ニシテ昭和二年九月三十日迄ニ決定又ハ裁決ナキモノハ之ヲ同年十月一日新規定ニ依リ北海道參事會ニ爲シタル裁決ト看做ス

第十一條 從前ノ北海道一級町村制第二十二條第一項ノ規定ニ依ル町村長ノ取消、同條第二項ノ規定ニ依ル北海道廳支廳長ノ決定又ハ裁決ニ不服アル町村會ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十二條 從前ノ北海道一級町村制第二十二條第五項又ハ第二十三條第二項ノ規定ニ依ル北海道廳支廳長ノ決定又ハ裁決ニ不服アル町村會ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第十三條 從前ノ北海道一級町村制第二十二條第三項、第五項又ハ第二十三條第二項ノ規定ニ依ル北海道廳長官ノ裁決ニ對スル訴願又ハ訴訟ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第十四條 從前ノ北海道一級町村制第二十二條第五項ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長ニ爲シタル決定ノ申請又ハ第二十三條第一項ノ規定ニ依リ北海道

道廳支廳長ニ爲シタル指揮ノ申請ニシテ昭和二年九月三十日迄ニ決定又ハ指揮ナキモノハ之ヲ新規定ニ依リ北海道廳支廳長ニ爲シタル處分ノ申請ト看做ス

第十五條 從前ノ北海道二級町村制第十條ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長ニ爲シタル指揮ノ申請ニシテ昭和二年九月三十日迄ニ指揮ナキモノハ之ヲ同年十月一日新規定ニ依リ北海道廳支廳長ニ爲シタル處分ノ申請ト看做ス

第十六條 從前ノ北海道一級町村制第三十五條第一項ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長ニ爲シタル訴願ニシテ昭和二年九月三十日迄ニ裁決ナキモノニ付テハ北海道廳支廳長之ヲ裁決ス

前項又ハ從前ノ北海道一級町村制第三十五條第一項ノ規定ニ依ル北海道廳支廳長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十七條 從前ノ北海道一級町村制第三十五條第一項ノ規定ニ依リ北海道廳長官ニ爲シタル訴願ニシテ昭和二年九月三十日迄ニ裁決ナキモノハ之ヲ同年十月一日新規定ニ依リ北海道參事會ニ爲シタル訴願ト看做ス同條同項ノ規定ニ依リ北海道廳長官ノ爲シタル裁決ニ對スル訴願ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第十八條 從前ノ北海道一級町村制第九十一條第一項若ハ第二項又ハ北海道二級町村制第四十七條第一項ノ規定ニ依リ町村長ニ申立テタル異議ニシテ昭和二年九月三十日迄ニ決定ナキモノニ付テハ異議ヲ決定ニ付シ又ハ決定スベキ新規定ノ期間ハ同年十月一日ヨリ之ヲ起算ス

ノハ之ヲ同年十月一日新規定ニ依リ北海道參事會ニ爲シタル裁決ノ申請ト看做ス

第十條 從前ノ北海道一級町村制第二十二條第二項ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長ニ爲シタル裁決又ハ同條第三項、第五項若ハ第二十三條第二項ノ規定ニ依リ北海道廳長官ニ爲シタル裁決ニシテ昭和二年九月三十日迄ニ決定又ハ裁決ナキモノハ之ヲ同年十月一日新規定ニ依リ北海道參事會ニ爲シタル裁決ト看做ス

第十一條 從前ノ北海道一級町村制第二十二條第一項ノ規定ニ依ル町村長ノ取消、同條第二項ノ規定ニ依ル北海道廳支廳長ノ決定又ハ裁決ニ不服アル町村會ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十二條 從前ノ北海道一級町村制第二十二條第五項又ハ第二十三條第二項ノ規定ニ依ル北海道廳支廳長ノ決定又ハ裁決ニ不服アル町村會ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第十三條 從前ノ北海道一級町村制第二十二條第三項、第五項又ハ第二十三條第二項ノ規定ニ依ル北海道廳長官ノ裁決ニ對スル訴願又ハ訴訟ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第十四條 從前ノ北海道一級町村制第二十二條第五項ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長ニ爲シタル決定ノ申請又ハ第二十三條第一項ノ規定ニ依リ北海道

第十九條 從前ノ北海道一級町村制第九十一條第三項又ハ北海道二級町村制第四十七條第二項ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長又ハ北海道廳長官ニ爲シタル訴願ニシテ昭和二年九月三十日迄ニ裁決ナキモノハ之ヲ同年十月一日新規定ニ依リ北海道參事會ニ爲シタル訴願ト看做ス

第二十條 從前ノ北海道一級町村制第九十一條第三項又ハ北海道二級町村制第四十七條第二項ノ規定ニ依ル町村長ノ決定又ハ北海道廳支廳長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十一條 從前ノ北海道一級町村制第九十一條第三項又ハ北海道二級町村制第四十七條第二項ノ規定ニ依ル町村長ノ決定又ハ北海道廳支廳長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十二條 從前ノ規定ニ依ル部會及部會議員ハ之ヲ新規定ニ依ル區會及區會議員ト看做ス

從前ノ部會ノ組織及選舉ニ關シ北海道廳長官ノ定メタルモノハ新規定ニ依リ區會議員ノ定數、任期、選舉權及被選舉權ニ關スル町村條例ノ設定セラルルニ至ル迄ノ間仍其ノ效力ヲ有ス

第二十三條 從前ノ規定ニ依ル組合規程ハ之ヲ新規定ニ依ル組合規約ト看做ス

會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
前項北海道參事會ノ裁決ニ付テハ北海道廳長官ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

**第二十五條** 従前ノ北海道一級町村制第百十五條又ハ北海道二級町村制第六十三條ノ規定ニ依リ北海道廳長官ニ爲シタル訴願ニシテ昭和二年九月三十日迄ニ裁決ナキモノハ之ヲ同年十月一日新規定ニ依リ北海道參事會ニ爲シタル訴願ト看做ス

**第二十六條** 従前ノ北海道一級町村制第百十五條又ハ北海道二級町村制第六十三條ノ規定ニ依リ北海道廳長官ノ裁決ニ對スル訴訟ニ付テハ仍従前ノ規定ニ依ル

**第二十七條** 第十一條、第十二條、第十六條、第二十條及第二十四條ノ規定ニ依ル訴願又ハ訴訟ニ付テハ北海道二級町村制第四十六條及第四百四十二條ノ例ニ依ル

附則  
本令ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

### ○北海道一級町村及北海道二級町村並

島嶼町村ノ町村會議員又ハ市制第六

條ノ市ノ區ノ區會議員ノ公民權又ハ選舉權ニ關スル件

大正十五年四月八日(總理、內務) 勅令第五十六號 (大臣副署)

朕北海道一級町村及北海道二級町村並島嶼町村ノ町村會議員又ハ市制第六條ノ市ノ區ノ區會議員ノ公民權又ハ選舉權ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公

## 第四章 植民地

### 第一章 朝鮮

#### ○道制

昭和五年十二月一日 勅令第十五號

道制明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス

#### 道制

**第一條** 道ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及法律、勅令又ハ制令ニ依リ道ニ屬スル事務ヲ處理ス

**第二條** 道ノ廢置、名稱及區域ハ朝鮮總督之ヲ定ム

**第三條** 道ノ廢置又ハ區域變更ノ場合ニ於テ處分ヲ要スル財産アルトキハ其ノ處分ハ關係アル道會ノ意見ヲ徵シ朝鮮總督之ヲ定ム

**第四條** 道ノ廢置又ハ區域變更ノ場合ニ於テ道ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本令ニ規定スルモノノ外朝鮮總督之ヲ定ム

**第五條** 道ニ道會ヲ置キ議長及道會議員ヲ以テ之ヲ組織ス

**第六條** 道會議員ノ定數ハ二十人以上五十人以下ノ範圍内ニ於テ朝鮮總督之ヲ定ム

**第七條** 道會議員ノ定數ノ三分ノ二及定數ヲ三分シ難キ場合ニ於ケル其ノ定數ニ相當スル議員ハ之ヲ選舉ス

**第八條** 道會議員ノ選舉ハ各選舉區ニ於テ府會議員、邑會議員及面協議會議員ノ行フ

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 道制

布セシム

本令公布ノ際現ニ北海道一級町村及北海道二級町村並島嶼町村ノ町村會議員又ハ市制第六條ノ市ノ區ノ區會議員ノ職ニ在ル者ハ其ノ任期ヲ終ル迄ノ間公民權又ハ選舉權ノ納稅要件ヲ闕クニ至リタルカ爲其ノ職ヲ失フコトナシ本令公布後次ノ總選舉ニ至ル迄ノ間ニ其ノ職ニ在ルニ至リタル者亦同シ

#### 附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### ○北海道町村會議員總代人

#### 選舉罰則

明治三十二年十二月二十三日 (總理、內務) 法律第九號 (大臣副署)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル北海道町村會議員總代人及沖繩縣區會議員等選舉ノ罰則ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

北海道町村會議員總代人及沖繩縣區會議員ノ選舉ニ關シテハ市町村會議員選舉ニ關スル罰則ヲ適用ス

北海道區制町村制及沖繩縣區制ニ依リ開設スル他ノ議會ノ議員ノ選舉ニ付テ亦前項ニ同シ

選舉區及各選舉區ニ於テ選舉スベキ議員ノ配當ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

**第九條** 帝國臣民タル年齢二十五年以上ノ男子ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ一年以來道内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ道ニ於テ道會議員ノ被選舉權ヲ有ス

但シ左ニ掲グル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一 禁治產者及準禁治產者

二 破產者ニシテ復權ヲ得ザル者

三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受タルコトナキニ至ル迄ノ者

五 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未ダ入營セザル者及歸休下士官兵ヲ除ク)又ハ戰時事變ニ際シ召集中ノ者並ニ志願ニ依リ國民軍ニ編入中ノ者

六 當該道及其ノ道内ノ府郡島ノ官吏及有給吏員ニシテ在職中ノ者

七 當該道内ノ邑面ノ邑面長及有給吏員ニシテ在職中ノ者

八 在職ノ判事、檢事及警察官吏

九 小學校及普通學校ノ教員ニシテ在職中ノ者

前項ニ規定スル一年ノ期間ハ道ノ廢置又ハ區域變更ノ爲中斷セラレルコトナシ

**第十條** 道會議員ノ定數ヨリ第七條ノ規定ニ依リ選舉スベキ議員ノ員數ヲ控除シタル員數ノ議員ハ學識名望アル者ニシテ前條ノ被選舉權ヲ有スル

モノノ中ヨリ道知事之ヲ命ズ

**第十一條** 道會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

補選議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十二條 道會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ノ外道ニ關スル左ノ事件ヲ議決ス

一 歳入出豫算ヲ定ムルコト

二 決算報告ニ關スルコト

三 法令ニ規定スルモノヲ除クノ外道税、夫役現品、使用料又ハ手数料ノ賦課徴收ニ關スルコト

四 道債ヲ起シ或ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ第五十一條第二項ノ借入金ヲ除ク

五 基本財産及積立金等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト

六 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

七 特別會計ヲ設クルコト

八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト

道知事必要アリト認ムルトキハ前項各號ニ掲グル事件ノ外道ニ關スル事件ヲ道會ノ議決ニ付スルコトヲ得

第十三條 道會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フベシ

第十四條 道會ハ道ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ道知事其ノ他ノ關係官廳ニ提出スルコトヲ得

第十五條 道會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スベシ

道會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スベキ場合ニ於テ道會成立セズ、招集ニ應ゼズ若ハ意見ヲ答申セズ又ハ道會ヲ招集スルコト能ハザルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タズシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第十六條 道會ハ議員中ヨリ副議長一人ヲ選舉スベシ

副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第十七條 議長故障アルトキハ副議長ニ代リ議長及副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スベシ

前項ノ假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同ジキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 道會ハ會議規則ヲ設クベシ

第十九條 本令ニ規定スルモノノ外道會、道會議員並ニ道會議員ノ選舉及其ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二十條 道知事ハ道ヲ統轄シ道ヲ代表ス

道知事ハ道會ノ議決ヲ經ベキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ其ノ議決ヲ執行シ其ノ他道ノ事務ヲ擔任ス

第二十一條 道知事ハ道ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ府郡島ノ官吏若ハ吏員、邑面長又ハ邑面吏員ニ補助執行セシメ又ハ委任スルコトヲ得

道知事ハ道ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ道ノ官吏又ハ吏員ニ委任スルコトヲ得

第二十二條 道知事ハ吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ誹責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

第二十三條 道會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ道知事ハ其ノ意見ニ依リ又ハ朝鮮總督ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ道知事ハ朝鮮總督ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル道會ノ議決又ハ選舉仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ニ背クト認ムルトキハ道知事ハ其ノ意見ニ依リ又ハ朝鮮總督ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ道知事ハ朝鮮總督ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

第三十一條 道ニ出納吏ヲ置キ官吏又ハ吏員ノ中ヨリ道知事之ヲ命ズ

出納吏ハ出納事務ヲ掌ル

第三十二條 官吏ノ道ノ行政ニ關スル職務關係ハ本令中別段ノ定アル場合ヲ除クノ外國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル

第三十三條 吏員ノ服務規律並ニ出納吏及吏員ノ賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三十四條 道會議員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

費用辨償額及其ノ支給方法ハ道會ノ議決ヲ經テ道知事之ヲ定ム

第三十五條 吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ道知事之ヲ定ム

第三十六條 吏員ニハ退隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料及其ノ支給方法ハ道會ノ議決ヲ經テ道知事之ヲ定ム

第三十七條 道ハ基本財産ヲ設ケ又ハ特定ノ目的ノ爲積立金等ヲ設クルコトヲ得

第三十八條 道ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

道ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第三十九條 道ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第四十條 道ハ其ノ必要ナル費用及法律、勅令又ハ制令ニ依リ道ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第四十一條 道稅トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

一 國稅附加稅

二 特別稅

令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ道知事ハ朝鮮總督ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スベシ

第二十四條 道會ノ議決明ニ公益ヲ害シ又ハ道ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ道知事ハ其ノ意見ニ依リ又ハ朝鮮總督ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ道知事ハ朝鮮總督ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル道會ノ議決仍明ニ公益ヲ害シ又ハ道ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ道知事ハ其ノ意見ニ依リ又ハ朝鮮總督ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得但シ前項ノ規定ニ依リ更ニ再議ニ付スルコトヲ妨グズ

第二十五條 道會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ、會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキハ道知事ハ朝鮮總督ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スルコトヲ得前二條ノ規定ニ依リ道會ノ議決ヲ取消シタルトキ亦同ジ

第二十六條 道會ニ於テ議決スベキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ道會成立セザルトキ又ハ道知事ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ道知事ハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

第二十七條 前二條ノ規定ニ依ル處分ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ道會ニ報告スベシ

第二十八條 道知事ハ期日ヲ定メテ道會ノ停會ヲ命ズルコトヲ得

第二十九條 道會ノ權限ニ屬スル事件ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ道知事之ヲ專決處分スルコトヲ得

第三十條 道ニ有給ノ吏員ヲ置クコトヲ得

吏員ハ道知事ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

吏員ハ道知事ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

道ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ府邑面ニ分賦スルコトヲ得

第四十二條 道内ニ住所有スル者ハ道稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

三月以上道内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ道稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第四十三條 道内ニ住所有セズ又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖モ道内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、道内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ道内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル道稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第四十四條 納稅者ノ道外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ道外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ道稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

道ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メザルモノニ對シテ附加稅ヲ賦課スル場合及住所滞在道ノ内外ニ涉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シテ道稅ヲ賦課スル場合ニ付テハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四十五條 合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラルベキ道稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

相續人又ハ相續財團ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ被相續人ニ對シ其ノ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ道稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第四十六條 道ハ其ノ事業ノ爲特別ノ必要アルトキハ夫役又ハ現品ヲ道内一部ノ府邑面又ハ一部ノ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得

總督之ヲ定ム

第五十七條 道ハ朝鮮總督之ヲ監督ス

朝鮮總督ハ道ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十八條 道ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官吏ノ職權ニ依リ命ズル費用ヲ豫算ニ載セザルトキハ朝鮮總督ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

朝鮮總督ハ道ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得

第五十九條 朝鮮總督ハ道會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

道會解散ノ場合ニ於テハ三十日以内ニ議員ノ選舉及任命ヲ行フベシ但シ特別ノ事由アルトキハ朝鮮總督ハ其ノ期間ニ付特別ヲ設クルコトヲ得

第六十條 本令ニ規定スルモノノ外道ノ監督ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第六十一條 本令中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

附則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

(昭和八年朝鮮總督府令第十四號ヲ以テ昭和八年四月一日ヨリ施行)

朝鮮道地方費令ハ之ヲ廢止ス

道地方費ノ事務及財産ハ道之ヲ承繼ス

本令施行ノ際必要ナル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四十七條 道稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證書ヲ携帶スベシ

第四十八條 道稅其ノ他道ニ屬スル徵收金ハ國ノ徵收金ニ次デ先取特權ヲ有シ其ノ追徵及還付ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第四十九條 道稅、使用料及手数料ノ賦課徵收並ニ營造物ノ使用ニ關シテハ道知事ハ道會ノ議決ヲ經テ十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第五十條 本令ニ規定スルモノノ外道稅、夫役現品、使用料、手数料其ノ他本令ニ依ル徵收金及其ノ賦課徵收ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第五十一條 道ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、道ノ永久ノ利益ト爲ルベキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變ノ爲必要アル場合ニ限り道債ヲ起スコトヲ得

道ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ之ヲ償還スベシ

第五十二條 道ハ每會計年度歲入出豫算ヲ定ムベシ

道ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第五十三條 道費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スベキモノハ其ノ年間に各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第五十四條 道ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第五十五條 道ノ收入金及支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ收入金及支拂金ノ例ニ依ル

第五十六條 本令ニ規定スルモノノ外道ノ財産ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

○道制施行規則

昭和八年二月一日 朝鮮總督府令第十五號

改正 昭和九年第五九號、一〇年第一四號、一一年第一號

第一章 道ノ廢置、名稱及區域

第一條 道ノ廢置、名稱及區域ハ行政區劃タル道ノ廢置、名稱及區域ニ依ル

第二章 道會

第二條 道會議員ノ定數左ノ如シ

- 京畿道 四十二人
  - 忠清北道 二十一人
  - 忠清南道 二十五人
  - 全羅北道 三十人
  - 全羅南道 四十三人
  - 慶尙北道 四十五人
  - 慶尙南道 四十三人
  - 黃海道 三十人
  - 平安南道 二十七人
  - 平安北道 三十四人
  - 江原道 三十一人
  - 咸鏡南道 三十人
  - 咸鏡北道 二十一人
- 第三條 道會議員ノ選舉區ハ府郡島ノ區域ニ依ル但シ朝鮮總督ノ指定スル邑ニ在リテハ邑ノ區域ニ依ル

前項但書ノ場合ニ於テハ其ノ邑ノ屬スル郡島ノ區域ニ依ル選舉區ハ其ノ邑ノ區域ヲ除キタル區域ニ依ル

第四條 在選舉區ニ於テ選舉スベキ議員ノ數ハ道知事之ヲ配當ス

前項ノ議員ノ配當ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非ザレバ之ヲ變更セズ但シ第二條ノ定數ノ變更アリタルトキ、選舉區ノ廢置アリタルトキ又ハ道府郡島ノ區域變更アリタル場合ニ於テ道知事必要アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ議員ノ配當ヲ變更シタル場合ニ於テ選舉區ナキニ至リタル議員又ハ選舉區明ナラザルニ至リタル議員ノ選舉區ハ道知事之ヲ指定ス

第五條 道會議員ノ選舉ハ道知事ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選舉ヲ行フベキ選舉區、選舉ノ期日及選舉スベキ議員ノ數ヲ記載シ選舉ノ期日(第十三條ノ規定ニ依リ別ニ投票期日ヲ定ムル場合ニ於テハ投票期日)ヨリ少クトモ三十日前ニ之ヲ發スベシ

天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハザルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ道知事ハ其ノ選舉區又ハ投票區ニ付投票ヲ行フベキ期日ヲ定メ投票ノ期日ヨリ少クトモ七日前ニ之ヲ告示スベシ

第六條 府尹、郡守、島司又ハ選舉區タル邑ノ邑長ハ選舉長ト爲リ選舉ニ關スル事務ヲ擔任ス

第七條 郡島ノ區域(選舉區タル邑ヲ包含スル郡島ニ在リテハ其ノ邑ノ區域ヲ除キタル區域)ニ依ル選舉區ニ於テハ邑面ノ區域ヲ以テ投票區トス邑面長(選舉區タル邑ノ邑長ヲ除ク)ハ投票管理者ト爲リ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第八條 府尹邑面長ハ選舉會場又ハ投票所及投票時間ヲ定メ選舉期日(第

十三條ノ規定ニ依リ投票期日ヲ定メタル投票區ニ在リテハ投票期日)ヨリ少クトモ五日前ニ之ヲ告示スベシ

第五條第二項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ五日前トアルハ三日トス

第九條 選舉長ハ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ  
選舉長ハ其ノ選舉區内ニ於ケル選舉人中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スベシ

投票管理者ハ投票所ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ  
投票管理者ハ其ノ投票區内ニ於ケル選舉人中ヨリ二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スベシ

選舉立會人及投票立會人ハ名譽職トス  
第十條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ  
投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ投票時間内ニ選舉會場又ハ投票所ニ到リ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投票ヲ爲スベシ  
投票用紙ハ道知事ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フベシ

第十條ノ二 府會議員、邑會議員又ハ面協議員ハ選舉又ハ當選ノ取消アル迄、朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲ル迄、府制施行規則第二十八條第一項若ハ邑面制施行規則第二十八條第一項ノ決定確定シ又ハ府制施行規則第二十八條第二項若ハ邑面制施行規則第二十八條第二項ノ申立ニ對シ決定アル迄ハ道會議員ノ選舉ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第十一條 投票管理者ハ投票錄ヲ作り投票ニ關スル願末ヲ記載シ投票立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

第十二條 投票管理者ハ自ラ投票ノ翌日迄ニ投票及投票錄ヲ郡守又ハ島司

ニ送致スベシ

第十三條 島嶼其ノ他交通不便ノ投票區ニ付テハ道知事ハ適宜ニ其ノ投票期日ヲ定メ選舉期日ノ翌日迄ニ其ノ投票及投票錄ヲ送致セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第五條第一項ノ告示中ニ併セテ其ノ投票區及投票期日ヲ記載スベシ

第十四條 選舉長ハ總テノ投票ノ送致ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日選舉會ヲ開キ開票ヲ行フベシ但シ府及選舉區タル邑ニ在リテハ投票ノ日開票ヲ行フベシ

第十五條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ
- 二 道會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
- 五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ
- 七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セザルモノ

第十六條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スベシ

第十七條 道會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ八年長者ヲ取り年齢同ジキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムベシ

選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル者ハ當選者ト爲ルコトヲ得ズ

第十八條 當選者選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ第三十條第一項ノ規定ヲ準用ス但シ道知事トアルハ選舉長トス

當選者選舉期日後ニ於テ道制第十條ノ規定ニ依リ道會議員ヲ命ゼラレタルトキハ其ノ當選ヲ失フ

第十九條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スベシ  
選舉錄及投票錄ハ投票其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間之ヲ保存スベシ

第二十條 當選者定マリタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫及投票區アル選舉區ニ在リテハ投票錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ道知事ニ報告スベシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫及投票區アル選舉區ニ在リテハ投票錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ道知事ニ報告スベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ選舉長ヲ經テ道知事ニ申立ツベシ  
一人ニシテ數選舉區ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ當選ヲ辭スベキカラ選舉長ヲ經テ道知事ニ申立ツベシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テザルトキハ道知事抽籤シテ之ヲ定メ告示スベシ

當選者ニ付第二十二條ノ規定ニ依ル道知事ノ告示アリタルトキハ其ノ當選者ハ更ニ他ノ選舉區ニ於テ當選者ト爲ルコトヲ得ズ  
官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受タルニ非ザレバ之ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ノ官吏當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ選舉長ヲ經テ之ニ應ズベキ旨ヲ道知事ニ申立テザルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

道ニ對シ又ハ道ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付道知事若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非ザレバ當選ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ニ規定スル者第二項ノ期限前ニ選舉長ヲ經テ其ノ旨ヲ道知事ニ申立テザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第七項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準ズベキ者並ニ清算人ヲ謂フ

第二十一條 當選者當選ヲ辭シタルトキ、當選ヲ失ヒタルトキ又ハ死亡シタルトキハ選舉長ハ直ニ之ヲ補フベキ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第十七條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 第二十條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條第三項ノ規定ニ依リ當選ニ應ズベキ選舉區定マリタルトキ又ハ同條第六項ノ申立アリタルトキハ道知事ハ直ニ當選者ノ住所及氏名並ニ其ノ選舉區ヲ告示スベシ

第二十三條 選舉ノ規定ニ違反ノ事實アルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ズル虞アル場合ニ限リ道知事ハ選舉ノ全部若ハ一部又ハ當選ヲ取消スベシ  
前項ノ規定ニ依リ選舉ヲ取消シタル場合ニ於テ當選ニ異動ヲ生ズル虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限リ當選ヲ失フコトナシ

選舉ノ規定ニ違反ノ事實アリト認ムルトキハ選舉ノ結果ニ關係アル者ハ第二十條第一項ノ告示アリタル日ヨリ十日以内ニ其ノ事由ヲ道知事ニ申立テ第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ求ムルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依ル處分ハ第二十條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ前項ノ申立アリタルニ依リ處分ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條 道知事選舉又ハ當選ヲ取消シタルトキハ直ニ之ヲ告示スベシ  
朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ道知事ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十五條 當選ノ取消アリタルトキ又ハ選舉ノ日ヨリ一年以内ニ於テ朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ選舉長ハ直ニ之ヲ補フベキ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第十七條ノ規定ヲ準用ス

第二十六條 當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ若ハ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ更ニ選舉ヲ行フベシ

第二十七條 選舉ノ日ヨリ一年ヲ過ギ朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ道知事ハ直ニ之ヲ告示スベシ

當選無効ト爲リタルトキハ道知事ハ直ニ之ヲ告示スベシ  
選舉ノ日ヨリ一年以内ニ於テ朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタル場合同一人ニ關シ議員失職又ハ辭任ニ因リ第五條第一項ノ告示ヲ發シタル後ナルトキハ其ノ議員ノ失職又ハ辭任ノ時議員關員ト看做シ第二十五條ノ規定ヲ適用セズ

第二十八條 選舉ニ依ル道會議員中關員ヲ生ジタル場合ニ於テ道知事必要アリト認ムルトキハ補選ヲ行フベシ

第二十九條 道知事道制第十條ノ規定ニ依リ道會議員ヲ命ジタルトキハ直ニ其ノ住所及氏名ヲ告示スベシ

第三十條 道會議員被選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ第二十條第七項ニ掲グル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第二十條第七項ニ掲グル者ニ該當スルヤ否ハ議員ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セザル場合ヲ除クノ外道知事之ヲ決定スベシ  
一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ  
二 破產者ト爲リタルトキ  
三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

議員前項ノ規定ニ依リ其ノ職ヲ失ヒタルトキハ道知事ハ其ノ住所及氏名ヲ告示スベシ議員死亡シタルトキ、職ヲ辭シタルトキ又ハ解任セラレタルトキ亦同ジ

第三十一條 道會議員ハ選舉又ハ當選ノ取消アル迄、朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲ル迄又ハ前條第一項ノ決定アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第三十二條 道知事及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第三十三條 道會ハ道知事之ヲ招集ス  
道會ノ招集ハ會期ヲ定メ會議ノ事件ト共ニ開會ノ日ヨリ少クトモ十四日前ニ之ヲ告示スベシ但シ急施ヲ要スル場合ハ其ノ期限ヲ短縮スルコトヲ得  
道知事必要アリト認ムルトキハ期限ヲ定メ道會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得

得此ノ場合ニ於テハ道知事ハ之ヲ告示スベシ  
道會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ道知事ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

道會ハ道知事之ヲ開閉ス  
第三十四條 道會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ

第三十五條 道會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル  
議員ハ議長ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之ガ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハズ

第三十六條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子、孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ道會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第三十七條 道會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ノ定ムル所ニ依リ會議規則ニ其ノ定ナキトキハ道會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第三十八條 道會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
一 議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁止シタルトキ  
二 議員三人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項第二號ノ議員ノ發議ハ討論ヲ須ヒズ其ノ可否ヲ決スベシ  
第三十九條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス  
第四十條 會議中本令又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハザルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシムルコトヲ得

第十四條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲

ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ

於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十二條 議長ハ會議録ヲ調整シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載ス

ベシ

會議録ハ議長及出席議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ道

會ニ於テ之ヲ定ムベシ

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ道知事ニ報告スベシ

第四十三條 道制第二十三條又ハ同令第二十四條ノ規定ニ依リ爲シタル議

決又ハ選舉ノ取消處分ハ道會開會中ニ非ザルトキハ道知事ハ直ニ之ヲ告

示スベシ

第四十四條 道知事道會ノ停會ヲ命ジタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且朝

鮮總督ニ報告スベシ

第三章 道稅其ノ他道ノ收入

第四十五條 道ハ左ノ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得

一 地稅附加稅

二 第一種所得稅附加稅

三 營業稅附加稅

四 取引所稅附加稅

五 鑛稅附加稅

附加稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ之ヲ賦課スベシ

第四十六條 道ハ左ノ特別稅ヲ賦課スルコトヲ得

一 戶別稅

二 家屋稅

三 林野稅

四 特別所得稅

五 屠畜稅

六 漁業稅

七 車輛稅

八 不動產取得稅

九 特別必要アル場合ニ於テハ前項ニ規定スル制限ヲ超過シテ賦課スルコ

トヲ得

第四十八條 道稅ノ稅目、稅率及賦課ノ方法ハ道會ノ議決ヲ經朝鮮總督ノ

認可ヲ受ケ道知事之ヲ定ム

第四十九條 道ハ臨時少額ノ費用ノ爲ニ賦課徵收ヲ爲スヲ要スル場合ニ

於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ當該年度ノ道稅既定豫算額ノ十分ノ一ノ範

圍内ニ於テ其ノ費用ヲ府邑面ニ分賦スルコトヲ得

第一編 地方制度 第四章 殖民地 朝鮮 道制施行規則

第五十條 削除

第五十一條 道知事ハ道稅賦課ノ細目ニ係ル事項ニ付道會ノ議決ヲ經テ關

係府邑面ヲシテ之ヲ定メシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ府邑面ニ於テ定ムベキ事項ニ付テハ府尹邑面長ハ府會

邑會ノ議ニ付シ又ハ面協議會ニ諮問スベシ

第五十二條 相續人又ハ相續財團ハ被相續人ニ對シ相續開始前ノ事實ニ付

賦課セラルベキ道稅ヲ納ムル義務ヲ負フ但シ戶主ノ死亡以外ノ原因ニ依

リ家督相續又ハ之ニ準ズベキ相續ノ開始アリタルトキハ被相續人モ亦之

ヲ納ムル義務ヲ負フ

國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得

タル財產ヲ限度トシテ前項ノ義務ヲ負フ

第五十三條 國又ハ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地家屋物

件及營造物ニ對シテハ道稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ有料ニテ之ヲ使用

セシムル者及土地使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

國ニ對シテハ道稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並ニ教會所說教所ノ用

ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ道稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ有

料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツル者ニ

對シテハ此ノ限ニ在ラズ

墓地並ニ外國政府ノ所有ニ屬スル領事館及其ノ敷地ニ對シテハ道稅ヲ賦

課スルコトヲ得ズ

直接營業ノ用ニ供スル建物ニ對シテハ道稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ有

料ニテ之ヲ使用セシムル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

第五十三條ノ二 道ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスル場合

ニ對シテハ道知事ハ之ヲ免除スルコトヲ得

第四八五

（台四）

（台四）



ニ於テハ道税ヲ賦課セザルコトヲ得

第五十四條 永代借地及其ノ上ニ在ル建物ニ對シテハ其ノ借地料ヨリ國稅ヲ控除シタル殘額ガ道稅額ニ等シキトキ又ハ之ヲ超過スルトキハ道稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

借地料ヨリ國稅ヲ控除シタル殘額ガ道稅ヨリ少キトキハ其ノ差額ヲ道稅トシテ賦課スルコトヲ得

第五十五條 夫役又ハ現品ハ特別ノ必要アルトキニ限り道會ノ議決ヲ經朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ賦課スルコトヲ得但シ急迫ノ場合ニ賦課スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ズ  
夫役又ハ現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外金額ニ算出シテ賦課スベシ  
夫役ヲ賦課セラレタル者ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役又ハ現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得  
急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役又ハ現品ノ履行ヲ爲サザルトキハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ納付ヲ命ズベシ

夫役又ハ現品賦課ノ細目ニ係ル事項ニ付テハ第五十一條ノ規定ヲ準用ス

第五十六條 使用料又ハ手数料ノ新設又ハ變更ニ關スル事項ハ道會ノ議決ヲ經朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ道知事之ヲ定ム

第五十七條 道知事ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ道稅ヲ減免シ又ハ納稅ノ延期ヲ許スコトヲ得

第五十八條 府邑面ハ道知事ノ指定シタル道稅ヲ除クノ外其ノ府邑面内ノ道稅ヲ徵收シ之ヲ道ニ納入スルノ義務ヲ負フ  
前項ノ道稅徵收ノ費用ハ府邑面ノ負擔トシ道ニ納入シタル税金ノ百分ノ

前項ノ申請ヲ受ケタルトキハ道知事ハ其ノ事實ヲ審査シ道會ノ議決ヲ經テ之ヲ決定スベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ朝鮮總督ニ申立ツルコトヲ得

第六十四條 道稅ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國稅徵收法第四條ノ一、第四條ノ三乃至第四條ノ八及國稅徵收令施行規則第十條第一項ノ規定ヲ準用ス

第六十五條 道稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ納稅告知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ道知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ使用料、手数料、過料ノ徵收並ニ夫役及現品ノ賦課ニ關シ之ヲ準用ス第四十九條ノ規定ニ依ル費用ノ分賦ニ付亦同ジ

前二項ノ異議ノ申立アリタルトキハ道知事ハ十四日以内ニ之ヲ決定スベシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ朝鮮總督ニ申立ツルコトヲ得

第六十六條 本章ニ規定スルモノノ外道稅其ノ他道ノ收入ノ徵收ニ關シ必要ナル事項ハ道知事之ヲ定ム

第四章 道ノ財務

第六十七條 道知事ハ毎會計年度道稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入出豫算ヲ調製シ年度開始前道會ノ議決ヲ經ベシ  
豫算ヲ道會ニ提出スルトキハ道知事ハ併セテ財産表ヲ提出スベシ

第六十八條 特別會計ニ屬スル歲入歲出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スベシ  
第六十九條 歲入出豫算ハ經常臨時ノ二部ニ分ツベシ  
歲入出豫算ハ之ヲ款項ニ區分シ且必要アルモノハ項ニ其ノ内譯ヲ附スベシ

三ニ相當スル金額ヲ其ノ府邑面ニ交付ス

第五十九條 府邑面ノ徵收スル道稅ヲ徵收セントスルトキハ道知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏員ハ府邑面ニ對シ納額通知書ヲ發シ府邑面長ハ納額通知書ニ依リ納稅告知書ヲ調製シ之ヲ納稅者ニ交付スベシ

前項ノ道稅以外ノ道稅ヲ徵收セントスルトキハ道知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏員ハ直ニ納稅者ニ對シ納稅告知書ヲ發スベシ但シ第六十一條ノ規定ニ依リ徵收セシムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

使用料、手数料其ノ他ノ收入ヲ徵收セントスルトキハ道知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏員ニ於テ納入告知書ヲ發スベシ但シ即納ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

道知事ノ指定シタル使用料、手数料其ノ他ノ收入ハ其ノ道ニ於テ發行スル收入證紙ヲ以テ納付セシムルコトヲ得

第六十條 道知事ハ府邑面ヲシテ道稅以外ノ收入ヲ徵收セシムルコトヲ得  
此ノ場合ニ於テハ第五十八條第二項及前條第一項ノ規定ヲ準用ス

第六十一條 道ハ朝鮮總督ノ指定シタル道稅ニ付テハ其ノ徵收ノ便宜ヲ有スル者ヲシテ之ヲ徵收セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ徵收義務者ハ徵收スベキ道稅ヲ道知事ノ指定シタル期日迄ニ拂込ムベシ

第六十二條 第五十八條第二項ノ規定ハ前條第一項ノ規定ニ依リ道稅ヲ徵收セシムル場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條 府邑面又ハ第六十一條第一項ノ規定ニ依リ徵收義務者ハ避クベカラザル災害ニ因リ既收ノ徵收金ヲ失ヒタルトキハ其ノ事實ヲ證明シ徵收金納入義務ノ免除ヲ道知事ニ申請スルコトヲ得

第七十條 道ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クベシ

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケザルコトヲ得

豫備費ハ道會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ズ

第七十一條 道知事ハ道會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

豫算ハ年度經過後ニ於テ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得ズ

第七十二條 道知事豫算ノ議決ヲ經タルトキハ直ニ之ヲ朝鮮總督ニ報告シ其ノ要領ヲ告示スベシ

第七十三條 歲入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル  
一 納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度  
二 隨時ノ收入ニシテ納稅告知書又ハ納入告知書ヲ發スルモノハ之ヲ發シタル日ノ屬スル年度  
三 隨時ノ收入ニシテ納稅告知書又ハ納入告知書ヲ發セザルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ道債、補助金、寄附金其ノ他之ニ類スル收入ニシテ其ノ收入ヲ豫算シタル年度ノ出納閉鎖前ニ領收シタルモノハ其ノ豫算ノ屬スル年度

第七十四條 歲出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル  
一 費用辨償、俸給、給料、旅費、其ノ他ノ給與、傭人料ノ類ハ其ノ支給スベキ事實ノ生ジタル日ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキハ其ノ支

拂期日ノ屬スル年度

- 三 道債ノ元利金ニシテ支拂期日ノ定アルモノハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
- 四 補助金、寄附金、負擔金ノ類ハ其ノ支拂ヲ豫算シタル年度
- 五 缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度
- 六 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命長ヲ發シタル日ノ屬スル年度

第七十五條 各年度ノ經費ハ其ノ年度ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨スベシ

年度經過後ニ至リ歳入ヲ以テ歳出ニ充ツルニ足ラザルニ至リタルトキハ翌年度ノ歳入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ充用ヲ要スル額ヲ翌年度ノ歳入出豫算ニ編入スベシ

第七十六條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ズ

第七十七條 支出ヲ爲サントスルトキハ道金庫ニ對シ支拂命令ヲ發行スベシ

支拂命令ハ道知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏員之ヲ發行ス

第七十八條 支出ハ債主又ハ其ノ代理人ニ對スルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第七十九條 左ノ經費ニ付テハ道ノ官吏員ヲシテ現金支拂ヲ爲サシムル爲現金ヲ之ニ前渡スルコトヲ得

- 一 道債ノ元利支拂
  - 二 人夫賃其ノ他小額多數人ニ即金拂ヲ要スル經費
  - 三 道金庫所在地外ニ於テ支拂ヲ爲ス經費
- 特別ノ必要アルトキハ前項ノ現金前渡ハ道ノ官吏員以外ノ者ニ之ヲ爲スコトヲ得

第八十條 旅費及訴訟費用ニ付テハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第八十一條 前二條ニ掲グルモノノ外必要アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ現金ノ前渡又ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第八十二條 前金支拂ニ非ザレバ購入又ハ借入等ノ契約ヲ爲シ難キモノニ付テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第八十三條 歳入ノ課納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歳入ヨリ支拂フベシ

歳出ノ課拂過渡ト爲リタル金額、現金前渡、概算拂、前金拂及繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スベシ

第八十四條 道ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

道知事ハ前項ノ規定ニ拘ラズ出納吏ノ收入支出ノ閉鎖ニ付別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第八十五條 道知事ハ出納閉鎖後三月以内ニ決算ヲ調製シ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ道會ニ報告スベシ

決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ附スベシ

決算ハ其ノ報告ニ關スル道會ノ議決ト共ニ之ヲ朝鮮總督ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

第八十六條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歳入歳出ト爲スベシ第八十三條ノ拂戻金、戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同ジ

第八十七條 各年度ニ於テ歳計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ編入スベシ

第八十八條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄逐次繰越使用スルコトヲ得

第八十九條 出納吏ノ保管ニ屬スル現金及帳簿ハ道知事ニ於テ検査員ヲ命

ジ毎年度一回以上之ヲ検査セシムベシ

出納吏ニ異動アリタルトキハ道知事ハ検査員ヲシテ現金及帳簿ヲ検査セシムベシ

第九十條 道ニ屬スル現金ノ出納及保管ヲ爲道金庫ヲ置ク

金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムベキ銀行ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ道知事之ヲ定ム

第九十一條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ノ保管スル現金ハ道ノ歳入歳出ニ

屬スルモノニ限り支出ニ妨ゲナキ限度ニ於テ道知事ハ其ノ運用ヲ許スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ハ道知事ノ定ムル所ニ依リ利子ヲ道ニ納ムベシ

第九十二條 道知事ハ検査員ヲ命ジ定期及臨時ニ道金庫ノ現金及帳簿ヲ檢

査セシムベシ

第九十三條 本章ニ規定スルモノノ外道ノ財務ニ關シ必要ナル事項ハ道知

事之ヲ定ム

第五章 出納吏及吏員ノ賠償責任及身元保證

第九十四條 出納吏其ノ管掌ニ屬スル現金、證券其ノ他ノ財産ヲ亡失又ハ

毀損シタルトキハ道知事ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムベシ但シ避クベカラザル事故ニ原因シタルトキ又ハ他ノ者ノ使用ニ供シタル場合ニ於テ合規ノ監督ヲ怠ラザリシトキハ道會ノ議決ヲ經テ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スベシ

第九十五條 出納吏以外ノ吏員其ノ職務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケ故意

又ハ怠慢ニ因リ之ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ道知事ハ期間ヲ指定シ其

ノ損害ヲ賠償セシムベシ

第九十六條 前二條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ付不服アルトキハ處分アリタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ朝鮮總督ニ申立ツルコトヲ得

第九十七條 賠償金ノ徵收ニ關シテハ道稅ノ例ニ依ル

第九十八條 出納吏ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認ムルトキハ道知事ハ其ノ種類、價格、程度其ノ他必要ナル事項ヲ定ムベシ

第六章 道ノ監督

第九十九條 左ニ掲グル事件ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一 道債ヲ起シ或ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ借入額ノ減少、利息ノ定率ノ低減、償還年限ノ短縮若ハ繰上償還ヲ爲シ又ハ既定ノ償還年限ヲ延長セズシテ低利ノ借替ヲ爲ス場合ヲ除ク

二 基本財産ノ處分ニ關スルコト

三 積立金等ノ設置ノ目的外ノ處分ニ關スルコト

四 不動産ノ處分ニ關スルコト但シ公用又ハ公共ノ用ニ供スル場合ヲ除ク

五 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

六 吏員ノ退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料及其ノ支給方法ヲ定ムルコト

七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト

第一百條 道制第五十九條第二項ノ期間内ニ選舉ヲ行ヒ難キ特別ノ事由アルトキハ道知事ハ朝鮮總督ノ指揮ヲ請ヒ其ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第一百一條 朝鮮總督ハ其ノ認可ヲ要スル事件ニ付申請ノ趣旨ニ反セズト認

ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコトヲ得  
朝鮮總督ハ其ノ認可ヲ要スル事件中輕易ナルモノニ限り認可ヲ受ケシメ  
ザルコトヲ得

第七章 雜則

第二百二條 退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給與ニ付關  
係者ニ於テ異議アルトキハ其ノ處分アリタル日ヨリ六月以内ニ之ヲ通知  
事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ道知事ハ遲滞ナク之ヲ決定スベシ

關係者前項ノ決定ニ不服アルトキハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十  
日以内ニ之ヲ朝鮮總督ニ申立ツルコトヲ得

第二百三條 異議又ハ不服ノ申立及之ニ對スル決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スベ  
シ

異議又ハ不服ノ申立ハ其ノ處分又ハ決定ヲ爲シタル行政廳ヲ經由スベ  
シ

第一項ノ規定ハ第二十二條第二項、第三項、第六項又ハ第八項ノ規定ニ依  
ル申立ニ之ヲ準用ス

第一項及第二項ノ規定ハ第二十三條第三項ノ規定ニ依ル處分ヲ求ムル申  
立及之ニ對スル決定ニ付之ヲ準用ス

第二百四條 出納吏及吏員ノ事務引繼ニ關シ必要ナル規定ハ道知事之ヲ定ム

第二百五條 本令中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

附則

本令ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮道地方費令施行規則ハ之ヲ廢止ス

道制施行ノ際現ニ道地方費ニ屬スル事務及負擔ハ道制施行後ハ道ニ屬スル

事務及負擔トス

附則 (昭和九年朝鮮總督府令第五九號)

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年度分ニ限り第四十七條第一項第一號ノ改正規定中地稅ノ百分ノ八  
十トアルハ地稅ノ百分ノ七十五、地稅ノ百分ノ六十八トアルハ地稅ノ百分  
ノ六十四トス

○道制ノ施行ニ關スル件

昭和八年二月一日 朝鮮總督府令第十七號

第一條 道地方費ノ事務又ハ財産ニ關シ道知事ノ定メタル從前ノ規程ハ道  
制又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ抵觸セザル限度ノ事務又ハ財産ニ關シ道  
知事ノ定メタルモノト看做ス其ノ規程中道地方費又ハ地方費トアルハ  
道、地方稅トアルハ道稅トス

第二條 朝鮮道地方費令又ハ朝鮮道地方費令施行規則ニ依リ爲シタル手續  
其ノ他ノ行爲ハ道制又ハ道制施行規則中之ニ該當スル規定アル場合ニ於  
テハ之ヲ道制又ハ道制施行規則ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第三條 道制施行ノ際現ニ道地方費吏員ノ職ニ在ル者ハ引續キ其ノ道ノ吏  
員ヲ命ゼラレタルモノト看做ス

第四條 昭和七年度道地方費ノ收入支出及其ノ出納閉鎖期ニ付テハ仍從前  
ノ規定ニ依ル

第五條 道知事ハ昭和七年度道地方費ノ出納閉鎖後三月以内ニ決算ヲ調製  
シ之ヲ朝鮮總督ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

前項ノ決算ハ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ道知事之ヲ道會ニ提示スベ

附則

本令ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○府制

昭和五年十二月一日 制令第十一號

府制改正ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ  
茲ニ之ヲ公布ス

府制左ノ通改正ス

府制

第一條 府ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及  
法令ニ依リ府ニ屬スル事務ヲ處理ス

第二條 府ノ廢置、名稱及區域ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三條 府ノ廢置又ハ區域變更ノ場合ニ於テ處分ヲ要スル財産アルトキハ  
其ノ處分ハ關係アル府會、教育都會、邑會、而協議會、學校評議會及學  
校組合會ノ意見ヲ徵シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ道知事之ヲ定ム

第四條 府ノ廢置又ハ區域變更ノ場合ニ於テ府ノ事務ニ付必要ナル事項ハ  
本令ニ規定スルモノノ外朝鮮總督之ヲ定ム

第五條 府内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ府住民トス

府住民ハ本令ニ依リ府ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ府ノ負擔ヲ分任ス  
ル義務ヲ負フ

第六條 府ハ府住民ノ權利義務又ハ府ノ事務ニ關シ府條例ヲ設クルコトヲ  
得

府條例ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スベシ

第七條 府ニ府會ヲ置キ議長及府會議員ヲ以テ之ヲ組織ス

議長ハ府尹ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 府會議員ハ之ヲ選舉ス

議員ノ定數左ノ如シ

一 人口三萬未満ノ府 二十四人

二 人口三萬以上五萬未満ノ府 二十七日

三 人口五萬以上十萬未満ノ府 三十人

四 人口十萬以上ノ府 三十三人

人口十萬ヲ超ユル府ニ於テハ人口五萬ヲ加フル毎ニ議員三人ヲ增加ス

前二項ノ人口ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非ザレバ之ヲ増減セズ但シ著シク人口  
ノ増減アリタル場合ニ於テ朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在  
ラズ

内地人議員及朝鮮人議員ノ數ハ何レモ議員定數ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ  
得ズ但シ議員ヲ生ジタル場合ニ於テ次ノ補選選舉ヲ行フ迄ノ間ハ此ノ限  
ニ在ラズ

第九條 帝國臣民タル年齢二十五年以上ノ男子ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ一  
年以來府住民ト爲リ且一年以來朝鮮總督ノ指定シタル府稅年額五圓以上  
ヲ納ムル者ハ其ノ府ニ於テ府會議員ノ選舉權ヲ有ス但シ左ニ掲グル者ハ  
此ノ限ニ在ラズ

一 禁治產者及準禁治產者

二 破產者ニシテ復權ヲ得ザル者

三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

五 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未ダ入營セザル者及歸休下士官兵ヲ除ク)又ハ戰時事變ニ際シ召集中ノ者並ニ志願ニ依リ國民軍ニ編入中ノ者

選舉權ヲ有スル者府稅滯納處分中ハ選舉權ヲ行使スルコトヲ得ズ

第一項ニ規定スル一年ノ期間ハ府邑面ノ廢置又ハ區域變更ノ爲中斷セラレルコトナシ此ノ場合ニ於テ新ニ府ノ區域ト爲リタル地域ニ於テ負擔シタル邑面制第九條第一項ニ規定スル邑面稅及學校費賦課金又ハ學校組合費ハ之ヲ第一項ニ規定スル府稅ト看做ス

第十條 府會議員ノ選舉權ヲ有スル者ハ被選舉權ヲ有ス但シ左ニ掲グル者ニシテ在職中ノモノ及前條第二項ニ規定スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一 所屬道及當該府ノ官吏及有給吏員

二 判事、檢事及警察官吏

三 小學校及普通學校ノ教員

第十一條 府會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十二條 府會議員中開員ヲ生ジタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ補選選舉ヲ行フベシ

一 開員ノ數議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ

二 內地人議員又ハ朝鮮人議員ノ數第八條第六項ニ規定スル最少員數ノ六分ノ五ニ滿テザルニ至リタルトキ

三 府尹必要アリト認ムルトキ

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲選舉ヲ行フ場合ニ於テ議員中開員アルトキハ併セテ補選選舉ヲ行フベシ

第十三條 府會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ノ外府ニ關スル左ノ事件ヲ議決ス但シ特別經濟ニ關スル事件ハ此ノ限ニ在ラズ

一 府條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 歲入出豫算ヲ定ムルコト

三 決算報告ニ關スルコト

四 法令ニ規定スルモノヲ除クノ外府稅、夫役現品、使用料又ハ手数料ノ賦課徵收ニ關スルコト

五 府債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ第四十九條第二項ノ借入金ヲ除ク

六 基本財産及積立金等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト

七 不動産ノ管理及處分ニ關スルコト

八 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

九 特別會計ヲ設クルコト

十 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト

十一 訴訟及和解ニ關スルコト

府尹必要アリト認ムルトキハ前項各號ニ掲グル事件ノ外府ニ關スル事件ヲ府會ノ議決ニ付スルコトヲ得

第二十三條 府尹ハ吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

第二十四條 府會又ハ教育部會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ府尹ハ其ノ意見ニ依リ又ハ道知事ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ府尹ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

第二十五條 府會又ハ教育部會ノ議決明ニ公益ヲ害シ又ハ府ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ府尹ハ其ノ意見ニ依リ又ハ道知事ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ府尹ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル府會又ハ教育部會ノ議決又ハ選舉仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ府尹ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スベシ

第二十六條 府會又ハ教育部會成立セザルトキ、召集ニ應ゼザルトキ、會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキハ府尹ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スルコトヲ得前二條ノ規定ニ依リ府會又ハ教育部會ノ議決ヲ取消シタルトキ亦同ジ

第二十七條 府會又ハ教育部會ニ於テ議決スベキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ府會若ハ教育部會成立セザルトキ又ハ府尹ニ於テ之ヲ招

第十四條 府會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フベシ

第十五條 府會ハ府ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得但シ特別經濟ニ關スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

府會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ前項ニ規定スル府會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

第十六條 府會ハ府ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ府尹其ノ他ノ關係官ニ提出スルコトヲ得

第十七條 府會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スベシ

府會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スベキ場合ニ於テ府會成立セズ、召集ニ應ゼズ若ハ意見ヲ答申セズ又ハ府會ヲ召集スルコト能ハザルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タズ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第十八條 府會ハ議員中ヨリ副議長一人ヲ選舉スベシ

副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第十九條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長及副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スベシ

前項ノ假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同ジキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 府會ハ會議規則ヲ設クベシ

第二十一條 本令ニ規定スルモノノ外府會、府會議員並ニ府會議員ノ選舉及其ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二十二條 府尹ハ府ヲ統轄シ府ヲ代表ス

府尹ハ府會又ハ教育部會ノ議決ヲ經ベキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ其ノ議決ヲ執行シ其ノ他府ノ事務ヲ擔任ス

集スルノ暇ナシト認ムルトキハ府尹ハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

第二十八條 前二條ノ規定ニ依ル處分ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ府會又ハ教育部會ニ報告スベシ

第二十九條 府會又ハ教育部會ノ權限ニ屬スル事件ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ府尹之ヲ專決處分スルコトヲ得

第三十條 府ニ吏員ヲ置クコトヲ得

吏員ハ有給トス但シ府條例ノ定ムル所ニ依リ名譽職ト爲スコトヲ得

吏員ハ府尹之ヲ任免ス

吏員ハ府尹ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第三十一條 府ニ出納吏ヲ置キ官吏又ハ吏員ノ中ヨリ府尹之ヲ命ズ出納吏ハ出納事務ヲ掌ル

第三十二條 官吏ノ府ノ行政ニ關スル職務關係ハ本令中別段ノ定アル場合ヲ除クノ外國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル

第三十三條 吏員ノ服務紀律並ニ出納吏及吏員ノ賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三十四條 府會議員及名譽職吏員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

名譽職吏員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

費用辨償額及其ノ支給方法ハ府條例ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第三十五條 有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ府條例ヲ以テ之ヲ定ムベシ

有給吏員ニハ府條例ノ定ムル所ニ依リ退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第三十六條 收益ノ爲ニスル府ノ財産ハ基本財産トシテ之ヲ維持スベシ

府ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産又ハ積立金等ヲ設クルコトヲ得

第三十七條 府ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

府ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第三十八條 府ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 府ハ其ノ必要ナル費用及法令ニ依リ府ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

府ハ其ノ財産ヨリ生ズル收入、使用料、手数料其ノ他府ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ府稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第四十條 府稅トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

一 國稅及道稅ノ附加稅

二 特別稅

第四十一條 三月以上府内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ廻リ府稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第四十二條 府内ニ住所ヲ有セズ又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖モ府内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、府内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ府内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル府稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第四十三條 納稅者ノ府外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ府外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

府ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對

スル本稅ヲ分別シテ納メザルモノニ對シ附加稅ヲ賦課スル場合及住所滞在府ノ内外ニ渉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シ府稅ヲ賦課スル場合ニ付テハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四十四條 合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラレベキ府稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

相續人又ハ相續財團ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ被相續人ニ對シ其ノ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラレベキ府稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第四十五條 府稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

第四十六條 府稅其ノ他府ニ屬スル徵收金ハ道ノ徵收金ニ次デ先取特權ヲ有シ其ノ追徵及還付ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第四十七條 府稅、使用料、手数料及營造物ノ使用方法ニ關スル事項ニ付テハ法令ニ規定アルモノヲ除クノ外府條例ヲ以テ之ヲ定ムベシ其ノ府條例中ニハ十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第四十八條 本令ニ規定スルモノノ外府稅、夫役現品、使用料、手数料其ノ他本令ニ依ル徵收金及其ノ賦課徵收ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四十九條 府ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、府ノ永久ノ利益ト爲ルベキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變ノ爲必要アル場合ニ限り府債ヲ起スコトヲ得

府ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ之ヲ償還スベシ

第五十條 府ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ定ムベシ

府ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第五十一條 府費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スベキモノハ其ノ年間に各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第五十二條 府ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第五十三條 府ノ收入金及支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ收入金及支拂金ノ例ニ依ル

第五十四條 本令ニ規定スルモノノ外府ノ財務ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第五十五條 府ノ經濟中内地人教育ヲ目的トスルモノト朝鮮人教育ヲ目的トスルモノトハ各之ヲ特別經濟トシ一般經濟ヨリ分別ス

特別經濟ノ費用ハ其ノ特別經濟ニ屬スル財產ヨリ生ズル收入、使用料、手数料其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充テ仍不足アルトキハ府稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

特別經濟ニ屬スベキ費用中特ニ必要アルモノハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ一般經濟ニ於テ之ヲ支辨スルコトヲ得

第五十六條 前條第二項ノ府稅及夫役現品ハ内地人教育ヲ目的トスル特別經濟ニ在リテハ之ヲ内地人ニ、朝鮮人教育ヲ目的トスル特別經濟ニ在リテハ之ヲ朝鮮人ニ賦課ス

第五十七條 特別經濟ニ關スル事件ヲ議決セシムル爲第一教育部會及第二教育部會ヲ置キ第一教育部會ハ議長及内地人タル府會議員ヲ以テ、第二教育部會ハ議長及朝鮮人タル府會議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第一教育部會及第二教育部會ノ議長ハ府尹ヲ以テ之ニ充ツ

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制

四九五

第一教育會ハ内地人教育ヲ目的トスル特別經濟ニ關スル事件ヲ、第二教育會ハ朝鮮人教育ヲ目的トスル特別經濟ニ關スル事件ヲ議決ス

第六十條 府ハ第一次ニ於テ道知事、第二次ニ於テ朝鮮總督之ヲ監督ス 監督官廳ハ府ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第六十二條 朝鮮總督ハ府會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得 府會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ノ選舉ヲ行フベシ但シ特別ノ事由アルトキハ朝鮮總督ハ其ノ期間ニ付特例ヲ設クルコトヲ得

第六十四條 本令ニ規定スルモノノ外府ノ監督ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム 第六十五條 本令中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

附則 本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス 道制施行ノ日迄ハ第四十條中道稅トアルハ地方稅、第四十六條中道ノ徵收金トアルハ道地方費ノ徵收金トス

本令施行ノ際必要ナル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

○朝鮮總督府令第六十九號(昭和五年九月十一日) 府制第二條第一項ノ規定ニ依リ左ノ通府ヲ置ク

開城府 咸興府 前二項ノ府ノ區域ハ各行政區劃タル府ノ區域ニ依ル

附則 本令ハ昭和五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○府制施行規則

昭和五年十二月二十九日 朝鮮總督府令第四百四號

改正 昭和七年第一〇號、九年第六〇號、一〇年第一五號、一一年第二號

第一章 府ノ廢置、名稱及區域

第一條 府ノ廢置、名稱及區域ハ行政區劃タル府ノ廢置、名稱及區域ニ依ル

第二章 府會及教育會

第二條 府會議員ノ定數ヲ定ムル標準タル府ノ人口ハ朝鮮總督府官報ヲ以テ公示シタル最近ノ人口ニ依ル

前項公示ノ人口現在ノ日以後ニ於テ府ノ設置又ハ區域變更アリタルトキハ其ノ府ノ人口ハ一邑面又ハ數邑面ノ全部ノ區域ヲ以テ府ヲ置キタル場合ニ在リテハ一邑面ノ人口又ハ關係邑面ノ人口ヲ集計シタルモノニ依リ一邑面又ハ數邑面ノ全部ノ區域ヲ府ノ區域ニ編入シタル場合ニ在リテハ關係府邑面ノ人口ヲ集計シタルモノニ依リ其ノ他ノ場合ニ在リテハ道知事ノ認定シタル人口ニ依ル

前項ノ規定ニ依リ認定シタル人口ハ道知事之ヲ告示スベシ

第三條 府會議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ府尹抽籤シテ之ヲ定ム但シ副員アルトキハ其ノ副員ヲ以テ之ニ充ツベシ 副員ノ爲内地人議員又ハ朝鮮人議員ノ數府制第八條第六項ニ規定スル最少員數ニ滿チザルトキハ其ノ最少員數ニ滿ツル迄副員ノ補充アリタルモノト看做シ之ヲ除キタル議員ニ付前項ノ規定ヲ適用ス

第四條 特別ノ事情アルトキハ府尹ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

第五條 府尹ハ選舉期日前五十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スベシ但シ第八條第二項ノ規定ニ依リ確定名簿ヲ用フル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 府尹ハ選舉期日前三十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間毎日午前九時ヨリ午後四時迄府廳ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スベシ

第七條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ府尹ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ府尹ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ之ヲ決定シ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ直ニ之ヲ修正スベシ 前項ノ決定ニ不服アル者ハ其ノ決定アリタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得 第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シ又ハ名簿ヲ修正シタルトキハ府尹ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

第八條 選舉人名簿ハ選舉期日前三日ヲ以テ確定ス

確定名簿ハ道知事ノ指定スル場合ヲ除クノ外其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用フベシ

前條第二項ノ場合ニ於テ道知事ノ決定アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ府尹ハ名簿確定前ナルトキハ直ニ之ヲ修正シ名簿確定後ナルトキハ選舉ヲ終リタル後ニ於テ直ニ之ヲ修正スベシ

第九條 第七條ノ場合ニ於テ府尹ノ決定確定シ若ハ道知事ノ決定アリタルニ依リ選舉人名簿無効ト爲リタルトキ又ハ天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ其ノ名簿ノ調製、縱覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ道知事ノ定ムル所ニ依ル

第十條 選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用ヒ縱覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス

第十一條 府尹ハ選舉期日ヨリ少クトモ三十日前ニ選舉會場(投票分會場ヲ含ム以下之ニ同ジ)、投票ノ日時及選舉スベキ議員數ヲ告示スベシ投票分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ區劃ヲ告示スベシ 投票分會ノ投票ハ選舉會ト同日時ニ之ヲ行フ 天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハザルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ府尹ハ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムベシ此ノ場合ニ於テ選舉會場及投票ノ日時ハ少クトモ選舉期日ヨリ五日前ニ之ヲ告示スベシ

第十二條 府尹ハ選舉會ヲ閉閉シ其ノ取締ニ任ズ

府尹ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スベシ

投票分會ハ府尹ノ指定シタル官吏又ハ吏員投票分會長ト爲リ之ヲ閉閉シ其ノ取締ニ任ズ

府尹ハ分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スベシ

第十三條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スベシ

投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過グルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書クコト能ハザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ

投票用紙ハ府尹ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フベシ

第十四條 確定名簿ニ登錄セラレザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ但シ選舉人名簿ニ登錄セラレベキ道知事ノ決定書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラズ

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ登錄セラレルコトヲ得ザル者

ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ選舉ノ當日選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ府制第九條第二項ニ該當スル者ナルトキ亦同ジ

第十五條 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ府尹又ハ投票分會長之ヲ決定スベシ

第十六條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

二 現ニ府會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セザルモノ

第十七條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ府尹之ヲ決定スベシ

第十八條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ内地人及朝鮮人ノ當選者ノ數各府制第八條第六項ニ規定スル最少員數ニ滿ツル迄ハ内地人朝鮮人別ニ當選者ヲ定ムベシ

第十九條 當選者選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ第二十八條第一項ノ規定ヲ準用ス

第二十條 府尹ハ選舉會ヲ作リ選舉會ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シニ

選ヲ辭シタルモノト看做ス

第二十一條 當選者選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ第二十八條第一項ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 當選者選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ第二十八條第一項ノ規定ヲ準用ス

第二十三條 第二十一條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第四項ノ申立アリタルトキハ府尹ハ直ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且之ヲ道知事ニ報告スベシ

第二十四條 當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ府尹ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且之ヲ道知事ニ報告スベシ

第二十五條 道知事選舉又ハ當選ヲ取消シタルトキハ直ニ之ヲ告示スベシ

前項ノ規定ニ依リ選舉ヲ取消シタル場合ニ於テ當選ニ異動ヲ生ズル虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限リ當選ヲ失フコトナシ

選舉ノ規定ニ違反ノ事實アリト認ムルトキハ選舉人ハ當選者定マリタル日ヨリ五日以内ニ其ノ事由ヲ道知事ニ申立テ第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ求ムルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依ル處分ハ第二十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ前項ノ申立アリタルニ依リ處分ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十五條 道知事選舉又ハ當選ヲ取消シタルトキハ直ニ之ヲ告示スベシ

人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

投票分會長ハ投票錄ヲ作り投票ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名シ投票函ト同時ニ之ヲ府尹ニ送致スベシ

選舉錄及投票錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間府尹之ヲ保存スベシ

第二十一條 當選者定マリタルトキハ府尹ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ道知事ニ報告スベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ府尹ニ申立ツベシ

官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ之ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ノ官吏當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ニ應ズベキ旨ヲ府尹ニ申立テザルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

府ニ對シ又ハ府ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付府尹若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非ザレバ當選ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ニ規定スル者第二項ノ期限前ニ其ノ旨ヲ府尹ニ申立テザルトキハ當

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制施行規則

前項ニ規定スル者第二項ノ期限前ニ其ノ旨ヲ府尹ニ申立テザルトキハ當

朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ府尹ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十六條 當選ノ取消アリタルトキハ府尹ハ直ニ之ヲ補フベキ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第十八條ノ規定ヲ準用ス

朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキ亦前項ニ同ジ但シ同一人ニ關シ議員失職又ハ辭任ニ因リ選舉ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ選舉期日ヨリ一年ヲ過ギタル後當選無効ト爲リタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ府會議員開員ト看做ス

第二十七條 當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ若ハ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ更ニ選舉ヲ行フベシ

選舉ノ取消アリタルトキ亦前項ニ同ジ

第二十八條 府會議員被選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ第二十一條第五項ニ掲グル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第二十一條第五項ニ掲グル者ニ該當スルヤ否ハ議員ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セザル場合ヲ除クノ外府尹之ヲ決定スベシ

一 禁治産者又ハ準禁治産者ト爲リタルトキ

二 破産者ト爲リタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

前項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定アリタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ議員ノ失職確定シタルトキハ府尹ハ其ノ住所及氏名ヲ告示シ且之ヲ道知事ニ報告スベシ議員死亡シタルトキ又ハ職ヲ辭シタルトキ亦同ジ

ルトキ亦同ジ

第二十九條 府會議員ハ選舉若ハ當選ノ取消アル迄、朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲ル迄又ハ前條第一項ノ決定確定シ若ハ前條第二項ノ申立ニ對シ決定アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第三十條 府尹及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第三十一條 府會ハ府尹之ヲ召集ス但シ輕易ナル事件ニ付テハ會議ヲ開カズ書面ヲ以テ議員ノ意見ヲ聽キ其ノ三分ノ二以上ノ同意アリタルトキハ之ヲ府會ノ議決ト看做スコトヲ得

府尹ハ會期ヲ定メテ府會ヲ召集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ府尹必要アリト認ムルトキハ更ニ期限ヲ定メ府會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得

召集及會議ノ事件ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ告知スベシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

府會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ府尹ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得會議ニ付スル日ヨリ三日前ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同ジ

府會ハ府尹之ヲ開閉ス

第三十二條 府會ハ議員定數ノ半数以上、教育部會ハ其ノ議員ノ半数以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得但シ第三十四條ノ規定ニ依リ除斥ノ爲半数ニ滿チザルトキ、同一ノ事件ニ付召集再回ニ至ルモ仍半数ニ滿チザルトキ又ハ召集ニ應ズルモ出席議員定數ヲ開キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半数ニ滿チザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條 府會ノ議事ハ過半数ヲ以テ決ス可非同數ナルトキハ議長ノ決

スル所ニ依ル

議員ハ議長ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之ガ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハズ

第三十四條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子、孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得但シ府會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第三十五條 府會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ノ定ムル所ニ依リ會議規則ニ其ノ定ナキトキハ府會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第三十六條 府會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁止シタルトキ

二 議員三人以上ノ發言ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項ノ議員ノ發言ハ討論ヲ須ヒズ其ノ可否ヲ決スベシ

第三十七條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第三十八條 會議中本令又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハザルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシムルコトヲ得

第三十九條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十條 議長ハ會議録ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載スベシ

會議録ハ議長及出席議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ府會ニ於テ之ヲ定ムベシ

第四十條ノ二 府制第二十四條又ハ同令第二十五條ノ規定ニ依リ爲シタル議決又ハ選舉ノ取消處分ハ府會開會中ニ非ザルトキハ府尹ハ直ニ之ヲ告示スベシ

第四十條ノ三 道知事府會ノ停會ヲ命ジタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十一條 第三十條、第三十一條、第三十三條乃至前條ノ規定ハ教育部會ニ之ヲ準用ス

第三章 府稅其ノ他府ノ收入

第四十二條 府ハ左ノ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ特別經濟ノ費用ニ付テハ戶別附加稅ヲ除クノ外之ヲ賦課スルコトヲ得ズ

一 地稅附加稅

二 第一種所得稅附加稅

三 營業稅附加稅

四 取引所稅附加稅

五 鑛稅附加稅

六 戶別稅附加稅

七 家屋稅附加稅

八 特別所得稅附加稅

九 車輛稅附加稅

十 不動産取得稅附加稅

第四十三條 削除

第四十四條 特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ之ヲ賦課



スルモノトス

特別經濟ノ費用ニ付テハ特別稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

**第四十五條** 附加稅ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ズ

- 一 地稅附加稅 地稅ノ百分ノ六十八
- 二 第一種所得稅附加稅 所得稅ノ百分ノ十四
- 三 營業稅附加稅 營業稅ノ百分ノ八十
- 四 取引所稅附加稅 取引所稅ノ百分ノ三十五
- 五 鑛稅附加稅 鑛區稅ノ百分ノ七但シ鑛區ノ分合ニ因ル場合ヲ除クノ外鑛業權設定ノ登錄アリタル月ヨリ起算シ三年間ハ鑛區稅ノ百分ノ三

六 家屋稅附加稅 家屋稅額

七 特別所得稅附加稅 特別所得稅ノ二十一分ノ十四

八 車輛稅附加稅 車輛稅額

九 不動產取得稅附加稅 不動產取得稅ノ百分ノ二十五

**第四十六條** 一般經濟ノ費用ニ付テ賦課スル戶別稅附加稅ノ總額ハ其ノ當該年度ニ於ケル府稅豫算總額ノ百分ノ四十五ヲ超ユルコトヲ得ズ

**第四十七條** 特別ノ必要アル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前二條ニ規定スル制限ヲ超過シテ賦課スルコトヲ得

**第四十八條** 相續人又ハ相續財團ハ被相續人ニ對シ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラレベキ府稅ヲ納ムル義務ヲ負フ但シ戶主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續又ハ之ニ準ズベキ相續ノ開始アリタルトキハ被相續人モ亦之ヲ納ムル義務ヲ負フ

國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得

第三項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役現品ニ付テハ之ヲ適用セズ

急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役現品ノ履行ヲ爲サザルトキハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ納付ヲ命ズベシ

**第五十二條** 數人又ハ府ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ府ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ府ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得

**第五十三條** 府尹ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得

府尹ハ特別ノ事情アル者ニ對シ府會又ハ教育部會ノ議決ヲ經テ府稅ヲ減免スルコトヲ得

**第五十四條** 府稅ヲ徵收セントスルトキハ府尹ハ納稅者ニ對シ其ノ納金額、納期日及納付場所ヲ記載シタル納稅告知書ヲ發スベシ但シ第五十五條ノ規定ニ依リ徵收セシムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

使用料、手数料其ノ他ノ收入ヲ徵收セントスルトキハ府尹又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏員ニ於テ納入告知書ヲ發スベシ但シ即納ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

府尹ノ指定シタル使用料、手数料其ノ他ノ收入ハ其ノ府ニ於テ發行スル收入證紙ヲ以テ納付セシムルコトヲ得

**第五十五條** 府ハ朝鮮總督ノ指定シタル府稅ニ付テハ其ノ徵收ノ便宜ヲ有スル者ヲシテ之ヲ徵收セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル徵收義務者ハ徵收スベキ府稅ヲ府尹ノ指定シタル期日迄ニ府ニ拂込ムベシ

**第五十六條** 府ハ前條ノ徵收ノ費用トシテ拂込金額ノ百分ノ四ヲ徵收義務者ニ交付スベシ

タル財產ヲ限度トシテ前項ノ義務ヲ負フ

**第四十九條** 國又ハ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地家屋物件及營造物ニ對シテハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ有料ニシテ之ヲ使用セシムル者及使用者收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

國ニ對シテハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ  
神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並ニ教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

墓地並ニ外國政府ノ所有ニ屬スル領事館及其ノ敷地ニ對シテハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

**第四十九條ノ二** 府ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスル場合ニ於テハ府稅ヲ賦課セザルコトヲ得

**第五十條** 永代借地及其ノ上ニ在ル建物ニ對シテハ其ノ借地料ヨリ國稅及道稅ヲ控除シタル殘額ガ府稅額ニ等シキトキ又ハ之ヲ超過スルトキハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

借地料ヨリ國稅及道稅ヲ控除シタル殘額ガ府稅額ヨリ少キトキハ其ノ差額ヲ府稅トシテ賦課スルコトヲ得

**第五十一條** 夫役現品ハ特別ノ必要アルトキニ限り道知事ノ認可ヲ受ケテ之ヲ賦課スルコトヲ得但シ急迫ノ場合ニ賦課スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ズ

夫役現品ハ之ヲ金額ニ算出シテ賦課スベシ

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

**第五十七條** 第五十五條第一項ノ規定ニ依ル徵收義務者避クベカラザル災害ニ依リ既收ノ稅金ヲ失ヒタルトキハ其ノ稅金拂込義務ノ免除ヲ府尹ニ申請スルコトヲ得

府尹前項ノ申請ヲ受ケタルトキハ之ヲ府會ノ決定ニ付スベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得

**第五十八條** 府稅ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國稅徵收法第四條ノ一、第四條ノ三乃至第四條ノ八及國稅徵收令施行規則第十條第一項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ハ第五十五條第二項ノ拂込金ニ關シ之ヲ準用ス

**第五十九條** 府稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ納稅告知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ府尹ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ使用料、手数料、過料ノ徵收及夫役現品ノ賦課ニ關シ之ヲ準用ス

營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ其ノ處分アリタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ府尹ニ申立ツルコトヲ得

前三項ノ異議ノ申立アリタルトキハ府尹ハ七日以内ニ之ヲ決定スベシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得

**第四章 府ノ財務**

**第六十條** 府尹ハ毎會計年度各經濟毎ニ府稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入出豫算ヲ調製シ年度開始前府會又ハ教育部會ノ議決ヲ經ベシ

豫算ヲ府會又ハ教育部會ニ提出スルトキハ府尹ハ併セテ財産表ヲ提出スベシ

第六十一條 特別會計ニ屬スル歳入歳出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スベシ

第六十二條 歳入出豫算ハ經常臨時ノ二部ニ分ツベシ

歳入出豫算ハ之ヲ款項ニ區分シ且必要アルモノハ項ニ其ノ内譯ヲ附スベシ

第六十三條 府ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クベシ

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケザルコトヲ得

豫備費ハ府會又ハ教育部會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ズ

第六十四條 府尹ハ府會又ハ教育部會ノ議決ヲ經テ豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

豫算ハ年度經過後ニ於テ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得ズ

第六十五條 府尹豫算ノ議決ヲ經タルトキハ直ニ之ヲ道知事ニ報告シ其ノ要領ヲ告示シ豫算ノ際本ヲ出納吏ニ交付スベシ

第六十六條 歳入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

一 納期ノ一定シタル歳入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度

二 隨時ノ歳入ニシテ納稅告知書又ハ納入告知書ヲ發スルモノハ之ヲ發シタル日ノ屬スル年度

三 隨時ノ歳入ニシテ納稅告知書又ハ納入告知書ヲ發セザルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ府債、交付金、補助金、寄附金其ノ他

之ニ類スル歳入ニシテ其ノ歳入ヲ豫算シタル年度ノ出納閉鎖前ニ領收シタルモノハ其ノ豫算ノ屬スル年度

第六十七條 歳出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

一 費用辨償、報酬、給料、旅費、其ノ他ノ給與、備人料ノ類ハ其ノ支給スベキ事實ノ生ジタル日ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

三 府債ノ元利金ニシテ支拂期日ノ定アルモノハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

四 補助金、寄附金、負擔金ノ類ハ其ノ支拂ヲ豫算シタル年度

五 缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

六 前各號ニ掲グルモノヲ除ク外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度

第六十八條 各年度ノ經費ハ其ノ年度ノ歳入ヲ以テ之ヲ支辨スベシ

年度經過後ニ至リ歳入ヲ以テ歳出ニ充ツルニ足ラザルニ至リタルトキハ道知事ノ認可ヲ受ケ翌年度ノ歳入ヲ繰上之ニ充用スルコトヲ得此ノ場

合ニ於テハ其ノ充用ヲ要スル額ヲ翌年度ノ歳入出豫算ニ編入スベシ

第六十九條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ズ

第七十條 支出ハ債主又ハ其ノ代理人ニ對スルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第七十一條 出納吏ハ府尹ノ命令アルニ非ザレバ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出、費目流用其ノ他本令ノ規定

ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得ザルトキ亦同ジ

第七十二條 左ノ經費ニ付テハ府ノ官吏又ハ吏員ヲシテ現金支拂ヲ爲サシムル爲現金ヲ之ニ前渡スルコトヲ得

第八十一條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄繰越使用スルコトヲ得

第八十二條 工事ノ請負、物件ノ賣買貸借及勞力ノ供給ハ競争入札ニ付スベシ但シ臨時急務ヲ要スルトキ又ハ府條例ニ特別ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十三條 府ノ出納ハ少クとも毎月一回府尹之ヲ検査スベシ

出納吏更迭シタルトキハ府尹ハ臨時ニ府ノ出納ヲ検査スベシ

第八十四條 府ハ其ノ歳入歳出ニ屬スル公金ノ受拂ニ付郵便振替貯金ノ法ニ依ルコトヲ得

第八十五條 府ハ現金ノ出納及保管ノ爲府金庫ヲ置クコトヲ得

金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムベキ銀行ハ道知事ノ認可ヲ受ケ府尹之ヲ定ム

第八十六條 金庫ハ出納吏ノ通知アルニ非ザレバ現金ノ出納ヲ爲スコトヲ得ズ

第八十七條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ノ保管スル現金ハ府ノ歳入歳出ニ屬スルモノニ限り支出ニ妨ゲナキ限度ニ於テ府尹ハ其ノ運用ヲ許スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ハ府尹ノ定ムル所ニ依リ利子ヲ府ニ納ムベシ

第八十八條 府ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ヨリ擔保ヲ徵スベシ其ノ種類、價格及程度ニ關シテハ道知事ノ認可ヲ受ケ府尹之ヲ定ム

第八十九條 府尹ハ定期及臨時ニ金庫ノ現金及帳簿ヲ検査スベシ

第五節 特別經濟

第九十條 特別經濟ニ屬スベキ費用中左ニ掲グルモノハ之ヲ一般經濟ノ支辨トス

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制施行規則

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制施行規則

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制施行規則

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制施行規則

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制施行規則

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制施行規則

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制施行規則

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制施行規則

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制施行規則

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 府制施行規則

一 府會議員ノ費用辨償其ノ他ノ會議費  
二 吏員費、金庫費其ノ他ノ事務費

第九十一條 特別經濟ハ内地人教育ヲ目的トスルモノハ之ヲ第一部特別經濟、朝鮮人教育ヲ目的トスルモノハ之ヲ第二部特別經濟ト稱ス

第六章 府ノ監督

第九十二條 左ニ掲グル事件ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一 府稅並ニ水道、電氣、瓦斯、軌道及自動車ノ使用料ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト  
二 府債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ借入額ノ減少、利息ノ定率ノ低減、償還年限ノ短縮若ハ繰上償還ヲ爲シ又ハ既定ノ償還年限ヲ延長セズシテ低利ノ借替ヲ爲ス場合ヲ除ク

第九十三條 左ニ掲グル事件ハ道知事ノ認可ヲ受クベシ

一 前條第一號以外ノ條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト  
二 基本財産ノ管理及處分ニ關スルコト  
三 積立金等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト但シ之ヲ其ノ目的ノ爲使スル場合ヲ除ク  
四 不動産ノ處分ニ關スルコト但シ公用又ハ公共ノ用ニ供スル場合ヲ除ク  
五 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト  
六 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ地棄ヲ爲スコト

第九十四條 監督官廳ノ認可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ認可申請ノ趣旨ニ反セズト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコトヲ得

附則 (昭和十一年朝鮮總督府令第二號)

本令ハ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二部特別經濟ノ費用ニ付テハ昭和十二年度分迄ニ限り第四十二條但書ノ規定ニ拘ラズ家屋稅附加稅ヲ賦課スルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ賦課スル家屋稅附加稅ニ付テハ第四十五條ノ規定ヲ適用セズ

〇邑面制

昭和五年十二月一日 制令第十二號

面制改正ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス

面制左ノ通改正ス

邑面制

第一條 邑面ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及法令ニ依リ邑面ニ屬スル事務ヲ處理ス

第二條 邑面ノ廢置、名稱及區域ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三條 邑面ノ廢置又ハ區域變更ノ場合ニ於テ處分ヲ要スル財産アルトキハ其ノ處分ハ關係アル府會、邑會及面協議會ノ意見ヲ徵シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ道知事之ヲ定ム

第四條 邑面ノ廢置又ハ區域變更ノ場合ニ於テ邑面ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本令ニ規定スルモノノ外朝鮮總督之ヲ定ム

第五條 邑面内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ邑面住民トス  
邑面住民ハ本令ニ依リ邑面ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ邑面ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

監督官廳ハ其ノ認可ヲ要スル事件中輕易ナルモノニ限り認可ヲ受ケシメザルコトヲ得

第七章 雜則

第九十五條 退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ其ノ處分アリタル日ヨリ六月以内ニ之ヲ府尹ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ府尹ハ遲滞ナク之ヲ決定スベシ  
關係者前項ノ決定ニ不服アルトキハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得

第九十六條 異議又ハ不服ノ申立及之ニ對スル決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ第二十一條第二項、第四項又ハ第六項ノ規定ニ依リ申立並第二十四條第三項ノ規定ニ依リ處分ヲ求ムル申立及之ニ對スル決定亦同ジ

第九十七條 本令中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

附則

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二部特別經濟ノ費用ニ付テハ當分ノ内家屋稅附加稅ヲ賦課スルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ賦課スル家屋稅附加稅ニ付テハ第四十五條ノ規定ヲ適用セズ  
道制施行ノ日迄ハ第五十條中道稅トアルハ地方稅トス

附則 (昭和九年朝鮮總督府令第六〇號)

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年度分ニ限り第四十五條第一項第一號ノ改正規定中地稅ノ百分ノ六十八トアルハ地稅ノ百分ノ六十四トス

第六條 邑面ハ邑面住民ノ權利義務又ハ邑面ノ事務ニ關シ邑面規則ヲ設クルコトヲ得

邑面規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スベシ

第七條 邑ニ邑會、面ニ面協議會ヲ置ク

邑會ハ議長及邑會議員ヲ以テ、面協議會ハ議長及面協議會員ヲ以テ之ヲ組織ス

邑會ノ議長ハ邑長ヲ以テ、面協議會ノ議長ハ面長ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 邑會議員及面協議會員ハ之ヲ選舉ス  
議員及協議會員ノ定數左ノ如シ

- 一 人口五千未満ノ邑面 八人
- 二 人口五千以上一萬未満ノ邑面 十人
- 三 人口一萬以上二萬未満ノ邑面 十二人
- 四 人口二萬以上ノ邑面 十四人

前項ノ人口ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

議員及協議會員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非ザレバ之ヲ増減セズ但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ道知事必要アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

朝鮮總督特ニ必要アリト認ムル場合ニ於テハ邑又ハ面ヲ指定シテ府制第八條第六項ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第九條 帝國臣民タル年齡二十五年以上ノ男子ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ一年以來邑面住民ト爲リ且一年以來朝鮮總督ノ指定シタル邑面稅年額五圓以上ヲ納ムル者ハ其ノ邑面ニ於テ邑會議員又ハ面協議會員ノ選舉權ヲ有ス但シ左ニ掲グル者ハ此ノ限ニ在ラズ  
一 禁治產者及準禁治產者

- 二 破産者ニシテ復権ヲ得ザル者
- 三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者
- 五 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未ダ入營セザル者及歸休下士官兵ヲ除ク)又ハ戰時事變ニ際シ召集中ノ者並ニ志願ニ依リ國民軍ニ編入中ノ者

選舉權ヲ有スル者邑面稅滯納處分中ハ選舉權ヲ行使スルコトヲ得ズ  
 第一項ニ規定スル一年ノ期間ハ府邑面ノ廢置又ハ區域變更ノ爲中斷セラ  
 ルルコトナシ此ノ場合ニ於テ新ニ邑面ノ區域ト爲リタル地域ニ於テ負擔  
 シタル第一項ニ規定スル邑面稅又ハ府制第九條第一項ニ規定スル府稅  
 (府制第五十五條第二項ニ規定スル府稅ヲ除ク)ハ之ヲ第一項ニ規定スル  
 邑面稅ト看做ス

**第十條** 邑會議員又ハ面協議會員ノ選舉權ヲ有スル者ハ各其ノ被選舉權ヲ有ス但シ左ニ掲グル者ニシテ在職中ノモノ及前條第二項ニ規定スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 所屬道郡島ノ官吏、待遇官吏及吏員
- 二 當該邑面ノ邑面長及有給吏員
- 三 判事、檢事及警察官吏
- 四 小學校及普通學校ノ教員

**第十一條** 邑會議員及面協議會員ハ名譽職トス  
 議員及協議會員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス  
 議員又ハ協議會員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ邑面長抽籤シテ之ヲ定ム但シ關員アルトキハ其ノ關員ヲ以テ之ニ充ツ

第八條第五項ノ規定ニ依リ府制第八條第六項ノ規定ヲ準用シタル邑又ハ面ニ付テハ前項ノ規定ニ拘ラズ府制第十一條第三項ノ規用ヲ準用ス  
 議員又ハ協議會員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲新ニ選舉セラレタル議員又ハ協議會員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員又ハ協議會員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

**第十二條** 邑會議員又ハ面協議會員中關員ヲ生ジタル場合ニ於テ其ノ數議員若ハ協議會員ノ定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ邑面長必要アリト認ムルトキハ補關選舉ヲ行フベシ

第八條第五項ノ規定ニ依リ府制第八條第六項ノ規定ヲ準用シタル邑又ハ面ニ付テハ府制第十二條第一項第二號ノ規定ヲ準用ス  
 議員又ハ協議會員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲選舉ヲ行フ場合ニ於テ議員又ハ協議會員中關員アルトキハ併セテ補關選舉ヲ行フベシ  
 補關ノ議員又ハ協議會員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

**第十三條** 邑會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ノ外邑ニ關スル左ノ事件ヲ議決ス

- 一 邑規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト
- 二 歳入出豫算ヲ定ムルコト
- 三 決算報告ニ關スルコト
- 四 法令ニ規定スルモノヲ除クノ外邑稅、夫役現品、使用料又ハ手数料ノ賦課徵收ニ關スルコト
- 五 邑債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ第四十九條第二項ノ借入金ヲ除ク
- 六 基本財産及積立金等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト
- 七 不動産ノ管理及處分ニ關スルコト

八 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

九 特別會計ヲ設クルコト

十 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト

十一 訴訟及和解ニ關スルコト

邑長必要アリト認ムルトキハ前項各號ニ掲グル事件ノ外邑ニ關スル事件ヲ邑會ノ議決ニ付スルコトヲ得

**第十四條** 邑會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フベシ

**第十五條** 邑會ハ邑ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

邑會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ前項ニ規定スル邑會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

**第十六條** 邑會ハ邑ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ邑長又ハ關係官廳ニ提出スルコトヲ得

**第十七條** 邑會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スベシ

邑會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スベキ場合ニ於テ邑會成立セズ、招集ニ應ゼズ若ハ意見ヲ答申セズ又ハ邑會ヲ招集スルコト能ハザルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タズシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

**第十八條** 面長ハ法令ニ規定スルモノノ外面ニ關スル左ノ事件ヲ面協議會ニ諮問スベシ

- 一 面規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト
- 二 歳入出豫算ヲ定ムルコト
- 三 法令ニ規定スルモノヲ除クノ外面稅、夫役現品、使用料又ハ手数料ノ賦課徵收ニ關スルコト

四 面債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ第四十九條第二項ノ借入金ヲ除ク

五 基本財産及積立金等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト

六 不動産ノ管理及處分ニ關スルコト

七 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

八 特別會計ヲ設クルコト

九 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト

十 訴訟及和解ニ關スルコト

面長必要アリト認ムルトキハ前項各號ニ掲グル事件ノ外面ニ關スル事件ヲ面協議會ニ諮問スルコトヲ得

面長ハ面ノ決算ヲ面協議會ニ報告スベシ

**第十九條** 本令ニ規定スルモノノ外邑會、面協議會、邑會議員、面協議會員並ニ邑會議員及面協議會員ノ選舉及其ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

**第二十條** 邑長ハ邑ヲ統轄シ邑ヲ代表ス

邑長ハ邑會ノ議決ヲ經ベキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ其ノ議決ヲ執行シ其ノ他邑ノ事務ヲ擔任ス

**第二十一條** 面長ハ面ヲ統轄シ面ヲ代表ス

面長ハ面ノ事務ヲ擔任ス

**第二十二條** 邑面長ハ吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、十圓以下ノ過怠金及解職トス

**第二十三條** 邑會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ニ背クト認ムル

トキハ邑長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ郡守若ハ島司ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ邑長ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル邑會ノ議決又ハ選舉仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ニ背クト認ムルトキハ邑長ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スベシ

第二十四條 邑會ノ議決明ニ公益ヲ害シ又ハ邑ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ邑長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ郡守若ハ島司ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ邑長ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル邑會ノ議決仍明ニ公益ヲ害シ又ハ邑ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ邑長ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得但シ前項ノ規定ニ依リ更ニ再議ニ付スコトヲ妨グズ

第二十五條 邑會成立セザルトキ、召集ニ應ゼザルトキ、會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキハ邑長ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スコトヲ得前二條ノ規定ニ依リ邑會ノ議決ヲ取消シタルトキ亦同ジ

第二十六條 邑會ニ於テ議決スベキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ邑會成立セザルトキ又ハ邑長ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ邑長ハ之ヲ專決處分スコトヲ得

第二十七條 前二條ノ規定ニ依ル處分ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ邑會ニ報告スベシ

第二十八條 而協議會成立セザルトキ、召集ニ應ゼザルトキ、會議ヲ開ク

コトヲ得

第三十九條 邑面ハ其ノ必要ナル費用及法令ニ依リ邑面ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

邑面ハ其ノ財産ヨリ生ズル收入、使用料、手数料其ノ他邑面ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ邑面稅及夫役現品ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第四十條 邑面稅トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

- 一 國稅及道稅ノ附加稅
- 二 特別稅

第四十一條 三月以上邑面内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ廻リ邑面稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第四十二條 邑面内ニ住所ヲ有セズ又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖モ邑面内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、邑面内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ邑面内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル邑面稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第四十三條 納稅者ノ邑面外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ邑面外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ邑面稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

邑面ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メザルモノニ對シ附加稅ヲ賦課スル場合及住所滞在邑面ノ内外ニ涉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シ邑面稅ヲ賦課スル場合ニ付テハ朝鮮總督之ヲ定ム

コト能ハザルトキ又ハ諮問ニ應ゼザルトキハ面長ハ郡守又ハ島司ノ指揮ヲ請ヒ諮問ヲ經ズシテ其ノ事件ヲ處分スコトヲ得

第二十九條 而協議會ノ諮問ヲ經ベキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ而協議會成立セザルトキ又ハ面長ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ面長ハ諮問ヲ經ズシテ之ヲ處分スコトヲ得

第三十條 前二條ノ規定ニ依ル處分ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ而協議會ニ報告スベシ

第三十一條 邑會ノ權限ニ屬スル事件ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ邑長之ヲ專決處分スコトヲ得

第三十二條 邑面ニ有給又ハ名譽職ノ吏員ヲ置クコトヲ得

吏員ハ邑面長之ヲ任免ス

第三十三條 本令ニ規定スルモノノ外邑面長、吏員並ニ其ノ賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三十四條 邑會議員、而協議會員及名譽職吏員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

第三十五條 有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ邑面規則ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第三十六條 收益ノ爲ニスル邑面ノ財產ハ基本財產トシテ之ヲ維持スベシ

邑面ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財產又ハ積立金等ヲ設クルコトヲ得

第三十七條 邑面ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

邑面ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第三十八條 邑面ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲ス

第四十四條

合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラルベキ邑面稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

相續人又ハ相續財團ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ被相續人ニ對シ其ノ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ邑面稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第四十五條 邑面稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該邑面長又ハ吏員ハ家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該邑面長又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證據ヲ携帶スベシ

第四十六條 邑面稅其ノ他邑面ニ屬スル徵收金ハ道ノ徵收金ニ次デ先取特權ヲ有シ其ノ追徵及還付ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第四十七條 邑面稅、使用料、手数料及營造物ノ使用方法ニ關スル事項ニ付テハ法令ニ規定アルモノヲ除ク外邑面規則ヲ以テ之ヲ定ムベシ其ノ邑面規則中ニハ十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第四十八條 本令ニ規定スルモノノ外邑面稅、夫役現品、使用料、手数料其ノ他本令ニ依ル徵收金及其ノ賦課徵收ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四十九條 邑面ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、邑面ノ永久ノ利益ト爲ルベキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變ノ爲必要アル場合ニ限り邑面債ヲ起スコトヲ得

邑面ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ之ヲ償還スベシ

第五十條 邑面ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ定ムベシ

邑面ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第五十一條 邑面費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スベキモノハ其ノ年間に各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第五十二條 邑面ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第五十三條 邑面ノ收入金及支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ收入金及支拂金ノ例ニ依ル

第五十四條 本令ニ規定スルモノノ外邑面ノ財務ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第五十五條 邑面ノ事務ノ一部ヲ共同處理セシムル爲必要アルトキハ道知事ハ關係アル邑會及面協議會ノ意見ヲ徵シ組合規約ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ邑面組合ヲ設クルコトヲ得

邑面組合ハ法人トス  
道知事ハ組合ヲ組織スル邑面ノ邑面長中ノ一人ヲ指定シ其ノ組合ノ事務ヲ管理セシムベシ但シ道知事必要アリト認ムルトキハ郡守又ハ島司ヲ指定シ組合ノ事務ヲ管理セシムルコトヲ得  
組合規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル邑面、組合ノ共同事務、組合事務所ノ位置、組合協議會ノ組織、組合事務ノ管理方法及組合費用ノ支辨方法ヲ規定スベシ

邑面組合ヲ解散シ又ハ組合規約ヲ變更セントスルトキハ道知事ハ關係アル邑會及面協議會ノ意見ヲ徵シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケクベシ

前五項ニ規定スルモノノ外邑面組合ニハ本令中面ニ關スル規定ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項ニ付テハ朝鮮總督ハ別段ノ定メ爲スコトヲ得

前項ノ外邑面組合ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第五十六條 邑面ハ第一次ニ於テ郡守又ハ島司、第二次ニ於テ道知事、第三次ニ於テ朝鮮總督之ヲ監督ス

長トス但シ面制第四條ノ三ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル面トアルハ邑トス

本令施行ノ際必要ナル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

○邑面制施行規則

昭和五年十二月二十九日 朝鮮總督府令第五百五號

改正 昭和九年第六一號、一〇年第一六號、一一年第三號

第一章 邑面ノ廢置、名稱及區域

第一條 邑面ノ廢置、名稱及區域ハ行政區劃タル邑面ノ廢置、名稱及區域ニ依ル

第二章 邑會及面協議會

第二條 邑會議員又ハ面協議會員ノ定數ヲ定ムル標準タル邑面ノ人口ハ朝鮮總督府官報ヲ以テ公示シタル最近ノ人口ニ依ル

前項公示ノ人口現在ノ日以後ニ於テ邑面ノ設置又ハ區域變更アリタルトキハ其ノ邑面ノ人口ハ一邑面又ハ數邑面ノ全部ノ區域ヲ以テ邑面ヲ置キタル場合ニ在リテハ一邑面ノ人口又ハ關係邑面ノ人口ヲ集計シタルモノニ依リ一邑面又ハ數邑面ノ全部ノ區域ヲ邑面ノ區域ニ編入シタル場合ニ在リテハ關係邑面ノ人口ヲ集計シタルモノニ依リ其ノ他ノ場合ニ在リテハ道知事ノ認定シタル人口ニ依ル

前項ノ規定ニ依リ認定シタル人口ハ道知事之ヲ告示スベシ

第三條 邑面制第八條第五項ノ規定ニ依リ府制第八條第六項ノ規定ヲ準用シタル邑又ハ面ノ邑會議員又ハ面協議會員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アル場合ニ於テハ府制施行規則第三條ノ規定ヲ準用ス

第一編 地方制度 第四章 植民地 朝鮮 邑面制施行規則

監督官廳ハ邑面ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十七條 郡守又ハ島司ハ吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

第五十八條 邑面ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命令ズル費用ヲ豫算ニ載セザルトキハ道知事ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

道知事ハ邑面ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得

第五十九條 朝鮮總督ハ邑會又ハ面協議會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得 邑會又ハ面協議會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ邑會議員又ハ面協議會員ノ選舉ヲ行フベシ但シ特別ノ事由アルトキハ朝鮮總督ハ其ノ期間ニ付特例ヲ設クルコトヲ得

第六十條 郡守又ハ島司ハ期日ヲ定メテ邑會又ハ面協議會ノ停會ヲ命ズルコトヲ得

第六十一條 本令ニ規定スルモノノ外邑面ノ監督ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

附則

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ面協議會員ノ職ニ在ル者ハ其ノ職ヲ失フ

道知事必要アリト認ムルトキハ當分ノ內朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第九條第一項ニ規定スル面協議會員ノ選舉權ノ要件中面稅年額ヲ低下スルコトヲ得

道制施行ノ日迄ハ第四十條中道稅トアルハ地方稅、第四十六條中道ノ徵收金トアルハ道地方費ノ徵收金トス

第四條 邑長ハ選舉期日前五十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スベシ但シ第七條第二項ノ規定ニ依リ確定名簿ヲ用フル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 邑長ハ選舉期日前三十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間毎日午前九時ヨリ午後四時迄邑事務所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スベシ

第六條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ邑長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ邑長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ之ヲ決定シ名簿ヲ修正ヲ要スルトキハ直ニ之ヲ修正スベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ其ノ決定アリタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ郡守又ハ島司ニ申立ツルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シ又ハ名簿ヲ修正シタルトキハ邑長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

第七條 選舉人名簿ハ選舉期日前三日ヲ以テ確定ス

確定名簿ハ道知事ノ指定スル場合ヲ除クノ外其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用フベシ

前條第二項ノ場合ニ於テ郡守又ハ島司ノ決定アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ邑長ハ其ノ名簿確定前ナルトキハ直ニ之ヲ修正シ其ノ名簿確定後ナルトキハ選舉ヲ終リタル後ニ於テ直ニ之ヲ修正スベシ

前項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ邑長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

第八條 第六條ノ場合ニ於テ邑長ノ決定確定シ又ハ郡守島司ノ決定アリタルニ依リ選舉人名簿無効ト爲リタルトキ又ハ天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ其ノ名簿ノ調製、縱覽、確定及異議ノ決定ニ

開スル期日及期間ハ郡守又ハ島司ノ定ムル所ニ依ル

第九條 選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用ヒ縱覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス

第十條 邑長ハ選舉期日ヨリ少クトモ三十日前ニ選舉會場、投票ノ日時及選舉スベキ議員數ヲ告示スベシ

天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハザルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ邑長ハ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムベシ此ノ場合ニ於テ選舉會場及投票ノ日時ハ少クトモ選舉期日ヨリ五日前ニ之ヲ告示スベシ

第十一條 邑長ハ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ

邑長ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スベシ

選舉立會人ハ名譽職トス

第十二條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スベシ

投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過グルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書クコト能ハザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ

投票用紙ハ邑長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フベシ

第十三條 確定名簿ニ登錄セラレザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ但シ選舉

人名簿ニ登錄セラルベキ郡守又ハ島司ノ決定書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラズ

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ登錄セラルルコトヲ得ザル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ選舉ノ當日選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ邑面制第九條第二項ニ該當スル者ナルトキ亦同ジ

第十四條 投票ノ拒否ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ邑長之ヲ決定スベシ

第十五條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

二 現ニ邑會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セザルモノ

第十六條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ邑長之ヲ決定スベシ

第十七條 邑會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ邑面制第八條第五項ノ規定ニ依リ府制第八條第六項ノ規定ヲ準用シタル邑ニ於ケル選舉ニ付テハ府制施行規則第十八條第一項但書ノ規定ヲ準用ス

當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ年長者ヲ取リ年齡同ジキトキハ邑長抽籤シテ之ヲ定ムベシ

選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル者ハ當選者ト爲ルコトヲ得ズ

前項ニ規定スル者第三項ノ期限前ニ其ノ旨ヲ邑長ニ申立テザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

(台四)

(台四)

第十八條 當選者選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ第二十八條第一項ノ規定ヲ準用ス

第十九條 邑長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

選舉錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間邑長之ヲ保存スベシ

第二十條 當選者定マリタルトキハ邑長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ郡守又ハ島司ニ報告スベシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ郡守又ハ島司ニ報告スベシ

郡守又ハ島司前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ道知事ニ報告スベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ邑長ニ申立ツベシ

官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ之ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ノ官吏當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ニ應ズベキ旨ヲ邑長ニ申立テザルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

邑ニ對シ又ハ邑ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付邑長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非ザレバ當選ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ニ規定スル者第三項ノ期限前ニ其ノ旨ヲ邑長ニ申立テザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第六項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準ズベキ者並ニ清算人ヲ謂フ

第二十一條 當選者當選ヲ辭シタルトキ、當選ヲ失ヒタルトキ又ハ死亡シタルトキハ邑長ハ直ニ之ヲ補フベキ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第十七條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 第二十條第三項ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第五項ノ申立アリタルトキハ邑長ハ直ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且之ヲ郡守又ハ島司ニ報告スベシ

當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ邑長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且之ヲ郡守又ハ島司ニ報告スベシ

郡守又ハ島司前二項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ道知事ニ報告スベシ

第二十三條 選舉ノ規定ニ違反ノ事實アルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ズル虞アル場合ニ依リ道知事ハ選舉又ハ當選ヲ取消スベシ

前項ノ規定ニ依リ選舉ヲ取消シタル場合ニ於テ當選ニ異動ヲ生ズル虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ依リ當選ヲ失フコトナシ

選舉ノ規定ニ違反ノ事實アリト認ムルトキハ選舉人ハ當選者定マリタル日ヨリ五日以内ニ其ノ事由ヲ道知事ニ申立テ第一項ノ規定ニ依リ處分ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ申立ハ郡守又ハ島司ヲ經由スベシ

第一項ノ規定ニ依リ處分ハ道知事ニ於テ第二十條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ第三項ノ申立アリタルニ

依り處分ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條 道知事選舉又ハ當選ヲ取消シタルトキハ直ニ之ヲ告示スベシ

朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ邑長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十五條 當選ノ取消アリタルトキハ邑長ハ直ニ之ヲ補フベキ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第十七條ノ規定ヲ準用ス

朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキ亦前項ニ同ジ但シ同一人ニ關シ議員失職又ハ辭任ニ因リ選舉ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ選舉期日ヨリ一年ヲ過ギタル後當選無効ト爲リタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ邑會議員關員ト看做ス

第二十六條 當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ若ハ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ更ニ選舉ヲ行フベシ

選舉ノ取消アリタルトキ亦前項ニ同ジ

第二十七條 面協議會員ノ選舉ニ付テハ邑會議員ノ選舉ニ關スル規定ヲ準用ス

特別ノ事情アル面ノ協議會員ノ選舉ニ付テハ道知事ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項ノ規定ニ拘ラズ別段ノ定メ爲スコトヲ得

第二十八條 邑會議員又ハ面協議會員被選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ第二十條第六項ニ掲グル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第二十條第六項ニ掲グル者ニ當スルヤ否ハ議員又ハ協議會員ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セザル場合ヲ除クノ外邑面長

之ヲ決定スベシ

一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ

二 破產者ト爲リタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ  
前項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定アリタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ申立ハ郡守又ハ島司ヲ經由スベシ

第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ議員又ハ協議會員ノ失職確定シタルトキハ邑面長ハ其ノ住所及氏名ヲ告示シ且之ヲ郡守又ハ島司ニ報告スベシ議員若ハ協議會員死亡シタルトキ又ハ職ヲ辭シタルトキ亦同ジ

郡守又ハ島司前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ道知事ニ報告スベシ

第二十九條 邑會議員又ハ面協議會員ハ選舉若ハ當選ノ取消アル迄、朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲ル迄又ハ前條第一項ノ決定確定シ若ハ前條第二項ノ申立ニ對シ決定アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第三十條 邑長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第三十一條 邑會又ハ面協議會ハ邑面長之ヲ召集ス但シ輕易ナル事件ニ付テハ會議ヲ開カズ書面ヲ以テ議員又ハ面協議會員ノ意見ヲ聽キ其ノ三分ノ二以上ノ同意アリタルトキハ之ヲ邑會ノ議決又ハ協議會ノ意見ト看做スコトヲ得

召集及會議ノ事件ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ告知スベシ但シ急務ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
邑會又ハ面協議會ハ邑面長之ヲ開閉ス

第三十二條 邑會又ハ面協議會ハ議員又ハ協議會員定數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得但シ第三十四條ノ規定ニ依リ除外ノ爲半數ニ滿テザルトキ、同一ノ事件ニ付召集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿テザルトキ又ハ召集ニ應ズルモ出席議員若ハ協議會員定數ヲ關キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿テザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條 邑會又ハ面協議會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十四條 議長及邑會議員又ハ面協議會員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子、孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得但シ邑會又ハ面協議會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第三十五條 邑會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ邑會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第三十六條 邑會及面協議會ノ會議ハ公開ス但シ議長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ傍聽ヲ禁止スルコトヲ得

第三十七條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第三十八條 會議中本令ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス邑會議員又ハ面協議會員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハザルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシムルコトヲ得

第三十九條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧嘩ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得  
傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ

於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十條 議長ハ會議録ヲ調製シ會議ノ顛末及出席邑會議員又ハ面協議會員ノ氏名ヲ記載スベシ

會議録ハ議長及出席議員又ハ協議會員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員又ハ協議會員ハ邑會又ハ面協議會ニ於テ之ヲ定ムベシ

第四十一條 邑面制第二十三條又ハ同令第二十四條ノ規定ニ依リ爲シタル議決又ハ選舉ノ取消處分ハ邑會開會中ニ非ザルトキハ邑長ハ直ニ之ヲ告示スベシ

第四十二條 郡守又ハ島司邑會又ハ面協議會ノ停會ヲ命ジタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且道知事ニ報告スベシ

第三章 邑面吏員

第四十一條 邑ニ副邑長一人ヲ置クコトヲ得

副邑長ノ任免ニ付テハ郡守又ハ島司ノ認可ヲ受クベシ

副邑長ハ邑長ヲ補佐シ邑長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第四十二條 邑面ニ書記ヲ置ク其ノ定員ハ郡守又ハ島司ノ認可ヲ受ケ邑面長之ヲ定ム

面ノ書記ノ任免ニ付テハ郡守又ハ島司ノ認可ヲ受クベシ

邑長及副邑長共ニ事故アルトキ又ハ面長事故アルトキハ上席書記邑長又ハ面長ノ職務ヲ代理ス

第四十三條 邑面ハ郡守又ハ島司ノ認可ヲ受ケ技手ヲ置クコトヲ得

面ノ技手ノ任免ニ付テハ郡守又ハ島司ノ認可ヲ受クベシ

第四十四條 副邑長、書記及技手ハ有給トス

第四十五條 邑面ニ會計員ヲ置ク但シ特別ノ事情アル面ニ於テハ道知事ノ認可ヲ受ケ會計員ヲ置カザルコトヲ得



會計員ハ書記ノ中ヨリ郡守又ハ島司ノ認可ヲ受ケ邑面長之ヲ命ズ  
一 會計員ハ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル

第一項但書ノ面ニ於テハ會計員ニ關スル規定ハ面長ニ之ヲ準用ス

第四十六條 町洞里ニ區長ヲ置ク  
特別ノ事情アルトキハ郡守又ハ島司ノ認可ヲ受ケ二以上ノ町洞里ニ一人ノ區長又ハ一町洞里ニ二人以上ノ區長ヲ置クコトヲ得

區長ハ名譽職トシ其ノ町洞里内ニ住所ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ任ズ  
區長ハ邑面ノ事務ニシテ町洞里内ニ關スルモノヲ補助ス

第四十七條 邑面長懲戒處分ヲ以テ吏員ヲ解職セントスルトキハ郡守又ハ島司ノ認可ヲ受ケベシ

第四章 邑面稅其ノ他邑面ノ收入  
第四十八條 邑面ハ左ノ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得

- 一 地稅附加稅
  - 二 第一種所得稅附加稅
  - 三 營業稅附加稅
  - 四 鑛稅附加稅
  - 五 戶別稅附加稅
  - 六 家屋稅附加稅
  - 七 特別所得稅附加稅
  - 八 車輛稅附加稅
  - 九 不動產取得稅附加稅
- 第四十九條 削除  
第五十條 特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ之ヲ賦課スルモノトス

第五十一條 附加稅ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ズ

- 一 地稅附加稅 地稅ノ百分ノ五十三
- 二 第一種所得稅附加稅 所得稅ノ百分ノ十四
- 三 營業稅附加稅 營業稅ノ百分ノ八十
- 四 鑛稅附加稅 鑛區稅ノ百分ノ七但シ鑛區ノ分合ニ因ル場合ヲ除クノ外鑛業權設定ノ登錄アリタル月ヨリ起算シ三年間ハ鑛區稅ノ百分ノ三

五 戶別稅附加稅 鑛產稅ノ百分ノ十  
現住戶數平均一邑四圓  
均一戶ニ付一圓八十錢

六 家屋稅附加稅 家屋稅ノ百分ノ四十

七 特別所得稅附加稅 特別所得稅ノ二十一分ノ十四

八 車輛稅附加稅 車輛稅額

九 不動產取得稅附加稅 不動產取得稅ノ百分ノ二十五  
特別ノ必要アル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項ニ規定スル制限ヲ超過シテ賦課スルコトヲ得

第五十二條 相續人又ハ相續財團ハ被相續人ニ對シ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ邑面稅ヲ納ムル義務ヲ負フ但シ戶主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續又ハ之ニ準ズベキ相續ノ開始アリタルトキハ被相續人モ亦之ヲ納ムル義務ヲ負フ

第五十三條 國又ハ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地家屋物件及營造物ニ對シテハ邑面稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ荷料ニテ之ヲ使用セシムル者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

認可ヲ受ケ邑面稅ヲ減免スルコトヲ得  
第五十七條 邑面稅ヲ徵收セントスルトキハ邑面長ハ納稅者ニ對シ其ノ納金額、納期日及納付場所ヲ記載シタル納稅告知書ヲ發スベシ

使用料、手数料其ノ他ノ收入ヲ徵收セントスルトキハ邑面長ハ納入告知書ヲ發スベシ但シ即納ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
第五十八條 邑面稅ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國稅徵收法第四條ノ一、第四條ノ三乃至第四條ノ八及國稅徵收令施行規則第十條第一項ノ規定ヲ準用ス

第五十九條 邑面稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ納稅告知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ邑面長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ使用料、手数料、過料ノ徵收及夫役現品ノ賦課ニ關シ之ヲ準用ス  
營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ其ノ處分アリタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ邑面長ニ申立ツルコトヲ得

前三項ノ異議ノ申立アリタルトキハ邑面長ハ七日以内ニ之ヲ決定スベシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ申立ハ郡守又ハ島司ヲ經由スベシ  
第五章 邑面ノ財務  
第六十條 邑面長ハ毎會計年度邑面稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入出豫算ヲ調製シ年度開始前邑會ノ議決又ハ面協議會ノ諮問ヲ經ベシ  
豫算ヲ邑會又ハ面協議會ニ提出スルトキハ邑面長ハ併セテ財産表ヲ提出

國ニ對シテハ邑面稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並ニ教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ邑面稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

第五十三條ノ二 邑面ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスル場合ニ於テハ邑面稅ヲ賦課セザルコトヲ得

第五十四條 夫役現品ハ特別ノ必要アルトキニ限り郡守又ハ島司ノ認可ヲ受ケ之ヲ賦課スルコトヲ得但シ急迫ノ場合ニ賦課スルモノハ此ノ限ニ在ラズ  
學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ズ

夫役現品ハ之ヲ金額ニ算出シテ賦課スベシ  
夫役ヲ賦課セラレタル者ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得  
夫役現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第三項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役現品ニ付テハ之ヲ適用セズ  
急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役現品ノ履行ヲ爲サザルトキハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ納付ヲ命ズベシ

第五十五條 數人又ハ邑面ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ邑面ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ邑面ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得  
第五十六條 邑面長ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得  
特別ノ事情アル者ニ對シ邑面長ハ邑會ノ議決ヲ經、面長ハ郡守又ハ島司ノ

スベシ

第六十一條 特別會計ニ屬スル歳入歳出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スベシ

第六十二條 歳入出豫算ハ必要アルトキハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ分ツベシ

歳入出豫算ハ之ヲ款項ニ區分シ且必要アルモノハ項ニ其ノ内譯ヲ附スベシ

第六十三條 邑面ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クベシ

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケザルコトヲ得

第六十四條 邑面長ハ邑會ノ議決又ハ面協議會ノ諮問ヲ經テ豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

豫算ハ年度經過後ニ於テ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得ズ

第六十五條 邑長ハ豫算ノ議決ヲ經タルトキハ直ニ之ヲ郡守又ハ島司ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

面長ハ豫算ノ認可ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

第六十六條 歳入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

一 納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度

二 隨時ノ收入ニシテ納稅告知書又ハ納入告知書ヲ發スルモノハ之ヲ發シタル日ノ屬スル年度

三 隨時ノ收入ニシテ納稅告知書又ハ納入告知書ヲ發セザルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ邑面債、交付金、補助金、寄附金其ノ他之ニ類スル收入ニシテ其ノ收入ヲ豫算シタル年度ノ出納閉鎖前ニ領收シタルモノハ其ノ豫算ノ屬スル年度

第六十七條 歳出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

一 費用辨償、給料、旅費、其ノ他ノ給與、傭人等ノ類ハ其ノ支給スベ

キ事實ノ生ジタル日ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

三 邑面債ノ元利金ニシテ支拂期日ノ定アルモノハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

四 補助金、寄附金、負擔金ノ類ハ其ノ支拂ヲ豫算シタル年度

五 缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

六 前各號ニ掲グルモノヲ除ク外ハ總テ支拂ヲ決定シタル日ノ屬スル年度

第六十八條 各年度ノ經費ハ其ノ年度ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨スベシ

年度經過後ニ至リ歳入ヲ以テ歳出ニ充ツルニ足ラザルニ至リタルトキハ道知事ノ認可ヲ受ケ翌年度ノ歳入ヲ繰上ゲ之ニ充用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ充用ヲ要スル額ヲ翌年度ノ歳入出豫算ニ編入スベシ

第六十九條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ズ

第七十條 支出ハ債主又ハ其ノ代理人ニ對スルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第七十一條 會計員ハ邑面長ノ決定ヲ受ケタルニ非ザレバ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

第七十二條 左ノ經費ニ付テハ邑面長又ハ吏員ヲシテ現金支拂ヲ爲サシムル爲現金ヲ之ニ前渡スルコトヲ得

一 邑面債ノ元利支拂

二 人夫賃其ノ他小額宛多數人ニ即金拂ヲ要スル經費

第八十一條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄連次繰越使用スルコトヲ得

第八十二條 工事ノ請負、物件ノ賣買貸借及勞力ノ供給ハ競争入札ニ付スベシ但シ金額三百圓未満(貸付料ニ付テハ年額五十圓未満)ナルトキ、臨時急施ヲ要スルトキ又ハ邑面規則ニ特別ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十三條 現金ハ郵便局所、金融組合又ハ確實ナル銀行ニ預入ルベシ但シ五十圓以下ノ現金ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ別ニ其ノ保管方法ヲ定メ郡守又ハ島司ノ認可ヲ受ケベシ

第八十四條 邑面ノ出納ハ少クトモ毎月一回邑面長之ヲ検査スベシ

會計員更迭シタルトキハ邑面長ハ臨時ニ邑面ノ出納ヲ検査スベシ

第六章 邑面組合

第八十五條 邑面組合ノ費用ハ組合ヲ組織スル邑面ニ之ヲ分賦スベシ

第八十六條 邑面組合ヲ解散シ又ハ組合ヲ組織スル邑面ノ數ヲ減ズル場合ニ於テ處分ヲ要スル財産アルトキハ關係アル邑會、面協議會ノ意見ヲ徵シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ道知事之ヲ定ム

第八十七條 郡守又ハ島司邑面組合ノ事務ヲ管理スル場合ニ於テハ組合ニ關シ郡守又ハ島司ノ認可又ハ指揮ヲ要スル事件ニ付テハ之ガ認可又ハ指揮ヲ受ケタルコトヲ要セズ

第八十八條 組合費ノ分賦ニ關シ違法又ハ錯誤アリト認ムル邑面ハ其ノ告知アリタル日ヨリ六十日以内ニ組合ノ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ組合ノ管理者ハ七日以内ニ之ヲ決定ス

第七十九條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歳入歳出ト爲スベシ

第七十六條ノ拂戻金、戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同ジ

第八十條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ編入スベシ

ベシ其ノ決定ニ不服アル邑面ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ通知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ申立ハ郡守又ハ島司ヲ經由スベシ

第八十九條 本章ニ規定スルモノノ外邑面組合ニハ本令中面ニ關スル規定ヲ準用ス

第七章 邑面ノ監督

第九十條 左ニ掲グル事件ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一 邑面稅ニ關スル邑面規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 電氣、瓦斯、軌道及自動車ノ使用料ニ關スル邑面規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

三 邑面債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ借入額ノ減少、利息ノ定率ノ低減、償還年限ノ短縮若ハ繰上償還ヲ爲シ又ハ既定ノ償還年限ヲ延長セズシテ低利ノ借替ヲ爲ス場合ヲ除ク

第九十一條 左ニ掲グル事件ハ道知事ノ認可ヲ受クベシ

一 前條第一號及第二號以外ノ邑面規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 基本財産ノ管理及處分ニ關スルコト

三 積立金等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト但シ之ヲ其ノ目的ノ爲使

用スル場合ヲ除ク

四 不動産ノ處分ニ關スルコト但シ公用又ハ公共ノ用ニ供スル場合ヲ除ク

五 寄附又ハ補助ヲ爲スコト

六 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

七 特別會計ヲ設クルコト

十三トアルハ地稅ノ百分ノ五十トス

○面制改正經過規程

昭和五年十二月二十九日 朝鮮總督府令第九九號

第一條 邑ハ其ノ事務及財産ノ關係ニ付テハ之ヲ從前ノ面ノ存續ト看做ス

第二條 邑面制施行ノ際現ニ邑面内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ住所ヲ有シタル初ヨリ邑面住民タリシモノト看做ス

第三條 邑會議員又ハ面協議會員ノ定數ヲ定ムル標準タル邑面ノ人口ハ邑面制施行ノ日ヨリ一年ヲ限リ道知事ノ認定シタル人口ニ依ル

第四條 面制又ハ面制施行規則ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ之ヲ邑面制又ハ邑面制施行規則ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第五條 邑面規則ヲ以テ規定スルコトヲ要スル事項ニ關シテハ邑面規則ヲ

第六條 邑ト爲リタル面ニ於テ邑面制施行ノ際現ニ副長、書記、技手、會計員又ハ區長ノ職ニ在ル者ハ引續キ其ノ邑ノ副長、書記、技手、會計員又ハ區長ヲ命ゼラレタルモノト看做ス

第七條 邑面制第九條第一項ニ規定スル邑面稅納付ノ要件ニ付テハ從前負擔シタル面賦課金タル地稅割、營業稅割、戶別割及特別營業割ハ之ヲ同項ニ規定スル邑面稅ト看做ス

第八條 昭和六年度ノ邑面ノ戶別稅ノ各人ノ賦課額ハ邑面長之ヲ決定徵收シ邑會又ハ面協議會ノ成立ヲ俟テ更ニ之ヲ邑會ノ議決ニ付シ又ハ面協議會ニ諮問スベシ

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制

八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト

第九十二條 面ノ豫算ハ年度開始前郡守又ハ島司ノ認可ヲ受クベシ

第九十三條 監督官廳ノ認可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ認可申請ノ趣旨ニ反セズト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコトヲ得

監督官廳ハ其ノ認可ヲ要スル事件中輕易ナルモノニ限り認可ヲ受ケシメザルコトヲ得

第八章 雜則

第九十四條 異議又ハ不服ノ申立及之ニ對スル決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ第二十條第三項、第五項又ハ第七項ノ規定ニ依リ申立並ニ第二十三條第三項ノ規定ニ依ル處分ヲ求ムル申立及之ニ對スル決定亦同ジ

第九十五條 邑面規則其ノ他邑面ニ於テ告示ヲ要スルモノノ公告ハ邑面ノ揭示場ニ揭示スルヲ以テ其ノ式トス但シ邑面規則ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第九十六條 本令中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

別ニ定ムルモノヲ除クノ外他ノ朝鮮總督府令中面トアルハ邑面、面事務所トアルハ邑面事務所、而長トアルハ邑面長、面吏員トアルハ邑面吏員、面組合トアルハ邑面組合トス但シ面制第四條ノ三ニ依リ指定シタル面トアルハ邑トス

附則 (昭和九年朝鮮總督府令第六一號)

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年度分ニ限り第五十一條第一項第一號ノ改正規定中地稅ノ百分ノ五

(台四)

(台四)

前項ノ場合ニ於テ邑會ノ議決ニ依リ又ハ面協議會ノ諮問ヲ經テ賦課額ヲ變更シタルトキハ次ノ納期ニ於テ差引徵收又ハ還付ヲ爲スベシ

第九條 邑面制施行ノ際現ニ存スル面組合ハ之ヲ邑面制ニ依リ設置シタル邑面組合ト看做ス

附則

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二節 臺灣

○臺灣州制

昭和十年四月一日 律令第一號

臺灣州制改正ノ件大正十年法律第三號ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス

臺灣州制左ノ通改正ス

臺灣州制

第一章 總則

第一條 州ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及法律、勅令又ハ律令ニ依リ州ニ屬スル事務ヲ處理ス

第二條 州ノ廢置分合、名稱及區域ハ國ノ行政區劃タル州ノ廢置分合、名稱及區域ニ依ル

第三條 州ノ廢置分合又ハ區域變更ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分

ハ關係アル州會ノ意見ヲ徵シ臺灣總督之ヲ定ム

第四條 州ノ廢置分合又ハ區域變更ノ場合ニ於テ州ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外臺灣總督之ヲ定ム

五二三

第二章 州會

第五條 州ニ州會ヲ置キ議長及州會議員ヲ以テ之ヲ組織ス  
議長ハ州知事ヲ以テ之ニ充ツ州知事事故アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス

第六條 州會議員ノ定數ハ二十人以上四十人以下ノ範圍内ニ於テ臺灣總督之ヲ定ム

第七條 州會議員ノ定數ノ二分ノ一及定數ヲ二分シ難キ場合ニ於ケル其ノ定數ニ相當スル員數ノ議員ハ之ヲ選舉ス

第八條 州會議員ノ選舉ハ各選舉區ニ於テ市會議員及街庄協議會會員之ヲ行フ

選舉區及各選舉區ニ於テ選舉スベキ議員ノ配當ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第九條 州内ニ於テ市會議員又ハ街庄協議會會員ノ選舉權ヲ有スル者ハ州會議員ノ被選舉權ヲ有ス但シ左ニ掲グル者ニシテ在職中ノモノ及州市街庄稅滯納處分中ノ者ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 判官、檢察官、警察官吏及收稅官吏
- 二 小學校及公學校ノ教員

選舉事務ニ關係アル官吏及有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セズ

州ノ官吏及有給ノ吏員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノモノハ其ノ州ノ州會議員ト相兼ヌルコトヲ得ズ

第十條 州會議員ノ定數ヨリ第七條ノ規定ニ依リ選舉スベキ議員ノ員數ヲ控除シタル員數ノ議員ハ州會議員ノ被選舉權ヲ有スル者ニシテ學識名望アルモノノ中ヨリ臺灣總督之ヲ命ズ

八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト

第十五條 州會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ヲ州參事會ニ委任スルコトヲ得

第十六條 州會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フベシ

第十七條 州會ハ州ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ關係行政廳ニ提出スルコトヲ得

第十八條 州會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スベシ

州會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スベキ場合ニ於テ州會成立セズ、招集ニ應ゼズ若ハ意見ヲ答申セズ又ハ州會ヲ招集スルコト能ハザルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タズシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第十九條 會議規則及傍聽人取締規則ハ臺灣總督ノ定ムルモノヲ除クノ外州會ノ議決ヲ經テ州知事之ヲ定ム

會議規則ニハ本令、本令ニ基キテ發スル命令又ハ會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ州會ノ議決ニ依リテ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第二十條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外州會、州會議員並ニ州會議員ノ選舉及其ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第三章 州參事會

第二十一條 州ニ州參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

- 一 州知事
- 二 內務部長
- 三 名譽職參事會會員

第二十二條 名譽職參事會會員ノ定數ハ六人トシ州會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ

第十一條 市會議員又ハ街庄協議會會員ハ州會議員ト相兼ヌルコトヲ得ズ

第十二條 州會議員ハ名譽職トス  
議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲新ニ選舉セラレ又ハ任命セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十三條 州會議員中缺員ヲ生ジタルトキハ六月以内ニ補缺スベシ  
前任者ガ選舉ニ依リタル者ナルトキハ選舉ニ依リ、任命ニ依リタル者ナルトキハ任命ニ依リテ之ヲ補缺ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲選舉及任命ヲ行フ場合ニ於テ議員中缺員アルトキハ併セテ補缺選舉又ハ補缺任命ヲ行フベシ

補缺議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十四條 州會ハ州ニ關スル左ノ事件及法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

- 一 歳入出豫算ヲ定ムルコト
- 二 決算報告ニ關スルコト
- 三 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、州稅又ハ夫役現品ノ賦課徵收ニ關スルコト

四 州債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ第六十六條第二項ノ借入金ヲ除ク

五 基本財産及積立金數等ノ設置及處分ニ關スルコト

六 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

七 特別會計ヲ設クルコト

選舉スベシ

州會ハ名譽職參事會會員ト同數ノ補充員ヲ選舉スベシ

名譽職參事會會員中缺員アルトキハ州知事ハ補充員ノ中ヨリ之ヲ補缺ス其ノ順序ハ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依リ選舉同時ナルトキハ得票數ニ依リ得票同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同ジキトキハ抽籤ニ依リ仍缺員アル場合ニ於テハ臨時補缺選舉ヲ行フベシ

名譽職參事會會員及其ノ補充員ハ隔年之ヲ選舉スベシ

名譽職參事會會員ハ後任者ノ就任スルニ至ル迄在任ス州會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同ジ

第二十三條 州參事會ハ州知事ヲ以テ議長トス州知事事故アルトキハ內務部長議長ノ職務ヲ代理ス

第二十四條 州參事會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 州會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スルコト
- 二 州會閉會中州會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ輕易ナルモノヲ州會ニ代リテ議決スルコト

三 州會成立セザルトキ、會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ州知事ニ於テ州會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ州會ノ權限ニ屬スル事件ヲ州會ニ代リテ議決スルコト

四 訴訟、訴訟及和解ニ關スル事件ヲ議決スルコト

五 其ノ他法令ニ依リ州參事會ノ權限ニ屬スル事項

前項第二號ノ規定ニ依リ州參事會ニ於テ議決スベキ事件ハ州會ノ議決ヲ經テ州知事之ヲ定ム

第二十五條 第十七條及第十八條ノ規定並ニ第十九條中會議規則ニ關スル

規定ハ州參事會ニ、第二十條ノ規定ハ州參事會及州參事會員ニ之ヲ準用ス

第四章 州官吏及州吏員

第二十六條 州知事ハ州ヲ統轄シ州ヲ代表ス

- 一 州費ヲ以テ支辨スベキ事件ヲ執行スルコト
- 二 州會及州參事會ノ議決ヲ經ベキ事件ニ付其ノ議案ヲ發スルコト
- 三 財產及營造物ヲ管理スルコト但シ特ニ之ヲ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スルコト
- 四 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スルコト
- 五 證書及公文書類ヲ保管スルコト
- 六 法令又ハ州會若ハ州參事會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、州稅又ハ夫役現品ヲ賦課徵收スルコト
- 七 其ノ他法令ニ依リ州知事ノ職權ニ屬スル事項

第二十七條 州知事ハ州ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ郡ノ官吏又ハ市街庄ノ官吏若ハ吏員ニ補助執行セシメ又ハ委任スルコトヲ得

州知事ハ州ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ州ノ官吏若ハ吏員ニ委任シ又ハ州ノ吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得  
第二十八條 州知事ハ吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲役ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ誹責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス  
州知事ハ吏員ノ解職ヲ行ハントスル前其ノ吏員ノ停職ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期間給料ノ全部又ハ一部ヲ給セザルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間州、廳地方費、市街庄其ノ他之ニ準ズベキモノノ公職ニ就クコトヲ得ズ

第二十九條 州會又ハ州參事會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ州知事ハ其ノ意見ニ依リ又ハ臺灣總督ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ州知事ハ臺灣總督ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ爲シタル州會又ハ州參事會ノ議決又ハ選舉仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ州知事ハ臺灣總督ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スベシ

第三十條 州會又ハ州參事會ノ議決明ニ公益ヲ害シ又ハ州ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ州知事ハ其ノ意見ニ依リ又ハ臺灣總督ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ州知事ハ臺灣總督ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ爲シタル州會又ハ州參事會ノ議決仍明ニ公益ヲ害シ又ハ州ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ州知事ハ臺灣總督ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得

第三十一條 州會成立セザルトキ、會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ州知事ニ於テ州會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ州知事ハ州會ノ權限ニ屬スル事件ヲ州參事會ノ議決ニ付スルコトヲ得  
州參事會成立セザルトキ又ハ會議ヲ開クコト能ハザルトキハ州知事ハ臺灣總督ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スルコトヲ得  
州會又ハ州參事會ニ於テ其ノ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキ又ハ前二條ノ規定ニ依リ州會又ハ州參事會ノ議決ヲ取消シタルトキハ前項ノ例ニ

依ル

州參事會ノ決定スベキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル  
前四項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ州知事ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ州會又ハ州參事會ニ報告スベシ

第三十二條 州參事會ニ於テ議決又ハ決定スベキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ州參事會成立セザルトキ又ハ州知事ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ州知事ハ之ヲ專決處分シ次回ノ會議ニ於テ其ノ處分ヲ州參事會ニ報告スベシ

第三十三條 州知事ハ期日ヲ定メテ州會ノ停會ヲ命ズルコトヲ得

第三十四條 州會及州參事會ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ州知事ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第三十五條 州ニ會計役ヲ置キ官吏又ハ吏員ノ中ヨリ州知事之ヲ命ズ會計役ハ會計事務ヲ掌ル

第三十六條 州ハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ常設又ハ臨時ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス州知事之ヲ任免ス  
委員ハ州内ニ住所ヲ有スル者ナルコトヲ要ス  
委員ハ州知事ノ命ヲ承ケ委託ヲ受ケタル事務ニ從事ス

第三十七條 前條ニ定ムル者ノ外州ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ州知事之ヲ任免ス

有給吏員ノ定數ハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ州知事之ヲ定ム

第三十八條 前條ノ有給吏員ハ州知事ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第三十九條 官吏ノ州ノ行政ニ關スル職務關係ハ本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル

第四十條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外吏員ノ服務紀律及懲戒並ニ會計役及吏員ノ賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第五節 給料及給與

第四十一條 州會議員、名譽職參事會員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得  
費用辨償ニ關シ必要ナル事項ハ州知事之ヲ定ム

第四十二條 有給吏員ノ給料、給與及旅費ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第四十三條 有給吏員ニハ退隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得  
退隱料、退職給與金、死亡給與金及遺族扶助料ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第一項ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ其ノ處分アリタル日ヨリ六十日以内ニ之ヲ州知事ニ申立ツルコトヲ得  
前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ州知事ハ三十日以内ニ之ヲ州參事會ノ決定ニ付スベシ

第四十四條 給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料、費用辨償其ノ他ノ給與ハ州ノ負擔トス

第六章 州ノ財務

第四十五條 州ハ基本財産ヲ設ケ又ハ特定ノ目的ノ爲積立金穀等ヲ設クルコトヲ得  
第四十六條 州ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得  
州ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第四十七條 州ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第四十八條 州ハ其ノ必要ナル費用及法律、勅令又ハ律令ニ依リ州ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第四十九條 郡廳舎ノ建築費及修繕費並ニ郡役所費ハ國費ヲ以テ支辨スルモノヲ除クノ外州ノ負擔トス

第五十條 州稅トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ  
一 國稅附加稅  
二 特別稅

第五十一條 州ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ市街庄ニ分賦スルコトヲ得

第五十二條 州内ニ住所ヲ有スル者ハ州稅ヲ納ムル義務ヲ負フ  
三月以上州内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ週リ州稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第五十三條 州内ニ住所ヲ有セズ又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖モ州内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、州内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ州内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル州稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第五十四條 合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラルベキ州稅ヲ納ムル義務ヲ負フ  
相續人又ハ相續財團ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ被相續人ニ對シ其ノ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ州稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

其ノ費用ニ充ツベシ

第五十九條 數人又ハ州ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ州ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ州ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得

第六十條 州ハ特別ノ必要アルトキニ限リ夫役又ハ現品ヲ州内一部ノ市街庄其ノ他ノ公共團體又ハ一部ノ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得  
學藝、美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ズ

夫役又ハ現品ハ之ヲ金額ニ算出シテ賦課スベシ  
夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得  
第三項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役又ハ現品ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六十一條 州稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ檢査ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證據ヲ携帶スベシ

第六十二條 州知事ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得  
州知事ハ特別ノ事情アル者ニ對シ州參事會ノ議決ヲ經テ州稅ヲ減免スルコトヲ得

第六十三條 州稅、使用料、手数料、過料、過怠金其ノ他ノ州ノ收入ヲ定期内ニ納メザル者アルトキハ州知事ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ  
夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サズ又ハ夫役現品ニ

第五十五條 納稅者ノ州外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ州外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ州稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

州ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メザルモノニ對シ附加稅ヲ賦課スル場合及住所滞在州ノ内外ニ渉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シ州稅ヲ賦課スル場合ニ付テハ臺灣總督之ヲ定ム

第五十六條 左ニ掲グルモノニ對シテハ州稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

一 國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件  
二 國及州、廳地方費、市街庄其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地家屋物件及營造物但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

三 神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並ニ教會所設教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所設教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ  
四 臺灣所得稅令第二十一條ニ掲グル所得

前項ニ掲グルモノノ外州稅ヲ賦課スルコトヲ得ザルモノハ臺灣總督之ヲ定ム  
第五十七條 州ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスル場合ニ於テハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ州稅ヲ課セザルコトヲ得

第五十八條 州ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ部内ニ於テ州稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生ズル收入アルトキハ先ヅ其ノ收入ヲ以テ

代フル金錢ヲ納メザルトキハ州知事ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役又ハ現品ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命ズベシ

前二項ノ場合ニ於テハ手数料ヲ徵收ス手数料ノ額ハ州知事之ヲ定ム  
市街庄ノ官吏又ハ吏員ヲシテ第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ爲サシメタル場合ニ於ケル手数料ハ其ノ市街庄ノ收入トス

前項ノ第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セザルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スベシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ニ付テハ國ノ徵收金ニ次デ先取特權ヲ有シ其ノ追徵、還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第六十四條 州稅、使用料及手数料ニ關スル事項ニ付テハ法令ニ定ムルモノヲ除クノ外州會ノ議決ヲ經テ州知事之ヲ定ム

詐偽其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料ノ徵收ヲ免レ又ハ州稅ヲ逃脫シタル者ニ付テハ州知事ハ州會ノ議決ヲ經テ其ノ徵收ヲ免レ又ハ逃脫シタル金額ノ五倍ニ相當スル金額(其ノ金額五圓未滿ナルトキハ五圓)以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設ケルコトヲ得

前項ニ定ムルモノヲ除クノ外州稅、使用料及手数料ノ賦課徵收ニ關シテハ州知事ハ州會ノ議決ヲ經テ十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設ケルコトヲ得營造物ノ使用ニ關シ亦同ジ

第六十五條 市街庄ハ市街庄内ニ於テ州知事ノ指定シタル州稅其ノ他州ノ收入ヲ徵收シ之ヲ州ニ納入スル義務ヲ負フ  
市街庄ハ避クベカラザル災害ニ因リ既收ノ徵收金ヲ失ヒタルトキハ其ノ納入義務ノ免除ヲ州知事ニ申請スルコトヲ得  
州知事前項ノ申請ヲ受ケタルトキハ七日以内ニ之ヲ州參事會ノ決定ニ付

スベシ

第六十六條 州ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、州ノ永久ノ利益ト爲ルベキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限リ州債ヲ起スコトヲ得  
州ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ之ヲ償還スベシ  
第六十七條 州知事ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ年度開始二月前迄ニ州會ノ議決ヲ經ベシ  
州ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第六十八條 州知事ハ州會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得  
第六十九條 州費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スベキモノハ其ノ年々各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得  
第七十條 州ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クベシ

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケザルコトヲ得  
豫備費ハ州會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ズ  
第七十一條 州知事ハ豫算ガ州會ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ臺灣總督ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ  
第七十二條 州ハ特別會計ヲ設ケタルコトヲ得  
第七十三條 州ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル  
第七十四條 決算ハ翌年度ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ州會ニ報告スベシ

決算ハ之ニ關スル州會ノ議決ト共ニ之ヲ臺灣總督ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

○臺灣州制施行令

昭和十一年七月二十日  
臺灣總督府令第五十八號

大正九年府令第百十號臺灣州制施行令左ノ通改正ス

臺灣州制施行令

第一章 州會

第一條 州會議員ノ定數左ノ如シ

- 臺北州 三十六人
- 新竹州 二十二二人
- 臺中州 三十二人
- 臺南州 三十六人
- 高雄州 二十六人

第二條 州會議員ノ選舉區及各選舉區ニ於テ選舉スベキ議員ノ數ハ別表ニ依ル

第三條 第一條ノ議員ノ定數及前條ノ別表ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非ザレバ之ヲ變更セズ但シ州郡市ノ廢置分合又ハ區域變更アリタル場合ニ於テ臺灣總督必要アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 州會議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲臺灣州制第七條ノ規定ニ依ル議員ニシテ解任ヲ要スルモノハ知事其ノ選舉區ニ付抽籤シテ之ヲ定ム  
前項ノ場合ニ於テ其ノ選舉區ニ缺員アルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ缺員ヲ以テ解任ヲ要スル者ニ充ツベシ但シ缺員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿タザルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付知事抽籤シテ解任スベキ者ヲ定メ缺員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツベキ缺員ハ最モ先ニ缺員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ缺員ト爲リタル時同

第七十五條 本令ニ規定スルモノヲ除ク外州稅、使用料、手数料、豫算調製ノ式其ノ他州ノ財務ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第七章 州ノ監督

第七十六條 州ハ臺灣總督之ヲ監督ス  
第七十七條 臺灣總督ハ州ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ、書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得  
臺灣總督ハ州ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第七十八條 州ニ於テ法律、勅令又ハ律令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用ヲ豫算ニ載セザルトキハ臺灣總督ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得  
臺灣總督ハ州ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得

第七十九條 臺灣總督ハ州會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

州會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ノ選舉及任命ヲ行フベシ但シ特別ノ事由アルトキハ臺灣總督ハ別ニ其ノ期間ヲ定ムルコトヲ得

第八十條 臺灣總督ノ認可ヲ要スル事件ニ付テハ臺灣總督ハ申請ノ趣旨ニ反セズト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコトヲ得

第八十一條 本令ニ規定スルモノヲ除ク外州ノ監督ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第八十二條 本令中官吏ニ關スル規定ハ特選官吏ニ之ヲ適用ス

附則

本令施行ノ期日ハ臺灣總督之ヲ定ム(昭和十一年臺灣總督府令第五十七號ヲ以テ昭和十一年十月一日ヨリ施行)  
本令施行ノ際必要ナル規定ハ臺灣總督之ヲ定ム

ジキトキハ知事抽籤シテ之ヲ定ム

第一項ノ場合ニ於テ選舉區ナキニ至リタル議員又ハ選舉區明ナラザルニ至リタル議員アルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラズ其ノ議員ヲ以テ解任ヲ要スル者ニ充ツベシ但シ選舉區ナキニ至リタル議員又ハ選舉區明ナラザルニ至リタル議員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツベキ議員ハ知事抽籤シテ之ヲ定ム

州會議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲臺灣州制第十條ノ規定ニ依ル議員ニシテ解任ヲ要スルモノハ知事抽籤シテ之ヲ定ム但シ缺員アルトキハ其ノ缺員ヲ以テ之ニ充ツベシ此ノ場合ニ於テハ第二項但書ノ例ニ依ル

第五條 議員ノ數ヲ變更シタル場合ニ於テ選舉區ナキニ至リタル議員又ハ選舉區明ナラザルニ至リタル議員ニ對シテハ前條ノ場合ヲ除ク外知事其ノ選舉區ヲ指定ス

第六條 州會議員ノ選舉ハ知事ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選舉ヲ行フベキ選舉區、選舉ノ期日及選舉スベキ議員數ヲ記載シ選舉ノ期日(第十九條ノ規定ニ依リ別ニ投票期日ヲ定ムル場合ニ於テハ投票期日)前二十日ヨリ迄ニ之ヲ發スベシ

天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハザルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ知事ハ當該選舉區又ハ投票區ニ付投票ヲ行フベキ期日ヲ定メ投票ノ期日ヨリ迄ニ之ヲ告示スベシ

第七條 左ニ掲グル者ヲ以テ選舉長トス  
一 市ノ區域ヲ以テスル選舉區ニ於テハ其ノ市尹  
二 其ノ他ノ選舉區ニ於テハ知事ノ指定スル官吏

選舉長ハ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス  
第八條 市ノ區域ヲ以テスル選舉區以外ノ選舉區ニ於テハ郡ノ區域ヲ以テ

開票區トス

郡守ハ開票管理者ト爲リ開票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第九條 市ノ區域ヲ以テスル選舉區以外ノ選舉區ニ於テハ街庄ノ區域ヲ以テ投票區トス

街庄長ハ投票管理者ト爲リ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第十條 市尹街庄長ハ選舉ノ期日(第十九條ノ規定ニ依リ別ニ投票期日ヲ定メタル投票區ニ在リテハ投票期日)前五日迄ニ選舉會場又ハ投票所及投票時間ヲ告示スベシ

第六條第二項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ五日目迄トアルハ三日目迄トス

第十一條 選舉長ハ其ノ選舉區内ニ於ケル選舉人ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スベシ

開票管理者ハ其ノ開票區内ニ於ケル選舉人ノ中ヨリ二人乃至四人ノ開票立會人ヲ選任スベシ

投票管理者ハ其ノ投票區内ニ於ケル選舉人ノ中ヨリ二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スベシ

選舉立會人、開票立會人及投票立會人ハ名譽職トス

第十二條 議員候補者タラントスル者ハ選舉期日ノ告示ノ日ヨリ選舉期日前三日目迄ニ其ノ旨ヲ選舉長ニ届出ヅベシ

州會議員ノ被選舉權ヲ有スル者他人ヲ議員候補者ト爲サントスルトキハ前項ノ期間内ニ其ノ推薦ノ届出ヲ爲スコトヲ得

議員候補者ハ選舉長ニ届出ヲ爲スニ非ザレバ議員候補者タルコトヲ辭スルコトヲ得ズ

前三項ノ届出アリタルトキ又ハ議員候補者ノ死亡シタルコトヲ知りタル

トキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

第十三條 選舉人ニ非ザル者ハ投票所ニ入ルコトヲ得ズ但シ投票所ノ事務ニ從事スル者、投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者及警察官吏ハ此ノ限ニ在ラズ

投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他投票所ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ投票所ノ外ニ退出セシムベシ

投票管理者投票所ノ取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第二項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者投票所ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テハ投票ヲ爲サシムルヲ妨ゲズ

第十四條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉會場又ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ議員候補者一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ

選舉人ハ選舉會場又ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ議員候補者一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ

自ラ議員候補者ノ氏名ヲ書スルコト能ハザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ

投票用紙ハ知事ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フベシ

第十五條 市會議員、街庄協議會會員ハ選舉又ハ當選ノ取消アル迄、當選無効ト爲ル迄、臺灣市制施行令第三十一條第一項若ハ臺灣街庄制施行令第三十一條第一項ノ決定確定シ又ハ臺灣市制施行令第三十一條第二項若ハ

臺灣街庄制施行令第三十一條第二項ノ申立ニ對シ決定アル迄ハ州會議員ノ選舉ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第十六條 投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者之ヲ決定シ市尹選舉長ナルトキハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スベシ

第十七條 投票管理者ハ投票録ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

第十八條 投票管理者ハ其ノ指定シタル投票立會人ト共ニ投票ノ翌日迄ニ投票函及投票録ヲ開票管理者ニ送致スベシ

第十九條 島嶼其ノ他交通不便ノ投票區ニ對シテハ知事ハ適宜ニ其ノ投票期日ヲ定メ選舉期日ノ翌日迄ニ其ノ投票函及投票録ヲ送致セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第六條第一項ノ告示中ニ併セテ其ノ投票區及投票期日ヲ記載スベシ

第二十條 開票管理者ハ豫メ開票ノ場所及日時ヲ告示スベシ

第二十一條 開票管理者ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日開票立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スベシ

開票管理者ハ開票立會人ト共ニ投票ヲ點檢スベシ

天災事變等ノ爲開票ヲ行フコト能ハザルトキハ開票管理者ハ更ニ其ノ場所及日時ヲ告示スベシ

前三項ノ規定ハ市ノ區域ヲ以テスル選舉區ノ選舉會ニ之ヲ準用ス

第二十二條 開票所ニハ開票所ノ事務ニ從事スル者、開票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者及警察官吏ヲ除クノ外入ルコトヲ得ズ

第二十三條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

二 議員候補者ニ非ザル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一投票中二人以上ノ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉權ナキ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 議員候補者ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

六 議員候補者ノ氏名ヲ自書セザルモノ

七 議員候補者ノ何人ヲ記載シタルカヲ確認シ難キモノ

八 現ニ州會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

第二十四條 投票ノ效力ハ開票立會人ノ意見ヲ聽キ開票管理者之ヲ決定シ市尹選舉長ナルトキハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スベシ

第二十五條 開票管理者ハ開票録ヲ作り開票ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ開票立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

開票録及投票録ハ投票其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間郡守之ヲ保存スベシ

第二十六條 開票ヲ終リタルトキハ開票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スベシ此ノ場合ニ於テハ開票録及投票録ノ寫ヲ添付スベシ

第二十七條 知事ノ指定スル官吏選舉長ナルトキハ選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スベシ

第二十八條 選舉長ハ總テノ開票管理者ヨリ第二十六條ノ報告ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日選舉會ヲ開キ選舉立會人立會ノ上其ノ報告ヲ調査スベシ

選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テ第二十六條ノ報告ヲ受ケタルトキハ選舉長ハ前項ノ例ニ依リ選舉會ヲ開キ他ノ部分ノ報告ト共ニ之ヲ調査スベシ



第二十九條 第二十一條第三項及第二十二條ノ規定ハ選舉會ニ之ヲ準用ス

第三十條 州會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多数ヲ得タル者ヲ以テ當選者ト

ス  
當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ年長者ヲ取り年齡同ジキト

キハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムベシ  
選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル議員候補者ハ當選者ト

爲ルコトヲ得ズ此ノ場合ニ於テハ第四十條ノ規定ヲ準用ス  
第三十一條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀

シ二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スベシ  
選舉錄ハ議員ノ任期間知事ノ指定スル官吏選舉長ナル場合ニ於テハ第二

十六條ノ報告書其ノ他ノ關係書類ト共ニ知事之ヲ保存シ其ノ他ノ場合ニ

於テハ投票其ノ他ノ關係書類ト共ニ市尹之ヲ保存スベシ  
第三十二條 當選者其ノ選舉ニ關シ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ

當選ヲ無効トス  
當選者當選後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ此

ノ場合ニ於テハ第四十條ノ規定ヲ準用ス  
第三十三條 當選者定リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知

シ同時ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且選舉錄、開票錄及投票錄ノ寫ヲ

添ヘ之ヲ知事ニ報告スベシ  
當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄、開票錄及投票錄ノ寫ヲ

添ヘ之ヲ知事ニ報告スベシ  
當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内

ニ之ヲ知事ニ申立ツベシ但シ一人ニシテ數選舉區ニ於テ當選シタルトキ

ハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ何レノ當選ニ應ズベキ

ルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ選舉ノ取消アリタルトキ亦同ジ

第三十九條 臺灣州制第十條ノ規定ニ依リ州會議員ヲ任命シタルトキハ臺

灣總督其ノ住所及氏名ヲ告示ス  
第四十條 州會議員被選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ第三十三條第六項

ニ掲グル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第三十三條

第六項ニ掲グル者ニ該當スルヤ否ハ議員ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因

リ被選舉權ヲ有セザル場合ヲ除クノ外知事之ヲ決定ス  
一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ

二 破產者ト爲リタルトキ  
三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

前項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定アリタル日ヨリ

十日以内ニ知事ヲ經テ之ヲ臺灣總督ニ申立ツルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ議員ノ失職確定シタルトキハ知事ハ其ノ住所、氏名

及其ノ選舉區ヲ告示シ且第二項ノ場合ヲ除クノ外之ヲ臺灣總督ニ報告ス

ベシ議員死亡シタルトキ、職ヲ辭シタルトキ又ハ第四條ノ規定ニ依リ議

員解任セラレタルトキ亦同ジ  
第二項ノ規定ニ依リ議員ノ失職確定シタルトキハ知事ハ其ノ住所、氏名

及其ノ選舉區ヲ告示スベシ  
第四十一條 州會議員ハ選舉若ハ當選ノ取消アル迄、第三十二條第一項ノ

規定ニ依リ當選無効ト爲ル迄又ハ前條第一項ノ決定確定シ若ハ前條第二

項ノ申立ニ對シ決定アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第四十二條 知事及其ノ委任若ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事

ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ  
第四十三條 州會ハ通常會及臨時會トス

カヲ知事ニ申立ツベシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テザルトキハ知事抽籤シテ

之ヲ定ムベシ  
當選者ニ付第三十五條第一項ノ規定ニ依ル知事ノ告示アリタルトキハ其

ノ當選者ハ更ニ他ノ選舉區ニ於テ當選者ト爲ルコトヲ得ズ前項但書ノ規

定ニ依リ選舉區定リタルトキハ他ノ選舉區ニ於テ其ノ當選ヲ失フ

官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ之ニ應ズ

ルコトヲ得ズ  
前項ノ官吏當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應ズベキ旨ヲ

知事ニ申立テザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス  
州ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ州ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付知事若ハ其ノ

委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一

ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者

ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ

爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非ザレ

バ當選ニ應ズルコトヲ得ズ  
前項ニ規定スル者第二項本文ノ期間内ニ其ノ旨ヲ知事ニ申立テザルトキ

ハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス  
第六項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準ズベキ者並ニ清算人ヲ謂フ

第三十四條 當選者當選ヲ辭シタルトキ、當選ヲ失ヒタルトキ、死亡シタ

ルトキ又ハ當選ノ取消アリタルトキハ選舉長ハ直ニ選舉會ヲ開キ之ヲ補

フベキ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第三十條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條第一項ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキ亦前項ニ同ジ但

シ同一人ニ關シ議員失職又ハ辭任ニ因リ選舉ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ

選舉期日ヨリ一年ヲ過ギタル後當選無効ト爲リタル場合ハ此ノ限ニ在ラ

ズ  
前項但書ノ場合ニ於テハ州會議員缺員ト看做ス

第三十五條 第三十三條第二項本文ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第五

項ノ申立アリタルトキハ知事ハ直ニ當選者ノ住所、氏名及其ノ選舉區ヲ

告示シ且之ヲ臺灣總督ニ報告スベシ  
第三十三條第二項但書ノ規定ニ依リ選舉區定リタルトキ亦前項ニ同ジ

當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉區ニ於ケル議員ノ定數ニ

達セザルニ至リタルトキハ知事ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且之ヲ臺灣總督ニ

報告スベシ  
第三十六條 選舉ノ規定ニ違反ノ事實アルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ズ

ル虞アル場合ニ依リ知事ハ選舉ノ全部若ハ一部又ハ當選ヲ取消スベシ

前項ノ規定ニ依リ選舉ヲ取消シタル場合ニ於テ當選ニ異動ヲ生ズル虞ナ

キ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ依リ當選ヲ失フコトナシ  
選舉ノ規定ニ違反ノ事實アリト認ムルトキハ選舉人又ハ議員候補者ハ當

選者定リタル日ヨリ十日以内ニ其ノ事由ヲ知事ニ申立テ第一項ノ規定ニ

依ル處分ヲ求ムルコトヲ得  
第一項ノ規定ニ依ル處分ハ第三十三條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三

十日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ前項ノ申立アリタルニ因リ處分ヲ爲

ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
第三十七條 知事選舉又ハ當選ヲ取消シタルトキハ直ニ之ヲ告示シ且之ヲ

通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ十日以内トス

臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其ノ事件ニ限リ之ヲ開ク其ノ會期ハ三日以内トス

知事必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ三日以内州會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ州會ノ會期ヲ延長シタルトキハ知事ハ直ニ之ヲ告示スベシ

臨時會ニ付スベキ事件ハ知事豫メ之ヲ告示スベシ

臨時會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ第二項及前項ノ規定ニ拘ラズ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第四十四條 州會ハ知事之ヲ召集ス

召集ハ開會ノ日前通常會ニ在リテハ十四日、臨時會ニ在リテハ五日日迄ニ告示スベシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

州會ハ知事之ヲ開閉ス

第四十五條 州會ハ議長又ハ其ノ代理者及議員定數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ第四十七條ノ規定ニ依リ除斥ノ爲半數ニ滿タザルトキ、同一ノ事件ニ付召集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タザルトキ又ハ召集ニ應ズルモ出席議員定數ヲ缺キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十六條 州會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十七條 議長、其ノ代理者及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子、孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ州會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

名ヲ記載セシムベシ

會議録ハ議長及出席議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ州會ニ於テ之ヲ定ムベシ

第五十七條 臺灣州制第二十九條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ爲シタル議決又ハ選舉ノ取消處分ハ州會開會中ニ非ザルトキハ知事ハ直ニ又ヲ告示スベシ

第五十八條 知事州會ノ停會ヲ命ジタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且臺灣總督ニ報告スベシ

第二章 州參事會

第五十九條 州參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員定數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ第二項ノ除斥ノ爲名譽職參事會員其ノ半數ニ滿タザルトキ、同一ノ事件ニ付召集再回ニ至ルモ仍名譽職參事會員其ノ半數ニ滿タザルトキ又ハ召集ニ應ズルモ出席ノ名譽職參事會員定數ヲ缺キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

州參事會員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子、孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ州參事會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第六十條 議長及其ノ代理者ハ議長ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之ガ爲州參事會員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハズ

第六十一條 州參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サズ

第六十二條 本令中第四十一條、第四十二條、第四十四條第一項及第三項、第四十六條、第四十八條、第五十條乃至第五十三條並ニ第五十五條乃至第五十七條ノ規定ハ州參事會ニ之ヲ準用ス

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第四十八條 州會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ノ定ムル所ニ依ル會議規則ニ其ノ定ナキトキハ州會ノ議決ヲ經テ知事之ヲ定ム

第四十九條 州會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁止シタルトキ

二 議員三人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項ノ議員ノ發議ハ討論ヲ須ヒズ其ノ可否ヲ決スベシ

第五十條 州會ノ會議ハ國語ヲ以テ用語トス

第五十一條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十二條 州會議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受クベカラズ

州會議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヒ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ズ

第五十三條 會議中本令又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハザルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第五十四條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席喧擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第五十五條 州會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第五十六條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏

名ヲ記載セシムベシ

會議録ハ議長及出席議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ州會ニ於テ之ヲ定ムベシ

第五十七條 臺灣州制第二十九條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ爲シタル議決又ハ選舉ノ取消處分ハ州會開會中ニ非ザルトキハ知事ハ直ニ又ヲ告示スベシ

第五十八條 知事州會ノ停會ヲ命ジタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且臺灣總督ニ報告スベシ

第三章 州ノ財務

第六十三條 市制施行ノ州ニ於テハ臺灣州制第四十九條ノ規定ニ依ル費用ヲ街庄ニ分賦スルコトヲ得

前項分賦ノ割合ハ豫算ノ屬スル年度ノ前前年度ニ於ケル街庄ノ直接國稅及直接州稅ノ徵收額ニ依ル但シ之ニ依リ難キ事情アルトキハ知事ハ州參事會ノ議決ヲ經臺灣總督ノ認可ヲ受ケ特別ノ分賦方法ヲ設クルコトヲ得

第六十四條 州ハ臨時少額ノ費用ノ爲テ賦課徵收ヲ爲スヲ要スル場合ニ於テハ其ノ費用ヲ市街庄ニ分賦スルコトヲ得

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 相續人又ハ相續財團ハ被相續人ニ對シ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ州稅ヲ納ムル義務ヲ負フ但シ戶主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續又ハ之ニ準ズベキ財產相續ノ開始アリタルトキハ被相續人モ亦之ヲ納ムル義務ヲ負フ

國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財產ノ限度トシテ前項ノ義務ヲ負フ

第六十六條 州ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メザルモノニ對シ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ關係アル知事又ハ廳長協議ノ上其ノ本稅額ノ歩合ヲ定ムベシ

協議調ハザルトキハ臺灣總督之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テ直接ニ收入ヲ生ズルコトナキ營業所アルトキハ他ノ營業所ト收入ヲ共通スルモノト看做シ本稅額ノ歩合ヲ定ムベシ

第六十七條 住所滞在州ノ内外ニ涉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シ州稅ヲ賦課セントスルトキハ其ノ收入ヲ平分シ其ノ一部ニノミ賦課スベシ

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

第一編 地方制度 第四章 殖民地 臺灣州制施行令

前項ノ住所又ハ滞在ガ其ノ時ヲ異ニシタルトキハ納稅義務ノ發生シタル翌月初ヨリ其ノ消滅シタル月ノ終迄月割ヲ以テ賦課スベシ但シ賦課後納稅義務者ノ住所又ハ滞在ニ異動ヲ生ズルモ賦課額ハ之ヲ變更セズ其ノ新ニ住所ヲ有シ又ハ滞在スル州ニ於テハ賦課ナキ部分ニノミ賦課スベシ

**第六十八條** 州稅ヲ徵收シ又ハ納付セシメントスルトキハ知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏若ハ吏員ハ市街庄ニ對シ徵收告知書ヲ發シ市尹又ハ市街庄長ハ其ノ徵收告知書ニ依リ徵收傳令書ヲ調製シ之ヲ納人ニ交付シ其ノ税金ヲ徵收スベシ

知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏若ハ吏員ハ前項ノ規定ニ依ラズ直ニ納人ニ對シ徵收告知書ヲ發スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ地租附加稅ハ地租ノ金庫ニ納入セシムルモノヲ除クノ外地租ノ納稅告知書ニ附記シ別ニ徵收告知書ヲ發セズ

知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏若ハ吏員ハ夫役現品ニ在リテハ賦課告知書、負擔金、使用料、手数料、過料、過怠金及物件ノ賃賃料ノ類ニ在リテハ納入告知書、其ノ他ノ收入ニ在リテハ納付書ヲ發シテ之ヲ收入スベシ但シ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役現品並ニ納入告知書又ハ納付書ニ依リ難キモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

**第六十九條** 臺灣州制第六十三條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ税金額百圓ニ付一日十錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ税金完納又ハ財產差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收スベシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 徵收告知書又ハ徵收傳令書一通ノ税金額二十圓未滿ナルトキ  
二 納期ヲ繰上ゲ徵收ヲ爲ストキ  
三 納稅者ノ住所及居所ガ本島内ニ在ラザル爲又ハ其ノ不明ナル爲公示

**第七十四條** 第七十二條ノ規定ニ依リ徵收スル州稅ニ付テハ第六十八條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第七十三條並ニ臺灣州制第六十五條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ州稅ノ納入ニ付テハ準用ス

**第七十五條** 臺灣州制第五十七條ノ規定ニ基キ州稅ヲ賦課スルヲ不適當トスルモノハ州參事會ノ議決ヲ經テ知事之ヲ定ムベシ

**第七十六條** 知事ハ每會計年度州稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入出豫算ヲ調製スベシ

豫算ヲ州會ニ提出スルトキハ知事ハ財產明細表ヲ添附スベシ

**第七十七條** 豫算ハ年度經過後ニ於テ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得ズ

**第七十八條** 特別會計ニ屬スル歲入歲出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スベシ

**第七十九條** 歲入出豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ分チ且各都更ニ款項ニ區分スベシ

**第八十條** 歲入出豫算ニハ各項ヲ各目ニ區分シ其ノ豫算ノ基ク所ヲ詳記シタル豫算説明ヲ附スベシ

**第八十一條** 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スベキ歲出ニ充ツルコトヲ得ズ

年度經過後ニ至リ歲入ヲ以テ歲出ニ充ツルニ足ラザルニ至リタルトキハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ翌年度ノ歲入ヲ繰上ゲ之ニ充用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ充用ニ要スル額ヲ翌年度ノ歲入出豫算ニ編入スベシ

**第八十二條** 歲入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

第一編 地方制度 第四章 植民地 臺灣州制施行令

送達ノ方法ニ依リ納稅ノ命令又ハ督促ヲ爲シタルトキ

四 督促狀ニ指定シタル期限迄ニ税金及督促手数料ヲ完納シタルトキ  
五 滞納ニ付酌量スベキ情狀アリト認ムルトキ

**第七十條** 納稅義務者又ハ第七十二條ノ規定ニ依ル徵收義務者左ニ掲グル場合ニ該當スルトキハ納期日ニ拘ラズ其ノ税金又ハ納入金ヲ徵收スルコトヲ得

一 納期終日前ニ納稅義務消滅ノ原因生ジタルトキ  
二 納期終日前ニ第七十二條ノ規定ニ依ル徵收義務者其ノ營業又ハ稼業ヲ廢止シタルトキ

三 國稅、州稅其ノ他ノ公課ノ滞納ニ依リ滞納處分ヲ受ケタルトキ  
四 強制執行ヲ受ケタルトキ  
五 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ  
六 破産ノ開始アリタルトキ  
七 法人ガ解散ヲ爲シタルトキ

八 納稅人脫稅又ハ通稅ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキ

**第七十一條** 同一年度ノ州稅ニシテ既納ノ税金過納ナルトキハ爾後ノ納期ニ於テ徵收スベキ同一稅目ノ税金ニ充ツルコトヲ得

**七十二條** 州ハ臺灣總督ノ指定シタル州稅ニ付テハ其ノ徵收ノ便宜ヲ有スル者ヲシテ之ヲ徵收セシムルコトヲ得

前項ノ徵收義務者ハ徵收スベキ州稅ヲ知事ノ指定シタル期限迄ニ州ニ納入スベシ

前項ノ納入金ノ徵收ニ付テハ州稅ノ例ニ依ル

**第七十三條** 州ハ臺灣州制第六十五條第一項ノ徵收ノ費用トシテ州ニ納入シタル税金其ノ他州ノ收入金ノ百分ノ三以內ヲ其ノ市街庄ニ交付スベシ

其ノ告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度

三 隨時ノ收入ニシテ徵收告知書、賦課告知書又ハ納入告知書ヲ發セザルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ州債、交付金、補助金、寄附金、請負金、償還金其ノ他之ニ類スル收入ニシテ其ノ收入ヲ豫算シタル年度ノ出納閉鎖前ニ領收シタルモノハ其ノ豫算ノ屬スル年度

**第八十三條** 歲出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

一 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與、備人料ノ類ハ其ノ支給スベキ事實ノ生ジタル日ノ屬スル年度但シ別ニ定リタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

二 通信運搬賃、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ノ履行ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

三 州債ノ元利金ニシテ支拂期日ノ定アルモノハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

四 補助金、寄附金、交付金及負擔金ノ類ハ其ノ支拂ヲ豫算シタル年度

五 缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

六 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度

**第八十四條** 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ズ

豫算各項ノ金額ハ州參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得但シ公費ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

**第八十五條** 州ノ收入支出ニシテ命令ヲ發スルヲ要スルモノハ知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏員ニ於テ之ヲ發ス

第八十六條 支出ハ債主又ハ其ノ代理人ニ對スルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第八十七條 會計役ハ知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏員ノ命令アルニ非ザレバ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

第八十八條 左ノ經費ニ付テハ州ノ官吏又ハ吏員ニ對シ現金前渡ヲ爲スコトヲ得  
一 州債ノ元利支拂  
二 遠隔ノ地又ハ交通不便ノ地ニ於テ支拂ヲ爲ス經費  
三 人夫賃其ノ他少額宛多數人ニ即金拂ヲ要スル經費  
特別ノ必要アルトキハ前項ノ現金前渡ハ州ノ官吏又ハ吏員以外ノ者ニ之ヲ爲スコトヲ得

第八十九條 旅費及訴訟費用ニ付テハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第九十條 前金支拂ニ非ザレバ購入又ハ借入ノ契約ヲ爲シ難キモノニ付テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第九十一條 前三條ニ掲グルモノヲ除クノ外必要アルトキハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ現金前渡概算拂又ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第九十二條 歳入ノ誤納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歳入ヨリ支拂フベシ

第九十三條 歳出ノ誤拂過渡ト爲リタル金額、現金前渡、概算拂、前金拂及繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スベシ

第九十四條 州ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

第九十五條 知事ハ出納閉鎖後三月以内ニ決算ヲ調製スベシ

第九十六條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ左ノ事項ノ計算ヲ明記シタル說明ヲ附スベシ

歳入ノ部

歳入豫算額

繼續費繰越財源豫定額

事故繰越財源豫定額

調定済歳入額

收入済歳入額

不納缺損額

收入未済歳入額

歳出ノ部

歳出豫算額

豫算決定後増加歳出額

支出済歳出額

翌年度繰越額

不用額

第九十五條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歳入歳出ト爲スベシ第九十二條ノ拂戻金又ハ戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同ジ

第九十六條 各年度ニ於テ歳計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ編入スベシ但シ州會ノ議決ニ依リ剩餘金ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スル場合ニ於テハ繰越ヲ要セズ之ガ支出ヲ爲スコトヲ得

第九十七條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終迄逐次繰越使用スルコトヲ得

第九十八條 一年度内ニ終ルベキ工事、製造又ハ物品ノ買入若ハ運搬ニシテ避クベカラザル事故ノ爲竣功、納入又ハ運搬ヲ遅延シ年度内ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラザルモノニ限り之ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得

第九十九條 知事ハ州金庫ヲ監督シ検査員ヲシテ定期及臨時ニ現金及帳簿ヲ検査セシムベシ

第一百條 州ノ監督  
一 使用料ヲ新設又ハ變更スルコト  
二 州債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト  
三 基本財産ノ處分ニ關スルコト  
四 積立金數等ヲ其ノ目的外ニ處分スルコト  
五 不動産ノ處分ニ關スルコト但シ公用又ハ公共ノ用ニ供スル場合並ニ建坪五十坪未滿ノ建物及一箇所ニ付五百坪以下ノ土地ニシテ評定價額五千圓未滿ノモノヲ處分スル場合ヲ除ク  
六 寄附又ハ補助ヲ爲スコト  
七 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト  
八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト  
九 臺灣州制第五十八條ノ費用ヲ負擔セシムルコト  
十 臺灣州制第五十九條ノ賦課ヲ爲スコト  
十一 學藝、美術又ハ歴史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ之ニ大ナル變更ヲ加フルコト

第一百零一條 左ニ掲グル事件ハ前條ノ規定ニ拘ラズ臺灣總督ノ認可ヲ受クルコトヲ要セズ  
一 州債ノ借入額ノ減少、利息ノ定率ノ低減、償還年限ノ短縮若ハ繰上償還ヲ爲シ又ハ既定ノ償還年限ヲ延長セズシテ低利ノ借替ヲ爲スコト

第九十九條 工事ノ請負、物件ノ賣買賃借、勞力ノ供給其ノ他ノ契約ハ競争入札ニ付スベシ但シ臨時急務ヲ要スルトキ又ハ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第一百條 會計役ノ保管ニ係ル金品、證券及帳簿ハ知事ニ於テ検査員ヲ命ジ少クトモ毎年一回之ヲ検査セシムベシ

第一百一條 州ハ現金ノ出納及保管ノ爲州金庫ヲ置ク

第一百二條 州金庫ハ州本金庫及州支金庫トス  
州本金庫ハ州廳所在地ニ之ヲ置キ州支金庫ハ知事必要アリト認ムル地ニ之ヲ置ク  
州本金庫ハ州支金庫ヲ總轄ス

第一百三條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムベキ銀行ハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ知事ノヲ定ム  
金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ハ知事ノ認可ヲ受ケ其ノ責任ヲ以テ他ノ銀行又ハ其ノ他ノ者ヲシテ金庫事務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第一百四條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ハ現金ノ出納保管ニ付州ニ對シテ責任ヲ有ス

第一百五條 州ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ヨリ擔保ヲ徵スベシ

第一百六條 州ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ノ保管スル現金ニシテ州ノ歳入歳出ニ屬スルモノニ限り支出ニ妨グナキ限度ニ於テ其ノ運用ヲ許スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ハ知事ノ定ムル所ニ依リ利子ヲ州ニ納付スベシ

二 州債ノ借入先ヲ變更シ、償還年限ヲ延長セズシテ不均等償還ヲ元利均等償還ニ變更シ又ハ年度内ノ償還期若ハ償還期數ヲ變更スルコト

第五章 雜則

第一百十條 臺灣州制及本令ニ於ケル異議又ハ不服其ノ他ノ申立及決定ハ第八十六條及第二十四條ノ場合ヲ除クノ外文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ  
前項ノ決定ニハ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スベシ

第一百十一條 本令中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

附則

本令ハ昭和十年律令第一號臺灣州制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別表

臺北州		臺南州		臺中州		新竹州	
第一區	臺北市	第一區	臺南市	第一區	臺中市	第一區	新竹市
第二區	基隆市	第二區	嘉義市	第二區	台中縣	第二區	新竹縣
第三區	基隆市	第三區	嘉義市	第三區	台中縣	第三區	新竹縣
第四區	基隆市	第四區	嘉義市	第四區	台中縣	第四區	新竹縣
議員數	七人	議員數	四人	議員數	三人	議員數	三人

臺中州		臺南州		臺中州		新竹州	
第一區	臺中市	第一區	臺南市	第一區	臺中市	第一區	新竹市
第二區	彰化市	第二區	嘉義市	第二區	臺中市	第二區	新竹縣
第三區	彰化市	第三區	嘉義市	第三區	臺中市	第三區	新竹縣
第四區	彰化市	第四區	嘉義市	第四區	臺中市	第四區	新竹縣
第五區	彰化市	第五區	嘉義市	第五區	臺中市	第五區	新竹縣
議員數	三人	議員數	四人	議員數	三人	議員數	三人

○臺灣州制改正經過規程

昭和十一年九月一日 臺灣總督府令第六十六號

臺灣州制改正經過規程左ノ通定ム

臺灣州制改正經過規程

舊臺灣州制及之ガ施行ノ爲發シタル命令又ハ之ニ基キテ發シタル命令ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ之ヲ臺灣州制及之ガ施行ノ爲發スル命令又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

附則

本令ハ昭和十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○臺灣市制

昭和十年四月一日 律令第二號

臺灣市制改正ノ件大正十年法律第三號ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス

第一編 地方制度 第四章 植民地 臺灣市制

臺灣市制左ノ通改正ス

臺灣市制

第一章 總則

第一條 市ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及法律、勅令又ハ律令ニ依リ市ニ屬スル事務ヲ處理ス

第二條 市ノ廢置分合、名稱及區域ハ國ノ行政區劃タル市ノ廢置分合、名稱及區域ニ依ル

第三條 市ノ廢置分合又ハ區域變更ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市會及街庄協議會ノ意見ヲ徵シ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ州知事之ヲ定ム但シ州ノ廢置分合又ハ區域變更ニ伴フ場合ニ於テハ關係アル市會及街庄協議會ノ意見ヲ徵シ臺灣總督之ヲ定ム

第四條 市ノ廢置分合又ハ區域變更ノ場合ニ於テ市ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外臺灣總督之ヲ定ム

第五條 市内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ市住民トス

第六條 市ハ市住民ノ權利義務又ハ市ノ事務ニ關シ市條例ヲ設クルコトヲ得

市ハ市ノ營造物ニ關シ市條例ヲ以テ規定スルモノヲ除クノ外市規則ヲ設クルコトヲ得

市條例及市規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スベシ

第二章 市會

第七條 市ニ市會ヲ置キ議長及市會議員ヲ以テ之ヲ組織ス  
議長ハ市尹ヲ以テ之ニ充ツ市尹事故アルトキハ助役議長ノ職務ヲ代理ス

第八條 市會議員ノ定數左ノ如シ

- 一 人口五萬未満ノ市 二十四人
- 二 人口五萬以上十萬未満ノ市 二十八人
- 三 人口十萬以上二十萬未満ノ市 三十二人
- 四 人口二十萬以上三十萬未満ノ市 三十六人
- 五 人口三十萬以上ノ市 四十人

議員ノ定數ノ基準ト爲ルベキ人口ニ關シテハ臺灣總督之ヲ定ム  
議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非ザレバ之ヲ増減セズ但シ著シク人口  
ノ増減アリタル場合ニ於テ臺灣總督必要アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在  
ラズ

第九條 市會議員ノ定數ノ二分ノ一ニ相當スル員數ノ議員ハ之ヲ選舉ス

第十條 帝國臣民タル年齡二十五年以上ノ男子ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ六  
月以來市住民ト爲リ且六月以來臺灣總督ノ指定シタル市稅年額五圓以上  
ヲ納ムルモノハ其ノ市ニ於テ市會議員ノ選舉權ヲ有ス但シ左ノ各號ノ一  
ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 禁治産者及準禁治産者
- 二 破算者ニシテ復權ヲ得ザルモノ
- 三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 四 刑法第二編第一章又ハ第三章ニ掲グル罪ヲ犯シ六年未満ノ懲役又ハ  
禁錮ノ刑ニ處セラレタル者
- 五 前號ニ掲グル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未満ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セ  
ラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期  
ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ  
短キトキハ五年トス

選舉權ヲ有スル者市稅納處分中ハ選舉權ヲ行使スルコトヲ得ズ

市ハ第一項六月ノ制限ヲ特免スルコトヲ得  
第一項六月ノ期間ハ市街庄ノ廢置分合又ハ區域變更ノ爲中斷セラレルコ  
トナシ此ノ場合ニ於テハ新ニ市ノ區域ト爲リタル地域ニ於テ負擔シタル  
臺灣街庄制第十條第一項ニ規定スル街庄稅ハ之ヲ第一項ニ規定スル市稅  
ト看做ス

第十一條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ(未ダ入營セザル者及歸休下士

官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定  
(志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者ニ付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定  
ヲ含ム)ニ依リ召集中ノモノ並ニ志願ニ依リ國民軍ニ編入中ノモノハ市  
會議員ノ選舉權ヲ有セズ

第十二條 市會議員ノ選舉權ヲ有スル者ハ被選舉權ヲ有ス但シ左ニ掲グル

- 一 判官、檢察官、警察官吏及收稅官吏
  - 二 小學校及公學校ノ教員
- 選舉事務ニ關係アル官吏及市ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉  
權ヲ有セズ  
市ノ官吏及有給ノ吏員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノモノハ其ノ市ノ市會  
議員ト相兼スルコトヲ得ズ

第十三條 市會議員ノ定數ノ二分ノ一ニ相當スル員數ノ議員ハ市會議員ノ

被選舉權ヲ有スル者ニシテ學識名望アルモノ中ヨリ州知事之ヲ命ズ  
第十四條 市會議員ハ名譽職トス  
議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス  
議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ臺灣總督ノ定

ムル所ニ依リ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲新ニ選舉セラレ又ハ任命セラレタル議員  
ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十五條 第九條ノ規定ニ依ル市會議員中缺員ヲ生ジタル場合ニ於テ其ノ

缺員ガ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ市尹ニ於テ必要  
アリト認ムルトキハ其ノ補缺選舉ヲ行フベシ  
第十三條ノ規定ニ依ル市會議員中缺員ヲ生ジタル場合ニ於テ其ノ缺員ガ  
議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ州知事ニ於テ必要アリ  
ト認ムルトキハ其ノ補缺任命ヲ行フベシ  
議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲選舉及任命ヲ行フ場合ニ於テ議員中缺員  
アルトキハ併セテ補缺選舉又ハ補缺任命ヲ行フベシ  
補缺議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十六條 市會ハ市ニ關スル左ノ事件及法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件

- 一 市條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト
- 二 歳入出豫算ヲ定ムルコト
- 三 決算報告ニ關スルコト
- 四 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、市稅又ハ夫役現品ノ  
賦課徵收ニ關スルコト
- 五 市債ヲ起シ並ニ起償ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之  
ヲ變更スルコト但シ第六十七條第二項ノ借入金ヲ除ク
- 六 基本財産及積立金穀等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト
- 七 不動産ノ管理及處分ニ關スルコト
- 八 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

九 特別會計ヲ設クルコト

十 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ  
權利ノ拋棄ヲ爲スコト

市尹必要アリト認ムルトキハ前項ニ掲グル事件ノ外市ニ關スル事件ヲ市  
會ノ議決ニ付スルコトヲ得

第十七條 市會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ヲ市參事會ニ委任スルコト

ヲ得

第十八條 市會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フベシ

第十九條 市會ハ市ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ關係行政廳ニ提出ス  
ルコトヲ得

第二十條 市會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スベシ

市會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スベキ場合ニ於テ市會成立セズ、召集ニ應  
ズ若ハ意見ヲ答申セズ又ハ市會ヲ召集スルコト能ハザルトキハ當該行  
政廳ハ其ノ意見ヲ俟タズシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 會議規則及傍聽人取締規則ハ臺灣總督ノ定ムルモノヲ除クノ

外市會ノ議決ヲ經テ市尹之ヲ定ム  
會議規則ニハ本令、本令ニ基キテ發スル命令又ハ會議規則ニ違反シタル  
議員ニ對シ市會ノ議決ニ依リテ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコ  
トヲ得

第二十二條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外市會、市會議員並ニ市會議員

ノ選舉及其ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第二十三條 市ニ市參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

- 一 市尹

二 助役

三 名譽職參事會員

第二十四條 名譽職參事會員ノ定數ハ六人トシ市會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉スベシ

名譽職參事會員中缺員アルトキハ直ニ補缺選舉ヲ行フベシ  
名譽職參事會員ハ隔年之ヲ選舉スベシ  
名譽職參事會員ハ後任者ノ就任スルニ至ル迄在任ス市會議員ノ任期満了シタルトキ亦同ジ

第二十五條 市參事會ハ市尹ヲ以テ議長トス市尹事故アルトキハ助役議長ノ職務ヲ代理ス

第二十六條 市參事會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 市會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スルコト
  - 二 市會閉會中市會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ輕易ナルモノヲ市會ニ代リテ議決スルコト
  - 三 市會成立セザルトキ、會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ市尹ニ於テ市會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキ市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ市會ニ代リテ議決スルコト
  - 四 訴訟、訴訟及和解ニ關スル事件ヲ議決スルコト
  - 五 其ノ他法令ニ依リ市參事會ノ權限ニ屬スル事項
- 前項第二號ノ規定ニ依リ市參事會ニ於テ議決スベキ事件ハ市會ノ議決ヲ經テ市尹之ヲ定ム
- 第二十七條 第十九條及第二十條ノ規定並ニ第二十一條中會議規則ニ關スル規定ハ市參事會ニ、第二十二條ノ規定ハ市參事會及市參事會員ニ之ヲ

準用ス

第四章 市官吏及市吏員

第二十八條 市尹ハ市ヲ統轄シ市ヲ代表ス

- 一 市尹ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ
- 二 市費ヲ以テ支辨スベキ事件ヲ執行スルコト
- 三 市會及市參事會ノ議決ヲ經ベキ事件ニ付其ノ議案ヲ發スルコト
- 四 財產及營造物ヲ管理スルコト但シ特ニ之ガ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スルコト
- 五 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スルコト
- 六 證書及公文書類ヲ保管スルコト
- 七 法令又ハ市會若ハ市參事會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、市稅又ハ夫役現品ヲ賦課徵收スルコト
- 七 其ノ他法令ニ依リ市尹ノ職權ニ屬スル事項

第二十九條 市尹ハ市ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ市ノ官吏員ニ委任シ又ハ市ノ吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得

第三十條 市尹ハ吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

市尹ハ吏員ノ解職ヲ行ハントスル前其ノ吏員ノ停職ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期間報酬又ハ給料ノ全部又ハ一部ヲ給セザルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間州、廳地方費、市街庄其ノ他ニ準ズベキモノノ公職ニ就クコトヲ得ズ

第三十一條 市會又ハ市參事會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ市尹ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ

(台四)

(台四)

指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ市尹ハ州知事ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル市會又ハ市參事會ノ議決又ハ選舉仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ市尹ハ州知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スベシ

第三十二條 市會又ハ市參事會ノ議決明ニ公益ヲ害シ又ハ市ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ市尹ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ市尹ハ州知事ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル市會又ハ市參事會ノ議決仍明ニ公益ヲ害シ又ハ市ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ市尹ハ州知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得

第三十三條 市會成立セザルトキ、會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ市尹ニ於テ市會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ市尹ハ市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ市參事會ノ議決ニ付スルコトヲ得

市參事會成立セザルトキ又ハ會議ヲ開クコト能ハザルトキハ市尹ハ州知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スルコトヲ得

市會又ハ市參事會ニ於テ其ノ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキ又ハ前二條ノ規定ニ依リ市會又ハ市參事會ノ議決ヲ取消シタルトキハ前項ノ例ニ依ル

市參事會ノ決定スベキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル

前四項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ市尹ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ市會又ハ市參事會ニ報告スベシ

五四七

第三十四條 市參事會ニ於テ議決又ハ決定スベキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ市參事會成立セザルトキ又ハ市尹ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ市尹ハ之ヲ專決處分シ次回ノ會議ニ於テ其ノ處分ヲ市參事會ニ報告スベシ

第三十五條 市會及市參事會ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ市尹ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第三十六條 市ニ會計役一人及副會計役ヲ置キ官吏又ハ吏員ノ中ヨリ市尹之ヲ命ズ

會計役ハ市ノ出納其ノ他ノ會計事務及第四十一條ノ事務ニ關スル國及州、廳地方費、市街庄其ノ他ノ公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

副會計役ハ會計役ノ事務ヲ補助シ會計役事故アルトキ之ヲ代理ス副會計役數人アルトキハ豫メ市尹ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

市尹ハ會計役ノ事務ノ一部ヲ副會計役ニ分掌セシムルコトヲ得

第三十七條 市ハ州知事ノ認可ヲ受ケ處務便宜ノ爲區ヲ劃スルコトヲ得

區ニ區長一人ヲ置ク區長ハ名譽職トス市會議員ノ選舉權ヲ有スル者ノ中ヨリ市尹之ヲ任免ス

區長市會議員ノ選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ其ノ職ヲ失フ

區長ハ市尹ノ命ヲ承ケ區内ニ於ケル市ノ事務ヲ補助ス

區長ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事情アルトキハ任期中ト雖モ之ヲ免ズルコトヲ妨ゲズ

第三十八條 市ハ州知事ノ認可ヲ受ケ常設又ハ臨時ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス市尹之ヲ任免ス

第一編 地方制度 第四章 植民地 臺灣市制

委員ハ市住民タルコトヲ要ス  
委員ハ市尹ノ命ヲ承ケ委託ヲ受ケタル事務ニ從事ス  
第三十九條 前二條ニ定ムル者ノ外市ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ市尹之ヲ任  
免ス  
有給吏員ノ定數ハ州知事ノ認可ヲ受ケ市尹之ヲ定ム  
第四十條 前條ノ有給吏員ハ市尹ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス  
第四十一條 市ノ官吏及吏員ハ法令ノ定ムル所ニ依リ國及州、廳地方費、  
市街庄其ノ他ノ公共團體ノ事務ヲ掌ル  
前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ市ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規  
定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ  
第四十二條 官吏ノ市ノ行政ニ關スル職務關係ハ本令中別段ノ規定アル場  
合ヲ除クノ外國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル  
第四十三條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外吏員ノ職務紀律及懲戒並ニ會  
計役、副會計役及吏員ノ賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關シ必要ナル  
事項ハ臺灣總督之ヲ定ム  
第五章 給料及給與  
第四十四條 市會議員、名譽職參事會員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲要ス  
ル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得  
區長ニハ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得  
費用ノ辨償及報酬ニ關シ必要ナル事項ハ州知事之ヲ定ム  
第四十五條 有給吏員ノ給料、給與及旅費ニ關シ必要ナル事項ハ州知事之  
ヲ定ム  
第四十六條 有給吏員ニハ退隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助  
料ヲ給スルコトヲ得

第五十三條 三月以上市内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ週リ市税ヲ納ム  
ル義務ヲ負フ  
第五十四條 市内ニ住所ヲ有セズ又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖モ市  
内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、市内ニ營業所ヲ設ケ  
テ營業ヲ爲シ又ハ市内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營  
業若ハ其ノ收入ニ爲シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル市税ヲ納ムル義務  
ヲ負フ  
第五十五條 合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ  
因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラルベキ市税ヲ  
納ムル義務ヲ負フ  
相續人又ハ相續財團ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ被相續人ニ對シ其ノ相  
續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ市税ヲ納ムル義務ヲ負フ  
第五十六條 納税者ノ市外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ  
其ノ收入又ハ市外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ  
市税ヲ賦課スルコトヲ得ズ  
市ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對  
スル本税ヲ分別シテ納メザルモノニ對シ附加税ヲ賦課スル場合及住所滞  
在ノ内外ニ渉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營  
業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シ市税ヲ賦課スル場合ニ付テハ臺灣  
總督之ヲ定ム  
第五十七條 左ニ掲グルモノニ對シテハ市税ヲ賦課スルコトヲ得ズ  
一 國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件  
二 國及州、廳地方費、市街庄其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ

退隱料、退職給與金、死亡給與金及遺族扶助料ニ關シ必要ナル事項ハ州  
知事之ヲ定ム  
第一項ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ其ノ處分アリタル日ヨリ  
六十日以内ニ之ヲ市尹ニ申立ツルコトヲ得  
前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ市尹ハ三十日以内ニ之ヲ市參事會ノ決  
定ニ付スベシ  
第四十七條 給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料、  
費用辨償、報酬其ノ他ノ給與ハ市ノ負擔トス  
第六章 市ノ財務  
第四十八條 收益ノ爲ニスル市ノ財產ハ基本財產トシテ之ヲ維持スベシ  
市ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財產又ハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得  
第四十九條 市ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得  
市ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得  
第五十條 市ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコト  
ヲ得  
第五十一條 市ハ其ノ必要ナル費用及法律、勅令又ハ律令ニ依リ市ノ負擔  
ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ  
市ハ其ノ財產ヨリ生ズル收入、使用料、手数料其ノ他法令ニ依リ市ニ屬  
スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ市税及夫役現品ヲ賦  
課徵收スルコトヲ得  
第五十二條 市税トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ  
一 國稅及州稅ノ附加稅  
二 特別稅  
特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ賦課徵收スルモノヲ

用ニ供スル土地家屋物件及營造物但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及  
使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ  
三 神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並ニ教會所說教所  
ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住  
宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ  
四 臺灣所得稅令第二十一條ニ掲グル所得  
前項ニ掲グルモノノ外市税ヲ賦課スルコトヲ得ザルモノハ臺灣總督之ヲ  
定ム  
第五十八條 市ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスル場合ニ於  
テハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ市税ヲ課セザルコトヲ得  
第五十九條 數人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ  
關係者ニ負擔セシムルコトヲ得  
市ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ部内ニ  
於テ市税ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得  
前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生ズル收入アルトキハ先ヅ其ノ收入ヲ以  
テ其ノ費用ニ充ツベシ  
第六十條 數人又ハ市ノ一部ニ對シテ特ニ利益アル事件ニ關シテハ市ハ不均  
一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ市ノ一部ニ對シテ賦課ヲ爲スコトヲ得  
第六十一條 夫役又ハ現品ハ特別ノ必要アルトキニ限り之ヲ賦課スルコト  
ヲ得  
學藝、美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ズ  
夫役又ハ現品ハ直接市税ヲ準率トシ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スベシ但  
シ州知事ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコト



夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得  
第三項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役又ハ現品ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六十二條 非常災害ノ爲必要アルトキハ市ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スベシ

前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ市尹、警察官吏又ハ監督官廳ハ市内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依リ補償スベキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハザルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ州知事之ヲ決定ス

鑑定人ニハ州知事ノ定ムル所ニ依リ旅費及手當ヲ支給ス

前項ノ旅費及手當ハ市ノ負擔トス

第六十三條 市税ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

第六十四條 市尹ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得

市尹ハ特別ノ事情アル者ニ對シ市參事會ノ議決ヲ經テ市税ヲ減免スルコトヲ得

第六十五條 市ハ市税、使用料及手数料ニ關スル事項ニ付テハ法令ニ定ムルモノヲ除クノ外市條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ

詐偽其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料ノ徵收ヲ免レ又ハ市税ヲ逋脱シタル者ニ付テハ市條例ヲ以テ其ノ徵收ヲ免レ又ハ逋脱シタル金額ノ五倍ニ相當スル金額(其ノ金額五圓未滿ナルトキハ五圓)以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

前項ニ定ムルモノヲ除クノ外市税、使用料及手数料ノ賦課徵收ニ關シテハ市條例ヲ以テ十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得營造物ノ使用ニ關シ亦同ジ

第六十六條 市税、使用料、手数料、過料、過怠金其ノ他ノ市ノ收入ヲ定期内ニ納メザル者アルトキハ市尹ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サズ又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メザルトキハ市尹ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役又ハ現品ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命ズベシ

前二項ノ場合ニ於テハ市條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

滯納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セザルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スベシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ニ付テハ州又ハ廳地方費ハ徵收金ニ次デ先取特權ヲ有シ其ノ追徵、還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第六十七條 市ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、市ノ永久ノ利益ト爲ルベキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り市債ヲ起スコトヲ得

市ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ之ヲ償還スベシ

(台四)

會ノ議決ヲ經ベシ

市ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第六十九條 市尹ハ市會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第七十條 市費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スベキモノハ其ノ年々各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第七十一條 市ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クベシ

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケザルコトヲ得

豫備費ハ市會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ズ

第七十二條 市尹ハ豫算ガ市會ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ州知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

第七十三條 市ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第七十四條 市ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第七十五條 決算ハ翌年度ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ市會ニ報告スベシ

決算ハ之ニ關スル市會ノ議決ト共ニ之ヲ州知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

第七十六條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外市税、使用料、手数料、豫算調製ノ式其ノ他市ノ財務ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第七章 市街庄組合

第七十七條 市街庄ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ州知事ノ認可ヲ受ケ規約ヲ定メテ市街庄組合ヲ設クルコトヲ得

市街庄組合ハ法人トス

第一編 地方制度

第四章 植民地 臺灣市制

五五一

第七十八條 市街庄組合ニシテ其ノ組合市街庄ノ數ヲ増減シ、共同事務ノ變更ヲ爲シ其ノ他規約ヲ變更セントスルトキ又ハ市街庄組合ヲ解散スルコトキハ關係市街庄ノ協議ニ依リ州知事ノ認可ヲ受クベシ此ノ場合ニ於ケル財產處分ニ關スル事項ニ付亦同ジ

第七十九條 前二條ノ場合ニ於テハ市會ノ議決及街庄協議會ノ諮問ヲ經ベシ

第八十條 公益上必要アル場合ニ於テハ州知事ハ關係アル市會及街庄協議會ノ意見ヲ徵シ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ市街庄組合ヲ設ク若ハ之ヲ解散、組合市街庄ノ數ヲ増減シ、規約ヲ定メ若ハ之ヲ變更シ又ハ財產處分ノ方法ヲ定ムルコトヲ得

第八十一條 組合ノ規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル市街庄、組合ノ共同事務、組合役場ノ位置、組合會ノ組織及組合會議員ノ選舉、組合事務ノ管理並ニ組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クベシ

第八十二條 市街庄組合ノ事務ハ州知事ノ指定シタル市尹又ハ街庄長之ヲ管理ス

第八十三條 市街庄組合ニ關シテハ法令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外市ニ關スル規定ヲ準用ス

第八章 市ノ監督

第八十四條 市ハ第一次ニ於テ州知事、第二次ニ於テ臺灣總督之ヲ監督ス

第八十五條 監督官廳ハ市ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ、書類帳簿ヲ徵シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

監督官廳ハ市ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得  
上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ市ノ監督ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分

ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第八十六條 市ニ於テ法律、勅令又ハ律令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用ヲ豫算ニ載セザルトキハ州知事ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

州知事ハ市ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ臺灣總督ノ指揮ヲ請ヒ之ヲ削減スルコトヲ得

第八十七條 臺灣總督ハ市會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

市會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ノ選舉及任命ヲ行フベシ但シ特別ノ事由アルトキハ臺灣總督ハ別ニ其ノ期間ヲ定ムルコトヲ得

第八十八條 州知事ハ期日ヲ定メテ市會ノ停會ヲ命ズルコトヲ得

第八十九條 監督官廳ノ認可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ申請ノ趣旨ニ反セズト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコトヲ得

第九十條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外市ノ監督ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第九十一條 本令中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

附則

本令施行ノ期日ハ臺灣總督之ヲ定ム

（昭和十年臺灣總督府令第十號ヲ以テ昭和十年十月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際必要ナル規定ハ臺灣總督之ヲ定ム

○臺灣市制施行令

昭和十年四月一日 臺灣總督府令第十一號

大正九年府令百一十一號臺灣市制施行令左ノ通改正ス

臺灣市制施行令

第一章 市會

第一條 市會議員ノ定數ノ基準ト爲ルベキ市ノ人口ハ臺灣總督府報ヲ以テ公示シタル最近ノ人口ニ依ル

前項公示ノ人口現在ノ日以後ニ於テ市ノ廢置分合又ハ區域變更アリタルトキハ其ノ市ノ人口ハ一街庄又ハ數街庄ノ全部ノ區域ヲ以テ市ヲ置キタル場合ニ在リテハ一街庄ノ人口又ハ關係街庄ノ人口ヲ集計シタルモノニ依リ一街庄又ハ數街庄ノ全部ノ區域ヲ市ノ區域ニ編入シタル場合ニ在リテハ關係街庄ノ人口ヲ集計シタルモノニ依リ其ノ他ノ場合ニ在リテハ州知事ノ認定シタル人口ニ依ル

第二條 市會議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ臺灣市制第九條ノ規定ニ依ル議員及第十三條ノ規定ニ依ル議員ノ區分ニ從ヒ各其ノ二分ノ一ニ相當スル員數ノ議員ヲ市尹抽籤シテ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テ缺員アルトキハ前項ノ區分毎ニ其ノ缺員ヲ以テ之ニ充ツベシ

第三條 特別ノ事情アルトキハ市尹ハ州知事ノ認可ヲ受ケ區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

第四條 市尹ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スベシ投票分會ヲ設クル場合ニ於テハ選舉人名簿ハ分會ノ區劃ニ就キ區分シテ之ヲ調製スベシ

選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、住所及生年月日等ヲ記載スベシ

第五條 市尹ハ十月二十日ヨリ七日間毎日午前九時ヨリ午後四時迄市役所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スベシ

第六條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ市尹ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市尹ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ決定シ名簿ヲ修正スルトキハ直ニ之ヲ修正スベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ其ノ決定アリタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ州知事ニ申立テ其ノ決定ヲ求ムルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シ又ハ名簿ヲ修正シタルトキハ市尹ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

第七條 選舉人名簿ハ十一月二十日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ次年ノ十一月十九日迄之ヲ據置クベシ

前條第二項ノ場合ニ於テ州知事ノ決定アリタルニ因リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ市尹ハ直ニ之ヲ修正シ遲滯ナク其ノ要領ヲ告示スベシ

第八條 第六條ノ場合ニ於テ市尹ノ決定確定シ若ハ州知事ノ決定アリタルニ因リ選舉人名簿無効ト爲リタルトキ又ハ天災事變等ノ爲ニ必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ其ノ名簿ノ調製、縱覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ州知事ノ定ムル所ニ依ル

第九條 市ノ區域變更アリタル場合ニ於テハ市尹ハ選舉人名簿ヲ分割シ其ノ部分ヲ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市街庄ノ市尹又ハ街庄長ニ送付スベシ

市ノ廢置分合アリタル場合ニ於テ名簿ヲ分割ヲ以テ足ルトキハ前項ノ例ニ依リ其ノ他ノ場合ニ於テハ從前ノ市ノ市尹タリシ者ハ直ニ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市街庄ノ市尹又ハ街庄長ニ選舉人名簿ヲ送付スベシ

第十條 市尹前條又ハ臺灣街庄制施行令第九條ノ規定ニ依リ選舉人名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ併セテ之ヲ州知事ニ報告スベシ

前項ノ選舉人名簿ハ市ノ廢置分合又ハ區域變更ニ係ル地域ノ新ニ屬シタル市ノ選舉人名簿ト看做ス

第十一條 第九條ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル選舉人名簿確定前ナルトキハ名簿ノ縱覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ州知事ノ定ムル所ニ依ル

前項ノ規定ニ依リ期日及期間ヲ定メタルトキハ州知事ハ直ニ之ヲ告示スベシ

第十二條 市尹ハ選舉期日前七日目迄ニ選舉會場（投票分會場ヲ含ム以下之ニ同ジ）、投票ノ日時及選舉スベキ議員數ヲ告示スベシ投票分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ區劃ヲ告示スベシ

投票分會ノ投票ハ選舉會ト同日時ニ之ヲ行フ

天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハザルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ市尹ハ其ノ投票ヲ行フベキ選舉會又ハ投票分會ノミニ付更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムベシ此ノ場合ニ於テ選舉會場及投票ノ日時ハ選舉ノ期日前五日目迄ニ之ヲ告示スベシ

第十三條 市尹ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ閉閉シ其ノ取締ニ任ズ

市尹ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スベシ

投票分會ハ市尹ノ指定シタル官吏又ハ吏員投票分會長ト爲リ之ヲ閉閉シ其ノ取締ニ任ズ

市尹ハ投票分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スベシ

選舉立會人及投票立會人ハ名譽職トス

第十四條 選舉人ニ非ザル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ズ但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者及警察官吏ハ此ノ限ニ在ラズ

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長又ハ投票分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ選舉會場ノ外ニ退出セシムベシ

選舉長又ハ投票分會長選舉會場ノ取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第二項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ投票分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テハ投票ヲ爲サシムルヲ妨グズ

第十五條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ら選舉會場ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スベシ

投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過グルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ら被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ

自ら被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ投票用紙ハ市尹ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フベシ

投票分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票分會長少クトモ一人ノ投票立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ選舉長ニ送致スベシ

三 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

五 被選舉人ノ氏名ヲ自書セザルモノ

六 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

七 現ニ市會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

第二十條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スベシ

第二十一條 市會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ年長者ヲ取り年齡同ジキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムベシ

第二十二條 當選者其ノ選舉ニ關シ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

當選者選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ第三十一條ノ規定ヲ準用ス

第二十三條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

投票分會長ハ投票錄ヲ作り投票ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名シ投票函ト同時ニ之ヲ選舉長ニ送致スベシ

選舉錄及投票錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間市尹之ヲ保存スベシ

第二十四條 當選者定リタルトキハ市尹ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併

第十六條 確定名簿ニ登錄セラレザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ但シ選舉人名簿ニ登錄セラレベキ州知事ノ決定書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラズ

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ登錄セラレルコトヲ得ザル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ選舉ノ當日選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ臺灣市制第十條第二項ニ規定スル者ナルトキ亦同ジ

第十七條 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長又ハ投票分會長之ヲ決定スベシ

投票分會ニ於テ投票拒否ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票分會長ハ假ニ投票ヲ爲サシムベシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ら其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムベシ

投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同ジ

第十八條 選舉長ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日(投票分會ヲ設ケタルトキハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日)選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スベシ

前項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ先ヅ前條第二項及第四項ノ投票ヲ調査シ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スベシ

選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スベシ

天災事變等ノ爲開票ヲ行フコト能ハザルトキハ市尹ハ更ニ開票ノ場所及期日ヲ定メ豫メ之ヲ告示スベシ

第十九條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

二 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ州知事ニ報告スベシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ州知事ニ報告スベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ市尹ニ申立ツベシ

官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ之ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ノ官吏當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ニ應ズベキ旨ヲ市尹ニ申立テザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

市ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ市ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付市尹若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非ザレバ當選ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ニ規定スル者第二項ノ期間内ニ其ノ旨ヲ市尹ニ申立テザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第五項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準ズベキ者並ニ清算人ヲ謂フ

第二十五條 當選者當選ヲ辭シタルトキ、當選ヲ失ヒタルトキ、死亡シタルトキ又ハ當選ノ取消アリタルトキハ選舉長ハ直ニ選舉會ヲ開キ之ヲ補充スベキ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條第一項ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキ亦前項ニ同ジ但シ選舉期日ヨリ一年ヲ過ギタル後當選無効ト爲リタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第一編 地方制度 第四章 植民地 臺灣市制施行令

前項但書ノ場合ニ於テハ市會議員缺員ト看做ス

第一項及第二項ノ場合ニ於テハ市尹ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スベシ

第二十六條 第二十四條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第四項ノ申立アリタルトキハ市尹ハ直ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且之ヲ州知事ニ報告スベシ

第二十七條 選舉ノ規定ニ違反ノ事實アルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ズル虞アル場合ニ限り州知事ハ選舉ノ全部若ハ一部又ハ當選ヲ取消スベシ

前項ノ規定ニ依リ選舉ヲ取消シタル場合ニ於テ當選ニ異動ヲ生ズル虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限り當選ヲ失フコトナシ

第一項ノ規定ニ依ル處分ハ第二十四條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ前項ノ申立アリタルニ因リ處分ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十八條 州知事選舉又ハ當選ヲ取消シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十二條第一項ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ市尹ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

市尹ハ會期ヲ定メテ市會ヲ召集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ市尹必要アリト認ムルトキハ更ニ期限ヲ定メ市會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得

召集及會議ノ事件ハ開會ノ日前三日迄ニ之ヲ告知スベシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

市會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ市尹ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得會議ニ付スル日前三日迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同ジ

市會ハ市尹之ヲ閉閉ス

第三十五條 市會ハ議長又ハ其ノ代理者及議員定數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得但シ第三十七條ノ規定ニ依ル除斥ノ爲半數ニ滿タザルトキ、同一ノ事件ニ付召集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タザルトキ又ハ召集ニ應ズルモ出席議員定數ヲ缺キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十六條 市會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十七條 議長、其ノ代理者及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子、孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得但シ市會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第三十八條 市會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ノ定ムル所ニ依ル會議規則ニ其ノ定ナキトキハ市會ノ議決ヲ經テ市尹之ヲ定ム

第三十九條 市會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
一 議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁止シタルトキ  
二 議員三人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ  
前項ノ議員ノ發議ハ討論ヲ須ヒズ其ノ可否ヲ決スベシ

第二十九條 當選者ナキトキ若ハ當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ若ハ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ選舉ヲ取消アリタルトキ亦同ジ

第三十條 臺灣市制第十三條ノ規定ニ依リ市會議員ヲ任命シタルトキハ州知事ハ其ノ住所及氏名ヲ告示スベシ

第三十一條 市會議員被選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ第二十四條第五項ニ掲グル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第二十四條第五項ニ掲グル者ニ該當スルヤ否ハ議員ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セザル場合ヲ除クノ外市尹之ヲ決定ス  
一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ  
二 破產者ト爲リタルトキ  
三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

前項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定アリタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ州知事ニ申立ツルコトヲ得  
前二項ノ規定ニ依リ議員ノ失職確定シタルトキハ市尹ハ其ノ住所及氏名ヲ告示シ且之ヲ州知事ニ報告スベシ議員死亡シタルトキ又ハ職ヲ辭シタルトキ亦同ジ

第三十二條 市會議員ハ選舉若ハ當選ノ取消アル迄、第二十二條第一項ノ規定ニ依リ當選無効ト爲ル迄又ハ前條第一項ノ決定確定シ若ハ前條第二項ノ申立ニ對シ決定アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第三十三條 市尹及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第三十四條 市會ハ市尹之ヲ召集ス

第四十條 市會ノ會議ハ國語ヲ以テ用語トス

第四十一條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ閉閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第四十二條 市會議員ハ選舉人ノ指示又ハ囑託ヲ受ケタベカラズ市會議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヒ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ズ

第四十三條 會議中本令又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハザルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十四條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧嘩ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十五條 市會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

第四十六條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載セシムベシ

第四十七條 臺灣市制第三十一條又ハ第三十二條ノ規定ニ依リ爲シタル議決又ハ選舉ノ取消處分ハ市會開會中ニ非ザルトキハ市尹ハ直ニ之ヲ告示スベシ

第四十八條 州知事市會ノ停會ヲ命ジタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且臺灣總督ニ報告スベシ

第二章 市參事會

第四十九條 市參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員定數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ第二項ノ除斥ノ爲名譽職參事會員其ノ半數ニ滿タザルトキ、同一ノ事件ニ付召集再回ニ至ルモ仍名譽職參事會員其ノ半數ニ滿タザルトキ又ハ召集ニ應ズルモ出席名譽職參事會員定數ヲ缺キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

市參事會員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子、孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ市參事會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十條 議長及其ノ代理者ハ議長ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之ガ爲市參事會員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハズ

第五十一條 市參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サズ

第五十二條 本令第三十二條、第三十三條、第三十四條第一項、第二項及第五項、第三十六條、第三十八條、第四十條乃至第四十三條並ニ第四十五條乃至第四十七條ノ規定ハ市參事會ニ之ヲ準用ス

第三章 市ノ財務

第五十三條 市ハ國稅ノ附加稅タル州稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

第五十四條 相續人又ハ相續財團ハ被相續人ニ對シ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ市稅ヲ納ムル義務ヲ負フ但シ戶主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續又ハ之ニ準ズベキ財產相續ノ開始アリタルトキハ被相續人モ

亦之ヲ納ムル義務ヲ負フ

國籍喪失ニ因リ相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財產ノ限度トシテ前項ノ義務ヲ負フ

第五十五條 市ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メザルモノニ對シ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ關係アル市尹又ハ街庄長協議ノ上其ノ本稅額ノ歩合ヲ定ムベシ

前項ノ協議調ハザルトキハ州内ニ止マルモノハ州知事之ヲ定メ州、廳又ハ二州以上ニ涉ルモノハ臺灣總督之ヲ定ム

第一項ノ場合ニ於テ直接ニ收入ヲ生ズルコトナキ營業所アルトキハ他ノ營業所ト收入ヲ共通スルモノト看做シ本稅額ノ歩合ヲ定ムベシ

州ニ於テ其ノ内外ニ涉ル營業ノ收入ニ對シ所得稅附加稅課ノ歩合ヲ定メタルモノアルトキハ其ノ歩合ニ依ル本稅額ヲ以テ其ノ州ニ於ケル本稅額ト看做ス

第五十六條 住所滞在市ノ内外ニ涉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シ市稅ヲ賦課セントスルトキハ其ノ收入ヲ平分シ其ノ一部ニノミ賦課スベシ

前項ノ住所又ハ滞在ガ其ノ時ヲ異ニシタルトキハ納稅義務ノ發生シタル翌月ノ初ヨリ其ノ消滅シタル月ノ終迄月割ヲ以テ賦課スベシ但シ賦課後納稅義務者ノ住所又ハ滞在ニ異動ヲ生ズルモ賦課額ハ之ヲ變更セズ其ノ新ニ住所ヲ有シ又ハ滞在スル市ニ於テハ賦課ナキ部分ニノミ賦課スベシ

第五十七條 市尹ハ市稅ニ在リテハ納稅令書、夫役現品ニ在リテハ賦課令書、負擔金、使用料、手数料、過料、過怠金及物件ノ賃貸料ノ類ニ在リテハ納入令書、其ノ他ノ收入ニ在リテハ納付書ヲ發シテ之ヲ收入スベシ

但シ第六十條ノ規定ニ依リ徵收スル市稅及急迫ノ場合ニ賦課スル夫役現品並ニ納入令書又ハ納付書ニ依リ難キモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十八條 臺灣市制第六十六條ノ規定ニ依リ市稅ノ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ稅金額百圓ニ付一日十錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ稅金完納又ハ財產差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收スベシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 納稅令書一通ノ稅金額二十圓未滿ナルトキ

二 納期ヲ繰上ゲ徵收ヲ爲ストキ

三 納稅者ノ住所及居所ガ本島内ニ在ラザル爲又ハ共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納稅ノ命令又ハ督促ヲ爲シタルトキ

四 督促狀ニ指定シタル期限迄ニ稅金及督促手数料ヲ完納シタルトキ

五 滞納ニ付酌量スベキ情狀アリト認ムルトキ

第五十九條 納稅義務者又ハ第六十條ノ規定ニ依リ徵收義務者左ニ掲グル場合ニ該當スルトキハ納期日ニ拘ラズ其ノ稅金又ハ納入金ヲ徵收スルコトヲ得

一 納期終日前ニ納稅義務消滅ノ原因生ジタルトキ

二 納期終日前ニ第六十條ノ規定ニ依リ徵收義務者其ノ營業又ハ稼業ヲ廢止シタルトキ

三 國稅、州稅其ノ他ノ公課ノ滞納ニ因リ滞納處分ヲ受クルトキ

四 強制執行ヲ受クルトキ

五 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

六 競賣ノ開始アリタルトキ

七 法人ガ解散ヲ爲シタルトキ

八 納稅人脫稅又ハ通稅ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキ

第六十條 市ハ臺灣總督ノ指定シタル市稅ニ付テハ其ノ徵收ノ便宜ヲ有スル者ヲシテ之ヲ徵收セシムルコトヲ得

前項ノ徵收義務者ハ徵收スベキ市稅ヲ市尹ノ指定シタル期限迄ニ市ニ納入スベシ

前項ノ納入金ノ徵收ニ付テハ市稅ノ例ニ依ル

第六十一條 市ハ前條ノ徵收ノ費用トシテ納入金額ノ百分ノ三以內ヲ其ノ徵收義務者ニ交付スベシ

第六十二條 第六十條第一項ノ規定ニ依リ徵收義務者避クベカラザル災害ニ因リ既收ノ稅金ヲ失ヒタルトキハ其ノ稅金納入義務ノ免除ヲ市尹ニ申請スルコトヲ得

市尹前項ノ申請ヲ受ケタルトキハ七日以內ニ之ヲ市參事會ノ決定ニ付スベシ

第六十三條 臺灣市制第五十八條ノ規定ニ基キ市稅ヲ賦課スルヲ不適當トスルモノハ市條例ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第六十四條 市尹ハ每會計年度市稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入出豫算ヲ調製スベシ

豫算ヲ市會ニ提出スルトキハ市尹ハ財產明細表ヲ添附スベシ

第六十五條 豫算ハ年度經過後ニ於テ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得ズ

第六十六條 特別會計ニ屬スル歲入歲出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スベシ

第六十七條 歲入出豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ分チ且各部ヲ更ニ款項ニ區分スベシ

第六十八條 歲入出豫算ニハ豫算説明ヲ附スベシ

第六十九條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スベキ歲出ニ充ツルコトヲ得ズ

年度經過後ニ至リ歳入ヲ以テ歳出ニ充ツルニ足ラザルニ至リタルトキハ州知事ノ認可ヲ受ケ翌年度ノ歳入ヲ繰上ゲ之ニ充用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ充用ニ要スル額ヲ翌年度ノ歳入出豫算ニ編入スベシ

六 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度

第七十條 歳入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル  
一 納期ノ一定シタル歳入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度  
二 定期ニ賦課スルコトヲ得ザルガ爲特ニ納期ヲ定メタル歳入又ハ隨時ノ歳入ニシテ納稅令書、賦課令書又ハ納入令書ヲ發スルモノハ其ノ令書ヲ發シタル日ノ屬スル年度

第七十二條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ズ豫算各項ノ金額ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得但シ公費ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

三 隨時ノ歳入ニシテ納稅令書、賦課令書又ハ納入令書ヲ發セザルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ市債、交付金、補助金、寄附金、請負金、償還金其ノ他之ニ類スル歳入ニシテ其ノ歳入ヲ豫算シタル年度ノ出納閉鎖前ニ領收シタルモノハ其ノ豫算ノ屬スル年度

第七十三條 支出ハ債主又ハ其ノ代理人ニ對スルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第七十一條 歳出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル  
一 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與、備人料ノ類ハ其ノ支給スベキ事實ノ生ジタル日ノ屬スル年度但シ別ニ定リタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

第七十四條 會計役ハ市尹ノ命令アルニ非ザレバ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ノ履行ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

第七十五條 左ノ經費ニ付テハ市ノ官吏又ハ吏員ニ對シ現金前渡ヲ爲スコトヲ得  
一 市債ノ元利支拂  
二 遠隔ノ地ニ於テ支拂ヲ爲ス經費  
三 人夫賃其ノ他小額宛多數人ニ即金拂ヲ要スル經費  
特別ノ必要アルトキハ前項ノ現金前渡ハ市ノ官吏又ハ吏員以外ノ者ニ之ヲ爲スコトヲ得

三 市債ノ元利金ニシテ支拂期日ノ定アルモノハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度  
四 補助金、寄附金、交付金及負擔金ノ類ハ其ノ支拂ヲ豫算シタル年度  
五 缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

第七十六條 旅費及訴訟費用ニ付テハ概算拂ヲ爲スコトヲ得  
第七十七條 前金支拂ニ非ザレバ購入又ハ借入ノ契約ヲ爲シ難キモノニ付テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得  
第七十八條 前三條ニ掲グルモノヲ除クノ外必要アルトキハ州知事ノ認可ヲ受ケ現金前渡、概算拂又ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得  
第七十九條 歳入ノ課納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歳入ヨリ支拂フベシ

第八十條 市ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ之ヲ閉鎖ス  
第八十一條 市尹ハ出納閉鎖後三月以内ニ決算ヲ調製スベシ  
決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ左ノ事項ノ計算ヲ明記シタル説明ヲ附スベシ

第八十五條 一年度内ニ終ルベキ工事、製造又ハ物品ノ買入若ハ運搬ニシテ避クベカラザル事故ノ爲竣功、納入又ハ運搬ヲ遲延シ年度内ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラザルモノニ限り州知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得

歳入ノ部  
歳入豫算額  
繼續費繰越財源豫定額  
調定済歳入額  
收入済歳入額  
不納缺損額  
收入未済歳入額  
歳出ノ部  
歳出豫算額  
豫算決定後増加歳出額  
支出済歳出額  
翌年度繰越額  
不用額

第八十六條 工事ノ請負、物件ノ賣買賃借、勞力ノ供給其ノ他ノ契約ハ競争入札ニ付スベシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八十二條 出納閉鎖後ノ歳入支出ハ之ヲ現年度ノ歳入歳出ト爲スベシ第七十九條ノ拂戻金又ハ戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同ジ

第八十七條 會計役ノ保管ニ依ル金品、證券及帳簿ハ市尹ニ於テ少クとも毎月一回之ヲ検査スベシ  
第八十八條 市ハ現金ノ出納及保管ノ爲市金庫ヲ置ク  
第八十九條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムベキ銀行ハ州知事ノ認可ヲ受ケ市尹之ヲ定ム

第八十三條 各年度ニ於テ歳計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ編入スベシ但シ市條例ノ規定又ハ市會ノ議決ニ依リ剩餘金ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スル場合ニ於テハ繰越ヲ要セズ之ガ支出ヲ爲スコトヲ得

第九十條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ハ現金ノ出納保管ニ付市ニ對シテ責任ヲ有ス  
第九十一條 市ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ヨリ擔保ヲ徵スベシ  
第九十二條 市ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ノ保管スル現金ニシテ市ノ歳入歳出ニ屬スルモノニ限り支出ニ妨ゲナキ限度ニ於テ其ノ運用ヲ許スコトヲ得

第八十四條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終迄繰越使用スルコトヲ得

第九十三條 市尹ハ市金庫ヲ監督シ定期及臨時ニ金庫ノ現金及帳簿ヲ検査スベシ

第九十四條 左ニ掲グル事件ハ臺灣總督ノ認可ヲ受クベシ

- 一 市税、使用料、手数料ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト
- 二 第九十五條第十號ニ掲グルモノヲ除クノ外市債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト
- 三 學藝、美術若ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ又ハ之ニ大ナル變更ヲ加フルコト

第九十五條 左ニ掲グル事件ハ州知事ノ認可ヲ受クベシ

- 一 前條第一號以外ノ條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト
- 二 基本財産ノ處分ニ關スルコト
- 三 積立金穀等ヲ其ノ目的外ニ處分スルコト
- 四 不動産ノ處分ニ關スルコト但シ公用又ハ公共ノ用ニ供スル場合ヲ除ク
- 五 寄附又ハ補助ヲ爲スコト
- 六 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト
- 七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト
- 八 臺灣市制第五十九條ノ費用ヲ負擔セシムルコト
- 九 臺灣市制第六十條ノ賦課ヲ爲スコト
- 十 學校ノ建築増築若ハ改築ニ關スル費用、傳染病豫防費又ハ急施ヲ要スル災害復舊工事ニ充ツル爲借入ルル償還期限三年以内ニシテ金額五萬圓以下ノ市債ヲ起シ並ニ其ノ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト

第九十六條 左ニ掲グル事件ハ前二條ノ規定ニ拘ラズ監督官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要セズ

合、名稱及區域ニ依ル

- 第三條 街庄ノ廢置分合又ハ區域變更ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市會及街庄協議會ノ意見ヲ徵シ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ州知事又ハ廳長之ヲ定ム但シ州又ハ廳ノ廢置分合又ハ區域變更ニ伴フ場合ニ於テハ關係アル市會及街庄協議會ノ意見ヲ徵シ臺灣總督之ヲ定ム
- 第四條 街庄ノ廢置分合又ハ區域變更ノ場合ニ於テ街庄ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外臺灣總督之ヲ定ム
- 第五條 街庄内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ街庄住民トス
- 第六條 街庄内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ街庄住民トス
- 第七條 街庄ノ事務ニ關シ街庄長ノ諮問ニ應ゼシムル爲街庄ニ街庄協議會ヲ置キ議長及街庄協議會員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第八條 街庄協議會員ノ定數左ノ如シ
  - 一 人口五千未満ノ街庄 八人
  - 二 人口五千以上一萬未満ノ街庄 十人
  - 三 人口一萬以上一萬五千未満ノ街庄 十二人

- 一 市債ノ借入額ノ減少、利息ノ定率ノ低減、償還年限ノ短縮若ハ繰上償還ヲ爲シ又ハ既定ノ償還年限ヲ延長セズシテ低利ノ借替ヲ爲スコト
- 二 市債ノ借入先ヲ變更シ、償還年限ヲ延長セズシテ不均等償還ヲ元利均等償還ニ變更シ又ハ年度内ノ償還期若ハ償還期數ヲ變更スルコト

雜則

第九十七條 臺灣市制及本令ニ於ケル異議不服其ノ他ノ申立、申請及決定ハ第十七條、第十八條及第二十條ノ場合ヲ除クノ外文書ヲ以テ之ヲ爲ス

前項ノ決定ニハ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スベシ

第九十八條 本令中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

附則

本令ハ昭和十年律令第二號臺灣市制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○臺灣街庄制

昭和十年四月一日 律令第三號

臺灣街庄制改正ノ件大正十年法律第三號ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス

臺灣街庄制左ノ通改正ス

第一章 總則

第一條 街庄ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及法律、勅令又ハ律令ニ依リ街庄ニ屬スル事務ヲ處理ス

第二條 街庄ノ廢置分合、名稱及區域ハ國ノ行政區劃タル街庄ノ廢置分

- 四 人口一萬五千以上二萬未満ノ街庄 十四人
  - 五 人口二萬以上二萬五千未満ノ街庄 十六人
  - 六 人口二萬五千以上ノ街庄 二十人
- 協議會員ノ定數ハ基準ト爲ルベキ人口ニ關シテハ臺灣總督之ヲ定ム  
協議會員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非ザレバ之ヲ増減セズ但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ州知事又ハ廳長必要アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 第九條 街庄協議會員ノ定數ノ二分ノ一ニ相當スル員數ノ協議會員ハ之ヲ選舉ス
- 第十條 帝國臣民タル年齡二十五年以上ノ男子ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ六月以來街庄住民ト爲リ且六月以來臺灣總督ノ指定シタル街庄稅年額五圓以上ヲ納ムルモノハ其ノ街庄ニ於テ街庄協議會員ノ選舉權ヲ有ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 禁治產者及準禁治產者
  - 二 破產者ニシテ復權ヲ得ザルモノ
  - 三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
  - 四 刑法第二編第一章又ハ第三章ニ掲グル罪ヲ犯シ六年未満ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者
  - 五 前號ニ掲グル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未満ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受タルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス
- 選舉權ヲ有スル者街庄稅滯納處分中ハ選舉權ヲ行使スルコトヲ得ズ  
街庄ハ第一項六月ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

第一項六月ノ期間ハ市街庄ノ廢置分合又ハ區域變更ノ爲中断セラルルコトナシ此ノ場合ニ於テハ新ニ街庄ノ區域ト爲リタル地域ニ於テ負擔シタル第一項ニ規定スル街庄稅又ハ臺灣市制第十條第一項ニ規定スル市稅ハ之ヲ第一項ニ規定スル街庄稅ト看做ス

第十一條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ（未ダ入營セザル者及歸休下士官兵ヲ除ク）及戰時若ハ事變ニ際シ又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定（志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者ニ付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定ヲ含ム）ニ依リ召集中ノモノ並ニ志願ニ依リ國民軍ニ編入中ノモノハ街庄協議會員ノ選舉權ヲ有セズ

第十二條 街庄協議會員ノ選舉權ヲ有スル者ハ被選舉權ヲ有ス但シ左ニ掲グル者ニシテ在職中ノモノ及第十條第二項ニ規定スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一 判官、檢察官、警察官吏及收稅官吏

二 小學校及公學校ノ教員

選舉事務ニ關係アル官吏、待遇官吏及街庄ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セズ

街庄長及街庄ノ有給ノ吏員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノモノハ其ノ街庄ノ協議會員ト相兼スルコトヲ得ズ

第十三條 街庄協議會員ノ定數ノ二分ノ一ニ相當スル員數ノ協議會員ハ街庄協議會員ノ被選舉權ヲ有スル者ニシテ學識名望アルモノノ中ヨリ州知事又ハ廳長之ヲ命ズ

第十四條 街庄協議會員ハ名譽職トス

協議會員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

協議會員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ臺灣總督

ノ定ムル所ニ依リ之ヲ定ム

第十五條 第九條ノ規定ニ依ル街庄協議會員中缺員ヲ生ジタル場合ニ於テ其ノ缺員ガ協議會員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ街庄長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ補缺選舉ヲ行フベシ

第十三條ノ規定ニ依ル街庄協議會員中缺員ヲ生ジタル場合ニ於テ其ノ缺員ガ協議會員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ州知事若ハ廳長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ補缺任命ヲ行フベシ

協議會員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲選舉及任命ヲ行フ場合ニ於テ協議會員中缺員アルトキハ併セテ補缺選舉又ハ補缺任命ヲ行フベシ

補缺協議會員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十六條 街庄長ハ街庄ニ關スル左ノ事件ヲ街庄協議會ニ諮問スルコトヲ要ス

一 街庄條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 歳入出豫算ヲ定ムルコト

三 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、街庄稅又ハ夫役現品ノ賦課徵收ニ關スルコト

四 街庄債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ノ之ヲ變更スルコト但シ第五十九條第二項ノ借入金ヲ除ク

五 基本財産及積立金穀等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト

六 不動産ノ管理及處分ニ關スルコト

七 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

八 特別會計ヲ設クルコト

九 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ地棄ヲ爲スコト

十 訴訟、訴訟及和解ニ關スルコト

十一 其ノ他法令ニ定ムル事件

街庄長必要アリト認ムルトキハ前項ニ掲グル事件ノ外街庄ニ關スル事件ヲ街庄協議會ニ諮問スルコトヲ得

第十七條 街庄協議會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スベシ

街庄協議會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スベキ場合ニ於テ街庄協議會成立セズ、招集ニ應ゼズ若ハ意見ヲ答申セズ又ハ街庄協議會ヲ招集スルコト能ハザルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タズシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第十八條 會議規則及傍聽人取締規則ハ臺灣總督ノ定ムルモノヲ除クノ外街庄協議會ニ諮問シ街庄長之ヲ定ム

會議規則ニハ本令、本令ニ基キテ發スル命令又ハ會議規則ニ違反シタル協議會員ニ對シ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第十九條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外街庄協議會、街庄協議會員並ニ街庄協議會員ノ選舉及其ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第三章 街庄長及街庄吏員

第二十條 街庄長ハ街庄ヲ統轄シ街庄ヲ代表ス

街庄長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 街庄費ヲ以テ支辨スベキ事件ヲ執行スルコト

二 財産及營造物ヲ管理スルコト但シ特ニ之ガ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スルコト

三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スルコト

四 證書及公文書類ヲ保管スルコト

五 使用料、手数料、街庄稅又ハ夫役現品ヲ賦課徵收スルコト

六 其ノ他法令ニ依リ街庄長ノ職權ニ屬スル事項

第二十一條 街庄長ハ街庄ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ街庄ノ吏員ニ委任シ又ハ臨時代理セシムルコトヲ得

第二十二條 街庄長ハ吏員ヲ指揮監督ス

第二十三條 街庄協議會成立セザルトキ、會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ諮問ニ應ゼザルトキハ街庄長ハ第十六條第一項ノ規定ニ拘ラズ廳長又ハ郡守ノ指揮ヲ請ヒ諮問ヲ經ズシテ其ノ事件ヲ處分スルコトヲ得

第二十四條 街庄協議會ノ諮問ヲ經ベキ事件ニ關シ臨時急務ヲ要スル場合ニ於テ街庄協議會成立セザルトキ又ハ街庄長ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ街庄長ハ第十六條第一項ノ規定ニ拘ラズ諮問ヲ經ズシテ之ヲ處分スルコトヲ得

第二十五條 前二條ノ規定ニ依ル處分ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ街庄協議會ニ報告スベシ

第二十六條 街庄ニ助役一人ヲ置ク但シ特別ノ事情アル街庄ハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ助役ヲ置カズ又ハ其ノ定數ヲ增加スルコトヲ得

助役ハ有給トス但シ街庄ハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ之ヲ名譽職ト爲スコトヲ得

助役ハ廳長又ハ郡守之ヲ任免ス

助役ノ任期ハ四年トス但シ特別ノ事情アルトキハ任期中ト雖モ之ヲ免ズルコトヲ妨ゲズ

第二十七條 助役ハ街庄長ノ事務ヲ補助ス



街庄長事故アルトキハ助役其ノ職務ヲ代理ス助役數人アルトキハ豫メ街庄長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

街庄長及助役共ニ事故アルトキハ上席ノ吏員之ヲ代理ス助役ヲ置カザル街庄ニ於テ街庄長事故アルトキ亦同ジ

**第二十八條** 街庄ニ會計役一人ヲ置ク但シ特別ノ事情アル街庄ニ於テハ廳長又ハ郡守ハ專任ノ會計役ヲ置カズ街庄長又ハ助役ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得

會計役ハ有給トス

會計役ハ廳長又ハ郡守之ヲ任免ス

會計役ノ任期ハ四年トス但シ特別ノ事情アルトキハ任期中ト雖モ之ヲ免ズルコトヲ妨ゲズ

**第二十九條** 會計役ハ街庄ノ出納其ノ他ノ會計事務及第三十四條ノ事務ニ關スル國及州、廳地方費、市街庄其ノ他ノ公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

街庄長ハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ會計役故障アルトキ其ノ職務ヲ代理スベキ吏員ヲ定ムベシ

**第三十條** 街庄ハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ處務便宜ノ爲區ヲ劃スルコトヲ得

區ニ區總代一人ヲ置ク區總代ハ名譽職トス街庄協議會員ノ選舉權ヲ有スル者ノ中ヨリ街庄長之ヲ任免ス

區總代街庄協議會員ノ選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ其ノ職ヲ失フ

區總代ハ街庄長ノ命ヲ承ケ區内ニ於ケル街庄ノ事務ヲ補助ス

(台四)

ズルコトヲ妨ゲズ

**第三十一條** 街庄ハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ常設又ハ臨時ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス街庄長之ヲ任免ス

委員ハ街庄住民タルコトヲ要ス

**第三十二條** 第二十六條乃至前條ニ定ムル者ノ外街庄ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ街庄長ノ具狀ニ依リ廳長又ハ郡守之ヲ任免ス

**第三十三條** 前條ノ有給吏員ハ街庄長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

**第三十四條** 街庄長及吏員ハ法令ノ定ムル所ニ依リ國及州、廳地方費、市街庄其ノ他ノ公共團體ノ事務ヲ掌ル

前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ街庄ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

**第三十五條** 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外吏員ノ服務紀律及懲戒並ニ街庄長及吏員ノ賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

**第四章 給料及給與**

**第三十六條** 街庄協議會員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

名譽職助役及區總代ニハ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

**第三十七條** 有給助役其ノ他ノ有給吏員ノ給料、給與及旅費ニ關シ必要ナル事項ハ州知事又ハ廳長之ヲ定ム

(台四)

**第三十八條** 有給助役其ノ他ノ有給吏員ニハ退隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

退隱料、退職給與金、死亡給與金及遺族扶助料ニ關シ必要ナル事項ハ州知事又ハ廳長之ヲ定ム

第一項ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ其ノ處分アリタル日ヨリ六十日以内ニ之ヲ街庄長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ街庄長ハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ三十日以内ニ之ヲ決定スベシ

**第三十九條** 街庄長ノ俸給及吏員ノ給料並ニ街庄長及吏員ノ旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料、費用辨償、報酬其ノ他ノ給與ハ街庄ノ負擔トス

街庄ノ負擔トス

**第五節 街庄ノ財務**

**第四十條** 收益ノ爲ニスル街庄ノ財産ハ基本財産トシテ之ヲ維持スベシ

街庄ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産又ハ積立金數等ヲ設クルコトヲ得

**第四十一條** 街庄ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

街庄ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

**第四十二條** 街庄ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

**第四十三條** 街庄ハ其ノ必要ナル費用及法律、勅令又ハ律令ニ依リ街庄ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

街庄ハ其ノ財産ヨリ生ズル收入、使用料、手数料其ノ他法令ニ依リ街庄ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ街庄税及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

**第四十四條** 街庄税トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

五六七

一 國稅、州稅又ハ廳地方費稅ノ附加稅

二 特別稅

特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ賦課徵收スルモノトス

**第四十五條** 三月以上街庄内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ週リ街庄稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

**第四十六條** 街庄内ニ住所ヲ有セズ又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖モ街庄内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、街庄内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ街庄内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル街庄稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

**第四十七條** 合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラルベキ街庄稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

相續人又ハ相續財團ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ被相續人ニ對シ其ノ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ街庄稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

**第四十八條** 納稅者ノ街庄外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ街庄外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ街庄稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

街庄ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納ムルモノニ對シ附加稅ヲ賦課スル場合及住所滞在街庄ノ内外ニ渉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シ街庄稅ヲ賦課スル場合ニ付テハ臺灣總督之ヲ定ム

第四十九條 左ニ掲グルモノニ對シテハ街庄稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

一 國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件  
二 國及州、廳地方費、市街庄其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地家屋物件及營造物但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及  
使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

三 神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並ニ教會所設教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所設教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

四 臺灣所得稅令第二十一條ニ掲グル所得  
前項ニ掲グルモノノ外街庄稅ヲ賦課スルコトヲ得ザルモノハ臺灣總督之ヲ定ム

第五十條 街庄ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスル場合ニ於テハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ街庄稅ヲ課セザルコトヲ得

第五十一條 數人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

街庄ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ部内ニ於テ街庄稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得  
前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生ズル收入アルトキハ先ヅ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツベシ

第五十二條 數人又ハ街庄ノ一部ニ對シテ利益アル事件ニ關シテハ街庄ノ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ街庄ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得

第五十三條 夫役又ハ現品ハ特別ノ必要アルトキニ限り之ヲ賦課スルコトヲ得

學藝、美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ズ  
夫役又ハ現品ハ直接街庄稅ヲ率率トシ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スベシ但シ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得  
第三項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役又ハ現品ニ付テハ之ヲ適用セズ

第五十四條 非常災害ノ爲必要アルトキハ街庄ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スベシ

前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ街庄長、警察官吏又ハ監督官廳ハ街庄内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依リ補償スベキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハザルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ州知事又ハ廳長之ヲ決定ス  
鑑定人ニハ州知事又ハ廳長ノ定ムル所ニ依リ旅費及手當ヲ支給ス  
前項ノ旅費及手當ハ街庄ノ負擔トス

第五十五條 街庄稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ街庄長又ハ當該吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第五十六條 街庄長ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ街庄稅ヲ減免シ又ハ其ノ納稅ノ延期ヲ許スコトヲ得

第五十七條 街庄ハ街庄稅、使用料及手数料ニ關スル事項ニ付テハ法令ニ定ムルモノヲ除クノ外街庄條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ

詐偽其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料ノ徵收ヲ免レ又ハ街庄稅ヲ逋脱シタル者ニ付テハ街庄條例ヲ以テ其ノ徵收ヲ免レ又ハ逋脱シタル金額ノ五倍ニ相當スル金額(其ノ金額五圓未満ナルトキハ五圓)以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得  
前項ニ定ムルモノヲ除クノ外街庄稅、使用料及手数料ノ賦課徵收ニ關シテハ街庄條例ヲ以テ十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得營造物ノ使用ニ關シ亦同ジ

第五十八條 街庄稅、使用料、手数料、過料、過怠金其ノ他ノ街庄ノ收入ヲ定期内ニ納メザル者アルトキハ街庄長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サズ又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メザルトキハ街庄長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役又ハ現品ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命ズベシ  
前二項ノ場合ニ於テハ街庄條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

滞納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セザルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スベシ  
第一項乃至第三項ノ徵收金ニ付テハ州又ハ廳地方費ノ徵收金ニ次デ先取特權ヲ有シ其ノ追徴、還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第五十九條 街庄ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、街庄ノ永久ノ利益ト爲ルベキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り街庄債ヲ起スコトヲ得

第六十條 街庄長ハ街庄協議會ノ諮問ヲ經廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ既  
定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第六十一條 街庄費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スベキモノハ其ノ年各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第六十二條 街庄ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クベシ

第六十三條 特別會計ニハ豫備費ヲ設ケザルコトヲ得  
豫備費ハ豫算認可ニ付廳長又ハ郡守ノ削除シタル費途ニ充ツルコトヲ得

第六十四條 街庄長ハ豫算ノ認可ヲ受ケタル後直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

第六十五條 街庄ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第六十六條 街庄ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第六十七條 決算ハ翌年度ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ街庄協議會ニ報告スベシ  
決算ハ之ヲ廳長又ハ郡守ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

第六十八條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外街庄稅、使用料、手数料、豫算調製ノ式其ノ他街庄ノ財務ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第六十九條 街庄ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ州知事又ハ廳長ノ認可ヲ受ケ規約ヲ定メテ街庄組合ヲ設クルコトヲ得

第七十條 街庄組合ニシテ其ノ組合街庄ノ數ヲ増減シ、共同事務ノ變更ヲ爲シ其ノ他規約ヲ變更セントスルトキ又ハ街庄組合ヲ解カントスルトキハ關係街庄ノ協議ニ依リ州知事又ハ廳長ノ認可ヲ受ケベシ此ノ場合ニ於ケル財產處分ニ關スル事項ニ付亦同ジ

第七十一條 前二條ノ場合ニ於テハ街庄協議會ノ諮問ヲ經ベシ

第七十二條 公益上必要アル場合ニ於テハ州知事又ハ廳長ハ關係アル街庄協議會ノ意見ヲ徵シ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ街庄組合ヲ設ケ若ハ之ヲ解キ、組合街庄ノ數ヲ増減シ、規約ヲ定メ若ハ之ヲ變更シ又ハ財產處分ノ方法ヲ定ムルコトヲ得

第七十三條 組合ノ規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル街庄、組合ノ共同事務、組合役場ノ位置、組合會ノ組織及組合會議員ノ選舉、組合事務ノ管理並ニ組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クベシ

第七十四條 街庄組合ノ事務ハ州知事又ハ廳長ノ指定シタル街庄長之ヲ管理ス

第七十五條 街庄組合ニ關シテハ法令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外街庄ニ關スル規定ヲ準用ス

第七章 街庄ノ監督

第七十六條 街庄ハ州ノ區域内ノモノニ在リテハ第一次ニ於テ郡守、第二次ニ於テ州知事、第三次ニ於テ臺灣總督之ヲ監督シ廳ノ區域内ノモノニ在リテハ第一次ニ於テ廳長、第二次ニ於テ臺灣總督之ヲ監督ス

第七十七條 監督官廳ハ街庄ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ

第八十二條 監督官廳ノ認可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ申請ノ趣旨ニ反セズト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコトヲ得

附則

本令施行ノ期日ハ臺灣總督之ヲ定ム

(昭和十年臺灣總督府令第十號ヲ以テ昭和十年十月一日ヨリ施行)

本令施行ノ際必要ナル規定ハ臺灣總督之ヲ定ム

○臺灣街庄制施行令

昭和十年四月一日 臺灣總督府令第十二號

大正九年府令第百十二號臺灣街庄制施行令左ノ通改正ス

臺灣街庄制施行令

第一章 街庄協議會

第一條 街庄協議會員ノ定數ノ基準ト爲ルベキ街庄ノ人口ハ臺灣總督府報ヲ以テ公示シタル最近ノ人口ニ依ル

前項公示ノ人口現在ノ日以後ニ於テ街庄ノ廢置分合又ハ區域變更アリタルトキハ其ノ街庄ノ人口ハ一街庄又ハ數街庄全部ノ區域ヲ以テ街庄ヲ置キタル場合ニ在リテハ一街庄ノ人口又ハ關係街庄ノ人口ヲ集計シタルモノニ依リ一街庄又ハ數街庄ノ全部ノ區域ノ區域ヲ街庄ノ區域ニ編入シタル場合ニ在リテハ關係街庄ノ人口ヲ集計シタルモノニ依リ其ノ他ノ場合ニ在リテハ州知事又ハ廳長ノ認定シタル人口ニ依ル

前項ノ規定ニ依リ認定シタル人口ハ州知事又ハ廳長之ヲ告示スベシ

爲サシメ、書類帳簿ヲ徵シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

監督官廳ハ街庄ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第七十八條 街庄ニ於テ法律、勅令又ハ律令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用ヲ豫算ニ載セザルトキハ廳長又ハ郡守ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

第七十九條 臺灣總督ハ街庄協議會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第八十條 廳長又ハ郡守ハ期日ヲ定メテ街庄協議會ノ停會ヲ命ズルコトヲ得

第八十一條 州知事又ハ廳長ハ助役及會計役ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得

前二項ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

第二條 街庄協議會員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ臺灣街庄制第九條ノ規定ニ依リ協議會員及第十三條ノ規定ニ依リ協議會員ノ區分ニ從ヒ各其ノ二分ノ一ニ相當スル員數ノ協議會員ヲ街庄長抽籤シテ之ヲ定ム

第三條 特別ノ事情アルトキハ街庄長ハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

第四條 街庄長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スベシ

第五條 街庄長ハ十月二十日ヨリ七日間毎日午前九時ヨリ午後四時迄街庄役場ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スベシ

第六條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ街庄長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ街庄長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ決定シ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ直ニ之ヲ修正スベシ

第七條 選舉人名簿ハ十一月二十日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ次年ノ十一月十九日迄之ヲ据置クベシ

前條第二項ノ場合ニ於テ廳長又ハ郡守ノ決定アリタルニ因リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ街庄長ハ直ニ之ヲ修正シ遲滯ナク其ノ要領ヲ告示スベシ

第九條 街庄ノ區域變更アリタル場合ニ於テハ街庄長ハ選舉人名簿ヲ分割シ其ノ部分ヲ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市街庄ノ市尹又ハ街庄長ニ送付スベシ

第十條 街庄長前條又ハ臺灣市制施行令第九條ノ規定ニ依リ選舉人名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ併セテ之ヲ廳長又ハ郡守ニ報告スベシ

第十一條 第九條ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル選舉人名簿確定前ナルトキハ名簿ノ縱覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ廳長又ハ郡守ノ定ムル所ニ依ル

官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得 第二項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ投票分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テハ投票ヲ爲サシムルヲ妨ゲズ

第十五條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ 投票ハ一人一票ニ限ル 選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スベシ

第十六條 確定名簿ニ登錄セラレザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ但シ選舉人名簿ニ登錄セラレベキ廳長又ハ郡守ノ決定書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長又ハ投票分會長之ヲ決定スベシ

第十八條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スベシ 第十九條 街庄協議會員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當

第十二條 街庄長ハ選舉期日前七日目迄ニ選舉會場(投票分會場ヲ含ム以下之ニ同ジ)、投票ノ日時及選舉スベキ協議會員數ヲ告示スベシ投票分會場ヲ設ケル場合ニ於テハ併セテ其ノ區別ヲ告示スベシ

第十三條 街庄長ハ選舉長ト爲リ選舉會場ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ 街庄長ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スベシ

第十四條 選舉人ニ非ザル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ズ但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者及警察官更ハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 投票分會ニ於テ投票拒否ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票分會長ハ假ニ投票ヲ爲サシムベシ 前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投票シムベシ

第十六條 投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同ジ 第十七條 投票函ノ送致ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日(投票分會場ヲ設ケタルトキハ總函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スベシ)

第十八條 選舉長ハ先づ前條第二項及第四項ノ投票ヲ調査シ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スベシ 第十九條 選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スベシ

第二十條 天災事變等ノ爲開票ヲ行フコト能ハザルトキハ街庄長ハ更ニ開票ノ場所及期日ヲ定メ豫メ之ヲ告示スベシ

第二十一條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス 一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ 二 投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

第二十二條 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ 七 現ニ街庄協議會員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

選者トス  
當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ年長者ヲ取り年齡同ジキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムベシ

**第二十二條** 當選者其ノ選舉ニ關シ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

當選者選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ第三十一條ノ規定ヲ準用ス

**第二十三條** 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

投票分會長ハ投票錄ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名シ投票函ト同時ニ之ヲ選舉長ニ送致スベシ

選舉錄及投票錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ協議會員ノ任期間街庄長之ヲ保存スベシ

**第二十四條** 當選者定リタルトキハ街庄長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ廳長又ハ郡守ニ報告スベシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ廳長又ハ郡守ニ報告スベシ

郡守前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ州知事ニ報告スベシ  
當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ街庄長ニ申立ツベシ  
官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ之ニ應ズルコトヲ得ズ

ニ違セザルニ至リタルトキハ街庄長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且之ヲ廳長又ハ郡守ニ報告スベシ

郡守前二項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ州知事ニ報告スベシ

**第二十七條** 選舉ノ規定ニ違反ノ事實アルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ズル虞アル場合ニ限り州知事又ハ廳長ハ選舉ノ全部若ハ一部又ハ當選ヲ取消スベシ

前項ノ規定ニ依リ選舉ヲ取消シタル場合ニ於テ當選ニ異動ヲ生ズル虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限り當選ヲ失フコトナシ

選舉ノ規定ニ違反ノ事實アリト認ムルトキハ選舉人ハ當選者定リタル日ヨリ五日以内ニ其ノ事由ヲ州知事又ハ廳長ニ申立テ第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ申立ハ郡守ヲ經由スベシ

第一項ノ規定ニ依ル處分ハ州知事又ハ廳長ニ於テ第二十四條第一項又ハ第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ第三項ノ申立アリタルニ因リ處分ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

**第二十八條** 州知事又ハ廳長選舉又ハ當選ヲ取消シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十二條第一項ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ街庄長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

**第二十九條** 當選者ナキトキ若ハ當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル協議會員ノ定數ニ違セザルトキ若ハ定數ニ違セザルニ至リタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ選舉ノ取消アリタルトキ亦同ジ

**第三十條** 臺灣街庄制第十三條ノ規定ニ依リ街庄協議會員ヲ任命シタルト

前項ノ官吏當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ニ應ズベキ旨ヲ街庄長ニ申立テザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

街庄ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ街庄ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付街庄長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非ザレバ當選ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ニ規定スル者第三項ノ期間内ニ其ノ旨ヲ街庄長ニ申立テザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

**第二十五條** 當選者當選ヲ辭シタルトキ、當選ヲ失ヒタルトキ、死亡シタルトキ又ハ當選ノ取消アリタルトキハ選舉長ハ直ニ選舉會ヲ開キ之ヲ補充スベキ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第二十一條ノ規定ヲ準用ス

**第二十二條** 第一項ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキ亦前項ニ同ジ但シ選舉期日ヨリ一年ヲ過ギタル後當選無効ト爲リタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ街庄協議會員缺員ト看做ス  
第一項及第二項ノ場合ニ於テハ街庄長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スベシ

**第二十六條** 第二十四條第三項ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第五項ノ申立アリタルトキハ街庄長ハ直ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且之ヲ廳長又ハ郡守ニ報告スベシ  
當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル協議會員ノ定數

キハ州知事又ハ廳長ハ其ノ住所及氏名ヲ告示スベシ

**第三十一條** 街庄協議會員被選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ第二十四條第六項ニ掲グル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第二十四條第六項ニ掲グル者ニ該當スルヤ否ハ協議會員ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セザル場合ヲ除クノ外街庄長之ヲ決定ス

一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ  
二 破產者ト爲リタルトキ  
三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

前項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定アリタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ州知事又ハ廳長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ申立ハ郡守ヲ經由スベシ

第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ協議會員ノ失職確定シタルトキハ街庄長ハ其ノ住所及氏名ヲ告示シ且之ヲ廳長又ハ郡守ニ報告スベシ協議會員死亡シタルトキ又ハ職ヲ辭シタルトキ亦同ジ

郡守前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ州知事ニ報告スベシ

**第三十二條** 街庄協議會員ハ選舉若ハ當選ノ取消アル迄、第二十二條第一項ノ規定ニ依リ當選無効ト爲ル迄又ハ前條第一項ノ決定確定シ若ハ前條第二項ノ申立ニ對シ決定アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

**第三十三條** 街庄長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

**第三十四條** 街庄協議會ハ街庄長之ヲ招集ス

街庄長ハ會期ヲ定メテ街庄協議會ヲ招集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ街庄長必要アリト認ムルトキハ更ニ期限ヲ定メ街庄協議會ノ會期ヲ延長ス

ルコトヲ得

招集及會議ノ事件ハ開會ノ日前三日目迄ニ之ヲ告知スベシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

街庄協議會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ街庄長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得會議ニ付スル日前三日目迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同ジ

街庄協議會ハ街庄長之ヲ開閉ス

第三十五條 街庄協議會ハ議長又ハ其ノ代理者及協議會員定數ノ半数以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得但シ第三十七條ノ規定ニ依ル

除斥ノ爲半数ニ滿タザルトキ、同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半数ニ滿タザルトキ又ハ招集ニ應ズルモ出席協議會員定數ヲ缺キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半数ニ滿タザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十六條 街庄協議會ノ議事ハ過半数ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十七條 議長、其ノ代理者及街庄協議會員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子、孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得但シ街庄協議會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第三十八條 街庄協議員ノ會議ハ公開ス但シ議長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ傍聴ヲ禁止スルコトヲ得

第三十九條 街庄協議會ノ會議ハ國語ヲ以テ用語トス

第四十條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第四十一條 街庄協議會員ハ選舉人ノ指示又ハ委嘱ヲ受クベカラズ

依リ家督相続又ハ之ニ準ズベキ財産相続ノ開始アリタルトキハ被相続人モ亦之ヲ納ムル義務ヲ負フ

國籍喪失ニ因ル相続人又ハ限定承認ヲ爲シタル相続人ハ相続ニ因リテ得タル財産ヲ限度トシテ前項ノ義務ヲ負フ

第四十九條 街庄ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メザルモノニ對シ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ關係アル市尹又ハ街庄長協議ノ上其ノ本稅額ノ歩合ヲ定ムベシ

前項ノ協議調ハザルトキハ廳又ハ郡内ニ止マルモノハ廳長又ハ郡守、二郡以上ニ涉ルモノハ州知事之ヲ定メ州、廳又ハ二州以上ニ涉ルモノハ臺灣總督之ヲ定ム

第一項ノ場合ニ於テ直接ニ收入ヲ生ズルコトナキ營業所アルトキハ他ノ營業所ト收入ヲ共通スルモノト看做シ本稅額ノ歩合ヲ定ムベシ

州又ハ廳ニ於テ其ノ内外ニ涉ル營業ノ收入ニ對シ所得稅附加稅賦課ノ歩合ヲ定メタルモノアルトキハ其ノ歩合ニ依ル本稅額ヲ以テ其ノ州又ハ廳ニ於ケル本稅額ト看做ス

第五十條 住所滞在街庄ノ内外ニ涉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シ街庄稅ヲ賦課セントスルトキハ其ノ收入ヲ平分シ其ノ一部ニノミ賦課スベシ

前項ノ住所又ハ滞在ガ其ノ時ヲ異ニシタルトキハ納稅義務ノ發生シタル翌月初ヨリ其ノ消滅シタル月ノ終迄月割ヲ以テ賦課スベシ但シ賦課後納稅義務者ノ住所又ハ滞在ニ異動ヲ生ズルモ賦課額ハ之ヲ變更セズ其ノ新ニ住所ヲ有シ又ハ滞在スル街庄ニ於テハ賦課ナキ部分ニノミ賦課スベシ

街庄協議會員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヒ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ズ

第四十二條 會議中本令又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス協議會員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハザルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十三條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧嘩ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十四條 街庄協議會ニ書記ヲ置キ吏員ノ中ヨリ街庄長之ヲ命ズ書記ハ議長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四十五條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ調製シ會議ノ顛末及出席協議會員ノ氏名ヲ記載セシムベシ

會議録ハ議長及出席協議會員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ協議會員ハ街庄協議會ニ於テ之ヲ定ムベシ

第四十六條 廳長又ハ郡守街庄協議會ノ停會ヲ命ジタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ郡守ニ在リテハ之ヲ州知事ニ報告スベシ

第二章 街庄ノ財務

第四十七條 街庄ハ國稅ノ附加稅タル州稅又ハ廳地方費稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

第四十八條 相続人又ハ相続財團ハ被相続人ニ對シ相続開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ街庄稅ヲ納ムル義務ヲ負フ但シ戶主ノ死亡以外ノ原因ニ

第五十一條 街庄長ハ街庄稅ニ在リテハ納稅令書、夫役現品ニ在リテハ賦課令書、負擔金、使用料、手数料、過料、過怠金及物件ノ賃貸料ノ類ニ在リテハ納入令書、其ノ他ノ收入ニ在リテハ納付書ヲ發シテ之ヲ收入スベシ但シ第五十四條ノ規定ニ依リ徵收スル街庄稅及急迫ノ場合ニ賦課スル夫役現品並ニ納入令書又ハ納付書ニ依リ難キモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十二條 臺灣街庄制第五十八條ノ規定ニ依リ街庄稅ノ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ稅金額百圓ニ付一日十錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ稅金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收スベシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 納稅令書一通ノ稅金額二十圓未滿ナルトキ

二 納期ヲ繰上ゲ徵收ヲ爲ストキ

三 納稅者ノ住所及居所ガ本島内ニ在ラザル爲又ハ共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納稅ノ命令又ハ督促ヲ爲シタルトキ

四 督促狀ニ指定シタル期限迄ニ稅金及督促手数料ヲ完納シタルトキ

五 滞納ニ付酌量スベキ情狀アリト認ムルトキ

第五十三條 納稅義務者又ハ第五十四條ノ規定ニ依ル徵收義務者左ニ掲グル場合ニ該當スルトキハ納期日ニ拘ラズ其ノ稅金又ハ納入金ヲ徵收スルコトヲ得

一 納期終日前ニ納稅義務消滅ノ原因生ジタルトキ

二 納期終日前ニ第五十四條ノ規定ニ依ル徵收義務者其ノ營業又ハ稼業ヲ廢止シタルトキ

三 國稅、州稅其ノ他ノ公課ノ滞納ニ因リ滞納處分ヲ受クルトキ

四 強制執行ヲ受クルトキ

- 五 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
- 六 競賣ノ開始アリタルトキ
- 七 法人ガ解散ヲ爲シタルトキ
- 八 納税人脱税又ハ逋脱ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキ
- 第五十四條 街庄ハ臺灣總督ノ指定シタル街庄税ニ付テハ其ノ徵收ノ便宜ヲ有スル者ヲシテ之ヲ徵收セシムルコトヲ得
- 前項ノ徵收義務者ハ徵收スベキ街庄税ヲ街庄長ノ指定シタル期限迄ニ街庄ニ納入スベシ
- 前項ノ納入金ノ徵收ニ付テハ街庄税ノ例ニ依ル
- 第五十五條 街庄ハ前條ノ徵收ノ費用トシテ納入金額ノ百分ノ三以内ヲ其ノ徵收義務者ニ交付スベシ
- 第五十六條 第五十四條第一項ノ規定ニ依ル徵收義務者避クベカラザル災害ニ因リ既收ノ税金ヲ失ヒタルトキハ其ノ税金納入義務ノ免除ヲ街庄長ニ申請スルコトヲ得
- 街庄長前項ノ申請ヲ受ケタルトキハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ之ヲ決定スベシ
- 第五十七條 臺灣街庄制第五十條ノ規定ニ基キ街庄税ヲ賦課スルヲ不適當トスルモノハ街庄條例ヲ以テ之ヲ定ムベシ
- 第五十八條 街庄長ハ毎會計年度街庄税其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入出豫算ヲ調整スベシ
- 豫算ヲ街庄協議會ニ提出スルトキハ街庄長ハ財産明細表ヲ添附スベシ
- 第五十九條 豫算ハ年度經過後ニ於テ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第六十條 特別會計ニ屬スル歲入歲出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調整スベシ
- 第六十一條 歲入出豫算ハ必要アルトキハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ分ツベシ

- 爲シタル日ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アリトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
- 三 街庄債ノ元利金ニシテ支拂期日ノ定アルモノハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
- 四 補助金、寄附金、交付金及負擔金ノ類ハ其ノ支拂ヲ豫算シタル年度
- 五 欠損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度
- 六 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 第六十六條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ズ
- 豫算各項ノ金額ハ街庄協議會ノ諮問ヲ經廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ之ヲ流用スルコトヲ得但シ公費ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第六十七條 支出ハ債主又ハ其ノ代理人ニ對スルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第六十八條 街庄豫算ニ付廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケタルトキハ街庄長ヨリ其ノ贖本ヲ會計役ニ交付スベシ
- 會計役ハ街庄長ノ命令アルニ非ザレバ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出、費目流用其ノ他法令ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得ザルトキ亦同ジ
- 前二項ノ規定ハ會計役ノ事務ヲ兼掌スル街庄長又ハ助役ニ之ヲ準用ス
- 第六十九條 左ノ經費ニ付テハ街庄長又ハ吏員ニ對シ現金前渡ヲ爲スコトヲ得
- 一 街庄債ノ元利支拂
- 二 遠隔ノ地ニ於テ支拂ヲ爲ス經費

- シ
- 歲入出豫算ハ之ヲ款項ニ區分スベシ
- 第六十二條 歲入出豫算ニハ豫算説明ヲ附スベシ
- 第六十三條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スベキ歲出ニ充ツルコトヲ得ズ
- 年度經過後ニ至リ歲入ヲ以テ歲出ニ充ツルニ足ラザルニ至リタルトキハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ翌年度ノ歲入ヲ繰上グ之ニ充用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ充用ニ要スル額ヲ翌年度ノ歲入出豫算ニ編入スベシ
- 第六十四條 歲入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル
- 一 納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度
- 二 定期ニ賦課スルコトヲ得ザルガ爲特ニ納期ヲ定メタル收入又ハ臨時ノ收入ニシテ納稅令書、賦課令書又ハ納入令書ヲ發スルモノハ其ノ令書ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 三 臨時ノ收入ニシテ納稅令書、賦課令書又ハ納入令書ヲ發セザルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ街庄債、交付金、補助金、寄附金、請負金、償還金其ノ他之ニ類スル收入ニシテ其ノ收入ヲ豫算シタル年度ノ出納閉鎖前ニ領收シタルモノハ其ノ豫算ノ屬スル年度
- 第六十五條 歲入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル
- 一 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與、傭人料ノ類ハ其ノ支給スベキ事實ノ生ジタル日ノ屬スル年度但シ別ニ定リタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
- 二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ノ履行ハ

- 三 人夫賃其ノ他小額多數人ニ即金拂ヲ要スル經費
- 特別ノ必要アルトキハ前項ノ現金前渡ハ街庄長又ハ吏員以外ノ者ニ之ヲ爲スコトヲ得
- 第七十條 旅費及訴訟費用ニ付テハ概算拂ヲ爲スコトヲ得
- 第七十一條 前金支拂ニ非ザレバ購入又ハ借入ノ契約ヲ爲シ難キモノニ付テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得
- 第七十二條 前三條ニ掲グルモノヲ除クノ外必要アルトキハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ現金前渡、概算拂又ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得
- 第七十三條 歲入ノ課納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歲入ヨリ支拂フベシ
- 歲出ノ課納過納ト爲リタル金額、現金前渡、概算拂、前金拂及繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スベシ
- 第七十四條 街庄ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス
- 決算ハ出納閉鎖後二月以内ニ證書類ヲ併セテ會計役ヨリ之ヲ街庄長ニ提出スベシ街庄長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シテ街庄協議會ニ報告スベシ
- 臺灣街庄制第二十八條第一項但書ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル但シ街庄長ニ於テ兼掌シタルトキハ直ニ街庄協議會ニ報告スベシ
- 第七十五條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調整シ左ノ事項ノ計算ヲ明記シタル説明ヲ附スベシ
- 歲入ノ部
- 歲入豫算額
- 繼續費繰越財源豫定額
- 調定済歲入額
- 收入済歲入額

不納賦損額

收入未済歳入額

歳出ノ部

歳出豫算額

豫算決定後増加歳出額

支出済歳出額

翌年度繰越額

不用額

第七十六條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歳入歳出ト爲スベシ第七十三條ノ拂戻金又ハ戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同ジ

第七十七條 各年度ニ於テ歳計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ編入スベシ但シ街庄條例ノ規定ニ依リ又ハ街庄協議會ノ諮問ヲ經テ剩餘金ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スル場合ニ於テハ繰越ヲ要セズ之ガ支出ヲ爲スコトヲ得

第七十八條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終迄繰越使用スルコトヲ得

第七十九條 一年度内ニ終ルベキ工事、製造又ハ物品ノ買入若ハ運搬ニシテ避クベカラザル事故ノ爲竣功、納入又ハ運搬ヲ遅延シ年度内ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラザルモノニ限り廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ之ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得

第八十條 工事ノ請負、物件ノ賣買貸借、努力ノ供給其ノ他ノ契約ハ競争入札ニ付スベシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八十一條 會計役ノ保管ニ係ル金品、證券及帳簿ハ街庄長ニ於テ少クト

一 街庄役場ノ位置ヲ定ムルコト

二 前條第一號以外ノ條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

三 基本財産ノ處分ニ關スルコト

四 積立金穀等ヲ其ノ目的外ニ處分スルコト

五 不動産ノ處分ニ關スルコト但シ公用又ハ公共ノ用ニ供スル場合ヲ除ク

六 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

七 第九十條第十號ニ掲グルモノヲ除クノ外學校ノ建築増築若ハ改築ニ關スル費用、傳染病豫防費又ハ急施ヲ要スル災害復舊工事ニ充ツル爲借入ルル償還期限三年以内ニシテ金額二萬圓以下ノ街債又ハ金額一萬圓以下ノ庄債ヲ起シ或ハ其ノ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト

第九十條 左ニ掲グル事件ハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケタベシ

一 基本財産及積立金穀等ノ管理ニ關スルコト

二 寄附又ハ補助ヲ爲スコト

三 臺灣街庄制第五十九條第二項ノ借入金ヲ爲スコト

四 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト

五 臺灣街庄制第五十一條ノ費用ヲ負擔セシムルコト

六 臺灣街庄制第五十二條ノ賦課ヲ爲スコト

七 街庄稅ノ減免又ハ年度ヲ越エル納稅ノ延期ヲ爲スコト

八 會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クルコト

九 街庄ノ事務ニ關スル處務規程ヲ設クルコト

十 街庄債ノ借入先ヲ變更シ、償還年限ヲ延長セズシテ平均等償還ヲ元

モ毎月一回之ヲ検査スベシ

會計役ニ異動アリタルトキハ街庄長ハ金品、證券及帳簿ヲ検査スベシ

第八十二條 街庄ハ現金ノ出納及保管ノ爲街庄金庫ヲ置クコトヲ得

第八十三條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムベキ銀行ハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ街庄長之ヲ定ム

第八十四條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ハ現金ノ出納保管ニ付街庄ニ對シテ責任ヲ有ス

第八十五條 街庄ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ヨリ擔保ヲ徵スベシ

第八十六條 街庄ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ノ保管スル現金ニシテ街庄ノ歳入歳出ニ屬スルモノニ限り支出ニ妨ゲナキ限度ニ於テ其ノ運用ヲ許スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ハ街庄長ノ定ムル所ニ依リ利子ヲ街庄ニ納付スベシ

第八十七條 會計役ハ街庄金庫ヲ監督シ定期及臨時ニ金庫ノ現金及帳簿ヲ検査スベシ

第三章 街庄ノ監督

第八十八條 左ニ掲グル事件ハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケタベシ

一 街庄稅、使用料、手数料ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 第八十九條第七號及第九十條第十號ニ掲グルモノヲ除クノ外街庄債ヲ起シ或ハ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト

三 學藝、美術若ハ歴史上貴重ナル物件ヲ處分シ又ハ之ニ大ナル變更ヲ加フルコト

第八十九條 左ニ掲グル事件ハ州知事又ハ廳長ノ認可ヲ受ケタベシ

利均等償還ニ變更シ又ハ年度内ノ償還期若ハ償還期數ヲ變更スルコト

第九十一條 街庄債ノ借入額ノ減少、利息ノ定率ノ低減、償還年限ノ短縮若ハ繰上償還ヲ爲シ又ハ既定ノ償還年限ヲ延長セズシテ低利ノ借替ヲ爲ス場合ニ於テハ第八十八條及第八十九條ノ規定ニ拘ラズ監督官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要セズ

第四章 雜則

第九十二條 臺灣街庄制及本令ニ於ケル異議不服其ノ他ノ申立、申請及決定ハ第十七條、第十八條及第二十條ノ場合ヲ除クノ外文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ

前項ノ決定ニハ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スベシ

第九十三條 本令中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

附則

第九十四條 本令ハ昭和十年律令第三號臺灣街庄制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九十五條 特別ノ事情アル街庄ニ在リテハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ當分ノ内第十五條第五項ノ規定ニ拘ラズ別ニ定ムル所ニ依リ投票ノ代書ヲ許スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル投票ハ之ヲ自書シタルモノト看做ス

第九十六條 特別ノ事情アル街庄ニ在リテハ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ當分ノ内街庄協議會ノ用語ニ付國語ヲ解セザル者ニ限り第三十九條ノ規定ニ拘ラズ議長ハ國語ニ依ラシメザルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ國語ニ依ラシメザルトキ又ハ必要アルトキハ議長ハ書記ヲシテ通譯セシムベシ



### ○街庄、街庄社、街庄社長及區、區長等ニ關スル律令

大正九年八月三十一日 律令第十號

街庄、街庄社、街庄社長及區、區長等ニ關スル律令明治三十九年法律第三十一號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス  
別ニ定ムルモノヲ除クノ外從前ノ律令中臺灣總督府ノ街庄、街庄社又ハ區ニ關スル規定ハ市、街庄又ハ區ニ關スル規定トシ街庄社長又ハ區長ニ關スル規定ハ市尹、街庄長又ハ區長ニ關スル規定トス  
大正八年律令第三號附則第二項及第三項ノ街庄ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

#### 附則

本令ハ大正九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○臺灣總督府令第十六號（大正九年九月三十日）

別ニ定ムルモノヲ除クノ外從前ノ臺灣總督府令、告示中臺灣總督府ノ街庄、街庄社又ハ區ニ關スル規定ハ市、街庄又ハ區ニ關スル規定トシ街庄社長又ハ區長ニ關スル規定ハ市尹、街庄長又ハ區長ニ關スル規定トス

#### 附則

本令ハ大正九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 第三節 樺太

#### ○樺太市制

昭和十二年三月二十三日 法律第一號

第一條 市ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及

法律勅令ニ依リ市ニ屬スル事務ヲ處理ス

第二條 市ノ廢置分合ヲ爲サントスルトキハ樺太廳長官ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ム  
前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シテ樺太廳長官之ヲ定ム

第三條 市ニ市會及市參事會ヲ置ク

市會ハ市ニ關スル事件及法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

市參事會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

市會議員ハ名譽職トス市民中ヨリ之ヲ選舉ス

名譽職參事會員ハ市會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選舉ス

市會議員ノ選舉ニ付テハ市制第二十二條ノ二、第二十二條ノ三、第三十條ノ三及第三十六條ノ二ノ規定、衆議院議員選舉法第十章、第十一章及

第四十條第二項ノ規定並ニ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ノ例ニ依ル但シ

内務大臣及地方長官ノ職務ハ樺太廳長官之ヲ行ヒ議員候補者一人ニ付

定ムベキ選舉委員ノ數、選舉運動ノ爲使用スル勞務者ノ數及選舉運動ノ

費用ノ額ニ關シテハ樺太廳長官ノ定ムル所ニ依ル

第四條 市ニ市長ヲ置ク

市長ハ市會ニ於テ之ヲ選舉ス

市長ハ市ヲ統轄シ市ヲ代表ス

第五條 市ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令ニ依リ市ノ負擔ニ屬スル費用ヲ

支辨スル義務ヲ負フ

市ハ前項ノ費用ニ充ツル爲使用料、手数料、市税及夫役現品ヲ賦課徵收

第六條 市ハ永久ノ利益トナルベキ事業、舊債償還又ハ天災事變ノ爲必要

アル場合ニ限リ市債ヲ起スコトヲ得

市長ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲市參事會ノ議決ヲ經テ其ノ會計年度内ノ收

入ヲ以テ償還スベキ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第七條 本法ニ定ムルモノノ外市ノ境界變更、市民、市會、市參事會、

#### 附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

### ○樺太ノ郡町村編制ニ關スル件

大正四年六月二十八日 勅令第一號

第一條 樺太ヲ分チテ郡トス

郡ノ名稱及區域ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ樺太廳長官之ヲ定ム

第二條 郡ヲ分チテ町又ハ村トス

町村ノ名稱及區域ハ樺太廳長官之ヲ定ム

#### 附則

本令ハ大正四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

### ○樺太町村制

昭和四年三月二十七日 法律第二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル大正十年法律第四十七號改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

#### 樺太町村制

### 第一編 地方制度 第四章 植民地 樺太町村制

第一條 町村ハ從來ノ區域ニ依ル

町村ヲ分チテ一級及二級トシ主務大臣之ヲ指定ス

第二條 町村ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務

及法律勅令ニ依リ町村ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 町村ニ町村會ヲ置ク

町村會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

町村會議員ハ名譽職トス町村公民中ヨリ之ヲ選舉ス

議員ノ選舉ニ關スル罰則ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ノ例ニ依

ル

第四條 町村ニ町長ヲ置ク

一級町長ハ町村會ニ於テ之ヲ選舉ス

二級町長ハ樺太廳長官之ヲ任免ス

第五條 町村ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令ニ依リ町村ノ負擔ニ關スル費

用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第六條 町村ハ永久ノ利益トナルベキ事業、舊債償還又ハ天災事變ノ爲必

要アル場合ニ限リ借入金ヲ爲スコトヲ得

第七條 本法ニ定ムルモノノ外町村ノ廢置分合、町村公民、町村會、町村

吏員、町村ノ財務、町村ノ監督其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定

ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和四年勅令第九十四號ヲ以テ昭和四年七月一日ヨリ施行)主務大臣ハ特別ノ事情アル町村ニ付テハ當分ノ内第一條第二項ノ指定ヲ爲サザルコトヲ得前項ノ町村ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

○樺太町村制施行令

昭和四年六月二十二日(總理、拓務)勅令第九十五號(大臣副署)

改正 昭和七年第三〇〇號、一二年第一八七號

朕樺太町村制改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

樺太町村制施行令

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三款 町村吏員

第一款 組織選舉及任免

第二款 職務權限

第四章 給料及給與

第五章 町村ノ財務

第一款 財産營造物及町村稅

第二款 歳入出豫算及決算

第六章 町村ノ監督

第七章 雜則

附則

樺太町村制施行令

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第一條 町村ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ爲サントスルトキハ樺太廳長官ハ關係アル町村會ノ意見ヲ徵シ之ヲ定ム所屬未定地ヲ町村ノ區域ニ編入セントスルトキ亦同ジ

前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル町村會ノ意見ヲ徵シ樺太廳長官之ヲ定ム

第二條 町村ノ境界判明ナラザル場合ハ樺太廳長官之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ關係町村ニ交付スベシ

第三條 町村ノ名稱ヲ變更セントスルトキ、村ヲ町ト爲シ若ハ町ヲ村ト爲サントスルトキ又ハ町村役場ノ位置ヲ定メ若ハ之ヲ變更セントスルトキハ町村ハ樺太廳長官ノ許可ヲ受クベシ

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第四條 町村ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ町村住民トス

町村住民ハ本令ニ從ヒ町村ノ財產及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ町村ノ

町村公民權ヲ停止スルコトヲ得

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘザル者

二 業務ノ爲常ニ町村内ニ居ルコトヲ得ザル者

三 年齢六十年以上ノ者

四 官公職ノ爲町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得ザル者

五 四年以上名譽職町村吏員又ハ町村會議員ノ職ニ任ジ爾後同一ノ期間ヲ經過セザル者

六 其ノ他町村會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ樺太廳支廳長ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ樺太廳長官ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第五項ノ規定ニ依リ樺太廳長官ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

町村長第三項ノ規定ニ依リ樺太廳支廳長ノ裁決ニ不服アルトキハ樺太廳長官ニ訴願シ其ノ裁決又ハ同項ノ規定ニ依リ樺太廳長官ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未ダ入營セザル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ町村ノ公務ニ參與スルコトヲ得ズ兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(陸軍各部委託學生生徒、海軍軍醫學生藥劑學生主計學生造船學生造機學生造兵學生並ニ海軍豫備生徒及海軍豫備練習生ヲ除ク)及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同ジ

第三款 町村條例及町村規則

第八條 町村ハ町村住民ノ權利義務又ハ町村ノ事務ニ關シ町村條例ヲ設クルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和四年勅令第九十四號ヲ以テ昭和四年七月一日ヨリ施行)主務大臣ハ特別ノ事情アル町村ニ付テハ當分ノ内第一條第二項ノ指定ヲ爲サザルコトヲ得前項ノ町村ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

○樺太町村制施行令

昭和四年六月二十二日(總理、拓務)勅令第九十五號(大臣副署)

改正 昭和七年第三〇〇號、一二年第一八七號

朕樺太町村制改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

樺太町村制施行令

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三款 町村吏員

第一款 組織選舉及任免

第二款 職務權限

第四章 給料及給與

負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第五條 帝國國民タル年齢二十五年以上ノ男子ニシテ一級町村ニ在リテハ二年以來、二級町村ニ在リテハ一年以來町村住民タル者ハ其ノ町村公民トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一 禁治產者及準禁治產者

二 破產者ニシテ復權ヲ得ザル者

三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者

四 一定ノ住居ヲ有セザル者

五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲グル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス

七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲グル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

町村ハ前項二年又ハ一年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

第一項二年又ハ一年ノ期間ハ町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セラルコトナシ

第六條 町村公民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選舉セラルル權利ヲ有シ町村ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ

左ノ各號ノ一ニ該當セザル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セザルトキハ町村ハ一年以上四年以下其ノ

第一編 地方制度 第四章 植民地 樺太町村制施行令

五八五

町村ハ町村ノ營造物ニ關シ町村條例ヲ以テ規定スルモノノ外町村規則ヲ設クルコトヲ得

町村條例及町村規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スベシ

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第九條 町村會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

一級町村ノ議員ノ定數左ノ如シ

- 一 人口五千未満ノ町村 十二人
  - 二 人口五千以上一萬未満ノ町村 十八人
  - 三 人口一萬以上二萬未満ノ町村 二十四人
  - 四 人口二萬以上ノ町村 三十人
- 二級町村ノ議員ノ定數左ノ如シ
- 一 人口二千未満ノ町村 八人
  - 二 人口二千以上五千未満ノ町村 十二人
  - 三 人口五千以上一萬未満ノ町村 十八人
  - 四 人口一萬以上ノ町村 二十四人

議員ノ定數ハ町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非ザレバ之ヲ増減セズ但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ樺太廳長官ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第七條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 特別ノ事情アルトキハ町村ハ樺太廳支廳長ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

補選議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十五條 町村長ハ選舉期日前六十日目前在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スベシ

第十六條 町村長ハ選舉期日前四十日ヨリ十五日間町村役場又ハ其ノ指定シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スベシ

第十七條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定シ名簿ヲ修正スルトキハ直ニ之ヲ修正スベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ樺太廳支廳長ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ樺太廳長官ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第三項ノ規定ニ依ル樺太廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十八條 選舉人名簿ハ選舉期日前三日ヨリ以テ確定ス

但シ第一條ノ處分アリタル場合ニ於テ樺太廳長官ノ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第十二條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ被選舉權ヲ有ス

在職ノ檢察、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セズ

選舉事務ニ關係アル官吏及町村ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セズ

町村ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ町村ノ町村會議員ト相兼スルコトヲ得ズ

第十三條 町村會議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム但シ議員アルトキハ其ノ議員ヲ以テ之ニ充ツベシ

前項但書ノ場合ニ於テ議員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿チザルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付町村長抽籤シテ解任スベキ者ヲ定メ議員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツベキ議員ハ最モ先ニ議員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ議員ト爲リタル時同ジキトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十四條 町村會議員中議員ヲ生ジタル場合ニ於テ第三十四條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第三十八條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル者ナク若ハ前項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍其ノ議員ガ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ町村長若ハ町村會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補選議員ヲ行フベシ

第三十八條第五項及第六項ノ規定ハ補選議員ニ之ヲ準用ス

要スル場合ニ於テハ其ノ名簿確定前ナルトキハ直ニ之ヲ修正シ其ノ名簿確定後ナルトキハ選舉ヲ終リタル後次ノ選舉期日前四日ヨリ迄ニ之ヲ修正シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

投票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要アルトキハ町村長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ヲ抄本ヲ調製スベシ

第十九條 第十七條ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ選舉人名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ

天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ

第二十條 町村長ハ選舉ノ期日前七日ヨリ迄ニ選舉會場(投票分會場ヲ含ム以下之ニ同ジ)投票ノ日時及選舉スベキ議員數ヲ告示スベシ投票分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ區劃ヲ告示スベシ

投票分會ノ投票ハ選舉會ト同時ニ之ヲ行フ

天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハザルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ町村長ハ其ノ投票ヲ行フベキ選舉會又ハ投票分會ノミニ付更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムベシ此ノ場合ニ於テ選舉會場及投票ノ日時ハ選舉ノ期日前五日ヨリ迄ニ之ヲ告示スベシ

第二十一條 町村長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ

投票分會ハ町村長ノ指名シタル吏員投票分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ

町村長ハ分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スベシ

第二十二條 選舉人ニ非ザル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ズ但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職務ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラズ

選舉會場ニ於テ演説討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ選舉長又ハ投票分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムベシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ投票分會長會場ノ秩序ヲ紊ルノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨グズ

第二十三條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ  
投票ハ一人一票ニ限ル

第二十四條 確定名簿ニ登錄セラレザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ但シ選舉人名簿ニ登錄セラレベキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラズ

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ登錄セラレタルコトヲ得ザルモノナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ選舉ノ當日選舉會場ニ有セザル者ナルトキ亦同ジ

第二十五條 選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ら選舉會場ニ到リ選舉人

名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スベシ  
投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過グルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ら被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投票スベシ

投票ニ關スル記載ニ付テハ樺太廳長官ノ定ムル點字ハ之ヲ文字ト看做ス

自ら被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ  
投票用紙ハ町村長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フベシ

投票分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票分會長少クとも一人ノ投票立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ選舉長ニ送致スベシ

第二十六條 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人ノ決定ス可非同數ナルトキハ選舉長又ハ投票分會長之ヲ決スベシ

投票分會ニ於テ投票拒否ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票分會長ハ假ニ投票ヲ爲サシムベシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ら其ノ氏名ヲ記載シ投票シシムベシ

投票分會長又ハ投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同ジ

第二十七條 第三十八條若ハ第四十二條ノ選舉、増員選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十八條 町村長ハ豫メ開票ノ日時ヲ告示スベシ  
第二十九條 選舉長ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日(投票分會ヲ設ケタルトキハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日)又ハ其ノ翌日(選舉立會人立會ノ上投

長之ヲ決スベシ

第三十四條 町村會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ六分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ年長者ヲ取り年齡モ亦同ジキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムベシ

第三十五條 當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ

第三十六條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

投票分會長ハ投票錄ヲ作り投票ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

投票分會長ハ投票函ト同時ニ投票錄ヲ選舉長ニ送致スベシ  
選舉錄及投票錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間町村長ニ於テ之ヲ保存スベシ

第三十七條 當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ樺太廳支廳長ニ報告スベシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ樺太廳支廳長ニ報告スベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツベシ

官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ之ニ應ズルコトヲ得ズ

第三十三條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ決定ス可非同數ナルトキハ選舉

第三十二條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

二 現ニ町村會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セザルモノ

第三十一條 特別ノ事情アルトキハ町村ハ樺太廳支廳長ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ開票分會ヲ設ケタルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ開票分會ヲ設ケタル場合ニ於テ必要ナル事項ハ樺太廳長官之ヲ定ム

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラズ